

IBM NeXtScale nx360 M4
Type 5455



インストールとサービスのガイド

IBM NeXtScale nx360 M4
Type 5455



インストールとサービスのガイド

— お願い —

本書および本書で紹介する製品をご使用になる前に、419 ページの『付録 D. ヘルプおよび技術サポートの入手』に記載されている一般情報、423 ページの『特記事項』、「保証情報」、および IBM Documentation CD に収録されている「*Safety Information*」および「*Environmental Notices and User Guide*」の各資料をお読みください。

本装置は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 に適合しています。

本製品およびオプションに電源コード・セットが付属する場合は、それぞれ専用のものになっていますので他の電気機器には使用しないでください。

お客様の環境によっては、資料中の円記号がバックスラッシュと表示されたり、バックスラッシュが円記号と表示されたりする場合があります。

原典： IBM NeXtScale nx360 M4
Type 5455
Installation and Service Guide

発行： 日本アイ・ピー・エム株式会社

担当： トランスレーション・サービス・センター

第2版第1刷 2014.1

© Copyright IBM Corporation 2013.

目次

安全について	vii
トレーニングを受けたサービス技術員用の指針	viii
安全点検ガイド	viii
電気機器を保守するための指針	ix
安全について	x

第 1 章 IBM NeXtScale nx360 M4 コンピュータ・ノード Type 5455 1

IBM Documentation CD	2
ハードウェアおよびソフトウェアの要件	2
Documentation Browser	3
関連資料	4
本書で使用する注記	5
機能および仕様	5
ご使用のコンピュータ・ノードの機能	7
信頼性、可用性、保守容易性の機能	9
コンピュータ・ノードの主要コンポーネント	10
ストレージ・トレイの主要コンポーネント	11
電源、コントロール、およびインディケータ	12
コンピュータ・ノードのコントロール、コネクタ、および LED	12
コンソール・ブレイクアウト・ケーブル	14
コンピュータ・ノードの電源オン	15
コンピュータ・ノードの電源をオフにする	16
システム・ボードのレイアウト	16
システム・ボードの内部コネクタ	16
システム・ボードの外部コネクタ	17
システム・ボード・スイッチおよびジャンパー	18
システム・ボードの LED およびコントロール	20

第 2 章 構成情報と説明 23

ファームウェアの更新	23
サーバーの構成	24
ServerGuide Setup and Installation CD の使用	27
Setup ユーティリティの使用	28
Boot Manager の使用	37
バックアップ・サーバー・ファームウェアの開始	37
UpdateXpress System Pack Installer	38
UEFI デフォルトのロード後の電力ポリシー・オプションのデフォルトへの変更	38
統合管理モジュールの使用	39
リモート・プレゼンス機能およびブルー・スクリーン・キャプチャー機能の使用	40
組み込みハイパーバイザーの使用	43
Ethernet コントローラーの構成	44
Features on Demand Ethernet ソフトウェアの使用可能化	44
Features on Demand RAID ソフトウェアの使用可能化	45
RAID アレイの構成	45

IBM Advanced Settings ユーティリティ・プログラム	45
IBM Systems Director の更新	46
汎用固有 ID (UUID) の更新	47
DMI/SMBIOS データの更新	50

第 3 章 トラブルシューティング 55

ここから開始します	55
問題の診断	55
文書化されていない問題	58
Service Bulletin	58
チェックアウト手順	58
チェックアウト手順について	58
チェックアウト手順の実行	60
診断ツール	61
パワー・サプライ LED	63
システム・パルス LED	65
イベント・ログ	66
POST	69
IBM Dynamic System Analysis	69
自動サービス要求 (コール・ホーム)	73
IBM Electronic Service Agent	73
エラー・メッセージ	73
エラー・メッセージ	73
現象別トラブルシューティング	73
一般的な問題	74
ハード・ディスクの問題	75
ハイパーバイザーの問題	75
再現性の低い問題	76
キーボード、マウス、または USB デバイスの問題	76
メモリーの問題	78
マイクロプロセッサ問題	80
モニターおよびビデオの問題	80
ネットワーク接続の問題	83
オプション装置の問題	83
電源問題	85
シリアル装置の問題	86
ServerGuide の問題	87
ソフトウェアの問題	88
USB ポートの問題	89
ビデオの問題	89
電源の問題の解決	89
イーサネット・コントローラーの問題の解決	91
未解決問題の解決	92
問題判別のヒント	93
サーバー・ファームウェアのリカバリー (UEFI 更新の失敗)	95
インバンドの手動リカバリー方式	95
インバンドの自動ブート・リカバリー方式	97
アウト・オブ・バンド方式	98

自動ブート・リカバリー (ABR)	98
Nx 回ブート失敗	98

第 4 章 部品リスト、IBM NeXtScale nx360 M4 コンピュート・ノード Type

5455	101
交換可能なサーバー・コンポーネント	101
構造部品	104
電源コード	105

第 5 章 コンポーネントの取り外しと交換

交換	109
取り付けツール	109
オプション装置の取り付け	109
取り付けに関するガイドライン	110
システムの信頼性に関するガイドライン	111
静電気に弱い装置の取り扱い	112
装置またはコンポーネントの返却	113
コンピュータ・ノード構成の更新	113
シャーシからのコンピュータ・ノードの取り外し	113
シャーシへのコンピュータ・ノードの取り付け	114
コンピュータ・ノードからのストレージ・トレイの取り外し	117
ストレージ・トレイのコンピュータ・ノードへの取り付け	118
構造部品の取り外しと交換	120
コンピュータ・ノード・カバーの取り外し	120
コンピュータ・ノード・カバーの取り付け	122
エアー・バッフルの取り外し	123
エアー・バッフルの再取り付け	124
RAID アダプター・バッテリー・ホルダーの取り外し	125
RAID アダプター・バッテリー・ホルダーの再取り付け	126
PCI ライザー・フィラーの取り外し	127
PCI ライザー・フィラーの再取り付け	128
前面ハンドルの取り外し	129
前面ハンドルの取り付け	130
ハード・ディスク・ケージの取り外し	131
ハード・ディスク・ケージの取り付け	133
Tier 1 CRU の取り外しと交換	136
オペレーター情報パネルの取り外し	136
オペレーター情報パネルの取り付け	138
システム・バッテリーの取り外し	139
システム・バッテリーの再取り付け	141
メモリー・モジュールの取り外し	143
メモリー・モジュールの取り付け	144
オプションの 3.5 型ハード・ディスク・ハードウェア RAID ケージの取り外し	151
オプションの 3.5 型ハード・ディスク・ハードウェア RAID ケージの取り付け	152
ハード・ディスク・バックプレートの取り外し	154
ハード・ディスク・バックプレートの取り付け	156
ドライブの取り外しと取り付け	157

PCI ライザー・ケージ・アセンブリーの取り外し	169
PCI ライザー・ケージ・アセンブリーの再取り付け	170
アダプターの取り外し	171
アダプターの再取り付け	172
USB フラッシュ・ドライブの取り外し	173
USB フラッシュ・ドライブの取り付け	175
Tier 2 の CRU の取り外しと交換	177
マイクロプロセッサとヒートシンクの取り外し	177
マイクロプロセッサとヒートシンクの再取り付け	182
コンピュータ・ノードの取り外し	190
コンピュータ・ノードの取り付け	193
内部ケーブルのルーティングおよびコネクタ	195
ソフトウェア RAID 信号ケーブルを使用したハード・ディスクのケーブル接続	195
ハード・ディスクと ServeRAID SAS/SATA コントローラーのケーブル接続	196

付録 A. 統合管理モジュール II (IMM2) のエラー・メッセージ 199

付録 B. UEFI (POST) エラー・コード 345

付録 C. DSA 診断テスト結果 361

DSA Broadcom ネットワーク・テスト結果	361
DSA Brocade テスト結果	364
DSA チェックポイント・パネル・テスト結果	367
DSA CPU ストレス・テスト結果	367
DSA Emulex アダプター・テスト結果	369
DSA EXA ポート ping テスト結果	370
DSA ハード・ディスク・テスト結果	371
DSA Intel ネットワーク・テスト結果	371
DSA LSI ハード・ディスク・テスト結果	374
DSA Mellanox アダプター・テスト結果	374
DSA メモリー分離テスト結果	375
DSA メモリー・ストレス・テスト結果	405
DSA Nvidia GPU テスト結果	406
DSA 光学式ドライブ・テスト結果	408
DSA システム管理テスト結果	410
DSA テープ・ドライブ・テスト結果	416

付録 D. ヘルプおよび技術サポートの入手 419

依頼する前に	419
資料の使用	420
ヘルプおよび情報を WWW から入手する	420
IBM への DSA データの送信方法	420
個別設定したサポート Web ページの作成	421
ソフトウェアのサービスとサポート	421
ハードウェアのサービスとサポート	421

特記事項 423

商標	423
重要事項	424

サーバーの廃棄・譲渡時のハード・ディスク上のデータ消去に関するご注意	425
粒子汚染	426
通信規制の注記	426
電波障害自主規制特記事項	427
Federal Communications Commission (FCC)	
statement	427
Industry Canada Class A emission compliance	
statement	427
Avis de conformité à la réglementation d'Industrie	
Canada	427
Australia and New Zealand Class A statement	427
European Union EMC Directive conformance	
statement	427
Germany Class A statement	428

VCCI クラス A 情報技術装置	429
電子情報技術産業協会 (JEITA) 表示	429
Korea Communications Commission (KCC)	
statement	429
Russia Electromagnetic Interference (EMI) Class A	
statement	430
People's Republic of China Class A electronic	
emission statement	430
Taiwan Class A compliance statement	430

German Ordinance for Work gloss	
statement	431

索引	433

安全について

Before installing this product, read the Safety Information.

قبل تركيب هذا المنتج، يجب قراءة الملاحظات الأمنية

Antes de instalar este produto, leia as Informações de Segurança.

在安装本产品之前，请仔细阅读 **Safety Information**
(安全信息)。

安裝本產品之前，請先閱讀「安全資訊」。

Prije instalacije ovog produkta obavezno pročitajte Sigurnosne Upute.

Před instalací tohoto produktu si přečtěte příručku bezpečnostních instrukcí.

Læs sikkerhedsforskrifterne, før du installerer dette produkt.

Lees voordat u dit product installeert eerst de veiligheidsvoorschriften.

Ennen kuin asennat tämän tuotteen, lue turvaohjeet kohdasta Safety Information.

Avant d'installer ce produit, lisez les consignes de sécurité.

Vor der Installation dieses Produkts die Sicherheitshinweise lesen.

Πριν εγκαταστήσετε το προϊόν αυτό, διαβάστε τις πληροφορίες ασφάλειας
(safety information).

לפני שתתקינו מוצר זה, קראו את הוראות הבטיחות.

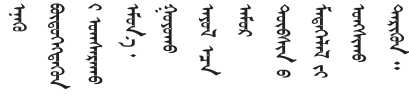
A termék telepítése előtt olvassa el a Biztonsági előírásokat!

Prima di installare questo prodotto, leggere le Informazioni sulla Sicurezza.

製品の設置の前に、安全情報をお読みください。

본 제품을 설치하기 전에 안전 정보를 읽으십시오.

Пред да се инсталира овој продукт, прочитајте информацијата за безбедност.



Les sikkerhetsinformasjonen (Safety Information) før du installerer dette produktet.

Przed zainstalowaniem tego produktu, należy zapoznać się z książką "Informacje dotyczące bezpieczeństwa" (Safety Information).

Antes de instalar este produto, leia as Informações sobre Segurança.

Перед установкой продукта прочтите инструкции по технике безопасности.

Pred inštaláciou tohto zariadenia si pečítajte Bezpečnostné predpisy.

Pred namestitvijo tega proizvoda preberite Varnostne informacije.

Antes de instalar este producto, lea la información de seguridad.

Läs säkerhetsinformationen innan du installerar den här produkten.

ཐོན་ཁུངས་འདི་བདེ་སྤྱད་མ་བྱས་གོང་། སྐྱོར་གྱི་ཡིད་གཟབ་
བྱ་འདྲ་མིན་ཡིད་པའི་འོད་མེར་བཟླ་དགོས།

Bu ürünü kurmadan önce güvenlik bilgilerini okuyun.

مەزكۇر مەھسۇلاتنى ئورنىتىشتىن بۇرۇن بىخەتەرلىك ئۇچۇرلىرىنى ئوقۇپ چىقىڭ.

Youq mwngz yungh canjbinj neix gaxgonq, itdingh aeu doeg aen
canjbinj soengq cungj vahgangj ancien siusik.

トレーニングを受けたサービス技術員用の指針

このセクションには、トレーニングを受けたサービス技術員のための情報を示します。

安全点検ガイド

この情報は、お客様が IBM® 製品で作業を行う場合に、潜在する危険な状態を識別するために役立てていただくためのものです。

各 IBM 製品には、設計され製造された時点で、ユーザーとサービス技術員を傷害から保護するための安全項目が義務付けられています。このセクションは、こうした項目のみを取り扱います。このセクションの対象になっていない IBM 以外の変更または IBM 以外の機構やオプション装置の接続によって引き起こされた、潜在的な危険な状態を識別する際は、慎重に判断してください。危険な状態が存在する場合、その危険がどの程度深刻なものであるか、この問題を解決せずに製品に対する作業を続行できるかどうかについて判断する必要があります。

次のような状況とそれが提示する危険について検討します。

- 電氣的な危険。特に、1 次側電源 (フレームの 1 次電圧が、重大または致命的な感電事故の原因になる場合があります。)
- 爆発の危険。例えば、損傷を受けた CRT 表面またはコンデンサーの膨らみ。
- 機械的な危険。例えば、ハードウェアのゆるみまたは脱落。

製品を点検して潜在的な危険な状態の有無を調べるには、以下のステップを行います。

1. 電源がオフになっていて、電源コードが切り離されていることを確認します。
2. 外部カバーに損傷、ゆるみ、または切れ目がないことを確認し、鋭くとがった箇所の有無を調べます。
3. 以下のようにして電源コードを検査します。
 - 接地線を含む 3 線式の電源コードのコネクターが良好な状態であるかどうか。計器を使用して、外部接地ピンと筐体接地間の 3 線式接地線の導通が、0.1 オーム以下であることを測定により確認します。
 - 電源コードが正しいタイプのものであることを確認します。
 - 絶縁体が擦り切れたり摩耗していないか。
4. カバーを取り外します。
5. すぐに見て取れる IBM 以外の変更がないかチェックします。IBM 以外の変更箇所の安全については適切な判断を行ってください。
6. システムの内部に、例えば、金属のやすりくず、汚れ、水やその他の液体、あるいは火災の兆候や煙による損傷など、すぐに見て取れる危険な状態が存在しないことを確認します。
7. 磨耗したケーブル、擦り切れたケーブル、または何かではさまれているケーブルがないかをチェックします。
8. パワー・サプライ・カバーの留め金具 (ねじまたはリベット) が取り外されたり、不正な変更がされていないことを確認します。

電気機器を保守するための指針

電気機器の保守を行う際は、次のガイドラインを守ってください。

- 作業域に電氣的危険がないかどうかをチェックしてください。こうした危険とは、例えば、濡れたフロア、接地されていない電源延長ケーブル、安全保護用のアースがないことなどです。
- 承認済みのツールおよびテスト装置を使用してください。工具の中には、握りや柄の部分のソフト・カバーが感電防止のための絶縁性を持たないものがあります。

- 安全な操作状態のために電気ハンド・ツールを定期的に検査および保守してください。 磨耗したり破損したツールやテスターは使用しないでください。
- デンタル・ミラーの反射面で、通電中の電気回路に触れないでください。 この表面は導電性のため、これに触れた場合、人体の傷害や機械の損傷を起こす可能性があります。
- ゴム製のフロア・マットの中には、静電気の放電を減少させるために、小さい導電ファイバーを含むものがあります。 このタイプのマットを感電の保護として使用しないでください。
- 危険な状態、または危険な電圧を持つ装置のそばで、1 人で作業しないでください。
- 電気事故が発生した場合に、すぐに電源をオフにできるよう、非常電源切断 (EPO) スイッチ、切断スイッチ、あるいは電源コンセントの場所を見つけておきます。
- 機械的な点検、電源近くでの作業、またはメイン・ユニットの取り外しや取り付けを行う前には、すべての電源を切り離してください。
- 機器での作業を開始する前に、電源コードを抜いておきます。 電源コードを抜くことができない場合は、この機器に電力を供給している配電盤の電源をオフにし、そのままの状態に保つようお客様に依頼してください。
- 電源と回路が切断されていることを前提にしないでください。 まず、電源がオフになっていることを確認してください。
- 露出した電気回路を持つ装置で作業する場合は、以下の予防措置を遵守してください。
 - 必要に応じて、すぐに電源スイッチを切れるように、電源オフ制御機構を理解している別の人物に立ち会ってもらおう。
 - 電源がオンになっている電気装置を扱うときは、片手のみを使用します。 もう一方の手は、ポケットの中に入れておくか、背中に回しておきます。 こうすることで、感電の原因となる完全な回路が形成されるのを防ぐことができます。
 - テスターを使用する時は、制御を正しく設定し、テスター用の承認済みプローブ・リードおよび付属品を使用する。
 - 適切なゴム製マットの上に立ち、床の金属部分や機器の枠などのアースと自分の身体とを絶縁する。
- 高電圧の測定時には、細心の注意を払ってください。
- パワー・サプライ、ポンプ、ブロワー、ファン、電動発電機などのコンポーネントの正しい接地状態を確保するために、これらのコンポーネントの保守は、その通常の作動位置以外の場所では行わないでください。
- 電氣的事故が発生した場合は、十分に用心し、電源をオフにして、別の人物に医療援助を求めに行かせてください。

安全について

以下では、本書に記載されている「注意」および「危険」に関する情報を説明します。

重要:

本書のすべての「注意」と「危険」の注意書きには番号が付いています。この番号は、*Safety Information* 資料で、英語の **Caution** と **Danger** と対応する翻訳文の「注意」と「危険」を相互参照するのに使用します。

例えば、「Caution」の注意書きに **Statement 1** のラベルが付いている場合、「*Safety Information*」資料の **Statement 1** にその注意書きに対応した翻訳文が記載されています。

本書で述べられている手順を実行する前に「注意」と「危険」の注意書きをすべてお読みください。もし、システムあるいはオプションに追加の安全情報がある場合はその装置の取り付けを開始する前にお読みください。

安全 1



危険

電源ケーブルや電話線、通信ケーブルからの電流は危険です。

感電を防ぐために次の事項を守ってください。

- 雷雨の間はケーブルの接続や取り外し、または本製品の設置、保守、再構成を行わないでください。
- すべての電源コードは正しく配線され接地されたコンセントに接続してください。
- ご使用の製品に接続するすべての装置も正しく配線されたコンセントに接続してください。
- 信号ケーブルの接続または切り離しは可能なかぎり片手で行ってください。
- 火災、水害、または建物に構造的損傷の形跡が見られる場合は、どの装置の電源もオンにしないでください。
- 取り付けおよび構成手順で特別に指示されている場合を除いて、装置のカバーを開く場合はその前に、必ず、接続されている電源コード、通信システム、ネットワーク、およびモデムを切り離してください。
- ご使用の製品または接続された装置の取り付け、移動、またはカバーの取り外しを行う場合には、次の表の説明に従ってケーブルの接続および切り離しを行ってください。

ケーブルの接続手順:

1. すべての電源をオフにします。
2. 最初に、すべてのケーブルを装置に接続します。
3. 信号ケーブルをコネクタに接続します。
4. 電源コードを電源コンセントに接続します。
5. 装置の電源をオンにします。

ケーブルの切り離し手順:

1. すべての電源をオフにします。
2. 最初に、電源コードをコンセントから取り外します。
3. 信号ケーブルをコネクタから取り外します。
4. すべてのケーブルを装置から取り外します。

安全 2



注意:

リチウム・バッテリーを交換する場合は、IBM 部品番号 33F8354 またはメーカーが推奨する同等タイプのバッテリーのみを使用してください。システムにリチウム・バッテリーが入ったモジュールがある場合、そのモジュールの交換には同じメーカーの同じモジュール・タイプのみを使用してください。バッテリーにはリチウムが含まれており、適切な使用、扱い、廃棄をしないと、爆発するおそれがあります。

次のことはしないでください。

- 水に投げ込む、あるいは浸す
- 100°C (華氏 212 度) 以上に過熱
- 修理または分解

バッテリーを廃棄する場合は地方自治体の条例に従ってください。

安全 3



注意:

レーザー製品 (CD-ROM、DVD ドライブ、光ファイバー装置、または送信機など) が取り付けられている場合には、以下のことに注意してください。

- カバーを外さないこと。カバーを取り外すと有害なレーザー光を浴びることがあります。この装置の内部には保守が可能な部品はありません。
- 本書に記述されていないコントロールや調整を使用したり、本書に記述されていない手順を実行すると、有害な光線を浴びることがあります。



危険

一部のレーザー製品には、クラス 3A またはクラス 3B のレーザー・ダイオードが組み込まれています。次のことに注意してください。

カバーを開くとレーザー光線の照射があります。光線を見つめたり、光学装置を用いて直接見たり、光線を直接浴びることは避けてください。

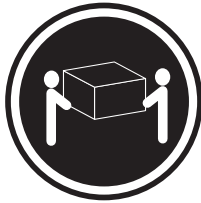
Class 1 Laser Product
Laser Klasse 1
Laser Klass 1
Luokan 1 Laserlaitte
Appareil À Laser de Classe 1

安全 4



注意:

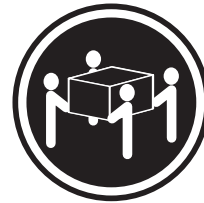
装置を持ち上げる場合には、安全に持ち上げる方法に従ってください。



≥ 18 kg



≥ 32 kg



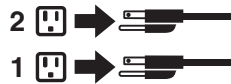
≥ 55 kg

安全 5



注意:

装置の電源制御ボタンおよび電源機構の電源スイッチは、装置に供給されている電流をオフにするものではありません。装置には 2 本以上の電源コードが使われている場合があります。装置から完全に電気を取り除くには給電部からすべての電源コードを切り離してください。



安全 6



注意:

もし電源コードを装置側でストレイン・リリーフ・ブラケットで固定した場合は、電源コードの給電部側はいつでも容易にアクセスできるようにしておく必要があります。

安全 8



注意:

電源機構 (パワー・サプライ) のカバーまたは次のラベルが貼られている部分のカバーは決して取り外さないでください。



このラベルが貼られているコンポーネントの内部には、危険な電圧、強い電流が流れています。これらのコンポーネントの内部には、保守が可能な部品はありません。これらの部品に問題があると思われる場合はサービス技術員に連絡してください。

安全 12



注意:

このラベルが貼られている近くには高温になる部品が存在します。



安全 26



注意:

ラック・マウント装置の上には何も置かないでください。



安全 27



注意:

近くに動く部品が存在します。



ラック安全情報、安全 2



危険

- 必ず、ラック・キャビネットにレベル・パッドを下ろします。
- 必ず、ラック・キャビネットにスタビライザー・ブラケットを取り付けます。
- サーバーおよびオプション装置は、必ずラック・キャビネットの最下部から取り付けてください。
- 必ず、最も重い装置をラック・キャビネットの最下部に取り付けます。

第 1 章 IBM NeXtScale nx360 M4 コンピュート・ノード Type 5455

IBM NeXtScale nx360 M4 コンピュート・ノード Type 5455 は、次世代のマイクロプロセッサ・テクノロジーをサポートするために最適化されたスケーラブルな高可用性コンピュート・ノードで、中規模および大規模の企業に理想的です。

IBM NeXtScale nx360 M4 コンピュート・ノード Type 5455 は、IBM NeXtScale n1200 Enclosure でのみサポートされます。

本書は、コンピュート・ノードのセットアップおよびトラブルシューティングに関する以下の情報を説明しています。

- コンピュート・ノードの始動および構成
- オペレーティング・システムのインストール
- 問題の診断
- コンポーネントの取り付け、取り外し、および交換

コンピュート・ノードには、ハードウェアの構成、デバイス・ドライバのインストール、およびオペレーティング・システムのインストールに役立つソフトウェア CD が付属しています。

ファームウェアおよび資料の更新が利用可能な場合は、IBM Web サイトからダウンロードすることができます。このサーバーには、サーバー付属資料に記載されていない機能が備わっている場合があります。そのような機能に関する情報を組み込むために、資料は随時更新される可能性があります。また、サーバーの資料に含まれていない追加情報を提供するための技術更新情報を利用できる場合があります。更新を確認するには、<http://www.ibm.com/supportportal> にアクセスしてください。

ご使用のコンピュート・ノードには限定保証が付いています。保証の条件およびサービスと支援の利用については、ご使用のコンピュート・ノードの「保証情報」資料を参照してください。

IBM *ServerGuide Setup and Installation* CD をダウンロードして、ハードウェアの構成、デバイス・ドライバのインストール、およびオペレーティング・システムのインストールに役立てることができます。

サーバーでサポートされているオプション装置のリストについては、<http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us>を参照してください。

ラックへの取り付けと取り外しに関する完全な手順については、IBM *System x Documentation* CD にある資料「ラック搭載手順」を参照してください。

ご使用のサーバーおよびその他の IBM サーバー製品に関する最新の情報は、<http://www-06.ibm.com/systems/jp/x/> から入手できます。 <http://www.ibm.com/supportportal> では、目的の IBM 製品を特定して、個別設定したサポート・ページを作成することができます。この個別設定されたページから、新しい技術文書に関する

る E メール通知を毎週購読したり、情報およびダウンロードを検索したり、さまざまな管理サービスにアクセスしたりすることができます。

このコンピュータ・ノードは、コンピュータ・ノードに付属した資料に記載されていない機能を備えている場合があります。資料は、それらの機能に関する情報を記載するために時々更新されることがあります。コンピュータ・ノードの資料に含まれていない追加情報を提供するための技術更新が入手できる場合もあります。この製品の最新資料を入手するには、<http://publib.boulder.ibm.com/infocenter/flexsys/information/index.jsp> にアクセスしてください。

ご使用のコンピュータ・ノードに関する情報更新を <http://www.ibm.com/support/mynotifications> で購読することができます。

型式番号およびシリアル番号は、コンピュータ・ノード前面のベゼル上の ID ラベル、およびコンピュータ・ノードが IBM NeXtScale n1200 エンクロージャーに取り付けられていない場合に確認することができるコンピュータ・ノード下部のラベルに記載されています。コンピュータ・ノードに RFID タグが付属している場合、RFID タグがコンピュータ・ノード前面のベゼル上の ID ラベルを覆っていますが、RFID タグを開いて裏にある ID ラベルを確認することができます。

注: 本書の図は、ご使用のハードウェアと多少異なる場合があります。

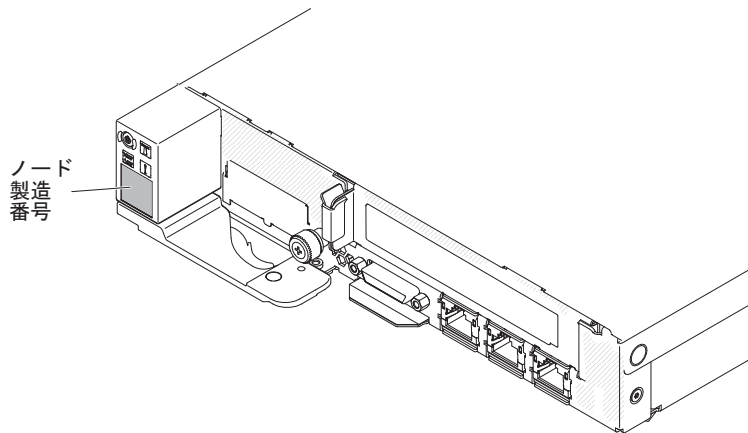


図 1. NeXtScale nx360 M4 コンピュータ・ノード

IBM Documentation CD

IBM Documentation CD には、ご使用のサーバーに関する資料が PDF フォーマットで含まれているほか、迅速な情報検索に役立つ IBM Documentation Browser も含まれています。

ハードウェアおよびソフトウェアの要件

IBM Documentation CD のハードウェア要件とソフトウェア要件。

IBM Documentation CD には、以下の最小ハードウェアおよびソフトウェアが必要です。

- Microsoft Windows または Red Hat Linux
- 100 MHz マイクロプロセッサ
- 32 MB の RAM
- Adobe Acrobat Reader 3.0 (またはこれ以降)、または Linux オペレーティング・システムに付属の xpdf

Documentation Browser

Documentation Browser は、CD の内容のブラウズ、資料の簡単な記述の読み取り、および Adobe Acrobat Reader または xpdf による資料の表示などを行う場合に使用します。

Documentation Browser は、サーバーで使用している地域設定を自動的に検出し、その地域の言語を使用して資料を表示します (その言語が利用可能な場合)。その地域の言語で資料を表示できない場合は、英語版の資料が表示されます。以下の操作のいずれかを使用して、Documentation Browser を開始できます。

- 自動始動が使用可能になっている場合は、CD または DVD ドライブに CD を挿入します。Documentation Browser が自動的に開始します。
- 自動始動が使用不可になっている場合、またはすべてのユーザーに対して使用可能になっていない場合は、次の手順のいずれかに従います。

- Windows オペレーティング・システムを使用している場合は CD を CD ドライブまたは DVD ドライブに挿入し、「スタート」 > 「ファイル名を指定して実行」をクリックします。「名前」フィールドに以下のように入力します。

```
e:¥win32.bat
```

ここで、*e* は CD または DVD ドライブのドライブ名です。「OK」をクリックします。

- Red Hat Linux を使用している場合は、CD を CD または DVD ドライブに挿入し、/mnt/cdrom ディレクトリーから次のコマンドを実行します。

```
sh runlinux.sh
```

「Product」メニューからサーバーを選択します。「Available Topics」リストに、該当のサーバーに関するすべての文書が表示されます。一部の資料は、フォルダーに入っている場合があります。プラス符号 (+) が付いているフォルダーまたは資料には、その下にさらに資料が存在します。プラス符号をクリックすると、それらの追加資料が表示されます。

文書を選択すると、その文書の説明が「Topic Description」の下に表示されます。複数の文書を選択するには、Ctrl キーを押したままそれらの文書を選択します。選択した文書を Acrobat Reader または xpdf で表示するには、「View Book」をクリックします。複数の文書を選択した場合は、選択したすべての文書が Acrobat Reader または xpdf で表示されます。

すべての文書を検索するには、ワードまたはワード・ストリングを「Search」フィールドに入力し、「Search」をクリックします。ワードまたはワード・ストリングが出現する資料が、出現回数の多い順にリストされます。その資料をクリックして表示し、資料内で Ctrl+F を押して Acrobat の検索機能を使用するか、Alt+F を押して xpdf の検索機能を使用します。

Documentation Browser の使用法について詳しくは、「**Help**」をクリックしてください。

関連資料

この「インストールとサービスのガイド」には、サーバーのセットアップと配線の方法、サポートされるオプション装置の取り付け方法、サーバーの構成方法を含め、サーバーに関する一般情報が記載されています。また、ユーザーが自分自身で問題を解決するのに役立つ情報や、サービス技術員向けの情報も記載されています。

サーバーには、以下の資料も付属しています。

- **保証情報**

この資料は、印刷形式でサーバーに付属します。この資料には、保証条件と、IBM Web サイト上の「IBM 保証の内容と制限」へのポインターが記載されています。

- **重要事項**

この資料は、印刷形式でサーバーに付属します。ご使用の IBM 製品の安全、環境、および電波障害自主規制特記事項が記載されています。

- *Environmental Notices and User Guide*

この資料は、IBM Documentation CD に PDF 形式で収められています。この資料には、翻訳された環境上の注意が記載されています。

- *IBM 機械コードのご使用条件*

この資料は、IBM Documentation CD 上に PDF 形式で収められています。ご使用の製品用の翻訳された「IBM 機械コードのご使用条件」が記載されています。

- *Licenses and Attributions Document*

この資料は、IBM Documentation CD 上に PDF 形式で収められています。オープン・ソースの注意が記載されています。

- *Safety Information*

この資料は、IBM Documentation CD 上に PDF 形式で収められています。この資料には、注意と危険の注記の翻訳が記載されています。この文書に記載された注意と危険の注記にはそれぞれ番号が割り当てられており、これを使用して、「*Safety Information*」の中にご使用の言語で書かれた対応する注記を見付けることができます。

サーバーのモデルによっては、追加資料が、IBM Documentation CD で提供される場合もあります。

System x および BladeCenter の ToolsCenter は、ファームウェア、デバイス・ドライバ、およびオペレーティング・システムの更新、管理、および展開用のツールに関する情報を記載しているオンライン・インフォメーション・センターです。

ToolsCenter for System x and BladeCenter は <http://publib.boulder.ibm.com/infocenter/toolsctr/v1r0/> にあります。

サーバーは、サーバー付属の資料では説明されていないフィーチャーを備えていることがあります。資料は、このようなフィーチャーに関する情報を組み込むために随時更新される可能性があり、また、サーバーの資料に含まれていない追加情報を提供するための技術更新情報を利用できる場合があります。このような更新は IBM Web サイトで入手できます。更新を確認するには、<http://www.ibm.com/supportportal> にアクセスしてください。

本書で使用する注記

本書の注意および危険に関する注記は、IBM *Documentation* CD に収められている複数言語による「*Safety Information*」資料にも記載されています。安全に関する各注記には番号が付いています。この番号を使用して、「*Safety Information*」資料の中で、対応する自国語の注記を見つけることができます。

本書では、次の注記が使用されます。

- **注:** この注記には、重要なヒント、ガイダンス、助言が書かれています。
- **重要:** この注記には、不都合な、または問題のある状態を避けるために役立つ情報または助言が書かれています。また、これらの注記は、プログラム、デバイス、またはデータに損傷を及ぼすおそれのあることを示します。「重要」の注記は、損傷を起こすおそれのある指示や状態の記述の直前に書かれています。
- **注意:** この注記は、ユーザーに対して危険が生じる可能性がある状態を示します。「注意」の注記は、危険となりうる手順または状態の記述の直前に書かれています。
- **危険:** これらの注記は、ユーザーに対して致命的あるいはきわめて危険となりうる状態を示します。「危険」の注記は、致命的あるいはきわめて危険となりうる手順または状態の記述の直前に書かれています。

機能および仕様

コンピュータ・ノードの具体的な情報 (コンピュータ・ノードのハードウェア機能や寸法など) を確認するには、この情報を使用します。

注:

1. 電源、冷却装置、およびシャーシ・システム管理は、IBM NeXtScale n1200 エンクロージャー シャーシが提供します。
2. コンピュータ・ノードのオペレーティング・システムは、コンピュータ・ノードが USB メディア・ドライブおよび USB 装置を認識して使用できるように USB をサポートしている必要があります。IBM NeXtScale n1200 エンクロージャー シャーシは、これらの装置との内部通信に USB を使用します。

次の表は、NeXtScale nx360 M4 コンピュータ・ノード の機能および仕様の要約です。

表 1. 機能および仕様

マイクロプロセッサ (モデルにより異なる): - マルチコア・マイクロプロセッサを最大 2 個サポート (1 個は取り付け済み) - レベル 3 キャッシュ 2 つの最大速度 8.0 GT/秒の QuickPath Interconnect (QPI) リンク 注: - マイクロプロセッサのタイプと速度を判別するには、Setup ユーティリティ・プログラムを使用します。 - サポートされるマイクロプロセッサのリストについては、http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us を参照してください。 内蔵機能: - 統合管理モジュール II (IMM2) (複数の管理機能を単一のチップに統合) - コンカレント COM/VGA/2x USB (KVM) - システム・エラー LED - RAID レベル 0、RAID レベル 1、または RAID レベル 10 のソフトウェア RAID をサポート可能 - RAID レベル 0、RAID レベル 1、RAID レベル 5、または RAID レベル 10 のハードウェア RAID をサポート可能 - Wake on LAN (WOL) メモリー: 8 個のデュアル・インライン・メモリー・モジュール (DIMM) コネクター - タイプ: Low-profile (LP) double-data rate (DDR3) DRAM 4 GB、8 GB、および 16 GB の DIMM をサポートし、システム・ボード上で最大合計メモリー容量 128 GB をサポート - UDIMM および RDIMM のサポート (混用はサポートされません) ドライブ: 最大 8 個の 3.5 型 SATA (ストレージ・トレイが取り付けられている場合は、ストレージ・トレイに最大 7 個、およびコンピュータ・ノードに 1 個)、2 個の 2.5 型 SATA/SAS、または 4 個の 1.8 型ソリッド・ステート・ドライブをサポート。¹ アップグレード可能ファームウェア: すべてのファームウェアは、現場アップグレード可能です。 サイズ: - コンピュータ・ノード - 高さ: 41 mm - 奥行き: 658.8 mm - 幅: 216 mm - 質量見積もり (コンピュータ・ノード内の LFF HDD に基づく): 6.05 kg - ストレージ・トレイ - 高さ: 58.3 mm - 奥行き: 659 mm - 幅: 216 mm - 質量見積もり (ハード・ディスクが 7 個取り付けられている場合): 8.64 kg	環境: NeXtScale nx360 M4 コンピュータ・ノード は、ASHRAE クラス A3 の仕様に準拠しています。 - 電源オン時²: - 温度: 5°C から 40°C³ - 湿度 (結露なし): -12°C の露点および 8% から 85% の相対湿度^{4, 5} - 最大露点: 24°C - 最大高度: 3048 m - 最大温度変化率: 5°C/時⁶ - 電源オフ時⁷: - 温度: 5°C から 45°C (41°F から 113°F) - 相対湿度: 8% から 85% - 最大露点: 27°C - 保管時 (非動作時): - 温度: 1°C から 60°C (33.8°F から 140°F) - 高度: 3050 m - 相対湿度: 5% から 80% - 最大露点: 29°C - 出荷時 (非動作時)⁸: - 温度: -40°C から 60°C (-40°F から 140°F) - 高度: 10,700 m - 相対湿度: 5% から 100% - 最大露点: 29°C⁹ - 粒子汚染 重要: - サポートが緩和された ASHRAE クラス A3、気温 36°C から 40°C まで対応の設計: - 性能低下を許容できないワークロードなどのクラウドをサポート (Turbo-Off) - どのような環境であっても、最悪のケースのワークロードと構成の組み合わせでも 40°C でシステム・シャットダウンが発生したり仕様を超えたりすることはありません。 - 最悪のケースのワークロード (Linpack、turbo-on など) では、性能低下が発生する場合があります。 - 浮遊微小粒子や反応性ガスは、単独で、あるいは湿気や気温など他の環境要因と組み合わせられることで、コンピュータ・ノードにリスクをもたらす可能性があります。微粒子およびガスの制限に関する情報は、426 ページの『粒子汚染』を参照してください。

表 1. 機能および仕様 (続き)

1.	オンボード LSI ソフトウェア SATA RAID は、SATA ドライブおよびソリッド・ステート・ドライブ (SSD) をサポートします。SAS ドライブはソフトウェア RAID ではサポートされません。VMware 装備の内蔵ドライブのブートおよび使用は、ServeRAID C100 (ソフトウェア RAID) コントローラーではサポートされません。
2.	シャーンシの電源がオンになっています。
3.	A3 - 950 m 以上の高度では、175 メートル上昇するごとに最大許容温度を 1°C ずつ下げてください。
4.	クラス A3 の最小湿度レベルは、-12 °C 露点と 8% 相対湿度のどちらか高い (湿気が多い) 方です。これらは約 25°C で交差します。この交点 (25°C) より下では、露点 (-12°C) が最小湿気レベルを表し、これより上では相対湿度 (8%) が最小です。
5.	データ・センター内の人体または機器に対する静電気の発生を制限するための適切な制御手段が実装されている場合、0.5°C DP 未満、-10 °C DP 以上の湿気レベル、または 8% 相対湿度が許容されます。人体およびモバイル設備や機器はすべて、適切な静電気制御システムを使用してアースに接続されなければなりません。最小要件としては、次の項目が考えられます。 a. 導電性のある材料 (導電性のある床、データ・センターに立ち入る全員の導電性のある履き物、モバイル設備と機器はすべて、導電性または静電気拡散性のある材料で作られています)。 b. ハードウェアのメンテナンス中、IT 機器に接触する人物はすべて、正しく機能するリスト・ストラップを使用する必要があります。
6.	テープ・ドライブを使用するデータ・センターの場合は時間当たり 5°C、ディスク・ドライブを使用するデータ・センターの場合は時間当たり 20°C。
7.	シャーンシがオリジナルの配送用コンテナから取り出され、設置済みだが、使用されていない状態 (例えば、修理、保守、またはアップグレード時)。
8.	機器の順応期間は、配送環境から稼働環境への温度変化が 20 °C ごとに 1 時間です。
9.	結露 (雨ではなく) は問題ない。

ご使用のコンピュータ・ノードの機能

ご使用のコンピュータ・ノードは、統合管理モジュール II、ハード・ディスクのサポート、システム管理のサポート、マイクロプロセッサ・テクノロジー、内蔵ネットワークのサポート、I/O 拡張、大容量システム・メモリー、Light Path 診断 LED、PCI Express®、および電力スロットルなどの機能を提供します。

• Features on Demand

Features on Demand 機能がコンピュータ・ノードまたはコンピュータ・ノードに取り付けられたオプション・デバイスに組み込まれている場合、アクティベーション・キーを購入してその機能をアクティブにすることができます。Features on Demand について詳しくは、<http://www.ibm.com/systems/x/fod/> を参照してください。

• フレキシブルなネットワーク・サポート

コンピュータ・ノードは、以下のフレキシブルなネットワーク機能を備えています。

– 内蔵イーサネットを備えたモデル

このサーバーには、10 Mbps、100 Mbps、または 1000 Mbps のネットワークへの接続をサポートする内蔵デュアル・ポート Intel Gigabit Ethernet コントローラーが組み込まれています。

– 内蔵イーサネットを備えていないモデル

コンピュータ・ノードは、コンピュータ・ノードにネットワーク通信機能を追加するためのオプションの拡張アダプター用のコネクタをシステム・ボード上に備えています。これにより、各種のネットワーク通信テクノロジーをサポートする拡張アダプターを柔軟に取り付けることができます。

• ハード・ディスク・サポート

コンピュータ・ノードは、最大 1 個の 3.5 型シンプル・スワップ SATA、2 個の 2.5 型シンプル・スワップ SATA/SAS、または 4 個の 1.8 型シンプル・スワップ・ソリッド・ステート・ドライブをサポートします。ハードウェア RAID を使用して、ドライブに RAID 0、RAID 1、RAID 5、または RAID 10 を実装することができます。2.5 型 SATA およびソリッド・ステート・ドライブ (SSD) は、ソフトウェア RAID もサポートします。

- **IBM ServerGuide Setup and Installation CD**

Web からダウンロードできる *ServerGuide Setup and Installation CD* には、ユーザーがサーバーをセットアップし、Windows オペレーティング・システムをインストールするのに役立つプログラムが提供されています。ServerGuide プログラムは、インストール済みのオプション・ハードウェアを検出し、適切な構成プログラムとデバイス・ドライバを提供します。*ServerGuide Setup and Installation CD* について詳しくは、27 ページの『ServerGuide Setup and Installation CD の使用』を参照してください。

- **統合管理モジュール II (IMM2)**

統合管理モジュール II (IMM2) では、サービス・プロセッサ機能、ビデオ・コントローラー、およびリモート・プレゼンス機能とブルー・スクリーン・キャプチャー機能が 1 つのチップに組み合わせられています。IMM は、高度なサービス・プロセッサの制御、モニター、およびアラート機能を提供します。環境条件がしきい値を超えたり、システム・コンポーネントに障害が起きたりすると、IMM は、問題の診断に役立つよう LED を点灯して、IMM イベント・ログにエラーを記録し、ユーザーに問題のアラートを出します。オプションで、IMM はリモート・サーバー管理機能のための仮想プレゼンス機能も提供します。IMM は、以下の業界標準インターフェースを通してリモート・サーバー管理を行います。

- Intelligent Platform Management Interface (IPMI) バージョン 2.0
- Simple Network Management Protocol (SNMP) バージョン 3.0
- Common Information Model (CIM)
- Web ブラウザー

追加情報については、39 ページの『統合管理モジュールの使用』、および「*Integrated Management Module II User's Guide*」(<http://www.ibm.com/supportportal>) を参照してください。

- **大容量のシステム・メモリー**

コンピュータ・ノードは、最大 128 GB のシステム・メモリーをサポートします。メモリー・コントローラーは、システム・ボード上のロー・プロファイル (LP) DIMM で最大 8 個の業界標準 registered ECC DDR3 をサポートします。サポートされる DIMM の最新のリストについては、<http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us>を参照してください。

- **Light Path 診断**

Light Path 診断は、問題の診断に役立つ LED を提供します。Light Path 診断および LED の詳細については、12 ページの『コンピュータ・ノードのコントローラー、コネクタ、および LED』を参照してください。

- **マイクロプロセッサ・テクノロジー**

コンピュータ・ノードは、最大 2 個のマルチコア Intel Xeon マイクロプロセッサをサポートします。サポートされるマイクロプロセッサとその部品番号の詳細については、<http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us> を参照してください。

注: IBM がサポートするオプションのマイクロプロセッサは、コンピュータ・ノードの容量および機能によって制限されています。取り付けるマイクロプロセッサはすべて、コンピュータ・ノードに搭載されたマイクロプロセッサと同じ仕様でなければなりません。

- **PCI Express**

PCI Express は、チップ間相互接続および拡張アダプター相互接続に使用されるシリアル・インターフェースです。オプションの I/O デバイスおよびストレージ・デバイスを追加することができます。

オプションの拡張ノードは、ユーザーがコンピュータ・ノードの機能の増加およびカスタマイズを行うコスト効率の良い方法を提供するために使用可能です。拡張ノードは、業界標準の PCI Express、ネットワーク、ストレージ、およびグラフィックス・アダプターを幅広くサポートします。追加情報については、を参照してください。

- **電力スロットル**

電源ドメインのリソース負荷分散 (すべての電源リソースを使用) という電源ポリシーを実行することにより、IBM NeXtScale n1200 エンクロージャーは 12 個のパワー・サプライ間で電源負荷を分配し、IBM NeXtScale n1200 エンクロージャー内の各デバイスに対して十分な電力を確実に供給できます。このポリシーは、IBM NeXtScale n1200 エンクロージャーに最初に電源が供給された時、あるいは IBM NeXtScale n1200 エンクロージャーにコンピュータ・ノードが挿入されたときに実行されます。

このポリシーでは以下の設定を選択できます。

- 基本電源管理
- 電源モジュールの冗長性
- 電源モジュールの冗長性 (コンピュータ・ノードのスロットルを許可する場合)

信頼性、可用性、保守容易性の機能

コンピュータ・ノードの設計上で最も重要な 3 つの要素は、信頼性 (reliability)、可用性 (availability)、および保守容易性 (serviceability) (RAS) です。これらの RAS 機能は、コンピュータ・ノードに保管されたデータの保全性、必要時のコンピュータ・ノードの可用性、問題の診断および修正の容易性を保証するために役立ちます。

コンピュータ・ノードには、以下の RAS 機能があります。

- 拡張構成および電源インターフェース (ACPI)
- 自動サーバー再始動 (ASR)
- DSA Preboot を使用した組み込み診断
- 温度、電圧、およびハード・ディスクの組み込みモニター機能

- 週 7 日、毎日 24 時間のカスタマー・サポート・センター¹
- お客さまによる Flash ROM 常駐コードのアップグレードおよび診断
- カスタマー・アップグレード対応の Unified Extensible Firmware Interface (UEFI) コードと診断
- ECC 保護された DDR3 DIMM
- L2 キャッシュの ECC 保護
- エラー・コードおよびメッセージ
- 統合管理モジュール II (IMM2)
- Light Path 診断
- メモリー・パリティ・テスト
- パワーオン・セルフテスト (POST) 中に実行されるマイクロプロセッサのビルトイン・セルフテスト (BIST)
- マイクロプロセッサのシリアル番号アクセス
- プロセッサ存在検出
- ROM 常駐診断
- システム・エラー・ログ
- メモリー上の重要プロダクト・データ (VPD)
- Wake on LAN 機能
- Wake on PCI (PME) 機能

コンピュータ・ノードの主要コンポーネント

コンピュータ・ノードの主要コンポーネントの位置を確認するには、この情報を使用します。

次の図は、コンピュータ・ノードの主要コンポーネントを示しています。

1. 利用できるサービスは国により異なります。対応時間は、着信の数量と内容により異なります。

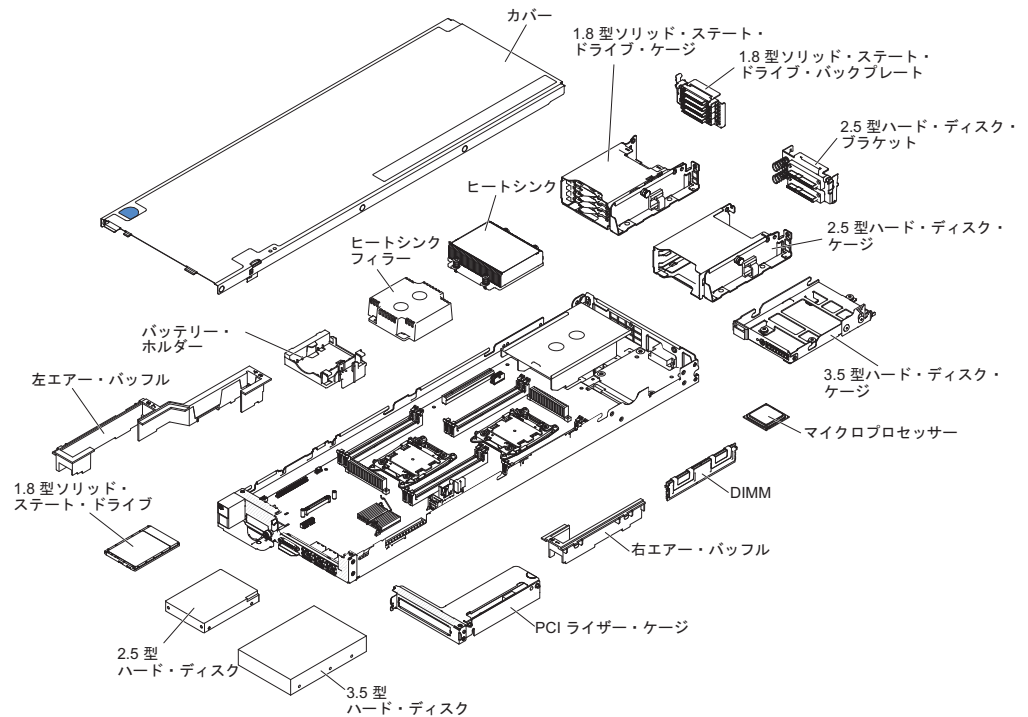


図2. コンピュート・ノードの主要コンポーネント

ストレージ・トレイの主要コンポーネント

ストレージ・トレイの主要コンポーネントの位置を確認するには、この情報を使用します。

ストレージ・トレイは、コンピュート・ノードの上部に取り付けられます。ストレージ・トレイでは、それぞれ最大 7 個の 3.5 型 LFF SATA ハード・ディスクがサポートされます。

ServeRAID アダプターは、コンピュート・ノード から PCIe インターフェースを介して接続することができ、RAID レベル 0、RAID レベル 1、RAID レベル 5、または RAID レベル 10 をサポートします。

次の図は、ストレージ・トレイの主要コンポーネントを示しています。

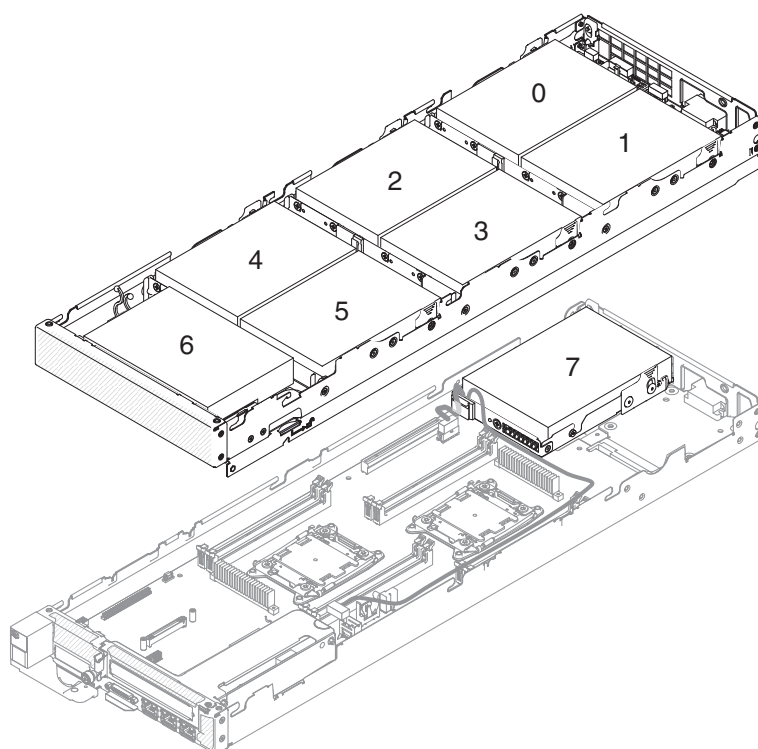


図3. ストレージ・トレイの主要コンポーネント

電源、コントロール、およびインディケータ

以下の情報を使用して、電源機構の確認、コンピュータ・ノードの電源オン/オフ、およびコントロールとインディケータの機能の確認を行います。

コンピュータ・ノードのコントロール、コネクタ、および LED

コントロール、コネクタ、および LED の詳細については、以下の情報を使用します。

次の図は、コントロール・パネル上のボタン、コネクタ、および LED を示しています。

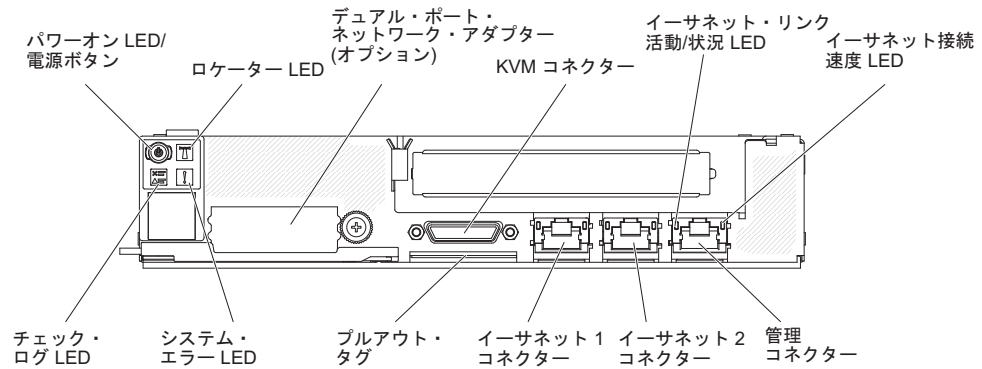


図4. コンピュート・ノードのコントロール・パネルのボタン、コネクタ、および LED

電源ボタン/LED

コンピュート・ノードが IBM NeXtScale n1200 エンクロージャー経由で電源に接続されている場合、コンピュート・ノードの電源をオン/オフするには、このボタンを押します。

このボタンは電源 LED でもあります。この緑色の LED は、コンピュート・ノードの電源状況を次のように示します。

- **高速で点滅:** 以下の理由により、LED は高速で点滅します。
 - コンピュート・ノードがシャーシに取り付けられました。コンピュート・ノードを取り付けると、コンピュート・ノード内の統合管理モジュール II (IMM2) が初期化を行っている間 (最大 90 秒間)、LED が高速で点滅します。
 - IBM NeXtScale n1200 エンクロージャーに、コンピュート・ノードの電源をオンにするための十分な電力がありません。
 - コンピュート・ノード内の IMM2 が、シャーシ・マネージメント・モジュールと通信していません。
- **低速で点滅:** コンピュート・ノードは IBM NeXtScale n1200 エンクロージャーを介して電源に接続されており、電源をオンにする準備ができています。
- **継続的に点灯:** コンピュート・ノードは IBM NeXtScale n1200 エンクロージャーを介して電源に接続されており、電源がオンにされています。

コンピュート・ノードの電源がオンの場合、このボタンを押すとコンピュート・ノードが正常シャットダウンされ、シャーシから安全に取り外すことができるようになります。この動作には、オペレーティング・システムのシャットダウン (可能な場合) およびコンピュート・ノードからの電源の切り離しが含まれます。

オペレーティング・システムが稼働している場合、シャットダウンを開始するには約 4 秒間ボタンを押す必要があります。

重要: このボタンを 4 秒間押すと、オペレーティング・システムは即時に強制シャットダウンされます。データ損失の可能性があります。

ロケータ LED

システム管理者は、リモートでこの青色の LED を点灯させ、コンピュート・ノードの位置を視覚的に確認することができます。

チェック・ログ LED

この黄色の LED が点灯している場合、システム・エラーが発生したことを示しています。追加情報がないか、66 ページの『イベント・ログ』を確認してください。

システム・エラー LED

この黄色の LED が点灯している場合、システム・エラーが発生したことを示しています。システム・エラー LED は、サーバーの背面にもあります。オペレーター情報パネルまたはシステム・ボードの Light Path 診断パネル上の LED も点灯して、エラーを特定するのに役立ちます。この LED は IMM によって制御されます。

KVM コネクター

このコネクターには、コンソール・ブレイクアウト・ケーブルを接続します (詳しくは、『コンソール・ブレイクアウト・ケーブル』を参照)。

注: ベスト・プラクティスとして、コンソール・ブレイクアウト・ケーブルは、各 IBM NeXtScale n1200 エンクロージャー 内で一度に 1 つのコンピュータ・ノードのみに接続することが推奨されます。

イーサネット・リンク活動/状況 LED

これらのどれかの LED が点灯している場合、その LED に対応するイーサネット・ポートに接続されたイーサネット LAN との間でサーバーが信号の送信または受信を行っていることを示します。

コンソール・ブレイクアウト・ケーブル

コンソール・ブレイクアウト・ケーブルについて詳しくは、この情報を参照してください。

コンソール・ブレイクアウト・ケーブルを使用して、外部の入出力装置をコンピュータ・ノードに接続します。コンソール・ブレイクアウト・ケーブルは、KVM コネクターを介して接続します (12 ページの『コンピュータ・ノードのコントロール、コネクター、および LED』を参照)。コンソール・ブレイクアウト・ケーブルには、ディスプレイ装置 (ビデオ) 用のコネクター、USB キーボードおよびマウス用の 2 つの USB コネクター、およびシリアル・インターフェース・コネクターがあります。

次の図は、コンソール・ブレイクアウト・ケーブルのコネクターおよびコンポーネントを示しています。

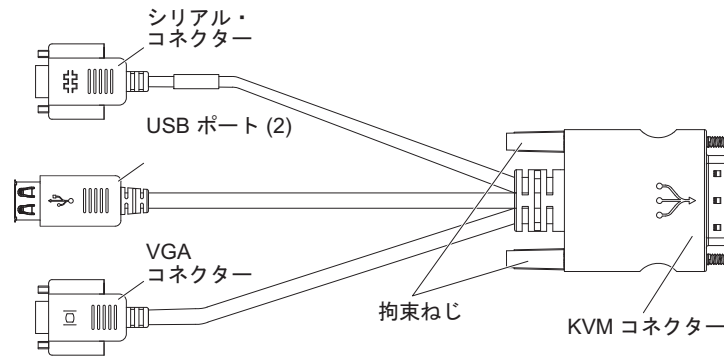


図 5. コンソール・ブレイクアウト・ケーブル

注: KVM ケーブルを取り付ける際は、プルアウト・タグを慎重に少し押し下げて、KVM ケーブルの邪魔にならないようにします。

コンピュータ・ノードの電源オン

コンピュータ・ノードの電源をオンにする詳細については、以下の情報を使用します。

このタスクについて

コンピュータ・ノードは、IBM NeXtScale n1200 エンクロージャーを介して電源に接続した後、以下のいずれかの方法で始動することができます。

- コンピュータ・ノード前面の電源ボタンを押し (12 ページの『コンピュータ・ノードのコントロール、コネクタ、および LED』を参照)、コンピュータ・ノードを始動することができます。電源ボタンは、コンピュータ・ノードのローカル電源制御が使用可能になっている場合にのみ機能します。

注:

1. コンピュータ・ノードの電源 LED が低速で点滅するまで待ち、電源ボタンを押します。コンピュータ・ノードの IMM2 が初期化およびシャーシ・マネージメント・モジュールとの同期を行っている間は、電源 LED が高速で点滅し、コンピュータ・ノードの電源ボタンは応答しません。このプロセスには、コンピュータ・ノードが取り付けられてから約 90 秒間かかる場合があります。
 2. コンピュータ・ノードの始動中は、コンピュータ・ノード前面の電源 LED は点灯しています (点滅ではありません)。電源 LED の状態については、12 ページの『コンピュータ・ノードのコントロール、コネクタ、および LED』を参照してください。
- Wake on LAN 機能を使用してコンピュータ・ノードの電源をオンにすることができます。コンピュータ・ノードは電源に接続されていて (電源 LED は低速で点滅します)、シャーシ・マネージメント・モジュールと通信する必要があります。オペレーティング・システムが Wake on LAN 機能をサポートしていて、Wake on LAN 機能がシャーシ・マネージメント・モジュールの Web インターフェースから使用可能にされている必要があります。

コンピュータ・ノードの電源をオフにする

コンピュータ・ノードの電源をオフにする詳細については、以下の情報を使用します。

このタスクについて

コンピュータ・ノードは、電源をオフにしても IBM NeXtScale n1200 エンクロージャーを介して電源に接続されています。コンピュータ・ノードは、IMM2 からの要求 (コンピュータ・ノードの電源をオンにするリモート要求など) に応答することができます。コンピュータ・ノードからすべての電力を切り離すには、コンピュータ・ノードを IBM NeXtScale n1200 エンクロージャーから取り外す必要があります。

コンピュータ・ノードの電源をオフにする前に、オペレーティング・システムをシャットダウンします。オペレーティング・システムのシャットダウンについては、オペレーティング・システムの資料を参照してください。

次のいずれかの方法で、コンピュータ・ノードの電源をオフにすることができます。

- コンピュータ・ノードの電源ボタンを押します (12 ページの『コンピュータ・ノードのコントロール、コネクタ、および LED』を参照)。これにより、オペレーティング・システムの正常シャットダウンが開始します (この機能がオペレーティング・システムでサポートされている場合)。
- オペレーティング・システムの機能が停止した場合は、電源ボタンを 4 秒間を超えて押し続けるとコンピュータ・ノードの電源をオフにできます。

重要: 電源ボタンを 4 秒間押すと、オペレーティング・システムは即時に強制シャットダウンされます。データ損失の可能性があります。

システム・ボードのレイアウト

システム・ボード上のコネクタ、LED、ジャンパー、およびスイッチの位置を確認するには、この情報を使用します。

システム・ボードの内部コネクタ

以下の図は、システム・ボード上の内部コネクタを示しています。

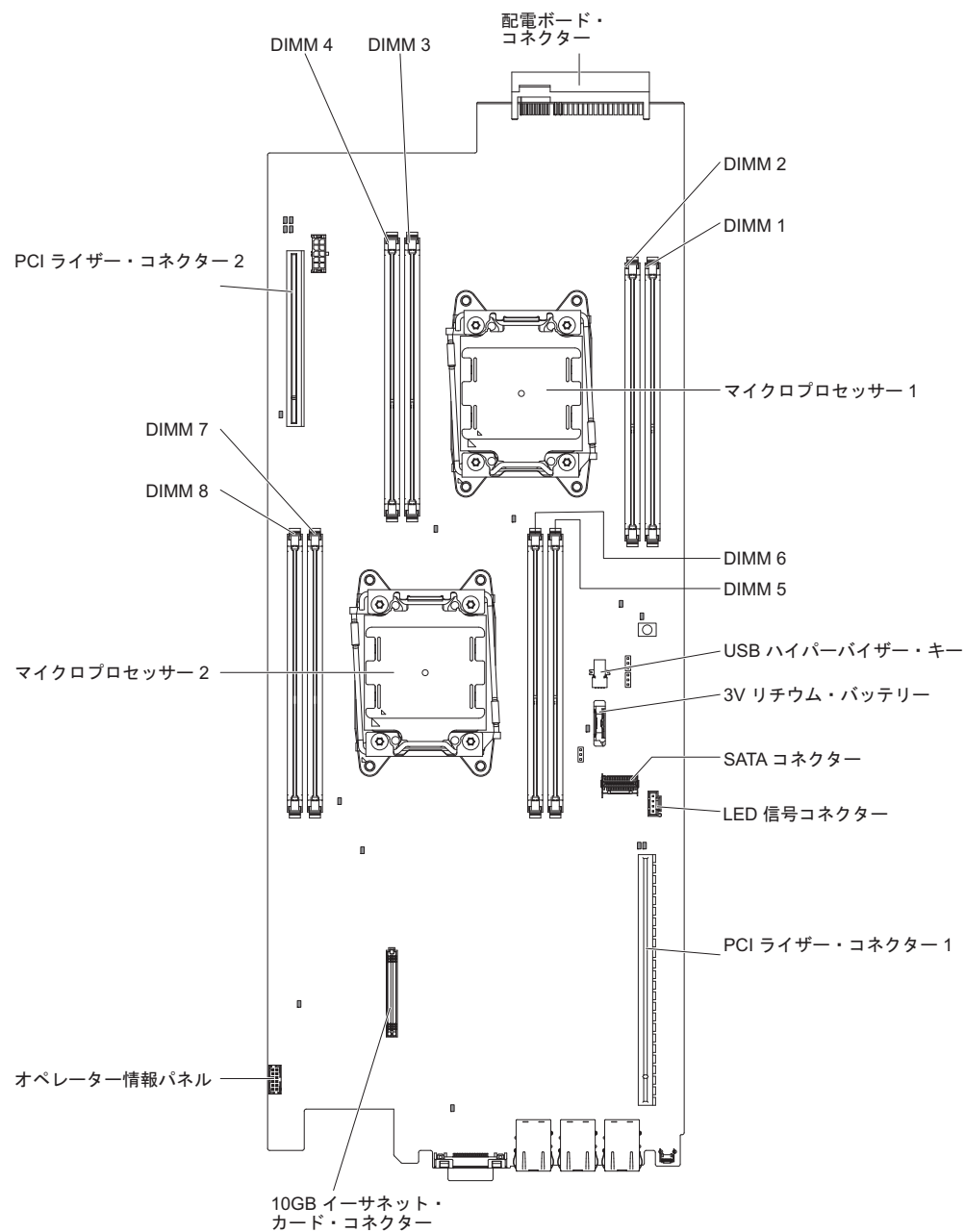


図6. システム・ボードの内部コネクタ

システム・ボードの外部コネクタ

次の図に、システム・ボード上の外部コネクタを示します。

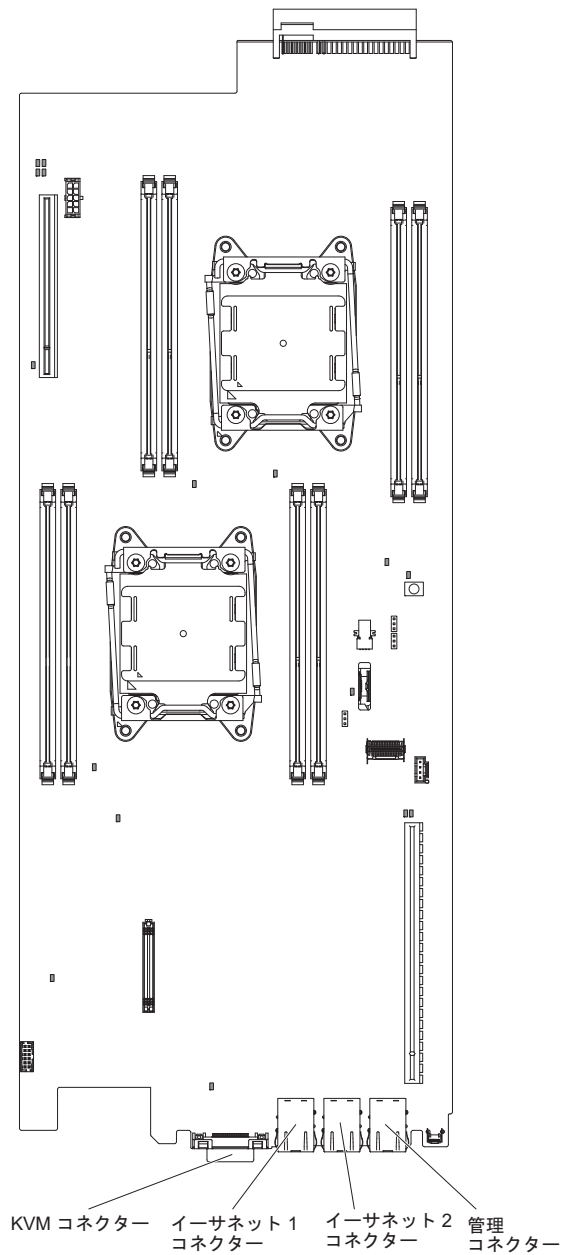


図 7. システム・ボードの外部コネクター

システム・ボード・スイッチおよびジャンパー

次の図は、スイッチとジャンパーの位置および説明を示しています。

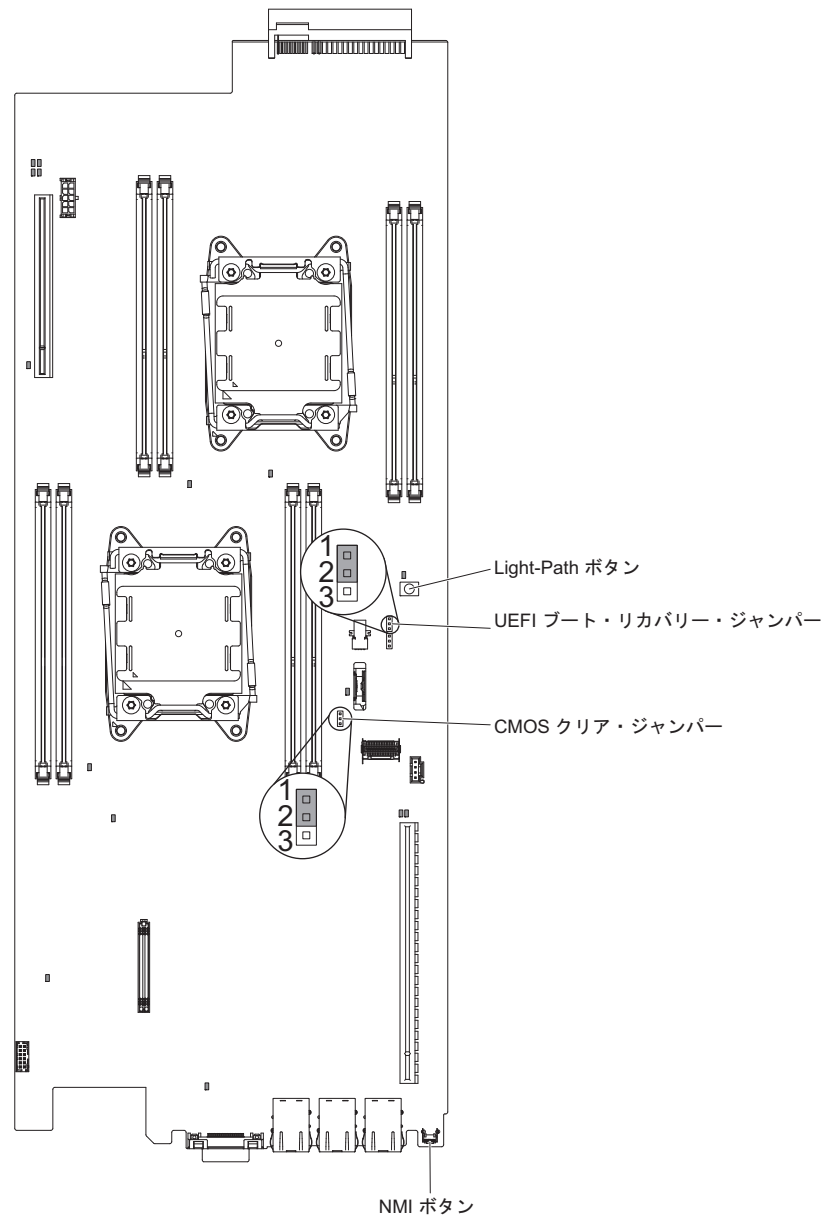


図 8. スイッチおよびジャンパーの位置と説明

注: スイッチ・ブロックの上に透明な保護ステッカーが張られている場合、スイッチにアクセスするためにステッカーを取り除いて廃棄する必要があります。

注:

1. スイッチの設定の変更またはジャンパーの移動を行うときは、その前にサーバーの電源をオフにしてください。 vii ページの『安全について』、110 ページの『取り付けに関するガイドライン』、112 ページの『静電気に弱い装置の取り扱い』、および 16 ページの『コンピュート・ノードの電源をオフにする』に記載されている情報を確認します。
2. システム・ボード上のスイッチ・ブロックまたはジャンパー・ブロックのうち、本書の図に示されていないものは予約済みです。

システム・ボードの LED およびコントロール

次の図は、システム・ボード上の発光ダイオード (LED) を示しています。

問題を切り分けるために、システム・ボード・トレイから AC 電源を取り外した後にエラー LED を点灯させることができます。システム・ボード・トレイから AC 電源を取り外した後、最大 90 秒間は電力が残り、これらの LED を使用することができます。エラー LED を確認するには、システム・ボード上の Light Path ボタンを押したままにして、エラー LED を点灯します。システム・ボード・トレイの稼働中に点灯したエラー LED が、このボタンを押している間、再度点灯します。

次の図は、システム・ボード上の LED およびコントロールを示しています。

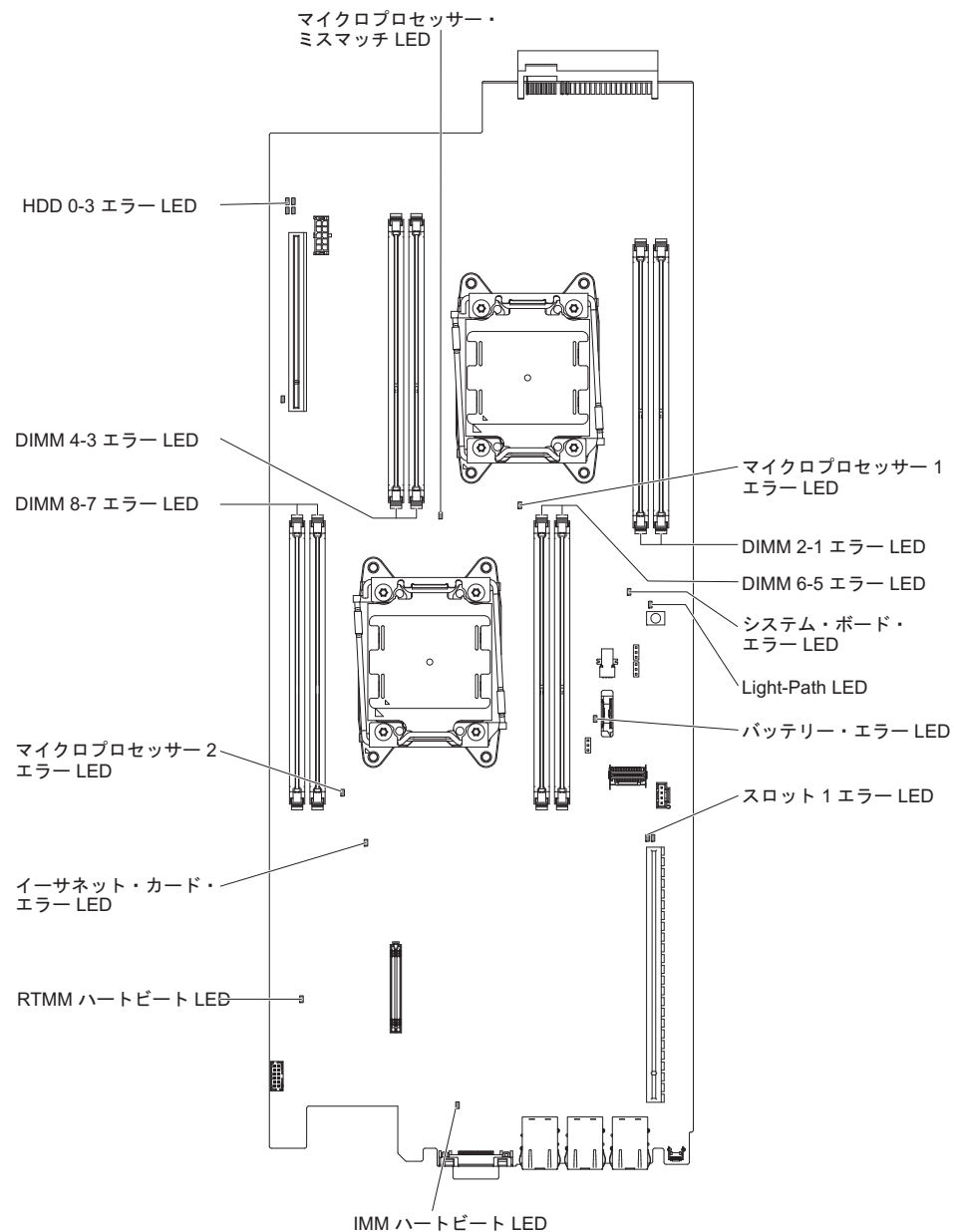


図9. システム・ボード上の LED およびコントロール

第 2 章 構成情報と説明

この章では、ファームウェアの更新方法と構成ユーティリティの使用法について説明します。

ファームウェアの更新

以下の情報を使用して、システムのファームウェアを更新します。

重要:

1. 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
2. Trusted Platform Module (TPM) の特性が新しいファームウェアによって変更される場合があるため、ファームウェアを更新する前に、必ず TPM に格納されているすべてのデータをバックアップしてください。手順については、ご使用の暗号化ソフトウェアの資料を参照してください。
3. 誤ったファームウェアまたはデバイス・ドライバ・アップデートをインストールすると、サーバーの誤動作の原因となることがあります。ファームウェアまたはデバイス・ドライバ・アップデートをインストールする前に、ダウンロードされたアップデートに付属の README および変更履歴・ファイルをお読みください。これらのファイルには、初期ファームウェアまたはデバイス・ドライバ・バージョンから最新バージョンにアップデートする特別な手順を含み、アップデートおよびアップデート・インストール手順に関する重要な情報が記載されています。

UpdateXpress システム・パックまたは UpdateXpress CD イメージとしてパッケージされているコード更新をインストールできます。UpdateXpress システム・パックには、ご使用のサーバー用のオンライン・ファームウェア更新とデバイス・ドライバ更新の統合テスト済みバンドルが収録されています。UpdateXpress システム・パック・インストーラーを使用して、UpdateXpress システム・パックおよび個々のファームウェアおよびデバイス・ドライバ更新を獲得し、適用してください。

UpdateXpress システム・パック・インストーラーの追加情報およびダウンロードについては、ToolsCenter for System x and BladeCenter (<http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnocid=TOOL-CENTER>) にアクセスし、「**UpdateXpress System Pack Installer**」をクリックします。

更新をクリックすると、その更新で修正された問題のリストが含まれている情報ページが表示されます。このリストにお客様の特定の問題がないか調べてください。ただし、お客様の問題がリストされていない場合でも、更新をインストールすると問題が解決される場合があります。

リストされた重要な更新の中に、リリースの日付が UpdateXpress システム・パックあるいは UpdateXpress イメージのリリース日以降のものがあれば、必ず別にインストールしてください。

サーバーのファームウェアは、定期的に更新されており、IBM の Web サイトからダウンロードすることができます。UEFI ファームウェア、デバイス・ドライバー、および統合管理モジュール (IMM) ファームウェアなどのファームウェアの最新レベルを確認するには、<http://www.ibm.com/support/fixcentral> にアクセスしてください。

サーバーの最新のファームウェアをダウンロードし、ダウンロード・ファイルに含まれている説明を使用してファームウェアをインストールします。

サーバー内の装置を交換した場合、その装置のメモリーに保管されているファームウェアを更新するか、CD または DVD イメージから既存のファームウェアを復元することが必要な場合があります。

以下のリストは、ファームウェアが格納されている場所を示しています。

- UEFI ファームウェアは、システム・ボード上の ROM に格納されます。
- IMM2 ファームウェアは、システム・ボード上の ROM に保管されています。
- イーサネット・ファームウェアは、イーサネット・コントローラーおよびシステム・ボード上の ROM に保管されています。
- ServeRAID ファームウェアは、システム・ボードおよび RAID アダプター (取り付けられている場合) 上の ROM に保管されています。
- SAS/SATA ファームウェアは、システム・ボード上の SAS/SATA コントローラーの ROM に格納されます。

サーバーの構成

ご使用のサーバーには、次の構成プログラムが付属しています。

- **Setup ユーティリティ**

Setup ユーティリティは、UEFI ファームウェアの一部です。このユーティリティを使用して、割り込み要求 (IRQ) 設定の変更、始動装置シーケンスの変更、日時の設定、およびパスワードの設定などの構成タスクを実行します。このプログラムの使用については、28 ページの『Setup ユーティリティの使用』を参照してください。

- **Boot Manager プログラム**

Boot Manager は、UEFI ファームウェアの一部です。このプログラムを使用して、Setup ユーティリティに設定された始動シーケンスをオーバーライドし、始動シーケンスの最初の装置を一時的に割り当てます。このプログラムの使用法について詳しくは、37 ページの『Boot Manager の使用』を参照してください。

- **IBM ServerGuide Setup and Installation CD**

ServerGuide プログラムは、サーバー用に設計されたソフトウェア・セットアップ・ツールおよびインストール・ツールを提供します。RAID 機能付きオンボード SAS/SATA コントローラーなどの基本ハードウェア機能を構成し、オペレーティング・システムのインストールを簡略化するには、サーバーの取り付け時にこの CD を使用してください。この CD の使用については、27 ページの『ServerGuide Setup and Installation CD の使用』を参照してください。

- **統合管理モジュール**

統合管理モジュール II (IMM2) は、構成、ファームウェアおよびセンサー・データ・レコード/現場交換可能ユニット (SDR/FRU) データの更新、およびネットワークのリモート管理のために使用します。IMM の使用については、39 ページの『統合管理モジュールの使用』および「*Integrated Management Module II User's Guide*」(<http://www-947.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnodocid=migr-5086346>) を参照してください。

- **VMware ESXi 組み込みハイパーバイザー**

VMware ESXi 組み込みハイパーバイザー・ソフトウェア付きのオプションの USB フラッシュ・デバイスを購入することができます。ハイパーバイザーは、複数のオペレーティング・システムが 1 つのホスト・システム上で同時に稼働できるようにする仮想化ソフトウェアです。USB 組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスは、システム・ボード上の USB コネクタ 3 および 4 に取り付けることができます。組み込みハイパーバイザーの使用法について詳しくは、43 ページの『組み込みハイパーバイザーの使用』を参照してください。

- **リモート・プレゼンス機能およびブルー・スクリーン・キャプチャー機能**

リモート・プレゼンス機能およびブルー・スクリーン・キャプチャー機能は、統合管理モジュール (IMM2) に組み込まれた機能です。リモート・プレゼンス機能は、以下の機能を備えています。

- システムの状態に関係なく、75 Hz で最大 1600 x 1200 のグラフィックス解像度のビデオをリモート側で表示できます。
- リモート・クライアントからキーボードとマウスを使用して、リモート側でサーバーにアクセスできます。
- リモート・クライアント上の CD または DVD ドライブ、ディスク・ドライブ、および USB フラッシュ・ドライブをマッピングし、また、ISO イメージ・ファイルおよびディスク・イメージ・ファイルを仮想ドライブとしてマッピングして、サーバーでできるようにします。
- ディスク・イメージを IMM メモリーにアップロードし、これを仮想ドライブとしてサーバーにマッピングします。

IMM がオペレーティング・システムのハング状態を検出した場合、IMM がサーバーを再始動する前に、ブルー・スクリーン・キャプチャー機能はビデオの表示内容をキャプチャーします。システム管理者がブルー・スクリーン・キャプチャー機能を使用すると、停止状態の原因の判別に役立ちます。詳しくは、40 ページの『リモート・プレゼンス機能およびブルー・スクリーン・キャプチャー機能の使用』を参照してください。

- **イーサネット・コントローラー構成**

イーサネット・コントローラーの構成については、44 ページの『Ethernet コントローラーの構成』を参照してください。

- **Features on Demand ソフトウェアのイーサネット・ソフトウェア**

このサーバーは、Features on Demand ソフトウェアのイーサネット・サポートを提供します。Fibre Channel over Ethernet (FCoE) および iSCSI ストレージ・プロトコル用の Features on Demand ソフトウェア・アップグレード・キーを購入できます。詳しくは、44 ページの『Features on Demand Ethernet ソフトウェアの使用可能化』を参照してください。

- **Features on Demand ソフトウェアの RAID ソフトウェア**

このサーバーは、Features on Demand ソフトウェアの RAID サポートを提供します。RAID 用の Features on Demand ソフトウェア・アップグレード・キーを購入できます。詳しくは、45 ページの『Features on Demand RAID ソフトウェアの使用可能化』を参照してください。

- **IBM Advanced Settings ユーティリティ (ASU) プログラム**

このプログラムは、UEFI 設定および IMM 設定を変更するための Setup ユーティリティの代替手段として使用します。ASU プログラムをオンラインまたはアウト・オブ・バンドで使用すると、Setup ユーティリティを実行するためにサーバーを再始動する必要なしに、コマンド・ラインから UEFI 設定を変更することができます。このプログラムの使用法について詳しくは、45 ページの『IBM Advanced Settings ユーティリティ・プログラム』を参照してください。

- **RAID アレイの構成**

RAID アレイの構成については、45 ページの『RAID アレイの構成』を参照してください。

次の表は、サーバー構成の種類、および RAID アレイの構成と管理に使用できるアプリケーションをリストしています。

表 2. RAID アレイを構成および管理するためのサーバー構成とアプリケーション

サーバー構成	RAID アレイの構成 (オペレーティング・システムのインストール前)	RAID アレイの管理 (オペレーティング・システムのインストール後)
ServeRAID-H1110 アダプター	LSI ユーティリティ (Setup ユーティリティ、Ctrl+C を押します)、ServerGuide、ヒューマン・インターフェース・インフラストラクチャー (HII)	MegaRAID Storage Manager (MSM)、ストレージ管理用 SAS2IRCU (コマンド・ライン) ユーティリティ
ServeRAID-M1115 アダプター	MegaRAID BIOS 構成ユーティリティ (Ctrl+H を押して開始)、プリブート CLI (Ctrl+P を押して開始)、ServerGuide、HII	MegaRAID Storage Manager (MSM)、MegaCLI (コマンド・ライン・インターフェース)、および IBM Director
ServeRAID-C100	HII	MegaRAID Storage Manager (MSM)、MegaCLI、および IBM Director

注:

1. ヒューマン・インターフェース・インフラストラクチャー (HII) および SAS2IRCU について詳しくは、<http://www-947.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnocid=MIGR-5088601> にアクセスしてください。
2. MegaRAID について詳しくは、<http://www-947.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnocid=MIGR-5073015> にアクセスしてください。

ServerGuide Setup and Installation CD の使用

以下の情報は、ServerGuide Setup and Installation CD の使用についての概要として使用することができます。

ServerGuide Setup and Installation CD には、サーバー用に設計されたソフトウェア・セットアップ・ツールおよびインストール・ツールが入っています。

ServerGuide プログラムは、サーバーのモデルとインストール済みのオプション・ハードウェア・デバイスを検出し、セットアップ時にその情報を使用してハードウェアを構成します。ServerGuide は、更新済みデバイス・ドライバを提供し、場合によっては自動的にインストールすることによりオペレーティング・システムのインストールを単純化します。

ServerGuide Setup and Installation CD のイメージを <http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnocid=SERV-GUIDE> から無料でダウンロードすることができます。

ServerGuide Setup and Installation CD の他に、オペレーティング・システムをインストールするためのオペレーティング・システム CD が必要です。

ServerGuide の機能

ここでは ServerGuide の機能の概要を説明します。

フィーチャーおよび機能は、ServerGuide プログラムのバージョンによって少し異なることがあります。ご使用のバージョンについて詳しく知るためには、*ServerGuide Setup and Installation CD* を開始し、オンラインの概説を表示します。すべての機能がすべてのサーバー・モデルでサポートされているとは限りません。

ServerGuide プログラムは、以下の特長を備えています。

- 使いやすいインターフェース
- ディスケットを使用しないセットアップ、および検出したハードウェアに基づく構成プログラム
- サーバーのモデルと検出されたハードウェア用のデバイス・ドライバの提供
- セットアップ中に選択可能なオペレーティング・システムの区画サイズとファイル・システムのタイプ

ServerGuide プログラムは、以下のタスクを実行します。

- システム日付および時刻を設定します。
- 取り付けられたハードウェアのオプションを検出し、ほとんどのアダプターおよびデバイスのための更新済みデバイス・ドライバを提供します。
- サポートされる Windows オペレーティング・システム用にディスク不要のインストールを提供します。
- ご使用のハードウェアおよびオペレーティング・システムのインストールに関するヒントにリンクする、オンラインの README ファイルが含まれます。

セットアップおよび構成の概要

ServerGuide のセットアップおよび構成には、以下の情報を使用します。

ServerGuide Setup and Installation CD を使用する場合、セットアップ・ディスクは必要ありません。この CD を使用して、サポートされているすべての IBM サーバー・モデルを構成できます。セットアップ・プログラムは、ご使用のサーバ

ー・モデルをセットアップするのに必要なタスクのリストを提供します。ServeRAID アダプターまたは RAID 機能付き SAS/SATA コントローラーを備えたサーバーでは、SAS/SATA RAID 構成プログラムを実行して論理ドライブを作成できます。

注: フィーチャーおよび機能は、ServerGuide プログラムのバージョンによって少し異なることがあります。

標準的なオペレーティング・システムのインストール

このセクションでは、ServerGuide を使用した標準的なオペレーティング・システムのインストールについて説明します。

ServerGuide プログラムは、オペレーティング・システムをインストールするために要する時間を削減することができます。このプログラムは、ご使用のハードウェアおよびインストールする予定のオペレーティング・システムに必要なデバイス・ドライバを提供します。このセクションでは、ServerGuide を使用した標準的なオペレーティング・システムのインストールについて説明します。

注: フィーチャーおよび機能は、ServerGuide プログラムのバージョンによって少し異なることがあります。

1. セットアップ処理が完了するとオペレーティング・システムのインストール・プログラムが開始します。(インストールを完了するためにはオペレーティング・システム CD が必要です。)
2. ServerGuide プログラムは、サーバー・モデル、サービス・プロセッサ、ハード・ディスク、コントローラー、およびネットワーク・アダプターに関する情報を保管します。その上で、プログラムはより新しいデバイス・ドライバがないかどうか CD をチェックします。この情報は保管された上で、オペレーティング・システムのインストール・プログラムに渡されます。
3. ServerGuide プログラムは、ご使用のオペレーティング・システムの選択および取り付けられたハード・ディスクに基づいて、オペレーティング・システムの区画オプションを提供します。
4. ServerGuide プログラムは、ご使用のオペレーティング・システムの CD を挿入して、サーバーを再始動するように指示してきます。この時点から、オペレーティング・システムのインストール・プログラムがインストールの完了まで制御します。

ServerGuide を使用しないオペレーティング・システムのインストール

この情報を使用して、ServerGuide を使用しないでサーバーにオペレーティング・システムをインストールすることができます。

サーバーのハードウェアを既に構成しており、オペレーティング・システムのインストールに ServerGuide プログラムを使用しない場合、<http://www.ibm.com/supportportal> からこのサーバー用のオペレーティング・システムのインストール手順をダウンロードすることができます。

Setup ユーティリティーの使用

これらの手順を使用して、Setup ユーティリティーを開始することができます。

以下の作業を実行するには、Unified Extensible Firmware Interface (UEFI) Setup ユーティリティ・プログラムを使用します。

- 装置構成情報の表示
- 装置および入出力ポートの表示および割り当て変更
- 日時の設定
- パスワードの設定と変更
- サーバーの始動の特性と始動装置の順序の設定
- 拡張ハードウェア機能の設定の指定および変更
- 電源管理機能の設定の表示、指定、および変更
- エラー・ログの表示およびクリア
- 割り込み要求 (IRQ) 設定値の変更
- 構成の競合の解決

Setup ユーティリティの開始

以下の情報を使用して、Setup ユーティリティを開始します。

このタスクについて

Setup ユーティリティを開始するには、以下の手順で行います。

手順

1. サーバーの電源をオンにします。

注: サーバーが電源に接続されてから約 5 秒から 10 秒後に、電源制御ボタンがアクティブになります。

2. プロンプト「<F1> Setup」が表示されたら、F1 キーを押します。管理者パスワードを設定してある場合、Setup ユーティリティの完全メニューにアクセスするには管理者パスワードを入力する必要があります。 管理者パスワードを入力しない場合、使用可能な Setup ユーティリティ・メニューが限定されます。
3. 表示または変更する設定を選択します。

Setup ユーティリティのメニュー選択項目

サーバーの構成データおよび設定を表示または構成するには、Setup ユーティリティ・メインメニューを使用します。

UEFI の Setup ユーティリティのメインメニューには、以下の選択項目があります。 ファームウェアのバージョンによっては、メニュー選択がここでの説明と少し異なる場合があります。

• System Information

サーバーに関する情報を表示するには、この選択項目を選択します。 Setup ユーティリティの他の選択項目を使用して変更を行った場合は、その変更の一部は System Information に反映されますが、System Information から直接設定を変更することはできません。 この選択項目は、Setup ユーティリティの完全メニューにのみ表示されます。

– System Summary

マイクロプロセッサの ID、速度、およびキャッシュ・サイズ、サーバーのマシン・タイプおよびモデル、シリアル番号、システム UUID、インストール済みのメモリー容量などの構成情報を表示するには、この項目を選択します。Setup ユーティリティーの他のオプションを使用して構成変更を行った場合、その変更は System Summary に反映されますが、System Summary から直接設定を変更することはできません。

– **Product Data**

システム・ボード ID、ファームウェアの改訂レベルまたは発行日、Integrated Management Module と診断コード、およびバージョンと日付を表示するには、この項目を選択します。

この選択項目は、Setup ユーティリティーの完全メニューにのみ表示されます。

• **System Settings**

サーバー・コンポーネントの設定値を表示または変更するには、この項目を選択します。

– **Adapters and UEFI Drivers**

サーバーに取り付けられた UEFI 1.10 準拠のアダプターとドライバーおよび UEFI 2.0 準拠のアダプターとドライバーに関する情報を表示するには、この選択項目を選択します。

– **Processors**

プロセッサの設定値を表示または変更するには、この項目を選択します。

– **Memory**

メモリーの設定値を表示または変更するには、この選択項目を選択します。

– **Devices and I/O Ports**

装置と入出力 (I/O) ポートの割り当てを表示または変更するには、この項目を選択します。シリアル・ポートの構成、リモート・コンソール・リダイレクトの構成、内蔵イーサネット・コントローラー、SAS/SATA コントローラー、SATA 光ディスク・ドライブ・チャンネル、PCI スロット、およびビデオ・コントローラーの使用可能化または使用不可化を行うことができます。装置を使用不可に設定した場合、その装置を構成することはできず、オペレーティング・システムはその装置を検出できません (これは、装置を切断するのと同等です)。

– **Power**

消費量、プロセッサ、およびパフォーマンス状態を制御するためにパワー・キャッピングを表示または変更するには、この項目を選択します。

– **Operating Modes**

オペレーティング・プロファイルの表示または変更するには、この項目を選択します (パフォーマンス (performance) および電力使用率 (power utilization))。

– **Legacy Support**

この選択項目を選択して、レガシー・サポートを表示あるいは設定します。

- **Force Legacy Video on Boot**

この選択項目を選択して、INT ビデオ・サポートを強制します (オペレーティング・システムが UEFI のビデオ出力規格をサポートしない場合)。

- **Rehook INT 19h**

装置に対してブート・プロセスの制御を使用可能または使用不可にするには、この項目を選択します。デフォルトは「**Disable**」です。

- **Legacy Thunk Support**

UEFI と UEFI に未対応の PCI 大容量ストレージ・デバイスとのデータのやりとりを使用可能または使用不可にするには、この項目を選択します。デフォルトは「**Enable**」です。

- **Infinite Boot Retry**

UEFI によるレガシー・ブート順序の無限再試行を使用可能または使用不可にするには、この項目を選択します。デフォルトは「**Disable**」です。

- **BBS Boot**

BBS 方法のレガシー・ブートを有効または無効にする場合に、この項目を選択します。デフォルトは「**Enable**」です。

- **System Security**

Trusted Platform Module (TPM) サポートを表示または構成するには、この選択項目を選択します。

- **Integrated Management Module**

Integrated Management Module の設定値を表示または変更するには、この項目を選択します。

- **Power Restore Policy**

電源の切断後に動作のモードを設定するには、この項目を選択します。

- **Commands on USB Interface**

この選択項目は、IMM の Ethernet over USB インターフェースを使用可能または使用不可にする場合に選択します。デフォルトは「**Enable**」です。

- **Network Configuration**

この選択項目は、以下のことを行う場合に選択します。システム管理ネットワークのインターフェース・ポート、IMM MAC アドレス、現行 IMM IP アドレス、およびホスト名の表示。固定 IMM IP アドレス、サブネット・マスク、およびゲートウェイ・アドレスの定義。固定 IP アドレスを使用するか DHCP で IMM2 IP アドレスを割り当てるかの指定。ネットワーク変更の保存。IMM のリセット。

- **Reset IMM to Defaults**

IMM デフォルト設定の表示またはリセットを行うには、この項目を選択します。

- **Reset IMM**

IMM をリセットするには、この項目を選択します。

– **Recovery**

システム・リカバリー・パラメーターを表示または変更するには、この項目を選択します。

– **POST Attempts**

POST に対する試行の回数値を表示または変更するには、この項目を選択します。

• **POST Attempts Limit**

Nx 回ブート失敗パラメーターを表示または変更するには、この項目を選択します。

– **System Recovery**

システム・リカバリー設定値を表示または変更するには、この項目を選択します。

• **POST Watchdog Timer**

POST ウォッチドッグ・タイマーを表示または使用可能に設定するには、この項目を選択します。

• **POST Watchdog Timer Value**

POST ローダー・ウォッチドッグ・タイマーの値を表示または設定するには、この項目を選択します。

• **Reboot System on NMI**

マスク不可割り込み (NMI) が発生するたびにシステムを再始動させる機能を使用可能または使用不可にするには、この項目を選択します。**Enable** (使用可能) がデフォルトです。

• **Halt on Severe Error**

重大エラーが検出されるたびにシステムが OS にブートして POST イベント・ビューアーを表示することを使用可能または使用不可にするには、この項目を選択します。**Disable** (使用不可) がデフォルトです。

– **Storage**

ストレージ・デバイスの設定値を表示または変更するには、この選択項目を選択します。

– **Network**

ネットワーク・デバイスのオプション (例えば、iSCSI) を表示または変更するには、この項目を選択します。

– **Drive Health**

サーバーに取り付けられているコントローラーの状況を表示するには、この項目を選択します。

• **Date and Time**

この選択項目を選択して、サーバーの日時を 24 時間形式 (時:分:秒) で設定します。

この選択項目は、Setup ユーティリティの完全メニューにのみ表示されます。

- **Start Options**

始動シーケンス、キーボードの NumLock 状態、PXE ブート・オプション、および PCI デバイスのブート優先順位を含めた始動オプションを表示または変更する場合、この項目を選択します。始動オプションの変更は、サーバーを始動すると有効になります。

始動シーケンスは、サーバーがブート・レコードを検出するために装置をチェックする順序を指定します。サーバーは、最初に検出したブート・レコードから始動します。サーバーに Wake on LAN ハードウェアおよびソフトウェアがあり、オペレーティング・システムが Wake on LAN 機能をサポートしている場合には、Wake on LAN 機能の始動シーケンスを指定できます。例えば、CD-RW/DVD ドライブ内のディスクを検査し、次にハード・ディスクを検査し、その次にネットワーク・アダプターを検査するというような始動シーケンスを定義できます。

この選択項目は、Setup ユーティリティの完全メニューにのみ表示されます。

- **Boot Manager**

この選択項目を選択して、デバイスのブート優先順位の表示、追加、削除、または変更、ファイルからのブート、一回限りのブート方法の選択、またはブート順序のデフォルト設定へのリセットを行います。

- **System Event Logs**

この選択項目は、POST イベント・ログおよびシステム・イベント・ログを表示できるシステム・イベント・マネージャーに入る場合に選択します。エラー・ログでページ間を移動するには、矢印キーを使用できます。この選択項目は、Setup ユーティリティの完全メニューにのみ表示されます。

POST イベント・ログには、POST 中に生成された最新のエラー・コードおよびメッセージが含まれています。

システム・イベント・ログには、POST およびシステム管理割り込み (SMI) のイベントと、統合管理モジュール (IMM) に組み込まれたベースボード管理コントローラーが生成したすべてのイベントが入っています。

重要: サーバーの前面のシステム・エラー LED が点灯しているが、その他にはエラー表示が何もない場合は、システム・イベント・ログをクリアしてください。また、エラーの修復または修正が完了したら、システム・イベント・ログをクリアしてサーバー前面にあるシステム・エラー LED をオフにしてください。

- **POST Event Viewer**

この選択項目を選択して、POST エラー・メッセージを表示する POST イベント・ビューアーに入ります。

- **System Event Log**

この選択項目は、システム・イベント・ログを表示する場合に選択します。

- **Clear System Event Log**

この選択項目は、システム・イベント・ログを消去する場合に選択します。

- **User Security**

パスワードを設定、変更、またはクリアするには、この項目を選択します。詳しくは、35 ページの『パスワード』を参照してください。

この選択項目は、Setup ユーティリティーの完全および限定メニューに表示されます。

- **Set Power-on Password**

始動パスワードを設定または変更するには、この項目を選択します。詳しくは、35 ページの『始動パスワード』を参照してください。

- **Clear Power-on Password**

始動パスワードをクリアするには、この項目を選択します。詳しくは、35 ページの『始動パスワード』を参照してください。

- **Set Administrator Password**

管理者パスワードを設定または変更する場合、この選択項目を選択します。管理者パスワードは、システム管理者が使用するもので、これによって Setup ユーティリティーの完全メニューへのアクセスを制限します。管理者パスワードが設定されている場合、Setup ユーティリティーの完全メニューが使用可能になるのは、パスワード・プロンプトで管理者パスワードを入力した場合のみです。詳しくは、37 ページの『管理者パスワード』を参照してください。

- **Clear Administrator Password**

管理者パスワードをクリアするには、この項目を選択します。詳しくは、37 ページの『管理者パスワード』を参照してください。

- **Save Settings**

変更した設定を保存するには、この項目を選択します。

- **Restore Settings**

変更した設定を取り消して、前回の設定をリストアするには、この項目を選択します。

- **Load Default Settings**

変更した設定を取り消して、工場出荷時の設定をリストアするには、この項目を選択します。

- **Exit Setup**

この選択項目を選択して、Setup ユーティリティーを終了します。設定値に加えた変更内容を保存していなかった場合は、変更を保存するか保存しないで終了するかを尋ねられます。

パスワード

「**User Security**」メニュー選択項目から、始動パスワードおよび管理者パスワードを設定、変更、削除できます。

「**User Security**」メニュー選択項目は、**Setup ユーティリティ**の完全メニューにのみ表示されます。

始動パスワードのみを設定した場合は、システムを始動する際および **Setup ユーティリティ**の完全メニューにアクセスする際に、始動パスワードを入力する必要があります。

管理者パスワードは、システム管理者が使用するためのものであり、**Setup ユーティリティ**の完全メニューへのアクセスを制限します。管理者パスワードのみを設定した場合は、システムの始動時にパスワードを入力する必要はありませんが、**Setup ユーティリティ**のメニューにアクセスする際に、管理者パスワードを入力する必要があります。

ユーザーの始動パスワードおよびシステム管理者の管理者パスワードを設定した場合、システム始動を完了するには始動パスワードを入力する必要があります。システム管理者は、管理者パスワードを入力すると、**Setup ユーティリティ**の完全メニューにアクセスできます。システム管理者は、始動パスワードを設定、変更、および削除するためのユーザー権限を与えることができます。始動パスワードを入力したユーザーは、**Setup ユーティリティ**の限定メニューにのみアクセスできます。ユーザーは、システム管理者から権限が与えられている場合、始動パスワードの設定、変更、および削除を行うことができます。

始動パスワード:

始動パスワードが設定されている場合、サーバーの電源をオンにした後、始動パスワードを入力するまではシステムの始動は完了しません。パスワードには、6 文字から 20 文字までの印刷可能な ASCII 文字を任意に組み合わせて使用できます。

始動パスワードが設定されると、**Unattended Start** モードを使用可能にすることができます。このモードでは、キーボードとマウスはロックされたままですが、オペレーティング・システムは始動できます。始動パスワードを入力することにより、キーボードとマウスのロックを解除できます。

始動パスワードを忘れた場合は、次のいずれかの方法でサーバーへのアクセスを回復できます。

- 管理者パスワードが設定されている場合、パスワード・プロンプトで管理者パスワードを入力します。 **Setup ユーティリティ**を開始して、始動パスワードをリセットします。

重要: 管理者パスワードを設定したがそれを忘れてしまった場合、管理者パスワードを変更、オーバーライド、または削除することはできません。システム・ボードを交換する必要があります。

- サーバーからバッテリーを取り外し、30 秒待ってから、再度取り付けます。

- 始動パスワード・スイッチの位置を変更して (システム・ボードのスイッチ・ブロック (SW4) のスイッチ 3 を使用可能にします)、パスワード検査をバイパスします (詳しくは、18 ページの『システム・ボード・スイッチおよびジャンパー』を参照)。

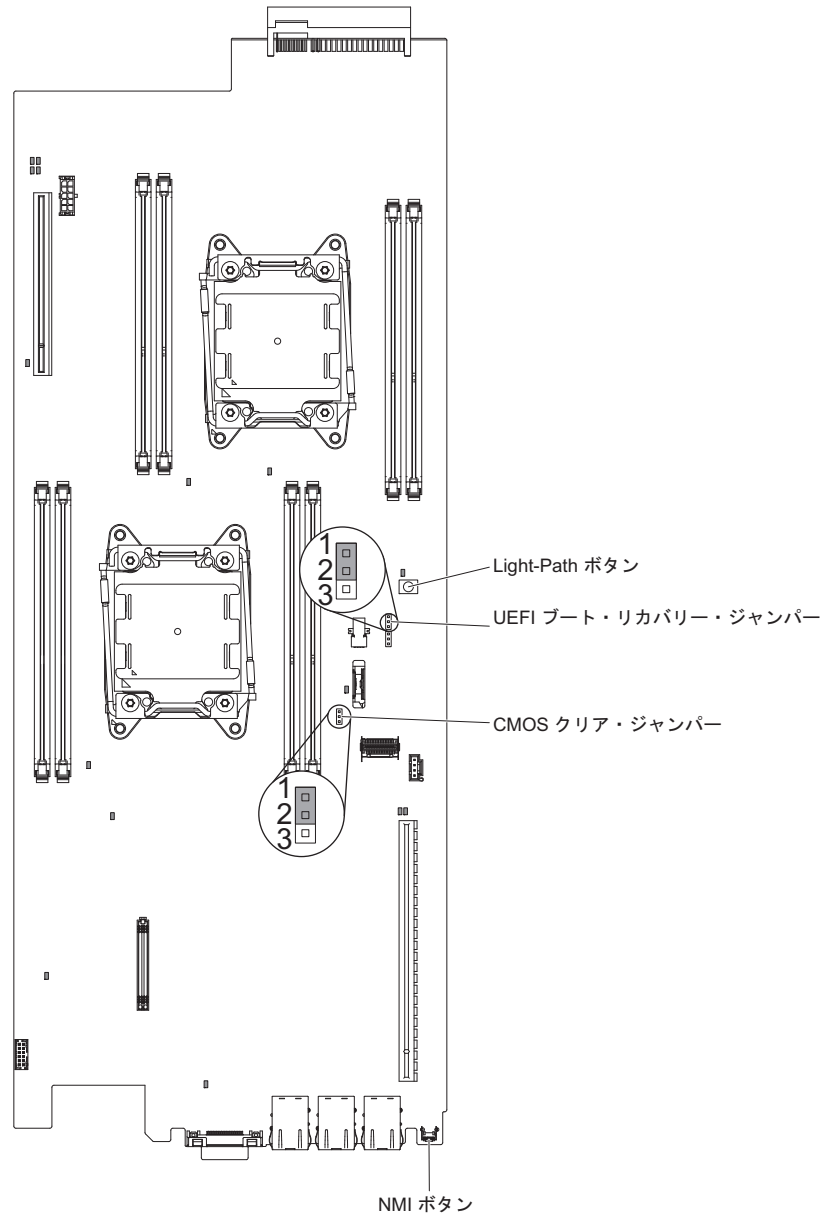


図 10. 始動パスワード・スイッチ

重要: スイッチの設定の変更またはジャンパーの移動を行うときは、その前にサーバーの電源をオフにして、電源コードと外部ケーブルをすべて外してください。vii ページの『安全について』で始まる『安全について』を参照してください。本書に表示されていないシステム・ボード上のスイッチ・ブロックまたはジャンパー・ブロックでは、設定の変更またはジャンパーの移動を行わないでください。

スイッチ・ブロック SW3 のすべてのスイッチのデフォルトは「Off」です。

サーバーの電源がオフの間に、スイッチ・ブロック (SW3) のスイッチ 4 を On 位置に移動して、始動パスワード・オーバーライドを使用可能にします。次に、Setup ユーティリティを開始して、始動パスワードをリセットすることができます。スイッチを前の位置に戻す必要はありません。

始動パスワード・オーバーライド・スイッチは、管理者パスワードには影響しません。

管理者パスワード:

管理者パスワードを設定している場合、Setup ユーティリティの完全メニューにアクセスするには、管理者パスワードを入力する必要があります。パスワードには、6 から 20 個の印刷可能な ASCII 文字の任意の組み合わせを使用できます。

重要: 管理者パスワードを設定したがそれを忘れてしまった場合、管理者パスワードを変更、オーバーライド、または削除することはできません。システム・ボードを交換する必要があります。

Boot Manager の使用

Boot Manager については、以下の情報を使用します。

このタスクについて

ブート・マネージャー・プログラムは標準装備されたメニュー方式の構成ユーティリティ・プログラムであり、Setup ユーティリティの設定を変更することなく、一時的に最初の始動装置を再定義するために使用できます。

ブート・マネージャー・プログラムを使用するには、以下のステップを実行してください。

手順

1. サーバーの電源をオフにします。
2. サーバーを再始動します。
3. プロンプトの「<F12> Select Boot Device」が表示されたら、F12 を押します。
4. 上矢印キーと下矢印キーを使用してメニューから項目を選択し、Enter を押します。

タスクの結果

次にサーバーが始動するときは、Setup ユーティリティに設定された始動シーケンスに戻ります。

バックアップ・サーバー・ファームウェアの開始

以下の情報を使用して、バックアップ・サーバー・ファームウェアを開始します。

システム・ボードには、サーバー・ファームウェア用のバックアップ・コピー領域があります。これはサーバー・ファームウェアの 2 次コピーであり、サーバー・ファームウェアの更新プロセス時にのみ更新されるものです。サーバー・ファームウェアの 1 次コピーが損傷した場合は、このバックアップ・コピーを使用してください。

バックアップ・コピーからサーバーを強制的に始動するには、サーバーの電源をオフにします。次に、UEFI ブート・バックアップ・スイッチの位置を変更し (SW4 のスイッチ 1 を On の位置に変更)、UEFI リカバリー・モードを有効にします。

サーバー・ファームウェアの 1 次コピーがリストアされるまで、バックアップ・コピーを使用してください。1 次コピーがリストアされた後、サーバーの電源をオフにします。次に、UEFI ブート・バックアップ・スイッチの位置を元に戻します (SW4 のスイッチ 1 を Off の位置に変更します)。

UpdateXpress System Pack Installer

UpdateXpress System Pack Installer は、ご使用のサーバーでサポートされ、インストールされているデバイス・ドライバおよびファームウェアを検出し、使用可能なアップデートをインストールします。

UpdateXpress システム・パック・インストーラーの追加情報およびダウンロードについては、ToolsCenter for System x and BladeCenter (<http://publib.boulder.ibm.com/infocenter/toolscstr/v1r0/>) にアクセスし、「UpdateXpress System Pack Installer」をクリックします。

UEFI デフォルトのロード後の電力ポリシー・オプションのデフォルトへの変更

電源ポリシー・オプションのデフォルトの設定値は IMM2 によって設定されます。

このタスクについて

電力ポリシー・オプションをデフォルトの設定値に変更するには、以下のステップを実行します。

手順

1. サーバーの電源をオンにします。

注: サーバーが AC 電源に接続されてから約 20 秒後に、電源制御ボタンがアクティブになります。

2. プロンプト「<F1> Setup」が表示されたら、F1 キーを押します。管理者パスワードを設定してある場合、Setup ユーティリティの完全メニューにアクセスするには管理者パスワードを入力する必要があります。管理者パスワードを入力しない場合、使用可能な Setup ユーティリティ・メニューが限定されます。
3. 「System Settings」 > 「Integrated Management Module」を選択し、次に「Power Restore Policy」設定を「Restore」に設定します。
4. 「System Configuration and Boot Management」 > 「Save Settings」に戻ります。
5. 戻って、「Power Policy」の設定をチェックし、これが「Restore」(デフォルト)に設定されていることを確認します。

次のタスク

重要: 管理者パスワードを設定したがそれを忘れてしまった場合、管理者パスワードを変更、オーバーライド、または削除することはできません。システム・ボードを交換する必要があります。

統合管理モジュールの使用

統合管理モジュール (IMM) は、以前にベースボード管理コントローラーのハードウェアで提供されていた機能の第 2 世代です。これは、サービス・プロセッサ機能、ビデオ・コントローラー、およびリモート・プレゼンス機能を単一のチップにチップにまとめています。

IMM は、以下の基本的なシステム管理機能をサポートします。

- Active Energy Manager。
- アラート (インバンドおよびアウト・オブ・バンドのアラート、PET トラップ - IPMI スタイル、SNMP、E メール)。
- 自動ブート障害リカバリー (ABR)
- 2 個のマイクロプロセッサ構成で 1 個のマイクロプロセッサが内部エラーをシグナル通知した場合の障害時の自動マイクロプロセッサ使用不可および再始動。1 個のマイクロプロセッサが障害を起こした場合、サーバーは障害のあるマイクロプロセッサを使用不可にし、もう 1 個のマイクロプロセッサを使用して再始動します。
- POST が完了しなかった場合、またはオペレーティング・システムが停止してオペレーティング・システム・ウォッチドッグ・タイマーがタイムアウトになった場合の、自動サーバー再始動 (ASR)。ASR 機能が使用可能になっている場合、IMM はオペレーティング・システム・ウォッチドッグ・タイマーを監視し、タイムアウト後にシステムをリブートするように構成されている場合があります。そうでない場合、IMM は管理者がオペレーティング・システム・メモリー・ダンプのために Light Path 診断パネルの NMI ボタンを押して、マスク不可能割り込み (NMI) を生成することを許可します。ASR は IPMI でサポートされています。
- ブート・シーケンス操作。
- コマンド・ライン・インターフェース。
- 構成の保存とリストア。
- DIMM エラー・アシスタンス。Unified Extensible Firmware Interface (UEFI) により POST 中に検出された障害のある DIMM が使用不可になり、IMM により関連システム・エラー LED と障害のある DIMM のエラー LED が点灯します。
- 温度、電圧、ファン障害、パワー・サプライ障害、およびパワー・バックプレーン障害用のファン速度制御を備えた環境モニター。
- Intelligent Platform Management Interface (IPMI) 仕様 V2.0 および Intelligent Platform Management Bus (IPMB) のサポート。
- 無効システム構成 (CONFIG) LED サポート。
- ファン、パワー・サプライ、マイクロプロセッサ、ハード・ディスクで発生したエラーとシステム・エラーを報告する Light Path 診断 LED インディケータ。

- ローカル・ファームウェア・コード・フラッシュ更新
- マスク不可能割り込み (NMI) の検出および報告
- オペレーティング・システム障害のブルー・スクリーン・キャプチャー。
- PCI 構成データ。
- 電源/リセット制御 (電源投入、ハードおよびソフト・シャットダウン、ハードおよびソフト・リセット、スケジュール電源制御)。
- パワー・サプライ入力電力の照会。
- ROM ベースの IMM ファームウェア・フラッシュ・アップデート。
- Serial over LAN (SOL)。
- Telnet または SSH を介したシリアル・ポート・リダイレクト。
- SMI 処理
- システム・イベント・ログ (SEL) - ユーザーが読み取り可能なイベント・ログ

IMM は、OSA SMBridge 管理ユーティリティ・プログラムを使用して、以下のリモート・サーバー管理機能も提供します。

- **コマンド・ライン・インターフェース (IPMI シェル)**

コマンド・ライン・インターフェースでは、IPMI 2.0 プロトコルを使用したサーバー管理機能への直接アクセスが可能です。 コマンド・ライン・インターフェースを使用すると、サーバー電源の制御、システム情報の表示、およびサーバーの識別を行うためにコマンドを実行できます。 また、1 つ以上のコマンドをファイルとして保存し、そのファイルをスクリプトとして実行することもできます。

- **Serial over LAN**

リモートの場所からサーバーを管理するには、Serial over LAN (SOL) 接続を確立します。 リモートで UEFI 設定の表示および変更、サーバーの再始動、サーバーの識別、およびその他の管理機能の実行を行うことができます。 標準の Telnet クライアント・アプリケーションはどれも SOL 接続にアクセスできません。

IMM についての詳細は、「*Integrated Management Module II User's Guide*」

(<http://www-947.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnidocid=migr-5086346>) を参照してください。

リモート・プレゼンス機能およびブルー・スクリーン・キャプチャー機能の使用

リモート・プレゼンス機能およびブルー・スクリーン・キャプチャー機能は、統合管理モジュール II (IMM2) に組み込まれた機能です。

リモート・プレゼンス機能は、以下の機能を備えています。

- システムの状態に関係なく、75 Hz で最大 1600 x 1200 のグラフィックス解像度のビデオをリモート側で表示できます。
- リモート・クライアントからキーボードとマウスを使用して、リモート側でサーバーにアクセスできます。
- リモート・クライアント上の CD または DVD ドライブ、ディスク・ドライブ、および USB フラッシュ・ドライブをマッピングし、また、ISO イメージ・

ファイルおよびディスク・イメージ・ファイルを仮想ドライブとしてマッピングして、サーバーで使用できるようにします。

- ディスク・イメージを IMM メモリーにアップロードし、これを仮想ドライブとしてサーバーにマッピングします。

IMM がオペレーティング・システムのハング状態を検出した場合、IMM がサーバーを再始動する前に、ブルー・スクリーン・キャプチャー機能はビデオの表示内容をキャプチャーします。システム管理者は、ハング状態の原因を判別するためにブルー・スクリーン・キャプチャーを使用することができます。

IMM ホスト名の取得

以下の情報を使用して、IMM ホスト名を取得します。

このタスクについて

インストール後初めて IMM にログオンする場合、IMM のデフォルトは DHCP になっています。DHCP サーバーが利用不能の場合、IMM は静的 IP アドレス 192.168.70.125 を使用します。デフォルトの IPv4 ホスト名は『IMM-』(IMM MAC アドレスの最後の 12 文字を追加)です。デフォルトのホスト名は、サーバーの背面にあるパワー・サプライについている IMM ネットワーク・アクセス・タグにも示されています。IMM ネットワーク・アクセス・タグは IMM のデフォルトのホスト名を提供するため、サーバーを始動する必要はありません。

IPv6 リンク・ローカル・アドレス (LLA) は、IMM のデフォルトのホスト名から導き出されます。IMM LLA は、サーバーの背面にあるパワー・サプライの IMM ネットワーク・アクセス・タグにあります。リンク・ローカル・アドレスを導き出すには、以下の手順を実行します。

手順

1. IMM MAC アドレスの最後の 12 文字をとります (例えば、5CF3FC5EAAD0)。
2. この番号を 16 進文字のペアに分けます (例えば、5C:F3:FC:5E:AA:D0)。
3. 16 進文字を最初の 6 文字と最後の 6 文字に分けます。
4. 12 文字の中央に『FF』と『FE』を追加します (例えば、5C F3 FC FF FE 5E AA D0)。
5. 最初の 16 進文字のペアを 2 進数に変換します (例えば 5=0101、C=1100 で、結果は 01011100 F3 FC FF FE 5E AA D0)。
6. 左から 7 番目の 2 進文字数を (0 なら 1 に、1 なら 0 に) 反転させます。結果は 01011110 F3 FF FE 5E AA D0 となります。
7. 2 進数を 16 進数に戻します (例えば、5E F3FCFFFE5EAAD0)。

IMM 用の IP アドレスの取得

IMM 用の IP アドレスを取得するには、この情報を使用します。

このタスクについて

Web インターフェースにアクセスしてリモート・プレゼンス機能を使用するには、IMM の IP アドレスまたはホスト名が必要です。IMM の IP アドレスは、Setup

ユーティリティを使用して取得できます。また、IMM のホスト名は、IMM ネットワーク・アクセス・タグから取得できます。サーバーには、IMM 用のデフォルト IP アドレス 192.168.70.125 があります。

IP アドレスを入手するには、以下のステップを実行します。

手順

1. サーバーの電源をオフにします。

注: サーバーが電源に接続されてから約 5 秒から 10 秒後に、電源制御ボタンがアクティブになります。

2. プロンプト「<F1> Setup」が表示されたら、F1 キーを押します。(このプロンプトは、数秒間しか画面に表示されません。素早く F1 を押してください。) 始動パスワードと管理者パスワードの両方を設定している場合、Setup ユーティリティの完全メニューにアクセスするには、管理者パスワードを入力する必要があります。
3. Setup ユーティリティのメインメニューから「**System Settings**」を選択します。
4. 次の画面で「**Integrated Management Module**」を選択します。
5. 次の画面で「**Network Configuration**」を選択します。
6. IP アドレスを特定し、それを書き留めます。
7. Setup ユーティリティを終了します。

Web インターフェースへのログイン

以下の情報を使用して、Web インターフェースにログインします。

このタスクについて

IMM Web インターフェースにログインするには、次の手順を実行してください。

手順

1. サーバーに接続されているシステムで、Web ブラウザーを開きます。「アドレス」または「URL」フィールドに、接続する IMM の IP アドレスまたはホスト名を入力します。

注: インストール後初めて IMM にログインする場合、IMM のデフォルトは DHCP になっています。DHCP ホストが利用不能の場合、IMM は静的 IP アドレス 192.168.70.125 を割り当てます。IMM ネットワーク・アクセス・タグは IMM のデフォルトのホスト名を提供するため、サーバーを始動する必要はありません。

2. ログイン・ページで、ユーザー名とパスワードを入力します。IMM を初めて使用する場合、ユーザー名とパスワードはシステム管理者から入手できます。ログインの試行はシステム・イベント・ログにすべて記録されます。

注: IMM は、最初はユーザー名 USERID とパスワード PASSWORD (英字の O でなくゼロ) を使用して設定されます。読み取り/書き込み権限が付与されています。このデフォルトのパスワードは、初回ログイン時に変更する必要があります。

3. 「**Log in**」をクリックしてセッションを開始します。「**System Status and Health**」ページにシステム状況のクイック・ビューが表示されます。

タスクの結果

注: IMM GUI を使用中にブートしてオペレーティング・システムをロードするときに、「**System Status**」 > 「**System State**」でメッセージ『**Booting OS or in unsupported OS**』が表示される場合は、Windows 2008 ファイアウォールを無効にするか、Windows 2008 コンソールに次のコマンドを入力してください。これは、ブルー・スクリーン・キャプチャー機能にも影響を与える場合があります。

```
netsh firewall set icmpsetting type=8 mode=ENABLE
```

デフォルトで、icmp パケットは Windows ファイアウォールによってブロックされます。Web インターフェースと CLI インターフェースの両方で上記に示されたように設定を変更した後、IMM GUI は「OS booted」状況に変わります。

組み込みハイパーバイザーの使用

VMware ESXi 組み込みハイパーバイザー・ソフトウェアは、オプションの組み込みハイパーバイザー付き IBM USB フラッシュ・デバイスで使用可能です。

このタスクについて

USB フラッシュ・デバイスは、システム・ボード上の USB コネクタに取り付けることができます (これらのコネクタの位置については、195 ページの『内部ケーブルのルーティングおよびコネクタ』を参照してください)。ハイパーバイザーは、複数のオペレーティング・システムが 1 つのホスト・システム上で同時に稼働できるようにする仮想化ソフトウェアです。ハイパーバイザー機能をアクティブにするには、USB フラッシュ装置が必要です。

組み込みハイパーバイザー機能の使用を開始するには、Setup ユーティリティの始動シーケンスに USB フラッシュ・デバイスを追加する必要があります。

USB フラッシュ・デバイスを始動シーケンスに追加するには、以下の手順を実行してください。

手順

1. サーバーの電源を入れます。

注: サーバーが電源に接続されてから約 5 秒から 10 秒後に、電源制御ボタンがアクティブになります。

2. プロンプト「<F1> Setup」が表示されたら、F1 キーを押します。
3. Setup ユーティリティのメインメニューから「**Boot Manager**」を選択します。
4. 「**Add Boot Option**」を選択し、次に「**Generic Boot Option**」 > 「**Embedded Hypervisor**」を選択します。Enter キーを押してから、Esc を選択します。
5. 「**Change Boot Order**」 > 「**Change the order**」を選択します。上矢印キーと下矢印キーを使用して「**Embedded Hypervisor**」を選択し、プラス(+) キーとマイナス (-) キーを使用して、ブート順序内で「**Embedded Hypervisor**」を移動しま

す。「**Embedded Hypervisor**」がブート順序内の正しい位置になったら、Enter キーを押します。「**Commit Changes**」を選択して Enter キーを押します。

6. 「**Save Settings**」を選択し、次に「**Exit Setup**」を選択します。

タスクの結果

組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイス・イメージが破損した場合、<http://www-03.ibm.com/systems/x/os/vmware/esxi/>からイメージをダウンロードすることができます。

追加情報と手順については、「VMware vSphere 4.1 Documentation」(http://www.vmware.com/support/pubs/vs_pages/vsp_pubs_esxi41_e_vc41.html) または「VMware vSphere Installation and Setup Guide」(<http://pubs.vmware.com/vsphere-50/topic/com.vmware.ICbase/PDF/vsphere-esxi-vcenter-server-50-installation-setup-guide.pdf>) を参照してください。

Ethernet コントローラーの構成

以下の情報を使用して、イーサネット・コントローラーを構成します。

イーサネット・コントローラーはシステム・ボードに組み込まれています。これらのコントローラーは、10 Mbps、100 Mbps、または 1 Gbps のネットワークに接続するためのインターフェースを提供し、さらにネットワーク上のデータの同時送受信を可能にする全二重 (FDX) 機能を提供します。サーバーのイーサネット・ポートがオートネゴシエーションをサポートしている場合は、コントローラーは、ネットワークのデータ転送速度 (10BASE-T、100BASE-TX、または 1000BASE-T) と二重モード (全二重または半二重) を検出し、自動的にその速度とモードで稼働します。

ジャンパーをセットしたりコントローラーを構成したりする必要はありません。ただし、デバイス・ドライバをインストールして、オペレーティング・システムがコントローラーをアドレスできるようにする必要があります。

デバイス・ドライバおよびイーサネット・コントローラーの構成に関する情報を検索するには、<http://www.ibm.com/supportportal> にアクセスしてください。

Features on Demand Ethernet ソフトウェアの使用可能化

以下の情報を使用して、Features on Demand Ethernet ソフトウェアを使用可能にします。

統合管理モジュールに組み込まれている、Fibre Channel over Ethernet (FCoE) および iSCSI ストレージ・プロトコル用の Features on Demand (FoD) ソフトウェア・アップグレード・キーをアクティブにすることができます。Features on Demand Ethernet ソフトウェア・キーのアクティブ化に関する詳細情報と方法については、「*IBM Features on Demand User's Guide*」を参照してください。この資料をダウンロードするには、<http://www.ibm.com/systems/x/fod/> にアクセスしてログインし、「**Help**」をクリックしてください。

Features on Demand RAID ソフトウェアの使用可能化

以下の情報を使用して、Features on Demand RAID ソフトウェアを使用可能にします。

統合管理モジュールに組み込まれている RAID 用の Features on Demand (FoD) ソフトウェア・アップグレード・キーをアクティブにすることができます。Features on Demand RAID ソフトウェア・キーのアクティブ化に関する詳細情報と方法については、「*IBM Features on Demand User's Guide*」を参照してください。この資料をダウンロードするには、<http://www.ibm.com/systems/x/fod/> にアクセスしてログインし、「**Help**」をクリックしてください。

RAID アレイの構成

Setup ユーティリティを使用して、RAID アレイを構成します。

このタスクについて

アレイを構成する特定の手順は、ご使用の RAID コントローラーによって異なります。詳しくは、ご使用の RAID コントローラー用の説明書を参照してください。RAID コントローラーのユーティリティにアクセスするには、以下のステップを実行してください。

手順

1. サーバーの電源を入れます。

注: サーバーが電源に接続されてから約 10 秒後に、電源制御ボタンがアクティブになります。

2. プロンプト「<F1 Setup>」が表示されたら、F1 を押します。管理者パスワードを設定してある場合、Setup ユーティリティの完全メニューにアクセスするには管理者パスワードを入力する必要があります。管理者パスワードを入力しない場合、使用可能な Setup ユーティリティ・メニューが限定されます。
3. 「**System Settings**」 > 「**Storage**」を選択します。
4. Enter キーを押して、デバイス・ドライバーのリストを最新表示します。
5. ご使用の RAID コントローラーに適したデバイス・ドライバーを選択し、Enter キーを押します。
6. ご使用の RAID コントローラーの説明書にある指示に従います。

IBM Advanced Settings ユーティリティ・プログラム

IBM Advanced Settings ユーティリティ (ASU) プログラムは、UEFI 設定の変更を行うための、Setup ユーティリティの代替となるプログラムです。

ASU プログラムをオンラインまたはアウト・オブ・バンドで使用すると、コマンド・ラインから UEFI 設定を変更することができるので、Setup ユーティリティにアクセスするためにシステムを再始動する必要がありません。

また、ASU プログラムを使用して、オプションのリモート・プレゼンス機能またはその他の IMM2 設定を構成できます。リモート・プレゼンス機能は、システム管理の拡張機能を備えています。

また、ASU プログラムを使用すると、コマンド・ライン・インターフェースから IMM LAN over USB インターフェースを構成することもできます。

セットアップ・コマンドを実行するには、コマンド・ライン・インターフェースを使用します。すべての設定をファイルとして保存し、そのファイルをスクリプトとして実行できます。ASU プログラムは、バッチ処理モードを使用したスクリプト環境をサポートします。

ASU プログラムの詳しい説明とダウンロードについては、<http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnocid=TOOL-ASU> にアクセスしてください。

IBM Systems Director の更新

IBM Systems Director を更新するには、この情報を使用します。

このタスクについて

サーバーの管理に IBM Systems Director を使用する予定がある場合は、IBM Systems Director に適用可能な最新の更新と暫定修正があるかどうかを確認する必要があります。

注: IBM Web サイトは、定期的に変更されます。実際の手順が本書に記述されているものと多少異なっていることがあります。

最新バージョンのインストール

このタスクについて

最新バージョンの IBM Systems Director を見つけてインストールするには、次のステップを実行してください。

手順

1. IBM Systems Director の最新バージョンを確認します。
 - a. <http://www-03.ibm.com/systems/software/director/resources.html> に進みます。
 - b. サーバーに付属しているものよりも新しいバージョンの IBM Systems Director がドロップダウン・リストに表示されている場合は、Web ページの指示に従って最新バージョンをダウンロードしてください。
2. IBM Systems Director プログラムをインストールします。

ご使用の管理サーバーがインターネットに接続されている場合の更新のインストール

このタスクについて

ご使用の管理サーバーがインターネットに接続されている場合に更新と暫定修正を特定してインストールするには、以下のステップを実行してください。

手順

1. ディスカバリーとインベントリーの収集タスクを実行したことを確認します。
2. IBM Systems Director Web インターフェースのウェルカム・ページで、「更新の表示」をクリックします。

3. 「**Check for updates**」をクリックします。表に使用可能な更新が表示されます。
4. インストールする更新を選択して、「**Install**」をクリックします。インストール・ウィザードが開始します。

ご使用の管理サーバーがインターネットに接続されていない場合の更新のインストール

このタスクについて

ご使用の管理サーバーがインターネットに接続されていない場合に更新と暫定修正を特定してインストールするには、以下のステップを実行してください。

手順

1. ディスカバリーとインベントリーの収集タスクを実行したことを確認します。
2. インターネットに接続されているシステムで、<http://www.ibm.com/support/fixcentral> にアクセスします。
3. 「**Product family**」リストから「**IBM Systems Director**」を選択します。
4. 「**Product**」リストから「**IBM Systems Director**」を選択します。
5. 「**Installed version**」リストから最新バージョンを選択して、「**Continue**」をクリックします。
6. 使用可能な更新をダウンロードします。
7. ダウンロードしたファイルを管理サーバーにコピーします。
8. 管理サーバーの IBM Systems Director Web インターフェースのウェルカム・ページで、「**管理**」タブをクリックし、「**更新マネージャー**」をクリックします。
9. 「**Import updates**」をクリックして、管理サーバーにコピーしたダウンロード済みファイルの場所を指定します。
10. Web インターフェースのウェルカム・ページに戻り、「**View updates**」をクリックします。
11. インストールする更新を選択して、「**Install**」をクリックします。インストール・ウィザードが開始します。

汎用固有 ID (UUID) の更新

システム・ボードを交換した場合、汎用固有 ID (UUID) を更新する必要があります。Advanced Settings ユーティリティを使用して、UEFI ベースのサーバーの UUID を更新します。

このタスクについて

ASU は、複数のオペレーティング・システムをサポートするオンライン・ツールです。ご使用のオペレーティング・システム用のバージョンをダウンロードしてください。ASU は、IBM Web サイトからダウンロードできます。ASU をダウンロードし、UUID を更新するには、以下のステップを実行してください。

注: IBM Web サイトは、定期的に変更されます。実際の手順が本書に記述されているものと多少異なっていることがあります。

手順

1. Advanced Settings ユーティリティ (ASU) をダウンロードします。
 - a. <http://www.ibm.com/supportportal> に進みます。
 - b. パネル上部にある「**Downloads**」タブをクリックします。
 - c. 「**ToolsCenter**」の下で、「**View ToolsCenter downloads**」を選択します。
 - d. 「**Advanced Settings Utility (ASU)**」を選択します。
 - e. スクロールダウンし、リンクをクリックして、ご使用のオペレーティング・システム用の ASU バージョンをダウンロードします。
2. ASU は、統合管理モジュール (IMM) で UUID を設定します。 次のいずれかの方法を選択して統合管理モジュール (IMM) にアクセスし、UUID を設定します。
 - ターゲット・システムからオンラインでアクセス (LAN またはキーボード・コンソール・スタイル (KCS) のアクセス)
 - ターゲット・システムへのリモート・アクセス (LAN ベース)
 - ASU を含んでいるブート可能メディア (ブート可能メディアに応じて、LAN または KCS)
3. ASU パッケージ (これには、他の必要なファイルも含まれている) をサーバーにコピーし、解凍します。 ASU と必要なファイルを必ず同じディレクトリーに解凍してください。 アプリケーション実行可能ファイル (asu または asu64) の他に、以下のファイルが必要です。
 - Windows ベースのオペレーティング・システムの場合:
 - *ibm_rndis_server_os.inf*
 - *device.cat*
 - Linux ベースのオペレーティング・システムの場合:
 - *cdc_interface.sh*
4. ASU をインストールした後、次のコマンド構文を使用して UUID を設定します。 `asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoUUID <uuid_value> [access_method]`

ここで、

<uuid_value>

ユーザーが割り当てる最大 16 バイトの 16 進値。

[access_method]

以下の方式からユーザーが使用することを選択したアクセス方式。

- オンライン認証 LAN アクセスの場合、次のコマンドを入力します。

```
[host <imm_internal_ip>] [user <imm_user_id>][password <imm_password>]
```

ここで、

imm_internal_ip

IMM 内部 LAN/USB IP アドレス。 デフォルト値は 169.254.95.118 です。

imm_user_id

IMM account (12 アカウントのうちの 1 つ)。 デフォルト値は USERID です。

imm_password

IMM アカウントのパスワード (12 アカウントのうちの 1 つ)。デフォルト値は **PASSWORD** (O ではなくゼロ 0 を使用) です。

注: いずれのパラメーターも指定しない場合、ASU はデフォルト値を使用します。デフォルト値が使用され、ASU がオンライン認証 LAN アクセス方式を使用して IMM にアクセスできない場合、ASU は自動的に非認証 KCS アクセス方式を使用します。

以下のコマンドは、ユーザー ID およびパスワードのデフォルト値を使用する例と、デフォルト値を使用しない例です。

ユーザー ID およびパスワードのデフォルト値を使用しない例:

```
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoUUID <uuid_value> --user <user_id>
--password <password>
```

ユーザー ID およびパスワードのデフォルト値を使用する例:

```
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoUUID <uuid_value>
```

- オンライン KCS アクセス (非認証およびユーザー制限付き) の場合:

このアクセス方式を使用する場合は、*access_method* の値を指定する必要はありません。

例:

```
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoUUID <uuid_value>
```

KCS アクセス方式は IPMI/KCS インターフェースを使用します。この方式では、IPMI ドライバーがインストールされている必要があります。一部のオペレーティング・システムには、IPMI ドライバーがデフォルトでインストールされます。ASU は対応するマッピング・レイヤーを提供します。詳細については、「*Advanced Settings Utility Users Guide*」を参照してください。

「ASU Users Guide」には IBM Web サイトからアクセスできます。

注: IBM Web サイトは、定期的に変更されます。実際の手順が本書に記述されているものと多少異なっていることがあります。

- a. <http://www.ibm.com/supportportal> に進みます。
 - b. パネル上部にある「**Downloads**」タブをクリックします。
 - c. 「**ToolsCenter**」の下で、「**View ToolsCenter downloads**」を選択します。
 - d. 「**Advanced Settings Utility (ASU)**」を選択します。
 - e. スクロールダウンし、リンクをクリックして、ご使用のオペレーティング・システム用の ASU パージョンをダウンロードします。「**Online Help**」のところまでスクロールダウンし、「*Advanced Settings Utility Users Guide*」をダウンロードします。
- リモート LAN アクセスの場合、次のコマンドを入力します。

注: リモート LAN アクセス方式を使用し、クライアントから LAN を使用して IMM にアクセスする場合、「*host*」および「*imm_external_ip*」アドレスは必須パラメーターです。

```
host <imm_external_ip> [user <imm_user_id>] [password <imm_password>]
```

ここで、

imm_external_ip

外部 IMM LAN IP アドレス。 デフォルト値はありません。このパラメーターは必須です。

imm_user_id

IMM account (12 アカウントのうちの 1 つ)。 デフォルト値は USERID です。

imm_password

IMM アカウントのパスワード (12 アカウントのうちの 1 つ)。 デフォルト値は PASSWORD (O ではなくゼロ 0 を使用) です。

以下のコマンドは、ユーザー ID およびパスワードのデフォルト値を使用する例と、デフォルト値を使用しない例です。

ユーザー ID およびパスワードのデフォルト値を使用しない例:

```
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoUUID <uuid_value> --host <imm_ip>
--user <user_id> --password <password>
```

ユーザー ID およびパスワードのデフォルト値を使用する例:

```
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoUUID <uuid_value> --host <imm_ip>
```

- ブート可能メディア:

ToolsCenter Web サイト (<http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnocid=TOOL-CENTER>) から入手可能なアプリケーションを使用してブート可能メディアを作成することもできます。「**IBM ToolsCenter**」ページをスクロールダウンし、該当するツールを見つけてください。

5. サーバーを再始動します。

DMI/SMBIOS データの更新

DMI/SMBIOS データを更新するには、この情報を使用します。

このタスクについて

システム・ボードを交換した場合、Desktop Management Interface (DMI) を更新する必要があります。 Advanced Settings ユーティリティーを使用して、UEFI ベースのサーバーの DMI を更新します。 ASU は、複数のオペレーティング・システムをサポートするオンライン・ツールです。 ご使用のオペレーティング・システム用のバージョンをダウンロードしてください。 ASU は、IBM Web サイトからダウンロードできます。 ASU をダウンロードし、DMI を更新するには、以下のステップを実行してください。

注: IBM Web サイトは、定期的に変更されます。 実際の手順は、本書の説明とは少々異なる場合があります。

手順

1. Advanced Settings ユーティリティー (ASU) をダウンロードします。
 - a. <http://www.ibm.com/supportportal> に進みます。
 - b. パネル上部にある「**Downloads**」タブをクリックします。

- c. 「ToolsCenter」の下で、「View ToolsCenter downloads」を選択します。
 - d. 「Advanced Settings Utility (ASU)」を選択します。
 - e. スクロールダウンし、リンクをクリックして、ご使用のオペレーティング・システム用の ASU バージョンをダウンロードします。
2. ASU は、統合管理モジュール (IMM) で DMI を設定します。 次のいずれかの方法を選択して統合管理モジュール (IMM) にアクセスし、DMI を設定します。
 - ターゲット・システムからオンラインでアクセス (LAN またはキーボード・コンソール・スタイル (KCS) のアクセス)
 - ターゲット・システムへのリモート・アクセス (LAN ベース)
 - ASU を含んでいるブート可能メディア (ブート可能メディアに応じて、LAN または KCS)
 3. ASU パッケージ (これには、他の必要なファイルも含まれている) をサーバーにコピーし、解凍します。 ASU と必要なファイルを必ず同じディレクトリーに解凍してください。 アプリケーション実行可能ファイル (asu または asu64) の他に、以下のファイルが必要です。
 - Windows ベースのオペレーティング・システムの場合:
 - *ibm_rndis_server_os.inf*
 - *device.cat*
 - Linux ベースのオペレーティング・システムの場合:
 - *cdc_interface.sh*
 4. ASU をインストールした後で、以下のコマンドを入力して DMI を設定してください。

```
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoProdName <m/t_model> [access_method]
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoSerialNum <s/n> [access_method]
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysEncloseAssetTag <asset_tag> [access_method]
```

ここで、

<m/t_model>

サーバーのマシン・タイプおよび型式番号。 *mtm xxxxyyy* と入力してください。ここで、*xxxx* はマシン・タイプ、*yyy* はサーバーの型式番号です。

<s/n>

サーバーのシリアル番号。 *sn zzzzzzz* と入力します。ここで、*zzzzzzz* はシリアル番号です。

<asset_method>

サーバーの資産タグ番号。 *asset aaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaa* と入力します。ここで、*aaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaa* は資産タグ番号です。

[access_method]

以下の方式からユーザーが選択したアクセス方式。

- オンライン認証 LAN アクセスの場合、次のコマンドを入力します。

```
[host <imm_internal_ip>] [user <imm_user_id>] [password <imm_password>]
```

ここで、

imm_internal_ip

IMM 内部 LAN/USB IP アドレス。デフォルト値は 169.254.95.118 です。

imm_user_id

IMM account (12 アカウントのうちの 1 つ)。デフォルト値は USERID です。

imm_password

IMM アカウントのパスワード (12 アカウントのうちの 1 つ)。デフォルト値は PASSWORD (O ではなくゼロ 0 を使用) です。

注: いずれのパラメーターも指定しない場合、ASU はデフォルト値を使用します。デフォルト値が使用され、ASU がオンライン認証 LAN アクセス方式を使用して IMM にアクセスできない場合、ASU は自動的に非認証 KCS アクセス方式を使用します。

以下のコマンドは、ユーザー ID およびパスワードのデフォルト値を使用する例と、デフォルト値を使用しない例です。

ユーザー ID およびパスワードのデフォルト値を使用しない例:

```
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoProdName <m/t_model>
--user <imm_user_id> --password <imm_password>
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoSerialNum <s/n> --user <imm_user_id>
--password <imm_password>
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysEncloseAssetTag <asset_tag>
--user <imm_user_id> --password <imm_password>
```

ユーザー ID およびパスワードのデフォルト値を使用する例:

```
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoProdName <m/t_model>
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoSerialNum <s/n>
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysEncloseAssetTag <asset_tag>
```

- オンライン KCS アクセス (非認証およびユーザー制限付き) の場合:

このアクセス方式を使用する場合は、*access_method* の値を指定する必要はありません。

KCS アクセス方式は IPMI/KCS インターフェースを使用します。この方式では、IPMI ドライバーがインストールされている必要があります。一部のオペレーティング・システムには、IPMI ドライバーがデフォルトでインストールされます。ASU は対応するマッピング・レイヤーを提供します。

「*Advanced Settings Utility Users Guide*」をダウンロードするには、以下の手順を実行します。

注: IBM Web サイトは、定期的に変更されます。実際の手順が本書に記述されているものと多少異なっていることがあります。

- a. <http://www.ibm.com/supportportal> に進みます。
- b. パネル上部にある「**Downloads**」タブをクリックします。
- c. 「**ToolsCenter**」の下で、「**View ToolsCenter downloads**」を選択します。
- d. 「**Advanced Settings Utility (ASU)**」を選択します。

- e. スクロールダウンし、リンクをクリックして、ご使用のオペレーティング・システム用の ASU バージョンをダウンロードします。「**Online Help**」のところまでスクロールダウンし、「*Advanced Settings Utility Users Guide*」をダウンロードします。
- 以下のコマンドは、ユーザー ID およびパスワードのデフォルト値を使用する例と、デフォルト値を使用しない例です。

ユーザー ID およびパスワードのデフォルト値を使用しない例:

```
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoProdName <m/t_model>
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoSerialNum <s/n>
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysEncloseAssetTag <asset_tag>
```

- リモート LAN アクセスの場合、次のコマンドを入力します。

注: リモート LAN アクセス方式を使用し、クライアントから LAN を使用して IMM にアクセスする場合、「*host*」および「*imm_external_ip*」アドレスは必須パラメーターです。

```
host <imm_external_ip> [user <imm_user_id>][password <imm_password>]
```

ここで、

imm_external_ip

外部 IMM LAN IP アドレス。デフォルト値はありません。このパラメーターは必須です。

imm_user_id

IMM account (12 アカウントのうちの 1 つ)。デフォルト値は USERID です。

imm_password

IMM アカウントのパスワード (12 アカウントのうちの 1 つ)。デフォルト値は PASSWORD (O ではなくゼロ 0 を使用) です。

以下のコマンドは、ユーザー ID およびパスワードのデフォルト値を使用する例と、デフォルト値を使用しない例です。

ユーザー ID およびパスワードのデフォルト値を使用しない例:

```
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoProdName <m/t_model> --host <imm_ip>
--user <imm_user_id> --password <imm_password>
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoSerialNum <s/n> --host <imm_ip>
--user <imm_user_id> --password <imm_password>
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysEncloseAssetTag <asset_tag> --host <imm_ip>
--user <imm_user_id> --password <imm_password>
```

ユーザー ID およびパスワードのデフォルト値を使用する例:

```
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoProdName <m/t_model> --host <imm_ip>
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoSerialNum <s/n> --host <imm_ip>
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysEncloseAssetTag <asset_tag> --host <imm_ip>
```

- ブート可能メディア:

ToolsCenter Web サイト (<http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnocid=TOOL-CENTER>) から入手可能なアプリケーションを使用してブート可能メディアを作成することもできます。「**IBM ToolsCenter**」ページをスクロールダウンし、該当するツールを見つけてください。

5. サーバーを再始動します。

第 3 章 トラブルシューティング

この章では、サーバーで発生する可能性がある問題の解決に役立つ診断ツールおよびトラブルシューティングに関する情報について説明しています。

この章の情報を使用しても問題の診断や訂正ができない場合は、419 ページの『付録 D. ヘルプおよび技術サポートの入手』を参照して詳しい情報を入手してください。

ここから開始します

多くの問題は、本書およびワールド・ワイド・ウェブ (WWW) にあるトラブルシューティング手順に従うことで、外部の支援を得ずに解決することができます。

本書には、お客様が実行できる診断テスト、トラブルシューティング手順、およびエラー・メッセージとエラー・コードの説明が記載されています。ご使用のオペレーティング・システムおよびソフトウェアに付属の資料にも、トラブルシューティング情報が含まれています。

問題の診断

IBM または認定保証サービス提供者に連絡する前に、以下の手順を、ここに示されている順序で実行して、サーバーに関する問題を診断してください。

手順

1. **問題が発生する前の状態にサーバーを戻します。** 問題が発生する前に変更したハードウェア、ソフトウェア、あるいはファームウェアがある場合は、可能であればそれらの変更を元に戻します。これを行う対象には、以下の項目があります。
 - ハードウェア・コンポーネント
 - デバイス・ドライバおよびファームウェア
 - システム・ソフトウェア
 - UEFI ファームウェア
 - システム入力電力またはネットワーク接続
2. **Light Path 診断 LED およびイベント・ログを確認します。** このサーバーは、ハードウェアおよびソフトウェアの問題診断が容易に行えるように設計されています。
 - **Light Path 診断 LED:** Light Path 診断 LED の使用については、「IBM NeXtScale n1200 Enclosure Type 5456 インストールとサービスのガイド」の『ファンと電源機構のコントローラーのインディケーター、コントロール、およびコネクタ』を参照してください。
 - **イベント・ログ:** 通知イベントおよび診断については、66 ページの『イベント・ログ』を参照してください。

- ・ **ソフトウェアまたはオペレーティング・システムのエラー・コード:** 特定のエラー・コードに関する情報は、ソフトウェアまたはオペレーティング・システムの資料を参照してください。 資料については、製造メーカーの Web サイトをご覧ください。

3. **IBM Dynamic System Analysis (DSA) を実行して、システム・データを収集します。** ハードウェア、ファームウェア、ソフトウェア、およびオペレーティング・システムについての情報を収集するには、Dynamic System Analysis (DSA) を実行します。 IBM または認定保証サービス提供者に連絡する際に、この情報を提供してください。 DSA の実行方法については、「*Dynamic System Analysis Installation and User's Guide*」を参照してください。

最新バージョンの DSA コードおよび「*Dynamic System Analysis Installation and User's Guide*」をダウンロードするには、<http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnocid=SERV-DSA> にアクセスしてください。

4. **コードの更新を確認して、適用します。** 多くの問題に対応するフィックスまたは回避策が、更新済みの UEFI ファームウェア、デバイス・ファームウェア、またはデバイス・ドライバで使用可能である場合があります。 ・サーバー用に使用可能な更新のリストを表示するには、<http://www.ibm.com/support/fixcentral> にアクセスしてください。

重要: 誤ったファームウェアまたはデバイス・ドライバ更新をインストールすると、サーバーの誤動作の原因となることがあります。ファームウェアまたはデバイス・ドライバの更新をインストールする前に、ダウンロードした更新に付属のすべての README および変更履歴ファイルをお読みください。これらのファイルには、更新に関する重要な情報および更新のインストール手順が記載されています。この手順には、以前のファームウェアまたはデバイス・ドライバのバージョンから最新のバージョンに更新するための特殊な手順も含まれます。

重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。

- a. **UpdateXpress システム更新をインストールします。** UpdateXpress System Pack または UpdateXpress CD イメージとしてパッケージされているコード更新をインストールできます。 UpdateXpress System Pack には、サーバー用のオンライン・ファームウェア更新とデバイス・ドライバ更新の統合テスト済みバンドルが収録されています。さらに、IBM ToolsCenter Bootable Media Creator を使用して、ファームウェア更新の適用およびブリブート診断の実行に適切なブート可能メディアを作成することができます。UpdateXpress System Pack について詳しくは、 および 23 ページの『ファームウェアの更新』を参照してください。 Bootable Media Creator について詳しくは、<http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnocid=TOOL-BOMC>を参照してください。

リストされた重要な更新の中に、リリースの日付が UpdateXpress System Pack または UpdateXpress イメージのリリース日以降のものがある場合は、必ず個別にインストールしてください (ステップ 4b を参照)。

- b. **手動のシステム更新をインストールします。**

- 1) 既存のコード・レベルを判別します。

DSA で、「**Firmware/VPD**」をクリックしてシステム・ファームウェア・レベルを表示するか、「**Software**」をクリックしてオペレーティング・システム・レベルを表示します。

- 2) 最新レベルではないコードの更新をダウンロードして、インストールします。

・サーバー用に使用可能な更新のリストを表示するには、
<http://www.ibm.com/support/fixcentral> にアクセスしてください。

更新をクリックすると、情報ページが表示され、その更新で修正された問題のリストが記載されています。このリストにお客様の特定の問題がないか調べてください。ただし、お客様の問題がリストされていなくても、更新をインストールすると問題が解決される場合があります。

5. 構成の誤りを確認して、訂正します。サーバーが誤って構成されている場合、それを使用可能にするとシステム機能に障害が起きることがあります。サーバーの構成を誤って変更した場合、使用可能であったシステム機能が作動を停止することがあります。
 - a. インストール済みのすべてのハードウェアおよびソフトウェアがサポートされていることを確認します。 <http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us> を参照して、サーバーがインストール済みのオペレーティング・システム、オプション装置、およびソフトウェア・レベルをサポートしていることを確認してください。サポートされていないハードウェアまたはソフトウェア・コンポーネントがある場合、それをアンインストールして、それが問題の原因ではないかどうかを判断します。IBM または認定保証サービス提供者に連絡して支援を求める前に、サポートされていないハードウェアを取り外す必要があります。
 - b. サーバー、オペレーティング・システム、およびソフトウェアのインストールおよび構成が正しく行われていることを確認します。多くの構成問題は、電源ケーブルや信号ケーブルの緩み、あるいはしっかり取り付けられていないアダプターに原因があります。サーバーの電源をオフにし、ケーブルを接続し直し、アダプターを取り付け直して、サーバーの電源をオンに戻すことで、問題を解決できる場合があります。チェックアウト手順の実行については、58 ページの『チェックアウト手順について』を参照してください。サーバーの構成については、23 ページの『第 2 章 構成情報と説明』を参照してください。
6. コントローラーおよび管理ソフトウェアの資料を参照します。問題が特定の機能に関連している場合（例えば、RAID ハード・ディスクが RAID アレイにオフラインとしてマークされる場合）には、関連のコントローラーと管理または制御ソフトウェアの資料を参照して、コントローラーが正しく構成されていることを確認してください。

RAID アダプターおよびネットワーク・アダプターなど、さまざまなデバイスの問題判別に関する情報を入手できます。

オペレーティング・システムまたは IBM ソフトウェアやデバイスに関する問題については、<http://www.ibm.com/supportportal> にアクセスしてください。

7. トラブルシューティング手順および **RETAIN** のヒントを確認します。トラブルシューティング手順および **RETAIN** のヒントには、既知の問題および推奨さ

れる解決策が文書化されています。トラブルシューティング手順および RETAIN のヒントを検索するには、<http://www.ibm.com/supportportal> にアクセスしてください。

8. **トラブルシューティング表を使用します。** 識別可能な現象が発生している問題の解決方法を見つけるには、73 ページの『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

単一の問題が複数の現象の原因になっていることがあります。最も顕著な現象のトラブルシューティング手順に従ってください。その手順で問題を診断できない場合は、可能であれば、別の現象に関する手順を使用してください。

問題が解決しない場合は、IBM または認定保証サービス提供者に連絡して、追加の問題判別および場合によってはハードウェアの交換について支援を求めてください。オンライン・サービス要求を開くには、http://www.ibm.com/support/entry/portal/Open_service_request にアクセスしてください。エラー・コードおよび収集されたデータに関する情報を提供できるように準備してください。

文書化されていない問題

診断手順を完了しても問題が残る場合、その問題はこれまでに IBM によって確認されていない可能性があります。すべてのコードが最新レベルであり、すべてのハードウェアおよびソフトウェアの構成が有効であり、どの Light Path 診断 LED およびログ項目もハードウェア・コンポーネントの障害を示していないことを確認した後で、IBM または認定保証サービス提供者に連絡して支援を得てください。

オンライン・サービス要求を開くには、http://www.ibm.com/support/entry/portal/Open_service_request にアクセスしてください。エラー・コード、収集されたデータ、および使用した問題判別手順についての情報を提供できるように準備してください。

Service Bulletin

IBM では、IBM NeXtScale nx360 M4 コンピュート・ノード サーバーで発生する可能性がある問題を解決するためにお客様が利用できる最新のヒントと技法によって、サポートの Web サイトを常時更新しています。

IBM NeXtScale nx360 M4 コンピュート・ノード サーバーに使用可能な Service Bulletin を検索するには、[こちら](#) にアクセスして、Type 5455 と retain を検索してください。

チェックアウト手順

チェックアウト手順は、サーバーの問題を診断するために行う必要がある一連の作業です。

チェックアウト手順について

ハードウェアの問題を診断するためのチェックアウト手順を行う前に、以下の情報をよくお読みください。

- vii ページの『安全について』ページから始まる『安全について』をお読みください。
- IBM Dynamic System Analysis (DSA) は、サーバーの主要コンポーネント (システム・ボード、イーサネット・コントローラー、キーボード、マウス (ポインティング・デバイス)、シリアル・ポート、およびハード・ディスクなど) の基本テスト方式を提供します。これらのプログラムを使用して、一部の外部装置をテストすることもできます。問題の原因がハードウェアにあるか、ソフトウェアにあるかが不確実な場合は、診断プログラムを使用して、ハードウェアが正しく作動しているかどうかを確認することができます。
- DSA を実行すると、1 つの問題で複数のエラー・メッセージが出されることがあります。その場合は、最初のエラー・メッセージの原因を解決してください。通常、次回に DSA を実行するときは、他のエラー・メッセージは出なくなります。

例外: 複数のエラー・コードあるいは複数の Light Path 診断 LED が 1 つのマикроプロセッサ・エラーを示す場合、エラーはマイクロプロセッサ内またはマイクロプロセッサ・ソケット内にある可能性があります。マイクロプロセッサ問題の診断については、80 ページの『マイクロプロセッサ問題』を参照してください。

- DSA を実行する前に、障害のあるサーバーが共用ハード・ディスク・クラスター (外部ストレージ・デバイスを共用する複数のシステム) の一部であるかどうかを判断する必要があります。クラスターの一部である場合は、記憶装置 (つまり、記憶装置内のハード・ディスク) または記憶装置に接続されているストレージ・アダプターをテストするプログラムを除いて、すべての診断プログラムを実行できます。以下の場合は、障害のあるサーバーがクラスターの一部である可能性があります。
 - ユーザーが、障害のあるサーバーがクラスター (外部ストレージ・デバイスを共用する複数のサーバー) の一部であると確認した場合。
 - 1 つ以上の外部記憶装置が障害を起こしているサーバーに接続されており、接続されている記憶装置の少なくとも 1 つは別のサーバーまたは未確認装置にも接続されている場合。
 - 1 つ以上のサーバーが、障害を起こしているサーバーの近くに配置されている場合。

重要: サーバーが共用ハード・ディスク・クラスターの一部である場合は、一度に 1 つだけテストを実行してください。「クイック」テストや「通常」テストなど、一組になっているテストを実行しないでください。これを行うと、一連のハード・ディスク診断テストが使用可能にされることがあります。

- サーバーが停止され、POST エラー・コードが表示される場合は 345 ページの『付録 B. UEFI (POST) エラー・コード』を参照してください。サーバーが停止されるが、エラー・メッセージが表示されない場合は、73 ページの『現象別トラブルシューティング』および 92 ページの『未解決問題の解決』を参照してください。
- パワー・サプライの問題については、89 ページの『電源の問題の解決』、85 ページの『電源問題』、および 63 ページの『パワー・サプライ LED』を参照してください。

- 偶発的な問題が生じる場合は、イベント・ログをチェックしてください。これについては、66 ページの『イベント・ログ』および 361 ページの『付録 C. DSA 診断テスト結果』を参照してください。

チェックアウト手順の実行

チェックアウト手順の実行するには、この情報を使用します。

このタスクについて

チェックアウト手順を実行するには、次のステップを実行してください。

手順

1. サーバーはクラスターの一部ですか。
 - **いいえ:** ステップ 2 に進みます。
 - **はい:** クラスターに関連した、障害のあるすべてのサーバーをシャットダウンします。 ステップ 2 に進みます。
2. 次のステップを実行してください。
 - a. パワー・サプライ LED を検査します (63 ページの『パワー・サプライ LED』を参照)。
 - b. サーバーおよび接続されているすべての外部デバイスの電源をオフにします。
 - c. すべての内部デバイスおよび外部デバイスの互換性について、
<http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us>で確認します。
 - d. ケーブルおよび電源コードをすべてチェックします。
 - e. すべてのディスプレイ制御装置を中間位置に設定します。
 - f. すべての外部デバイスの電源を入れます。
 - g. サーバーの電源を入れます。サーバーが始動しない場合は、73 ページの『現象別トラブルシューティング』を参照してください。
 - h. オペレーター情報パネル上のシステム・エラー LED を確認します。それが点灯している場合は、Light Path 診断 LED をチェックします (12 ページの『コンピュート・ノードのコントロール、コネクター、および LED』を参照)。
 - i. 以下の結果が生じているかどうかを確認します。
 - POST の正常終了 (詳しくは、69 ページの『POST』を参照)
 - 始動の正常終了 (オペレーティング・システム・デスクトップの読み取り可能な表示によって示されます)
3. 判読可能なイメージがモニター画面に表示されていますか。
 - **いいえ:** 73 ページの『現象別トラブルシューティング』で障害の現象を見つけ出します。必要があれば、92 ページの『未解決問題の解決』を参照してください。
 - **はい:** DSA を実行します (71 ページの『DSA Preboot 診断プログラムの実行』を参照)。

- DSA がエラーを報告する場合は、361 ページの『付録 C. DSA 診断テスト結果』の指示に従ってください。
- DSA がエラーを報告しなくても、なお問題があると思われる場合は、92 ページの『未解決問題の解決』を参照してください。

診断ツール

このセクションでは、ハードウェア関連の問題の診断と解決に役立つツールを紹介します。

• Light Path 診断

Light Path 診断を使用して、システム・エラーを迅速に診断します。詳しくは、Light Path 診断を参照してください。

• イベント・ログ

イベント・ログには、サブシステム IMM2、POST、DSA、およびサーバー・ベースボード管理コントローラーのエラーの検出時に生成されるエラー・コードとメッセージがリストされます。詳しくは、66 ページの『イベント・ログ』を参照してください。

• 統合管理モジュール II

統合管理モジュール II (IMM2) では、サービス・プロセッサ機能、ビデオ・コントローラー、およびリモート・プレゼンス機能とブルー・スクリーン・キャプチャー機能が 1 つのチップに組み合わせられています。IMM は、高度なサービス・プロセッサの制御、モニター、およびアラート機能を提供します。環境条件がしきい値を超えたり、システム・コンポーネントに障害が起きたりすると、IMM は、問題の診断に役立つよう LED を点灯して、IMM イベント・ログにエラーを記録し、ユーザーに問題のアラートを出します。オプションで、IMM はリモート・サーバー管理機能のための仮想プレゼンス機能も提供します。IMM は、以下の業界標準インターフェースを通してリモート・サーバー管理を行います。

- Intelligent Platform Management Protocol (IPMI) バージョン 2.0
- Simple Network Management Protocol (SNMP) バージョン 3
- Common Information Model (CIM)
- Web ブラウザー

統合管理モジュール II (IMM2) について詳しくは、39 ページの『統合管理モジュールの使用』、199 ページの『付録 A. 統合管理モジュール II (IMM2) のエラー・メッセージ』、および <http://www-947.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?Indocid=migr-5086346> にある「*Integrated Management Module II User's Guide*」を参照してください。

• IBM Dynamic System Analysis

問題を診断するために、DSA Portable および DSA Preboot の 2 つのエディションの IBM Dynamic System Analysis (DSA) が使用可能です。

- DSA Portable

DSA Portable は、サーバーの問題を診断するときに役立つシステム情報を収集して分析します。DSA Portable は、サーバーのオペレーティング・システム上で稼働し、サーバーに関する以下の情報を収集します。

- ドライブのヘルス情報
- ServeRAID コントローラーおよびサービス・プロセッサのイベント・ログ
- 取り付け済みハードウェア (PCI および USB 情報を含む)
- インストールされているアプリケーションとホット・フィックス
- カーネル・モジュール
- Light Path 診断の状況
- マイクロプロセッサ、I/O ハブ、および UEFI エラー・ログ
- ネットワーク・インターフェースおよび設定
- RAID コントローラー構成
- サービス・プロセッサ (統合管理モジュール) の状況および構成
- システム構成
- 重要プロダクト・データ、ファームウェア、および UEFI 構成

DSA Portable は DSA ログを作成します。これはシステム・イベント・ログ (IPMI イベント・ログとして)、統合管理モジュール (IMM) イベント・ログ (ASM イベント・ログとして)、およびオペレーティング・システム・イベント・ログを時系列でまとめたものです。この DSA ログをファイルとして IBM サポートに送信する (IBM サポートに必要な場合) か、テキスト・ファイルまたは HTML ファイルとして情報を表示することができます。

注: 最新の構成データを使用していることを確認するために、使用可能な最新バージョンの DSA を使用してください。DSA の資料およびダウンロード情報については、<http://www.ibm.com/systems/management>を参照してください。

追加情報については、69 ページの『IBM Dynamic System Analysis』および DSA メッセージを参照してください。

- DSA Preboot

DSA Preboot 診断プログラムは、サーバーの内蔵 USB メモリーに格納されます。DSA Preboot は、サーバーの問題を診断する際に役立つシステム情報を収集して分析し、サーバーにおける主要コンポーネントの診断テストの豊富なセットを提供します。DSA Preboot は、サーバーに関する以下の情報を収集します。

- ドライブのヘルス情報
- ServeRAID コントローラーおよびサービス・プロセッサのイベント・ログ
- 取り付け済みハードウェア (PCI および USB 情報を含む)
- Light Path 診断の状況
- マイクロプロセッサ、I/O ハブ、および UEFI エラー・ログ
- ネットワーク・インターフェースおよび設定
- RAID コントローラー構成
- サービス・プロセッサ (統合管理モジュール) の状況および構成

- システム構成
- 重要プロダクト・データ、ファームウェア、および UEFI 構成

DSA Preboot は、以下のシステム・コンポーネント (取り付け済みの場合) の診断も提供します。

1. Emulex ネットワーク・アダプター
2. IMM I2C バス
3. Light Path 診断パネル
4. メモリー・モジュール
5. マイクロプロセッサ
6. 光ディスク装置 (CD または DVD)
7. SAS または SATA ドライブ

DSA Preboot プログラムをサーバーで実行する場合の詳細については、71 ページの『DSA Preboot 診断プログラムの実行』を参照してください。

• 現象別トラブルシューティング

これらの表には、問題の現象と、問題を訂正するための処置がリストされています。詳しくは、73 ページの『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

パワー・サプライ LED

サーバーを始動するために必要な最小構成は、以下のとおりです。

- マイクロプロセッサ・ソケット 1 内に 1 個のマイクロプロセッサ
- システム・ボード上に 1 個の 2 GB DIMM
- パワー・サプライ 1 つ
- 電源コード
- 冷却ファン 4 つ
- PCI コネクター 1 に、PCI ライザー・カード・アセンブリー 1 つ

AC パワー・サプライ LED

以下の情報を使用して、AC パワー・サプライ LED を確認します。

パワー・サプライの DC LED が点灯するために必要な最小構成は、以下のとおりです。

- パワー・サプライ
- 電源コード

注: パワー・サプライ上の DC LED が点灯するには、サーバーの電源がオンになっている必要があります。

次の図は、AC パワー・サプライ上のパワー・サプライ LED の位置を示しています。

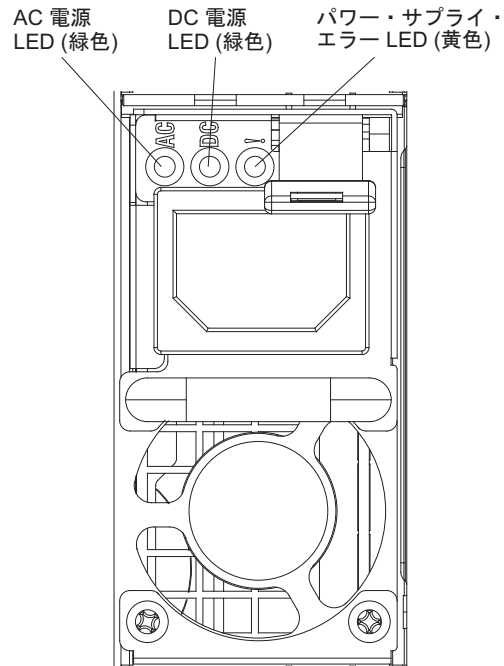


図 11. AC パワー・サプライ LED

次の表は、AC パワー・サプライ上にあるパワー・サプライ LED のさまざまな組み合わせによって示される問題と、検出された問題を修正するための推奨処置を説明します。

AC パワー・サプライ LED			説明	処置	注
AC	DC	エラー (!)			
オン	オン	オフ	通常の操作。		
オフ	オフ	オフ	サーバーに AC 電源が接続されていない、または AC 給電部に問題がある。	1. サーバーへの AC 電源をチェックします。 2. 電源コードが正常に機能している電源に接続されていることを確認します。 3. サーバーを再始動します。エラーが解決されない場合は、パワー・サプライ LED を確認します。 4. 問題が解決しない場合は、パワー・サプライを交換してください。	AC 電源を接続していないときは、これが正常な状態です。
オフ	オフ	オン	パワー・サプライは失敗しました。	パワー・サプライを交換してください。	
オフ	オン	オフ	パワー・サプライは失敗しました。	パワー・サプライを交換してください。	
オフ	オン	オン	パワー・サプライは失敗しました。	パワー・サプライを交換してください。	

AC パワー・サプライ LED			説明	処置	注
AC	DC	エラー (!)			
オン	オフ	オフ	パワー・サプライが完全に装着されていないか、システム・ボードに障害があるか、あるいはパワー・サプライに障害が発生しています。	1. パワー・サプライを取り付け直します。 2. 85 ページの『電源問題』のアクションに従います。 3. 問題が解決するまで、89 ページの『電源の問題の解決』のアクションに従います。	一般的には、パワー・サプライが完全に差し込まれていない状態を示します。
オン	オフ	オン	パワー・サプライは失敗しました。	パワー・サプライを交換してください。	
オン	オン	オン	パワー・サプライは失敗しました。	パワー・サプライを交換してください。	

システム・パルス LED

システム・パルス LED を表示するには、この情報を使用します。

以下の LED はシステム・ボードにあり、システムのパワーオンとパワーオフの順序付けおよびブート進行をモニターします (これらの LED の場所については、20 ページの『システム・ボードの LED およびコントロール』を参照してください)。

表 3. システム・パルス LED

LED	説明	処置
RTMM ハートビート	パワーオンおよびパワーオフの順序付け。	1. LED が 1Hz で点滅する場合は正しく機能しているため、処置は不要です。 2. LED が点滅していない場合、(トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。
IMM2 ハートビート	IMM2 ハートビート・ブート・プロセス。	以下のステップは、IMM2 ハートビート順序付けプロセスの各種ステージを説明しています。 1. この LED が高速 (約 4Hz) で点滅している場合、IMM2 コードがロード・プロセス中であることを示します。 2. この LED が一時的にオフになると、IMM2 コードのロードが完了したことを示します。 3. この LED が一時的にオフになった後に低速 (約 1Hz) で点滅を開始すると、IMM2 が完全に作動可能であることを示します。この時点で、電源制御ボタンを押してサーバーの電源をオンにすることができます。 4. 給電部をサーバーに接続してから 30 秒以内にこの LED が点滅しない場合、(トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

イベント・ログ

POST イベント・ログ、システム・イベント・ログ、統合管理モジュール (IMM2) イベント・ログ、および DSA イベント・ログに表示されるエラー・コードとメッセージ。

- **POST イベント・ログ:** このログには、POST 中に生成された最新のエラー・コードとメッセージが入っています。POST イベント・ログの内容は、Setup ユーティリティから表示できます (29 ページの『Setup ユーティリティの開始』を参照)。POST エラー・コードについては、UEFI/POST エラー・コードを参照してください。
- **システム・イベント・ログ:** このログには、POST およびシステム管理割り込み (SMI) のイベントと、統合管理モジュール (IMM) に組み込まれたベースボード管理コントローラーが生成したすべてのイベントが入っています。システム・イベント・ログの内容は、Setup ユーティリティおよび Dynamic System Analysis (DSA) プログラムから (IPMI イベント・ログとして) 表示することができます。

システム・イベント・ログにはサイズの制限があります。ログがフルになっても、新しい項目が既存の項目を上書きしません。したがって、Setup ユーティリティを使用して、定期的にシステム・イベント・ログを消去する必要があります。エラーのトラブルシューティング中に最新のイベントを分析できるようにするには、システム・イベント・ログを保管してからクリアする必要がある場合があります。システム・イベント・ログについて詳しくは、統合管理モジュール II (IMM2) エラー・メッセージを参照してください。

メッセージは画面の左側にリストされ、選択されたメッセージの詳細は画面の右側に表示されます。1 つの項目から次の項目に移動するには、上矢印キー (↑) および下矢印キー (↓) を使用します。

一部の IMM センサーは、それぞれの設定値に達するとログされる表明イベントを発生させる場合があります。設定値の状態が存続しない場合は、対応する表明解除イベントがログされます。ただし、すべてのイベントが表明型のイベントであるわけではありません。

- **統合管理モジュール II (IMM2) イベント・ログ:** このログにはすべての IMM、POST およびシステム管理割り込み (SMI) イベントのフィルタリングされたサブセットが入っています。IMM Web インターフェースから IMM イベント・ログを表示することができます。詳しくは、42 ページの『Web インターフェースへのログオン』を参照してください。IMM イベント・ログは、Dynamic System Analysis (DSA) プログラムから (ASM イベント・ログとして) 表示することもできます。IMM エラー・メッセージについては、統合管理モジュール II (IMM2) エラー・メッセージを参照してください。
- **DSA イベント・ログ:** このログは、Dynamic System Analysis (DSA) プログラムによって生成されるもので、システム・イベント・ログ (IPMI イベント・ログとして)、IMM シャーシ・イベント・ログ (ASM イベント・ログとして)、およびオペレーティング・システム・イベント・ログを時系列でまとめたものです。DSA イベント・ログは DSA プログラムから表示できます (67 ページの『サーバーを再始動することなく、イベント・ログを表示する』を参照)。DSA および DSA メッセージについては、69 ページの『IBM Dynamic System Analysis』および DSA メッセージを参照してください。

Setup ユーティリティーからのイベント・ログの表示

POST イベント・ログまたはシステム・イベント・ログを表示するには、次のステップを実行します。

手順

1. サーバーの電源をオンにします。
2. プロンプト「<F1> Setup」が表示されたら、F1 キーを押します。始動パスワードと管理者パスワードの両方を設定してある場合、イベント・ログを表示するには管理者パスワードを入力する必要があります。
3. 「**System Event Logs**」を選択し、以下のステップのうちの 1 つを実行します。
 - POST イベント・ログを表示するには、「**POST Event Viewers**」を選択します。
 - システム・イベント・ログを表示するには、「**System Event Log**」を選択します。

サーバーを再始動することなく、イベント・ログを表示する

サーバーがハングしていない状態で IMM がネットワークに接続されているときは、サーバーを再始動しないで 1 つ以上のイベント・ログを表示するいくつかの方法があります。

Dynamic System Analysis (DSA) の Portable エディションをすでにインストールしてある場合は、それを使用してシステム・イベント・ログ (IPMI イベント・ログとして)、または IMM イベント・ログ (ASM イベント・ログとして)、オペレーティング・システム・イベント・ログ、またはマージされた DSA ログを表示することができます。また、DSA Preboot を使用してこれらのログを表示することもできますが、DSA Preboot を使用するにはサーバーを再始動する必要があります。DSA Portable をインストールする場合、あるいは DSA Preboot の CD イメージの新バージョンの有無を確認し、ダウンロードする場合は、<http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnocid=SERV-DSA> にアクセスしてください。

IPMITool がサーバーにインストール済みの場合は、これを使用してシステム・イベント・ログを表示できます。最新バージョンの Linux オペレーティング・システムには、現行バージョンの IPMITool が付属しています。IPMI の概要については、<http://www.ibm.com/developerworks/linux/blueprints/> にアクセスして「**Using Intelligent Platform Management Interface (IPMI) on IBM Linux platforms**」をクリックします。

IMM イベント・ログは、統合管理モジュール II (IMM2) Web インターフェースの「**Event Log**」リンクを通して表示できます。詳しくは、42 ページの『Web インターフェースへのログオン』を参照してください。

次の表は、サーバーの状態に応じてイベント・ログを表示するために使用できる方法を説明しています。最初の 3 つの状態に対しては、通常サーバーの再始動は必要ありません。

表 4. イベント・ログを表示する方法

状態	処置
サーバーは停止しておらず、(オペレーティング・システムが制御するネットワーク・ポートを使用して) ネットワーク・ポートに接続されている。	以下の方法のいずれかを使用します。 • DSA Portable を実行して診断イベント・ログを表示する (IPMI ドライバーが必要) か、または IBM サービスおよびサポートに (FTP またはローカル・コピーを使用して) 送信可能な出力ファイルを作成します。 • IPMITool を使用して、システム・イベント・ログを表示します (IPMI ドライバーが必要)。 • IMM に対して Web ブラウザー・インターフェースを使用して、システム・イベント・ログをローカル側で表示します (RNDIS USB LAN ドライバーが必要)。
サーバーは停止しておらず、(オペレーティング・システムが制御するネットワーク・ポートを使用して) ネットワーク・ポートに接続されていない。	• DSA Portable を実行して診断イベント・ログを表示する (IPMI ドライバーが必要) か、または IBM サービスおよびサポートに (FTP またはローカル・コピーを使用して) 送信可能な出力ファイルを作成します。 • IPMITool を使用して、システム・イベント・ログを表示します (IPMI ドライバーが必要)。 • IMM に対して Web ブラウザー・インターフェースを使用して、システム・イベント・ログをローカル側で表示します (RNDIS USB LAN ドライバーが必要)。
サーバーはハング状態ではなく、統合管理モジュール II (IMM2) がネットワークに接続されている。	Web ブラウザーで IMM2 の IP アドレスを入力し、「イベント・ログ」ページに進みます。詳しくは、41 ページの『IMM ホスト名の取得』および 42 ページの『Web インターフェースへのログオン』を参照してください。
サーバーは停止しており、IMM との間で通信を行うことができない。	• DSA Preboot がインストールされている場合は、サーバーを再始動し、F2 を押して DSA Preboot を開始し、イベント・ログを表示します (詳しくは、71 ページの『DSA Preboot 診断プログラムの実行』を参照)。 • 代わりに、サーバーを再始動し、F1 を押して Setup ユーティリティを開始して、POST イベント・ログまたはシステム・イベント・ログを表示することもできます。詳しくは、67 ページの『Setup ユーティリティからのイベント・ログの表示』を参照してください。

イベント・ログの消去

イベント・ログを消去するには、この情報を使用します。

このタスクについて

イベント・ログを消去するには、次のステップを実行してください。

注: サーバーが再始動されるたびに、POST エラー・ログは自動的に消去されます。

手順

1. サーバーの電源をオンにします。
2. プロンプト「<F1> Setup」が表示されたら、F1 キーを押します。始動パスワードと管理者パスワードの両方を設定してある場合、イベント・ログを表示するには管理者パスワードを入力する必要があります。
3. IMM システム・イベント・ログを消去するには、「**System Event Logs**」 > 「**Clear System Event Log**」を選択してから、**Enter** キーを 2 回押します。

POST

サーバーの電源をオンにすると、サーバーのコンポーネントとサーバー内の一部のオプション装置の動作を検査する一連のテストが実行されます。この一連のテストを「パワーオン・セルフテスト」、すなわち POST と呼びます。

注: このサーバーは、サーバー状況に関してビープ・コードを使用しません。

始動パスワードが設定されている場合、POST が実行されるようにするには、プロンプトに従ってパスワードを入力し、**Enter** キーを押す必要があります。

POST で問題が検出されると、エラー・メッセージが表示されます。詳しくは、UEFI/POST エラー・コードを参照してください。

POST で問題が検出されると、エラー・メッセージが POST イベント・ログに送信されます。詳しくは、66 ページの『イベント・ログ』を参照してください。

IBM Dynamic System Analysis

IBM Dynamic System Analysis (DSA) は、サーバーの問題を診断するときに役立つシステム情報を収集して分析します。

DSA は、サーバーに関する次の情報を収集します。

- ドライブのヘルス情報
- ServeRAID コントローラーおよびサービス・プロセッサのイベント・ログ
- ハードウェア・インベントリ情報 (PCI および USB 情報を含む)
- インストール済みのアプリケーションおよびホット・フィックス (DSA Portable のみで使用可能)
- カーネル・モジュール (DSA Portable のみで使用可能)
- Light Path 診断の状況
- ネットワーク・インターフェースおよび設定
- パフォーマンス・データおよび実行中のプロセスの詳細

- RAID コントローラー構成
- サービス・プロセッサ (統合管理モジュール) の状況および構成
- システム構成
- 重要プロダクト・データおよびファームウェア情報

DSA が生成したメッセージの結果を受けて取るべきアクションについての、システム固有の情報については、DSA メッセージを参照してください。

DSA を使用して問題が検出できない場合は、92 ページの『未解決問題の解決』を参照してサーバーのテストに関する情報を見つけてください。

注: DSA プリブートは、プログラムを始動した際、応答しないように見える場合があります。これは、プログラムのロード中は正常な動作です。

サーバーの DSA コードが最新バージョンであることを確認してください。 DSA コードおよび「*Dynamic System Analysis Installation and User's Guide*」を入手するには、<http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnocid=SERV-DSA> にアクセスしてください。

DSA のエディション

以下の 2 つのエディションの Dynamic System Analysis が使用可能です。

• DSA Portable

DSA Portable エディションは、オペレーティング・システムの内部で実行されます。実行するためにサーバーを再始動する必要はありません。このエディションは、Web からダウンロードする自己解凍型ファイルとしてパッケージされています。このファイルは、実行すると一時フォルダーに自己解凍され、ハードウェアおよびオペレーティング・システムに関する情報の包括的な収集を実行します。実行後には、一時ファイルおよびフォルダーを自動的に削除し、データ収集および診断の結果をサーバーに残します。

サーバーを始動できる場合は、DSA Portable を使用してください。

• DSA Preboot

DSA Preboot は、オペレーティング・システムの外部で実行されます。実行するためにはサーバーを再始動する必要があります。DSA Preboot はサーバー上でフラッシュ・メモリーとして提供されるか、IBM ToolsCenter Bootable Media Creator (BoMC) を使用して、CD、DVD、ISO、USB、または PXE などのブート可能メディアを作成することができます。詳しくは、BoMC の「インストールおよびユーザーズ・ガイド」(<http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnocid=TOOL-BOMC>) を参照してください。他のエディションの DSA の機能に加えて、DSA Preboot には診断ルーチンが組み込まれているため、オペレーティング・システム環境の内部で実行するとサーバーが停止する場合があります (デバイスのリセットやネットワーク接続の喪失など)。このエディションのグラフィカル・ユーザー・インターフェースを使用して、実行する診断を指定したり、診断とデータ収集の結果を表示することができます。

DSA Preboot は、以下のシステム・コンポーネント (取り付けられている場合) に対する診断を行います。

- Emulex ネットワーク・アダプター
- 光ディスク装置 (CD または DVD)
- テープ・ドライブ (SCSI、SAS、または SATA)
- メモリー
- マイクロプロセッサー
- チェックポイント・パネル
- I2C バス
- SAS ドライブおよび SATA ドライブ

サーバーを再始動できない場合、または包括的な診断が必要な場合は、DSA Preboot を使用してください。

ユーティリティの詳しい説明とダウンロードについては、<http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnodocid=SERV-DSA>に進んでください。

DSA Preboot 診断プログラムの実行

以下の情報を使用して、DSA Preboot 診断プログラムを実行します。

このタスクについて

注: DSA メモリー・テストは、実行するのに最大 30 分かかります。問題がメモリーの問題でない場合は、メモリー・テストをスキップしてください。

DSA プリブート診断プログラムを実行するには、次のステップを実行してください。

手順

1. サーバーが稼働中の場合は、サーバーとそれに接続されているすべての装置の電源をオフにします。
2. すべての接続されている装置の電源をオンにしてから、サーバーの電源を入れます。
3. プロンプト「<F2> Diagnostics」が表示されたら、F2 を押します。

注: DSA プリブート診断プログラムは、プログラムを始動した際、異常なほど長時間応答しないように見える場合があります。これは、プログラムのロード中は正常な動作です。ロード・プロセスには、最大 10 分かかります。

4. オプションとして、「Quit to DSA」を選択してスタンドアロン・メモリー診断プログラムを終了することができます。

注: スタンドアロン・メモリー診断環境を終了した後、再びスタンドアロン・メモリー診断環境にアクセスするためにはサーバーを再始動する必要があります。

5. 「gui」と入力するとグラフィカル・ユーザー・インターフェースを表示することができます。または、「cmd」と入力して DSA インタラクティブ・メニューを表示することもできます。
6. 画面の指示に従って、実行する診断テストを選択してください。

タスクの結果

診断プログラムでハードウェアのエラーが検出されないのに、通常のサーバー操作時に問題が続く場合は、ソフトウェアのエラーが原因である場合があります。ソフトウェアの問題と思われる場合は、ソフトウェアに付属の情報を参照してください。

1 つの問題について複数のエラー・メッセージが出されることがあります。その場合は、最初のエラー・メッセージの原因を解決してください。通常、次回に診断プログラムを実行するときは、他のエラー・メッセージは出なくなります。

テストの途中でサーバーが停止し、続行できなくなった場合には、サーバーを再始動し、もう一度 DSA Preboot 診断プログラムの実行を試みてください。問題が解決しない場合は、サーバーの停止時にテストされていたコンポーネントを交換してください。

診断テキスト・メッセージ

診断テキスト・メッセージは、テストの実行中に表示されます。

診断テキスト・メッセージには、以下の結果のいずれかが示されます。

Passed: テストはエラーなしに完了しました。

Failed: テストでエラーが検出されました。

Aborted: サーバー構成が原因で、テストを進めることができませんでした。

テストの失敗に関する追加情報が、それぞれのテストの拡張診断結果から入手可能です。

テスト・ログ結果の表示および DSA コレクションの転送

テスト・ログ結果を表示し、DSA コレクションを転送するには、この情報を使用します。

このタスクについて

テストの完了時に結果を確認するためにテスト・ログを表示するには、DSA グラフィカル・ユーザー・インターフェースを実行している場合は「Status」列で「**Success**」リンクをクリックし、DSA 対話式メニューを実行している場合は `:x` と入力して「Execute Tests」メニューを終了するか、またはグラフィカル・ユーザー・インターフェースの「**Diagnostic Event Log**」を選択します。DSA Preboot コレクションを外付け USB デバイスに転送するには、DSA 対話式メニューで `copy` コマンドを入力します。

手順

- DSA グラフィカル・ユーザー・インターフェース (GUI) を実行している場合は、「Status」列で「**Success**」リンクをクリックします。
- DSA 対話式メニュー (CLI) を実行している場合は、`:x` と入力して「Execute Tests」メニューを終了してから、「**completed tests**」を選択して結果を表示します。

タスクの結果

サーバーの問題の診断に役立てるために、DSA エラー・ログを IBM サポートに送信することもできます。

自動サービス要求 (コール・ホーム)

IBM は、データを自動的に収集して送信できるツール、またはエラーが検出された場合に IBM サポートをコールできるツールを提供しています。これらのツールは、IBM サポートによる問題診断処理の迅速化に役立ちます。

以下のセクションでは、コール・ホーム・ツールについて説明します。

IBM Electronic Service Agent

IBM エレクトロニック・サービス・エージェントは、システム・ハードウェア・エラーおよびハードウェアとソフトウェアのインベントリ情報のモニター、追跡、取り込みを行い、保守可能な問題を IBM サポートに直接報告します。データを手動で収集するように選択することもできます。これは最小のシステム・リソースしか使用せず、IBM の Web サイトからダウンロードすることができます。

IBM エレクトロニック・サービス・エージェントの詳細な情報またはダウンロードが必要な場合は、<http://www-01.ibm.com/support/esa/> にアクセスしてください。

エラー・メッセージ

このセクションでは、問題の検出時に生成される UEFI/POST、IMM、および DSA のエラー・コードとメッセージをリストします。

詳細については、UEFI/POST エラー・コード、統合管理モジュール II (IMM2) エラー・メッセージ、および DSA メッセージを参照してください。

エラー・メッセージ

このセクションでは、問題の検出時に生成される UEFI/POST、IMM、および DSA のエラー・コードとメッセージをリストします。

詳細については、UEFI/POST エラー・コード、統合管理モジュール II (IMM2) エラー・メッセージ、および DSA メッセージを参照してください。

現象別トラブルシューティング

トラブルシューティング表を利用して、識別可能な現象がある問題に対する解決策を見つけてください。

このタスクについて

これらの表の中に該当の問題に対する解決策が見つからない場合、サーバーのテストについては DSA メッセージを、DSA Preboot プログラムの実行に関する追加情

報は 71 ページの『DSA Preboot 診断プログラムの実行』を参照してください。問題の解決に役立つ追加情報については、55 ページの『ここから開始します』を参照してください。

新しいソフトウェアまたは新しいオプション装置を追加した直後にサーバーが作動しなくなった場合は、トラブルシューティング表を使用する前に、次のステップを実行します。

手順

- 1. オペレーター情報パネル上のシステム・エラー LED をチェックします。それが点灯している場合は、Light Path 診断 LED (Light Path 診断を参照) をチェックします。
- 2. 追加したばかりのソフトウェアまたは装置を取り除きます。
- 3. IBM Dynamic System Analysis (DSA) を実行して、サーバーが正常に稼働しているかどうかを判断します (DSA の使用法については、DSA メッセージを参照)。
- 4. 新しいソフトウェアをインストールまたは新しい装置を取り付け直します。

一般的な問題

一般的な問題を解決するには、この情報を使用します。

• 問題が解決するまで、「処置」の欄の推奨処置を、リストされている順に実行してください。 • 処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。 • IBM Support Web サイト () で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。	
現象	処置
カバー・ラッチが破損している、LED が機能しない、あるいはこれと類似の問題が発生した。	その部品が CRU の場合は交換します。その部品がマイクロプロセッサまたはシステム・ボードの場合は、トレーニングを受けた技術員が部品を交換する必要があります。
画面はオンになっているが、サーバーが停止している。F1 を押しても Setup ユーティリティーを開始できない。	1. 詳しくは、98 ページの『Nx 回ブート失敗』を参照してください。 2. 詳しくは、95 ページの『サーバー・ファームウェアのリカバリー (UEFI 更新の失敗)』を参照してください。

ハード・ディスクの問題

表 5. ハード・ディスクにおける現象および処置

- 問題が解決するまで、「処置」の欄の推奨処置を、リストされている順に実行してください。 - 処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。 - IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバを調べるか、情報を要求します。	
現象	処置
ハード・ディスク診断テストで認識されないドライブがある。	診断テストで示されたドライブを取り外します。その後、ハード・ディスク診断テストを再実行します。残りのドライブが認識される場合は、取り外したドライブを新しいものと交換します。
ハード・ディスク診断テスト中にサーバーが応答しなくなる。	サーバーが応答を停止したときにテストしていたハード・ディスクを取り外し、再度診断テストを実行します。ハード・ディスク診断テストが正常に終了する場合、取り外したドライブを新しいドライブに交換します。
オペレーティング・システムの始動中にハード・ディスクが検出されない。	すべてのハード・ディスクとケーブルを付け直して、もう一度ハード・ディスク診断テストを実行してください。
ハード・ディスクが診断の「ハード・ディスク」テストにパスしたが、問題は解決されていない。	SCSI ハード・ディスク診断テストを実行します (71 ページの『DSA Preboot 診断プログラムの実行』を参照)。 注: このテストは、RAID アレイを備えるサーバー、または SATA ハード・ディスクを備えるサーバーでは使用できません。

ハイパーバイザーの問題

ハイパーバイザーの問題を解決するには、この情報を使用します。

- 問題が解決するまで、「処置」の欄の推奨処置を、リストされている順に実行してください。 - 処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。 - IBM Support Web サイト () で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバを調べるか、情報を要求します。	
現象	処置
オプションの組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスが予期したブート順序にリストされない、ブート・デバイスのリストに表示されない、または類似の問題が発生した。	- オプションの組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスが、始動時にブート・マネージャーの <F12> Select Boot Device で選択されていることを確認します。 - 組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスがコネクタに正しく取り付けられていることを確認します (173 ページの『USB フラッシュ・ドライブの取り外し』および 175 ページの『USB フラッシュ・ドライブの取り付け』を参照)。 - オプションの組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスに付属の資料を参照して、セットアップおよび構成情報を確認します。 - 他のソフトウェアがサーバー上で動作することを確認します。

再現性の低い問題

再現性の低い問題を解決するには、この情報を使用します。

- 問題が解決するまで、「処置」の欄の推奨処置を、リストされている順に実行してください。 - 処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。 - IBM Support Web サイト () で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。	
現象	処置
時々起こる問題、または診断が困難な問題。	- 次の点を確認します。 - すべてのケーブルとコードが、サーバーの背面および接続装置にしっかりと接続されている。 - サーバーの電源が入っているとき、ファン・グリルから空気が流れている。空気の流れがないときは、ファンが回っていません。これにより、サーバーが過熱し、シャットダウンすることがあります。 - システム・エラー・ログまたは IMM イベント・ログをチェックします (66 ページの『イベント・ログ』を参照)。
サーバーが時々リセット (再始動) される。	- POST 中にリセットが発生し、POST ウォッチドッグ・タイマーが使用可能になっている場合 (Setup ユーティリティーで「System Settings」 > 「Recovery」 > 「System Recovery」 > 「POST Watchdog Timer」の順にクリックして、POST ウォッチドッグの設定を確認します)、ウォッチドッグ・タイムアウト値 (「POST Watchdog Timer」) に十分な時間が設定されていることを確認します。POST 中にサーバーが引き続きリセットする場合は、UEFI/POST エラー・コードおよび DSA メッセージを参照してください。 - どちらの条件も当てはまらない場合は、システム・エラー・ログまたは IMM システム・イベント・ログをチェックしてください (66 ページの『イベント・ログ』を参照)。

キーボード、マウス、または USB デバイスの問題

キーボード、マウス、または USB デバイスの問題を解決するには、この情報を使用します。

- 問題が解決するまで、「処置」の欄の推奨処置を、リストされている順に実行してください。
- 処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。
- IBM Support Web サイト () で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。

現象	処置
キーボードのすべてのキーまたは一部のキーが機能しない。	- 次の点を確認します。 - キーボード・ケーブルがしっかりと接続されている。 - サーバーとモニターの電源がオンになっているか。 - USB キーボードを使用している場合は、Setup ユーティリティを実行してキーボードなし操作を有効にします。 - USB キーボードを使用しており、キーボードが USB ハブに接続されている場合、キーボードをハブから切り離し、直接サーバーに接続します。 - キーボードを交換します。
マウスまたは USB デバイスが機能しない。	- 次の点を確認します。 - マウスまたは USB デバイスのケーブルがサーバーにしっかりと接続されているか。 - マウスまたは USB デバイスのドライバーが正しくインストールされているか。 - サーバーとモニターの電源がオンになっているか。 - マウス・オプションが Setup ユーティリティで有効にされている。 - USB マウスまたは USB デバイスを使用しており、それが USB ハブに接続されている場合、マウスまたは USB デバイスをハブから切り離し、直接サーバーに接続します。 - マウスまたは USB デバイスを交換します。

メモリーの問題

メモリーの問題を解決するには、この情報を使用します。

- 問題が解決するまで、「処置」の欄の推奨処置を、リストされている順に実行してください。
- 処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。
- IBM Support Web サイト () で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。

現象	処置
表示されたシステム・メモリーの容量が、実際に取り付けたメモリーの容量より少ない。	注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。 1. 次の点を確認します。 • オペレーター情報パネル上のどのエラー LED も点灯していない。 • システム・ボード上の DIMM エラー LED が点灯していない。 • メモリー・ミラーリング・チャンネルが不一致の原因ではない。 • メモリー・モジュールが正しく取り付けられている。 • 正しいタイプのメモリーが取り付けられている。 • メモリーを変更した場合、Setup ユーティリティでメモリー構成を更新した。 • メモリーのすべてのバンクが使用可能になっている。サーバーが問題を検出したときにメモリー・バンクを自動的に使用不可にしたか、メモリー・バンクが手動で使用不可にされた可能性があります。 • サーバーを最小メモリー構成にした場合にメモリー・ミスマッチがない。 2. DIMM を取り付け直し、サーバーを再始動します。 3. POST エラー・ログを確認します。 • DIMM がシステム管理割り込み (SMI) によって使用不可にされていた場合は、その DIMM を交換します。 • DIMM がユーザーまたは POST によって使用不可にされた場合は、DIMM を取り付け直します。次に Setup ユーティリティを実行して、DIMM を使用可能にします。 4. Setup ユーティリティですべての DIMM が初期化されていることを確認します。次にメモリー診断を実行します (71 ページの『DSA Preboot 診断プログラムの実行』を参照)。 5. (同じマイクロプロセッサの) チャンネル間で DIMM の位置を逆にしてから、サーバーを再始動します。問題が DIMM に関連したものである場合は、障害のある DIMM を交換します。 6. Setup ユーティリティを使用してすべての DIMM を再度使用可能にしてから、サーバーを再始動します。 7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 障害のある DIMM を、マイクロプロセッサ 2 の DIMM コネクター (取り付けられている場合) に取り付け、問題がマイクロプロセッサに関するものでないこと、あるいは DIMM コネクターに関するものでないことを確認します。 8. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

- 問題が解決するまで、「処置」の欄の推奨処置を、リストされている順に実行してください。
- 処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。
- IBM Support Web サイト () で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。

現象	処置
1 つのチャンネル内の複数の DIMM に障害があることが確認されている。	注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。 1. 該当の DIMM を取り付け直してから、サーバーを再始動します。 2. 障害が確認された DIMM のうち、最も番号が大きい DIMM を取り外し、正常であることが既知の同一の DIMM と交換してから、サーバーを再始動します。解決するまで上記を繰り返します。識別されたすべての DIMM を交換した後も障害が続く場合は、ステップ 4 に進みます。 3. 取り外した DIMM を一度に 1 つずつ元のコネクタに戻し、各 DIMM ごとにサーバーを再始動し、ある DIMM が障害を起こすまで繰り返します。障害を起こした各 DIMM を既知の正常な同一 DIMM と交換して、各 DIMM の交換後、そのつどサーバーを再始動します。取り外したすべての DIMM がテストされるまで、ステップ 3 を繰り返します。 4. 識別された DIMM のうち、最も番号が大きい DIMM を交換し、サーバーを再始動します。解決するまで上記を繰り返します。 5. (同じマイクロプロセッサの) チャンネル間で DIMM の位置を逆にしてから、サーバーを再始動します。問題が DIMM に関連したものである場合は、障害のある DIMM を交換します。 6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 障害のある DIMM を、マイクロプロセッサ 2 の DIMM コネクタ (取り付けられている場合) に取り付け、問題がマイクロプロセッサに関するものでないこと、あるいは DIMM コネクタに関するものでないことを確認します。 7. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

マイクロプロセッサ問題

マイクロプロセッサの問題を解決するには、この情報を使用します。

- 問題が解決するまで、「処置」の欄の推奨処置を、リストされている順に実行してください。
- 処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。
- IBM Support Web サイト () で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。

現象	処置
サーバーをオンにすると、サーバーが直接 POST イベント・ビューアーになる。	1. Light Path 診断 LED によって示されたエラーをすべて解決します (Light Path 診断を参照)。 2. サーバーがすべてのマイクロプロセッサをサポートし、マイクロプロセッサの速度とキャッシュ・サイズが相互に一致していることを確認します。マイクロプロセッサ情報を表示するには、Setup ユーティリティを実行して「System Information」 > 「System Summary」 > 「Processor Details」を選択します。 3. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ 1 が正しく取り付けられていることを確認します。 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ 2 を取り外して、サーバーを再始動します。 5. 次のコンポーネントを、リストに示されている順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。 a. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ b. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボード

モニターおよびビデオの問題

モニターおよびビデオの問題を解決するには、この情報を使用してください。

一部の IBM モニターには、独自のセルフテスト機能が備わっています。モニターに問題があると思われる場合は、そのモニターに付属している資料を参照して、モニターをテストおよび調整します。問題を診断できない場合は、保守サービスを依頼してください。

- 問題が解決するまで、「処置」の欄の推奨処置を、リストされている順に実行してください。
- 処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。
- IBM Support Web サイト () で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。

現象	処置
モニターのテスト。	1. モニター・ケーブルがしっかりと接続されていることを確認します。 2. サーバーで別のモニターを使用するか、または同じモニターを別のサーバーでテストしてみます。 3. 診断プログラムを実行します。モニターが診断プログラムの検査をパスした場合は、ビデオ・デバイス・ドライバーに問題があることが考えられます。 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

- 問題が解決するまで、「処置」の欄の推奨処置を、リストされている順に実行してください。
- 処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。
- IBM Support Web サイト () で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。

現象	処置
画面に何も表示されない。	1. サーバーが KVM スイッチに接続されている場合は、問題の原因を除去するために KVM スイッチをバイパスします。モニター・ケーブルをサーバーの背面にある正しいモニター・コネクタに直接接続してみます。 2. オプションのビデオ・アダプターを取り付けていると、IMM2 リモート・プレゼンス機能は使用不可になります。IMM2 リモート・プレゼンス機能を使用するには、オプションのビデオ・アダプターを取り外します。 3. サーバーの電源をオンにしたときにサーバーにグラフィック・アダプターが取り付けられている場合、約 3 分後に IBM ロゴが画面上に表示されます。これは、システム・ロード中の正常な動作です。 4. 次の点を確認します。 • サーバーの電源がオンになっている。サーバーに電源供給されていない場合は、85 ページの『電源問題』を参照してください。 • モニターのケーブルが正しく接続されている。 • モニターの電源が入っていて、輝度とコントラストが正しく調節されているか。 5. モニターが正しいサーバーで制御されていることを確認します (該当する場合)。 6. 損傷したサーバー・ファームウェアがビデオに影響を及ぼしていないことを確認します。23 ページの『ファームウェアの更新』を参照してください。 7. システム・ボードのチェックポイント LED を監視し、コードが変化する場合は、ステップ 6 に進みます。 8. 次のコンポーネントを、リストに示されている順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。 a. モニター b. ビデオ・アダプター (取り付けられている場合) c. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボード。 9. 92 ページの『未解決問題の解決』を参照してください。
サーバーの電源をオンにした時点ではモニターが作動するが、一部のアプリケーション・プログラムを開始すると画面がブランクになる。	1. 次の点を確認します。 • アプリケーション・プログラムが、モニターの能力を超える表示モードを設定していない。 • アプリケーションに必要なデバイス・ドライバーがインストールされている。 2. ビデオ診断を実行します (71 ページの『DSA Preboot 診断プログラムの実行』を参照)。 • サーバーがビデオ診断に合格した場合、ビデオは良好です。92 ページの『未解決問題の解決』を参照してください。 • (トレーニングを受けた技術員のみ) サーバーがビデオ診断に失敗する場合は、システム・ボードを交換します。

- 問題が解決するまで、「処置」の欄の推奨処置を、リストされている順に実行してください。
- 処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。
- IBM Support Web サイト () で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。

現象	処置
モニターに画面ジッターがあるか、または画面イメージが波打つ、読めない、ローリングする、またはゆがむ。	1. モニターのセルフテストで、モニターが正しく作動していることが示された場合は、モニターの位置を検討してください。その他の装置 (変圧器、電気製品、蛍光灯、および他のモニターなど) の周囲の磁界が、画面のジッターや波打ち、判読不能、ローリング、あるいは画面のゆがみの原因となる可能性があります。これが発生した場合は、モニターの電源を切ります。 重要: 電源を入れたままカラー・モニターを移動すると、画面がモノクロになることがあります。 デバイスとモニターの間を 305 mm 以上離し、モニターをオンにします。 注: a. ディスケット・ドライブの読み取り/書き込みエラーを防ぐため、モニターと外付けディスク・ドライブの間を 76 mm 以上にします。 b. IBM 以外のモニター・ケーブルを使用すると、予測できない問題が起こるおそれがあります。 2. モニター・ケーブルを取り付け直します。 3. ステップ 2 にリストされているコンポーネントを、示されている順序で、一度に 1 つずつ交換し、そのつどサーバーを再始動します。 a. モニター・ケーブル b. ビデオ・アダプター (取り付けられている場合) c. モニター d. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボード。
画面に誤った文字が表示される。	1. 誤った言語が表示される場合は、サーバーのファームウェアを正しい言語の最新レベルに更新します (23 ページの『ファームウェアの更新』を参照)。 2. モニター・ケーブルを取り付け直します。 3. ステップ 2 にリストされているコンポーネントを、示されている順序で、一度に 1 つずつ交換し、そのつどサーバーを再始動します。 a. モニター・ケーブル b. ビデオ・アダプター (取り付けられている場合) c. モニター d. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボード。

ネットワーク接続の問題

ネットワーク接続の問題を解決するには、この情報を使用します。

- 問題が解決するまで、「処置」の欄の推奨処置を、リストされている順に実行してください。 - 処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。 - IBM Support Web サイト () で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。	
現象	処置
Wake on LAN 機能を使用してサーバーを起動できない。	- デュアル・ポート・ネットワーク・アダプターを使用しており、サーバーがイーサネット 5 コネクターを使用してネットワークに接続されている場合、システム・エラー・ログまたは IMM2 システム・イベント・ログを確認して (66 ページの『イベント・ログ』を参照)、次のことを確認します。 - Emulex デュアル・ポート 10GBase-T 組み込みアダプターが取り付けられている場合は、ファン 3 がスタンバイ・モードで稼働していること。 - 室温が高すぎないこと (5 ページの『機能および仕様』を参照)。 - 通風孔がふさがれていないこと。 - エア・バッフルがしっかりと取り付けられていること。 - デュアル・ポート・ネットワーク・アダプターを取り付け直します。 - サーバーの電源をオフにして給電部から切り離します。その後、10 秒間待ってからサーバーを再始動します。 - 問題が解決しない場合は、デュアル・ポート・ネットワーク・アダプターを交換します。
SSL が使用可能にされた状態で LDAP アカウントを使用したログインが失敗する。	- ライセンス・キーが有効であることを確認します。 - 新規のライセンス・キーを生成して、再度ログインします。

オプション装置の問題

オプション装置の問題を解決するには、この情報を使用します。

- 問題が解決するまで、「処置」の欄の推奨処置を、リストされている順に実行してください。 - 処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。 - IBM Support Web サイト () で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。	
現象	処置
新たに取り付けた IBM オプション装置が作動しない。	- 次の点を確認します。 - 装置がサーバー用に設計されている (http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/usを参照)。 - 装置に付属の取り付け手順に従い正しい取り付けがされている。 - 取り付けした他の装置やケーブルの接続が緩んでいない。 - Setup ユーティリティで構成情報を更新した。メモリーまたは他の装置を変更する場合は、必ず構成を更新する必要があります。 - 取り付けただけの装置を取り付け直します。 - 取り付けただけの装置を交換します。

- 問題が解決するまで、「処置」の欄の推奨処置を、リストされている順に実行してください。
- 処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。
- IBM Support Web サイト () で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。

現象	処置
前に動作していた IBM オプション装置が動作しなくなった。	1. 装置のケーブルがすべてしっかりと接続されていることを確認してください。 2. 装置にテスト手順が付属している場合は、その手順を使用して装置をテストします。 3. 障害が起こる装置が SCSI 装置の場合は、以下を確認してください。 • すべての外付け SCSI 装置のケーブルが正しく接続されている。 • 各 SCSI チェーンの最後の装置または SCSI ケーブルの終点が正しく終端されている。 • 外付け SCSI 装置の電源がオンになっている。外付け SCSI 装置は、サーバーの電源をオンにする前にオンにする必要があります。 4. 障害のある装置を取り付け直します。 5. 障害のある装置を交換します。

電源問題

電源の問題を解決するには、この情報を使用します。

- 問題が解決するまで、「処置」の欄の推奨処置を、リストされている順に実行してください。
- 処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。
- IBM Support Web サイト () で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバを調べるか、情報を要求します。

現象	処置
電源制御ボタンが作動せず、リセット・ボタンが作動しない (サーバーが始動しない)。 注: 電源制御ボタンは、サーバーが電源に接続された後、約 5 秒から 10 秒経過するまで機能しません。	1. 電源制御ボタンが正しく機能していることを確認します。 a. サーバーの電源コードを切り離します。 b. 電源コードを再接続します。 c. (トレーニングを受けた技術員のみ) オペレーター情報パネル・ケーブルを取り付け直してから、ステップ 1a および 1b を繰り返します。 • (トレーニングを受けた技術員のみ) サーバーが始動する場合は、オペレーター情報パネルを取り付け直します。問題が解決しない場合は、オペレーター情報パネルを交換します。 • サーバーが始動しない場合は、強制パワーオン・ジャンパーを使用して電源制御ボタンをバイパスします。サーバーが始動する場合は、オペレーター情報パネルを取り付け直します。問題が解決しない場合は、オペレーター情報パネルを交換します。 2. 以下のようにして、リセット・ボタンが正しく機能していることを確認します。 a. サーバーの電源コードを切り離します。 b. 電源コードを再接続します。 c. (トレーニングを受けた技術員のみ) オペレーター情報パネル・ケーブルを取り付け直してから、ステップ 2a および 2b を繰り返します。 • (トレーニングを受けた技術員のみ) サーバーが始動する場合は、オペレーター情報パネルを交換します。 • サーバーが始動しない場合は、ステップ 3 に進みます。 3. サーバーに取り付けられているパワー・サプライが、どちらも同一のタイプであることを確認します。サーバー内で異なるパワー・サプライを混用すると、システム・エラーの原因となります (前面パネルのシステム・エラー LED がオンになる)。 4. 次の点を確認します。 • 電源コードがサーバーと、通電されている電源コンセントに正しく接続されている。 • 取り付けたメモリーのタイプが正しい。 • DIMM が完全に差し込まれている。 • パワー・サプライ上の LED が問題があることを示していない。 • マイクロプロセッサが正しい順序で取り付けられている。 5. 次のコンポーネントを取り付け直します。 a. オペレーター情報パネル・コネクタ b. パワー・サプライ 6. ステップ 5 にリストされているコンポーネントを、示されている順序で、一度に 1 つずつ交換し、そのつどサーバーを再始動します。 7. オプション装置を取り付けた場合は、それを取り外してから、サーバーを再始動してください。これでサーバーが始動する場合は、パワー・サプライがサポートできる数を超える装置が取り付けられていることが考えられます。 8. 63 ページの『パワー・サプライ LED』を参照してください。 9. 92 ページの『未解決問題の解決』を参照してください。

- 問題が解決するまで、「処置」の欄の推奨処置を、リストされている順に実行してください。 - 処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。 - IBM Support Web サイト () で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバを調べるか、情報を要求します。	
現象	処置
サーバーの電源がオフにならない。	- ACPI オペレーティング・システムまたは非 ACPI オペレーティング・システムの使用の有無を調べます。非 ACPI オペレーティング・システムを使用している場合は、以下のステップを実行してください。 - Ctrl+Alt+Delete を押します。 - 電源制御ボタンを 5 秒間押したままにして、サーバーの電源をオフにします。 - サーバーを再始動します。 - もしサーバーが POST で障害を起こし電源制御ボタンが働かない場合は、電源コードを 20 秒間外してから、電源コードを再接続してサーバーを再始動してください。 - それでも問題が続くか、ACPI 対応のオペレーティング・システムを使用している場合は、システム・ボードが原因の可能性があります。
サーバーが予期せずにシャットダウンし、オペレーター情報パネル上の LED が点灯していない。	92 ページの『未解決問題の解決』を参照してください。

シリアル装置の問題

シリアル装置の問題を解決するには、この情報を使用します。

- 問題が解決するまで、「処置」の欄の推奨処置を、リストされている順に実行してください。 - 処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。 - IBM Support Web サイト () で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバを調べるか、情報を要求します。	
現象	処置
オペレーティング・システムによって識別されたシリアル・ポートの数が、取り付けられたシリアル・ポートの数より少ない。	- 次の点を確認します。 - Setup ユーティリティで各ポートに固有のアドレスが割り当てられており、どのシリアル・ポートも使用不可にされていない。 - シリアル・ポート・アダプター (装着されている場合) がしっかりと取り付けられている。 - シリアル・ポート・アダプターを取り付け直します。 - シリアル・ポート・アダプターを交換します。

- 問題が解決するまで、「処置」の欄の推奨処置を、リストされている順に実行してください。 - 処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。 - IBM Support Web サイト () で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。	
現象	処置
シリアル装置が動作しない。	- 次の点を確認します。 - その装置がサーバーと互換性があるか。 - シリアル・ポートが使用可能で、固有のアドレスが割り当てられているか。 - 装置が正しいコネクタに接続されているか (16 ページの『システム・ボードの内部コネクタ』を参照)。 - 次のコンポーネントを取り付け直します。 - 障害を起こしているシリアル装置 - シリアル・ケーブル - ステップ 2 にリストされたコンポーネントを、リストに示されている順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。 (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

ServerGuide の問題

ServerGuide の問題を解決するには、この情報を使用します。

- 問題が解決するまで、「処置」の欄の推奨処置を、リストされている順に実行してください。 - 処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。 - IBM Support Web サイト () で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。	
現象	処置
MegaRAID Storage Manager プログラムが、取り付けられているドライブのすべてを表示しない、またはオペレーティング・システムがインストールできない。	- ハード・ディスクが正しく接続されていることを確認します。 - SAS/SATA ハード・ディスクのケーブルがしっかり接続されていることを確認してください。
オペレーティング・システムのインストール・プログラムがよくループする。	ハード・ディスク上により多くのスペースを解放してください。
ServerGuide プログラムがオペレーティング・システムの CD を始動しない。	オペレーティング・システム CD が ServerGuide プログラムによってサポートされていることを確認してください。サポートされるオペレーティング・システムのバージョンのリストについては、 http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnocid=SERV-GUIDE にアクセスし、ご使用の ServerGuide バージョン用のリンクをクリックして、サポートされる Microsoft Windows オペレーティング・システムのリストまでスクロールダウンします。

- 問題が解決するまで、「処置」の欄の推奨処置を、リストされている順に実行してください。 - 処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。 - IBM Support Web サイト () で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。	
現象	処置
オペレーティング・システムをインストールできない。オプションを選択できない。	サーバーがそのオペレーティング・システムをサポートしていることを確認します。サポートしている場合は、論理ドライブが定義されていないか (SCSI RAID サーバーの場合)、または ServerGuide システム区画が存在していません。ServerGuide プログラムを実行して、セットアップが完了していることを確認します。

ソフトウェアの問題

ソフトウェアの問題を解決するには、この情報を使用します。

- 問題が解決するまで、「処置」の欄の推奨処置を、リストされている順に実行してください。 - 処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。 - IBM Support Web サイト () で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。	
現象	処置
ソフトウェアが原因と思われる問題	- その問題の原因がソフトウェアであるかを判別するには、以下の点を確認します。 - サーバーが、ソフトウェアを使用するための必要最小限のメモリーを備えている。必要なメモリーを確認するには、ソフトウェアに付属の説明書を参照してください。アダプターまたはメモリーを取り付けた直後の場合は、サーバーでメモリー・アドレスの競合が生じている可能性があります。 - そのソフトウェアがサーバーに対応しているか。 - 他のソフトウェアがサーバー上で動作するか。 - このソフトウェアが他のサーバー上では作動する。 - ソフトウェアの使用中にエラー・メッセージを受け取った場合は、そのソフトウェアに付属の説明書を参照して、メッセージの内容と問題の解決方法を調べてください。 - ソフトウェア・ベンダーに連絡してください。

USB ポートの問題

Universal Serial Bus (USB) ポートの問題を解決するには、この情報を使用します。

- 問題が解決するまで、「処置」の欄の推奨処置を、リストされている順に実行してください。
- 処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。
- IBM Support Web サイト () で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。

現象	処置
USB 装置が動作しない。	1. 次の点を確認します。 • 正しい USB デバイス・ドライバーがインストールされている。 • オペレーティング・システムが USB 装置をサポートしている。 2. Setup ユーティリティーで USB 構成オプションが正しく設定されていることを確認します (詳しくは、28 ページの『Setup ユーティリティーの使用』を参照)。 3. USB ハブを使用している場合は、USB 装置をハブから切り離しサーバーに直接接続してみます。

ビデオの問題

ビデオの問題を解決するには、この情報を使用します。

80 ページの『モニターおよびビデオの問題』を参照してください。

電源の問題の解決

電源の問題を解決するには、この情報を使用します。

このタスクについて

電源の問題を解決する際に困難が伴う可能性があります。例えば、短絡がいずれかの配電バスのどこかに存在している可能性があります。通常は、短絡により、過電流状態が原因で電源サブシステムがシャットダウンします。電源問題を診断する場合は、以下の一般手順を使用します。

手順

1. サーバーの電源をオフにし、すべての電源コードを切り離します。
2. 電源サブシステムのケーブルが緩んでいないかを調べます。また、短絡があるかどうか (例えば、回路ボード上に短絡の原因となる緩んだねじがあるかどうか) を調べます。
3. オペレーター情報パネル上で点灯している LED を確認します (Light Path 診断を参照)。
4. Light Path 診断パネル上のチェック・ログ LED が点灯している場合は、IMM イベント・ログで Pwr Rail の障害がないかを確認し、以下のステップを実行します。90 ページの表 6 は、各 Pwr Rail に関連付けられているコンポーネントと、それらのコンポーネントのトラブルシューティングを行う順序を示しています。

- a. すべての内部装置および外部装置に接続されているケーブルおよび電源コードを外します (195 ページの『内部ケーブルのルーティングおよびコネクタ』を参照)。パワー・サプライのコードは接続したままにしておいてください。
- b. Pwr rail A エラーの場合、以下のステップを実行します。
 - 1) (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。
 - 2) (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサを交換します。
- c. その他の Rail エラーの場合 (Pwr Rail A エラーについては、ステップ 4b を参照)、過電流条件の原因が判明するまで、障害のある Pwr Rail に関連付けられた各コンポーネントを、表 6 に示されている順序で一度に 1 つずつ取り外し、そのたびにサーバーを再始動します。

表 6. Pwr Rail エラーに関連付けられているコンポーネント

IMM イベント・ログの Pwr Rail エラー	コンポーネント
Pwr Rail A エラー	• マイクロプロセッサ 1
Pwr Rail B エラー	• マイクロプロセッサ 2
Pwr Rail C エラー	• PCI ライザー・カード・アセンブリー 1 にあるアダプター (取り付けられている場合) • PCI ライザー・カード・アセンブリー 1 • ファン 1 • DIMM 1 から 6
Pwr Rail D エラー	• デュアル・ポート・ネットワーク・アダプター • ファン 2 • DIMM 7 から 12
Pwr Rail E エラー	• ハード・ディスク • DIMM 13 から 18
Pwr Rail F エラー	• PCI ライザー・カード・アセンブリー 1 にあるアダプター (取り付けられている場合) • PCI ライザー・カード・アセンブリー 1 • ファン 4 • DIMM 19 から 24
Pwr Rail G エラー	• PCI アダプター電源ケーブル (ある場合) • ファン 3 • ハード・ディスク • ハード・ディスク・バックプレーン・アセンブリー

表 6. Pwr Rail エラーに関連付けられているコンポーネント (続き)

IMM イベント・ログの Pwr Rail エラー	コンポーネント
Pwr Rail H エラー	- ハード・ディスク電源ケーブル - ハード・ディスク - ハード・ディスク・バックプレーン または - PCI アダプター電源ケーブル - PCI ライザー・カード・アセンブリー 2 に取り付けられているアダプター - PCI ライザー・カード・アセンブリー 2

- d. 識別したコンポーネントを交換します。
5. サーバーがサーバーの始動に必要な最小構成になるまで、アダプターを取り外し、すべての内部装置および外部装置へのケーブルおよび電源コードを切り離します (最小構成については、63 ページの『パワー・サプライ LED』を参照)。
6. すべての電源コードを再接続し、サーバーの電源をオンにします。サーバーが正常に始動した場合は、問題が特定されるまで、アダプターおよび装置を一度に 1 つずつ取り付け直します。

タスクの結果

サーバーが最小構成でも始動しない場合は、63 ページの『パワー・サプライ LED』を参照して、問題が特定されるまで、最小構成のコンポーネントを一度に 1 つずつ交換します。

イーサネット・コントローラーの問題の解決

イーサネット・コントローラーの問題を解決するには、この情報を使用します。

このタスクについて

イーサネット・コントローラーをテストするために使用する方法は、使用しているオペレーティング・システムによって異なります。イーサネット・コントローラーの情報については、オペレーティング・システムの資料を参照し、イーサネット・コントローラー・デバイス・ドライバの README ファイルを参照してください。

以下の手順を試してみてください。

手順

- サーバーに付属した正しいデバイス・ドライバがインストール済みであること、およびそれらが最新レベルのものであることを確認してください。
- イーサネット・ケーブルが正しく取り付けられていることを確認します。
 - ケーブルは、すべての接続部がしっかり接続されていることが必要です。ケーブルが接続されているにもかかわらず、問題が解決しない場合は、別のケーブルで試してみてください。

- イーサネット・コントローラーを 100 Mbps で動作するように設定した場合は、カテゴリ 5 の配線を使用する必要があります。
- 2 つのサーバーを (ハブを使用せずに) 直接接続する場合、または X ポートを備えるハブを使用していない場合は、クロスオーバー・ケーブルを使用してください。ハブが X ポートを備えているかどうか判断するには、ポートのラベルを調べてください。ラベルに X が記載されている場合は、ハブは X ポートを備えています。
- ハブが自動ネゴシエーションをサポートしているかどうかを調べます。 サポートしていない場合は、内蔵イーサネット・コントローラーを、ハブの速度と二重モードに合わせて手動で構成してください。
- サーバーの背面パネルにあるイーサネット・コントローラー LED をチェックします。これらの LED は、コネクタ、ケーブル、またはハブに問題があるかどうかを示します。
 - イーサネット・コントローラーがハブからリンク・パルスを受信すると、イーサネット・リンク状況 LED が点灯します。LED がオフの場合は、コネクタまたはケーブルに欠陥があるか、またはハブに問題がある可能性があります。
 - イーサネット・コントローラーがイーサネット・ネットワークを介してデータを送信または受信すると、イーサネット送信/受信活動 LED が点灯します。イーサネットの送信/受信活動がオフの場合は、ハブとネットワークが作動していること、および正しいデバイス・ドライバーがインストールされていることを確認してください。
- サーバー背面の LAN 活動 LED をチェックしてください。LAN 活動 LED は、イーサネット・ネットワークでデータがアクティブであるときに点灯します。LAN 活動 LED がオフの場合は、ハブとネットワークが作動していること、および正しいデバイス・ドライバーがインストールされていることを確認してください。
- 問題を引き起こしているオペレーティング・システム固有の原因がないかどうかをチェックします。
- クライアントとサーバーのデバイス・ドライバーが同じプロトコルを使用していることを確認します。

タスクの結果

ハードウェアが正常に機能しているように見えるのに、イーサネット・コントローラーがネットワークに接続できない場合は、ネットワーク管理者は、ほかにエラーの原因が考えられないかどうかを調べる必要があります。

未解決問題の解決

Dynamic System Analysis (DSA) で障害を診断できなかった場合、またはサーバーが機能しない場合は、このセクションの情報を使用してください。

このタスクについて

障害 (継続的または再現性の低い) の原因がソフトウェアの問題にあると思われる場合は、88 ページの『ソフトウェアの問題』を参照してください。

CMOS メモリー内のデータの破損またはサーバー・ファームウェアの破損が、未解決問題の原因となる場合があります。 CMOS データをリセットするには、CMOS クリア・ジャンパー (JP1) を使用して CMOS メモリーを消去し、始動パスワードを変更します。詳しくは、18 ページの『システム・ボード・スイッチおよびジャンパー』を参照してください。 UEFI ファームウェアが破損していると思われる場合は、95 ページの『サーバー・ファームウェアのリカバリー (UEFI 更新の失敗)』を参照してください。

パワー・サプライが正しく動作している場合は、以下のステップを実行してください。

手順

1. サーバーの電源をオフにします。
2. サーバーのケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. 障害を特定できるまで、以下の装置を一度に 1 つずつ、取り外すかまたは切り離します。そのたびに、サーバーの電源をオンにして再構成を行ってください。
 - 外付け装置
 - サージ抑制装置 (サーバー上)
 - プリンター、マウス、および IBM 以外の装置。
 - 各アダプター。
 - ハード・ディスク
 - メモリー・モジュール。必要最小構成はスロット 1 に 2 GB DIMM です。
4. サーバーの電源を入れます。

タスクの結果

あるアダプターをサーバーから取り外すと問題が解消され、再び同じアダプターを取り付けると問題が再発する場合は、そのアダプターに原因があると考えられます。そのアダプターを別のアダプターと交換しても問題が再発する場合は、ライザー・カードに原因があると考えられます。

ネットワーキングの問題があると思われ、サーバーがすべてのシステム・テストにパスした場合は、サーバーの外部のネットワーク配線に問題がある可能性があります。

問題判別のヒント

ハードウェアとソフトウェアにはさまざまな組み合わせがあるため、以下の情報を利用して問題判別の補助としてください。

可能ならば、IBM に支援を要求するときにこの情報を準備しておいてください。

モデル名とシリアル番号は、次の図で示されるように、サーバー前面の ID ラベル上で見つけることができます。

注: 本書の説明図は、ご使用のハードウェアと多少異なる場合があります。

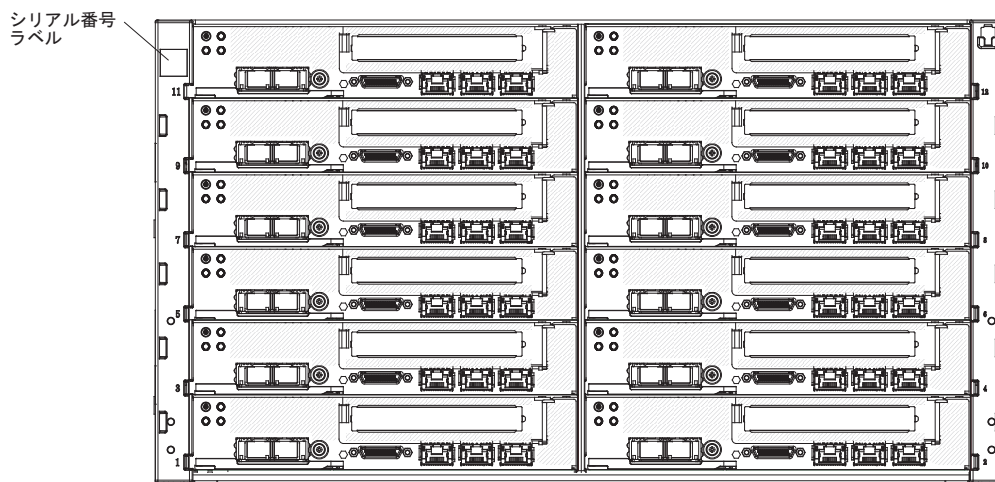


図 12. ID ラベル

- マシン・タイプおよびモデル
- マイクロプロセッサまたはハード・ディスクのアップグレード
- 障害の現象
 - サーバーは診断テストに失敗しますか?
 - 起こったことは何ですか? いつ? どこで?
 - 障害は単一のサーバーで発生するのか、または複数のサーバーで発生するのか。
 - その障害は再現可能か。
 - これまでにこのサーバー構成が正常に作動したことがあったか。
 - その構成で障害が発生する前に何か変更したか。
 - この障害を報告するのは初めてか。
- 診断プログラムのタイプおよびバージョン・レベル
- ハードウェア構成 (システム・サマリーの画面印刷)
- UEFI ファームウェア・レベル
- IMM ファームウェア・レベル
- オペレーティング・システム・ソフトウェア

問題によっては、作動するサーバーと作動しないサーバーの間で構成およびソフトウェア・セットアップを比較することで、解決できる場合があります。診断の目的でサーバーを相互に比較するときは、すべてのサーバーにおいて以下の要素が厳密に同じである場合に限り、サーバーが同じであると見なしてください。

- マシン・タイプおよびモデル
- UEFI ファームウェア・レベル
- IMM ファームウェア・レベル
- アダプターおよび接続機構、およびそれぞれの位置
- アドレス・ジャンパー、ターミネーター、およびケーブル配線
- ソフトウェアのバージョンとレベル
- 診断プログラムのタイプとバージョン・レベル

- 構成オプションの設定
- オペレーティング・システム制御ファイルのセットアップ

IBM に保守を依頼する方法については、419 ページの『付録 D. ヘルプおよび技術サポートの入手』を参照してください。

サーバー・ファームウェアのリカバリー (UEFI 更新の失敗)

サーバー・ファームウェアをリカバリーするには、この情報を使用します。

重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。

更新中の電源障害などによってサーバー・ファームウェアが損傷した場合は、次のいずれかの方法でサーバー・ファームウェアをリカバリーできます。

- **インバンド方式:** ブート・ブロック・ジャンパー (自動ブート・リカバリー) またはサーバーの Firmware Update Package Service Pack を使用して、サーバー・ファームウェアをリカバリーする。
- **アウト・オブ・バンド方式:** 最新のサーバー・ファームウェア更新パッケージを使用し、IMM Web Interface からファームウェアを更新する。

注: サーバー更新パッケージは、以下のいずれかから入手できます。

- ワールド・ワイド・ウェブ (WWW) からサーバー・ファームウェアの更新をダウンロードする。
- IBM サービス技術員に連絡する。

ワールド・ワイド・ウェブ (WWW) からサーバー・ファームウェア更新パッケージをダウンロードするには、 にアクセスしてください。

サーバーのフラッシュ・メモリーは、1 次バンクとバックアップ・バンクから構成されます。UEFI ファームウェアのブート可能イメージを、バックアップ・バンクに維持しておく必要があります。1 次バンク内のサーバー・ファームウェアが破損した場合、UEFI ブート・バックアップ・ジャンパー (JP2)でバックアップ・バンクを手動でブートできます。または、イメージが破損している場合には、Automated Boot Recovery 機能を使用して自動的にバックアップ・バンクをブートできます。

インバンドの手動リカバリー方式

サーバー・ファームウェアを回復し、サーバー操作を 1 次バンクに復元するには、この情報を使用します。

このタスクについて

サーバー・ファームウェアをリカバリーし、サーバー操作を 1 次バンクに復元するには、次のステップを実行してください。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 110 ページの『取り付けに関するガイドライン』をお読みください。
2. サーバーの電源をオフにして、すべての電源コードおよび外部ケーブルを外します。
3. カバーを取り外します (120 ページの『コンピュート・ノード・カバーの取り外し』を参照)。
4. システム・ボード上の UEFI ブート・バックアップ・ジャンパー (JP2) の位置を確認します。

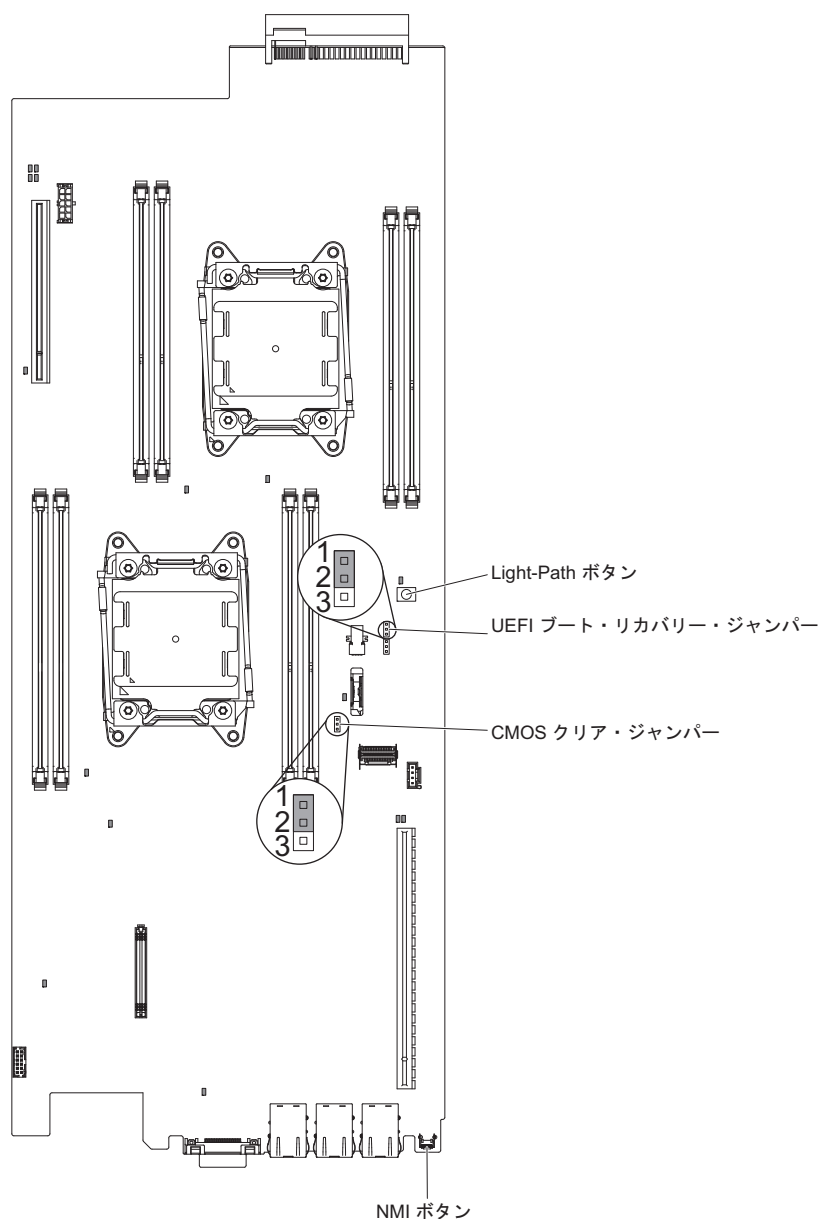


図 13. UEFI ブート・バックアップ・ジャンパー (JP2) の位置

5. UEFI ブート・バックアップ・ジャンパー (JP2) をピン 1 と 2 からピン 2 と 3 に移動し、UEFI リカバリー・モードを使用可能にします。

6. サーバーのカバーを取り付け直し、電源コードをすべて再接続します。
7. サーバーを再始動します。システムはパワーオン・セルフテスト (POST) を開始します。
8. ダウンロードしたファームウェア更新パッケージによりサポートされるオペレーティング・システムにサーバーをブートします。
9. ファームウェア更新パッケージの README ファイルの指示に従ってファームウェアの更新を実行します。
10. サーバーの電源をオフにして、すべての電源コードおよび外部ケーブルを切り離してから、サーバーのカバーを取り外します (120 ページの『コンピュータ・ノード・カバーの取り外し』を参照)。
11. UEFI ブート・バックアップ・ジャンパー (JP2) をピン 2 と 3 から基本位置 (ピン 1 と 2) に戻します。
12. カバーを再び取り付けます (122 ページの『コンピュータ・ノード・カバーの取り付け』を参照)。
13. 取り外した電源コードおよびすべてのケーブルを再接続します。
14. サーバーを再始動します。システムはパワーオン・セルフテスト (POST) を開始します。これによって 1 次バンクがリカバリーされない場合、引き続き次のステップを実行します。
15. カバーを取り外します (120 ページの『コンピュータ・ノード・カバーの取り外し』を参照)。
16. システム・バッテリーを取り外すことにより、CMOS をリセットします (139 ページの『システム・バッテリーの取り外し』を参照)。
17. システム・バッテリーをサーバーから約 5 分から 15 分間取り外したままにします。
18. システム・バッテリーを再取り付けします (141 ページの『システム・バッテリーの再取り付け』を参照)。
19. カバーを再び取り付けます (122 ページの『コンピュータ・ノード・カバーの取り付け』を参照)。
20. 取り外した電源コードおよびすべてのケーブルを再接続します。
21. サーバーを再始動します。システムはパワーオン・セルフテスト (POST) を開始します。
22. これらのリカバリー作業で問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してサポートを依頼してください。

インバンドの自動ブート・リカバリー方式

インバンドの自動ブート・リカバリー方式を使用するには、この情報を使用します。

このタスクについて

注: オペレーター情報パネル上でシステム・エラー LED が点灯しており、ログ・エントリーがあるか、Booting Backup Image がファームウェア・スプラッシュ画面に表示される場合は、この方式を使用します。それ以外の場合は、インバンドの手動リカバリー方式を使用してください。

手順

1. ダウンロードしたファームウェア更新パッケージによりサポートされるオペレーティング・システムにサーバーをブートします。
2. ファームウェア更新パッケージの README ファイルの指示に従ってファームウェアの更新を実行します。
3. サーバーを再始動します。
4. ファームウェア・スプラッシュ画面で、1 次バンクに復元するようにプロンプトが出されたら、F3 を押します。サーバーは 1 次バンクからブートします。

アウト・オブ・バンド方式

アウト・オブ・バンド方式を使用するには、この情報を使用します。

IMM2 資料 (*Integrated Management Module II User's Guide*) を

<http://www-947.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnocid=migr-5086346> で参照してください。

自動ブート・リカバリー (ABR)

サーバーが始動するときに、統合管理モジュール II が 1 次バンクのサーバー・ファームウェアに問題を検出した場合、サーバーはバックアップ・ファームウェア・バンクに自動的に切り替わり、ユーザーに 1 次バンクのファームウェアを回復する機会を与えます。

このタスクについて

UEFI ファームウェアを回復する指示については、95 ページの『サーバー・ファームウェアのリカバリー (UEFI 更新の失敗)』を参照してください。1 次バンクのファームウェアを回復したら、以下のステップを実行してください。

手順

1. サーバーを再始動します。
2. Press F3 to restore to primary というプロンプトが表示されたら、F3 を押して 1 次バンクからサーバーを始動します。

Nx 回ブート失敗

装置の追加やアダプターのファームウェア更新などの構成変更、およびファームウェアまたはアプリケーションのコードの問題により、サーバーの POST (パワーオン・セルフテスト) が失敗することがあります。

これが発生した場合、サーバーは以下のいずれかの方法で応答します。

- サーバーは自動的に再始動し、POST を再試行します。
- サーバーは停止し、ユーザーはサーバーの POST を再試行するために、サーバーを手動で再始動する必要があります。

指定された回数の連続試行 (自動でも手動でも) の後、Nx 回ブート失敗機能により、サーバーはデフォルトの UEFI 構成に復帰し、Setup ユーティリティーが開始され、ユーザーが構成に対し必要な修正を加えてサーバーを再始動できるようにし

ます。サーバーがデフォルトの構成で POST を正常に完了できない場合、システム・ボードに問題がある可能性があります。

Nx 回ブート失敗機能をトリガーする連続再始動試行回数を指定するには、Setup ユーティリティで、「**System Settings**」 > 「**Recovery**」 > 「**POST Attempts**」 > 「**POST Attempts Limit**」をクリックします。選択可能なオプションは、3、6、9、および 255 (Nx 回ブート失敗機能を使用不可にする) です。

第 4 章 部品リスト、IBM NeXtScale nx360 M4 コンピュート・ノード Type 5455

IBM NeXtScale nx360 M4 コンピュート・ノード Type 5455 の部品リスト。

IBM NeXtScale nx360 M4 コンピュート・ノード Type 5455 サーバー用に、以下の交換可能なコンポーネントが入手可能です。ただし、『交換可能なサーバー・コンポーネント』に別途指定されたものを除きます。更新された部品リストについては、<http://www.ibm.com/supportportal> にアクセスしてください。

交換可能なサーバー・コンポーネント

IBM NeXtScale nx360 M4 コンピュート・ノード Type 5455 の交換可能なサーバー・コンポーネント。

交換可能なコンポーネントは、構造部品、および現場交換可能ユニット (FRU) から構成されています。

- **構造部品:** 構造部品 (シャーシ・アセンブリー、上部カバー、ベゼルなどのコンポーネント) の購入および交換はお客様の責任で行っていただきます。お客様の要請により IBM が構造部品の入手または取り付けを行った場合は、サービス料金を請求させていただきます。構成部品のリストについては、104 ページの『構造部品』を参照してください。
- **Tier 1 の、お客様交換可能ユニット (CRU):** IBM が Tier 1 と指定する CRU の交換はお客様ご自身の責任で行っていただきます。お客様の要請により IBM が Tier 1 CRU の導入を行った場合は、その料金を請求させていただきます。
- **Tier 2 の、お客様交換可能ユニット (CRU):** IBM が Tier 2 と指定する CRU はお客様ご自身で取り付けることができますが、対象のサーバーに関して指定された保証サービスの種類に基づき、追加料金なしで IBM に取り付け作業を依頼することもできます。

保証の条件およびサービスと支援の利用については、サーバーに付属の「保証情報」資料を参照してください。サービスと支援を受ける方法について詳しくは、419 ページの『付録 D. ヘルプおよび技術サポートの入手』を参照してください。

最新のオプション・サポート計画については、IBM ServerProven Web サイトを参照してください。

次の図は、このサーバーの主なコンポーネントを示しています。本書の説明図は、ご使用のハードウェアと多少異なる場合があります。構造部品のリストについては、104 ページの『構造部品』を参照してください。

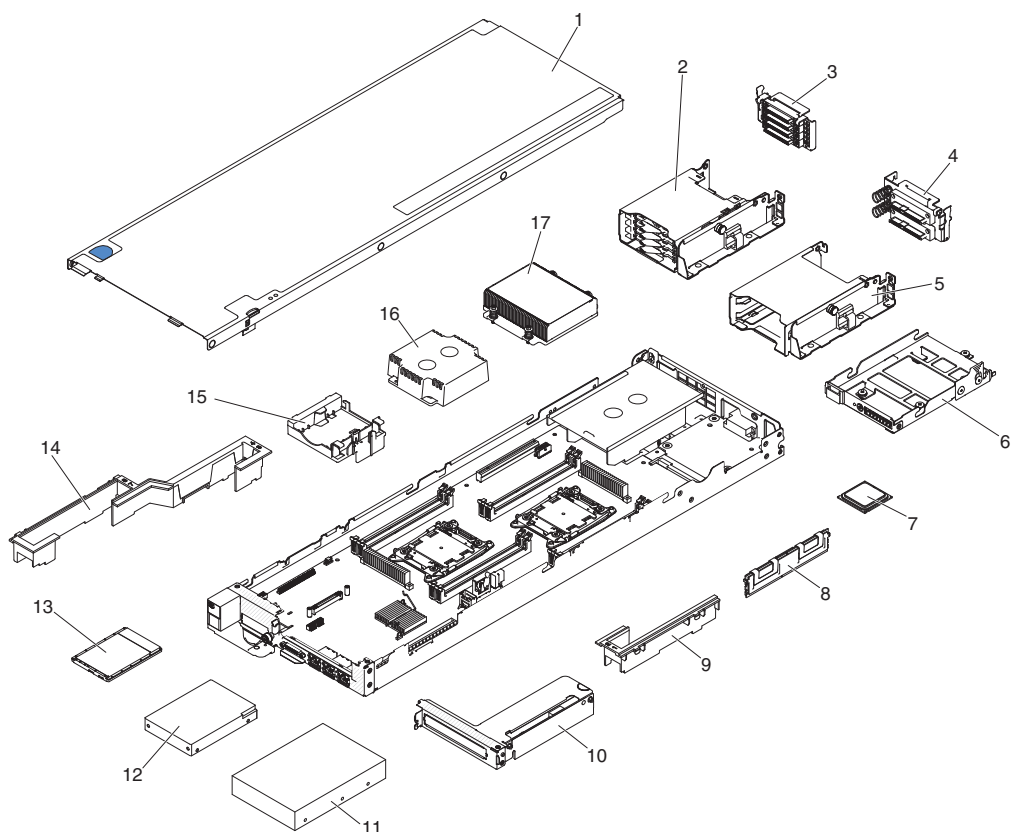


図 14. サーバー・コンポーネント

下表にはサーバー交換可能コンポーネントの部品番号が記載されています。

索引	説明	CRU の部品番号 (Tier 1)	CRU の部品番号 (Tier 2)
3	1.8 型 SSD ケーブル・アセンブリー (ソフトウェア RAID)	00AM452	
3	1.8 型 SSD ケーブル・アセンブリー (ハードウェア RAID)	00AM453	
4	2.5 型 HDD 2x ケーブル垂直ケーブル・アセンブリー (ハードウェア RAID)	46W2739	
4	1.8 型 HDD 2x ケーブル直角ケーブル・アセンブリー (ソフトウェア RAID)	46W2740	
7	マイクロプロセッサ、Intel Xeon E5-2695 v2 2.4 GHz、30 MB、1866 MHz、115 W (12 コア)		00Y2776
7	マイクロプロセッサ、Intel Xeon E5-2697 v2 2.7 GHz、30 MB、1866 MHz、130 W (12 コア)		00Y2777
7	マイクロプロセッサ、Intel Xeon E5-2620 v2 2.1 GHz、15 MB、1600 MHz、80 W (6 コア)		00Y2780
7	マイクロプロセッサ、Intel Xeon E5-2640 v2 2.0 GHz、20 MB、1600 MHz、95 W (8 コア)		00Y2782
7	マイクロプロセッサ、Intel Xeon E5-2650 v2 2.6 GHz、20 MB、1866 MHz、95 W (8 コア)		00Y2783
7	マイクロプロセッサ、Intel Xeon E5-2660 v2 2.2 GHz、25 MB、1866 MHz、95 W (10 コア)		00Y2784

索引	説明	CRU の部品番号 (Tier 1)	CRU の部品番号 (Tier 2)
7	マイクロプロセッサ、Intel Xeon E5-2670 v2 2.5 GHz、25 MB、1866 MHz、115 W (10 コア)		00Y2785
7	マイクロプロセッサ、Intel Xeon E5-2680 v2 2.8 GHz、25 MB、1866 MHz、115 W (10 コア)		00Y2786
7	マイクロプロセッサ、Intel Xeon E5-2690 v2 3.0 GHz、25 MB、1866 MHz、130 W (10 コア)		00Y2787
8	メモリー、4 GB dual-rank 1.35 V、DDR3、1600 MHz、UDIMM	00D5014	
8	メモリー、16 GB dual-rank 1.5 V、DDR3、1866 MHz、RDIMM	46W0670	
8	メモリー、8 GB dual-rank 1.5 V、DDR3、1866 MHz、RDIMM	00D5042	
8	メモリー、8 GB dual-rank 1.35 V、DDR3、1600 MHz、RDIMM	00D5046	
8	メモリー、4 GB dual-rank 1.5 V、DDR3、1866 MHz、RDIMM	00D5030	
8	メモリー、4 GB dual-rank 1.35 V、DDR3、1600 MHz、RDIMM	46W0737	
10	PCI ライザー・ブラケット・アセンブリー	00AM446	
11	ハード・ディスク、3.5 型 500 GB、6 Gbps SATA 非ホット・スワップ	00AD006	
11	ハード・ディスク、3.5 型 1 TB、6 Gbps SATA 非ホット・スワップ	00AD011	
11	ハード・ディスク、3.5 型 2 TB、6 Gbps SATA 非ホット・スワップ	00AD016	
11	ハード・ディスク、3.5 型 3 TB、6 Gbps SATA 非ホット・スワップ	00AD021	
12	ハード・ディスク、2.5 型 250 GB、6 Gbps SATA 非ホット・スワップ	00AD031	
12	ハード・ディスク、2.5 型 500 GB、6 Gbps SATA 非ホット・スワップ	00AD036	
12	ハード・ディスク、2.5 型 1 TB、6 Gbps SATA 非ホット・スワップ	00AD041	
12	ハード・ディスク、2.5 型 146 GB、15K 6 Gbps SAS 非ホット・スワップ	00AD046	
12	ハード・ディスク、2.5 型 300 GB、15K 6 Gbps SAS 非ホット・スワップ	00AD051	
12	ハード・ディスク、2.5 型 300 GB 10K 6 Gbps SAS 非ホット・スワップ	00AD056	
12	ハード・ディスク、2.5 型 600 GB 10K 6 Gbps SAS 非ホット・スワップ	00AD061	
12	ハード・ディスク、2.5 型 900 GB、10K 6 Gbps SAS 非ホット・スワップ	00AD066	
13	ソリッド・ステート・ドライブ、1.8 型、SATA、100 GB	00W1121	
13	ソリッド・ステート・ドライブ、1.8 型、SATA、256 GB	00W1228	
13	ソリッド・ステート・ドライブ、1.8 型、SATA、64 GB	49Y5835	
17	ヒートシンク		00Y7930
17	ヒートシンク		00Y7931
	ストレージ・トレイ	00AM425	
	エアー・バッフル・ハード・ディスク・ケージ・アセンブリー	46W2801	
	ServeRAID M1115 SAS/SATA コントローラー	46C8928	
	N2115 SAS/SATA HBA	46C8989	

索引	説明	CRU の部品番号 (Tier 1)	CRU の部品番号 (Tier 2)
	N2125 SAS/SATA HBA	46C9011	
	ServeRAID H1110 SAS/SATA コントローラー	81Y4494	
	FDR10 Infinite Band Mezz モジュール	00AM518	
	FDR14 Infinite Band Mezz デュアル・ポート組み込みアダプター	00J6248	
	ノード・プレーナー・トレイ		46W2916
	構成ケーブル	00AM460	
	T8 TORX ドライバー (シャーシ背面で提供)	00FK488	
	熱伝導グリース・キット		41Y9292
	アルコール・ワイプ		59P4739

構造部品

構造部品は、IBM の「保証の内容と制限」の対象外です。構造部品は、IBM 小売店で注文することができます。

以下の構造部品は、小売店で購入可能です。

表 7. 構造部品、Type Type 5455

索引	説明	部品番号
1	トップ・カバー	00AM442
2	1.8 型 SSD ケージ・アセンブリー	00AM451
5	2.5 型 HDD ケージ・アセンブリー	00AM450
6	3.5 型 HDD ケージ・アセンブリー	00AM449
9	エアー・バッフル	00AM441
14	エアー・バッフル (長)	00AM440
15	バッテリー・ホルダー	00AM443
16	マイクロプロセッサ・ブランク・フィラー	00AM448
	ケーブル・カバー	00AM459
	フィラー、デュアル・ポート 10 Gb アダプター	00AM444
	ハード・ディスク・ケージ	00AM461
	ハード・ディスク・フィラー	00AM462
	電源/LED ベゼル	00AM445
	PCI ダミー	00AM447
	ラベル、GBM	00AM454
	各種キット、コンピュート・ノード	00AM457
	各種キット、ストレージ・トレイ	00AM463
	3U ブラケット・キット	94Y7628

構造部品を注文するには、以下のステップを実行します。

注: IBM Web サイトは、定期的に変更されます。実際の手順が本書に記述されているものと多少異なっていることがあります。

1. <http://www.ibm.com> に進みます。
2. 「**Products**」メニューから「**Upgrades, accessories & parts**」を選択します。
3. 「**Obtain maintenance parts**」をクリックし、説明に従って小売店に部品を注文します。

注文の際にヘルプが必要な場合は、小売部品ページにリストされているフリーダイヤル番号に電話するか、最寄りの IBM 担当員にお問い合わせください。

電源コード

本製品を安全に使用するために、接地接続機構プラグ付き電源コードが提供されています。感電事故を避けるため、常に正しく接地されたコンセントで電源コードおよびプラグを使用してください。

米国およびカナダで使用する IBM 電源コードは、Underwriter's Laboratories (UL) にリストされており、Canadian Standards Association (CSA) の認証を受けています。

115 V で作動する装置の場合: UL が示して CSA が認定するコード・セットを使用してください。コード・セットの構成は、最小 18 AWG、タイプ SVT または SJT、3 線コード、最大 15 フィート (長さ 4.5 m) およびパラレル・ブレード、接地タイプの接続プラグ 15 アンペア、125 V です。

230 ボルトで動作するユニット (米国で使用) の場合、最小 18 AWG、タイプ SVT または SJT、3 芯コード、最大長 15 フィートおよびタンデム・ブレード、定格 15 アンペア、250 ボルトの接地タイプ接続プラグで構成される、UL リストと CSA 認定のコード・セットを使用します。

230 ボルト (米国以外における) 用の装置には、接地端子付きプラグを使用した電源コードをご使用ください。これは、装置を使用する国の安全についての適切な承認を得たものでなければなりません。

特定の国または地域用の電源コードは、通常その国または地域でだけお求めいただけます。

電源コードの 部品番号	使用される国および地域
39M5200	電源コード (4.3 m) 100 V: IEC320 C13 - NEMA 5-15P
39M5378	ジャンパー電源コード (4.3 m) 100-200 V/PDU: IEC320 C13 - IEC320 C14

電源コードの 部品番号	使用される国および地域
39M5392	Afghanistan, Albania, Algeria, Andorra, Angola, Armenia, Austria, Azerbaijan, Belarus, Belgium, Benin, Bosnia and Herzegovina, Bulgaria, Burkina Faso, Burundi, Cambodia, Cameroon, Cape Verde, Central African Republic, Chad, Comoros, Congo (Democratic Republic of), Congo (Republic of), Cote D'Ivoire (Ivory Coast), Croatia (Republic of), Czech Republic, Dahomey, Djibouti, Egypt, Equatorial Guinea, Eritrea, Estonia, Ethiopia, Finland, France, French Guyana, French Polynesia, Germany, Greece, Guadeloupe, Guinea, Guinea Bissau, Hungary, Iceland, Indonesia, Iran, Kazakhstan, Kyrgyzstan, Laos (People's Democratic Republic of), Latvia, Lebanon, Lithuania, Luxembourg, Macedonia (former Yugoslav Republic of), Madagascar, Mali, Martinique, Mauritania, Mauritius, Mayotte, Moldova (Republic of), Monaco, Mongolia, Morocco, Mozambique, Netherlands, New Caledonia, Niger, Norway, Poland, Portugal, Reunion, Romania, Russian Federation, Rwanda, Sao Tome and Principe, Saudi Arabia, Senegal, Serbia, Slovakia, Slovenia (Republic of), Somalia, Spain, Suriname, Sweden, Syrian Arab Republic, Tajikistan, Tahiti, Togo, Tunisia, Turkey, Turkmenistan, Ukraine, Upper Volta, Uzbekistan, Vanuatu, Vietnam, Wallis and Futuna, Yugoslavia (Federal Republic of), Zaire
39M5130 39M5179	Denmark
39M5144	Bangladesh, Lesotho, Macao, Maldives, Namibia, Nepal, Pakistan, Samoa, South Africa, Sri Lanka, Swaziland, Uganda
39M5151	アブダビ、バーレーン、ボツワナ、ブルネイ・ダルサラーム、チャネル諸島、中国 (香港特別行政区)、Cyprus, Dominica, Gambia, Ghana, Grenada, Iraq, Ireland, Jordan, Kenya, Kuwait, Liberia, Malawi, Malaysia, Malta, Myanmar (Burma), Nigeria, Oman, Polynesia, Qatar, Saint Kitts and Nevis, Saint Lucia, Saint Vincent and the Grenadines, Seychelles, Sierra Leone, Singapore, Sudan, Tanzania (United Republic of), Trinidad and Tobago, United Arab Emirates (Dubai), United Kingdom, Yemen, Zambia, Zimbabwe
39M5158	Liechtenstein, Switzerland
39M5165	Chile, Italy, Libyan Arab Jamahiriya
39M5172	Israel
39M5095	220 - 240 V Antigua and Barbuda, Aruba, Bahamas, Barbados, Belize, Bermuda, Bolivia, Caicos Islands, Canada, Cayman Islands, Colombia, Costa Rica, Cuba, Dominican Republic, Ecuador, El Salvador, Guam, Guatemala, Haiti, Honduras, Jamaica, Mexico, Micronesia (Federal States of), Netherlands Antilles, Nicaragua, Panama, Peru, Philippines, Saudi Arabia, Thailand, Taiwan, United States of America, Venezuela
39M5081	110 - 120 V Antigua and Barbuda, Aruba, Bahamas, Barbados, Belize, Bermuda, Bolivia, Caicos Islands, Canada, Cayman Islands, Colombia, Costa Rica, Cuba, Dominican Republic, Ecuador, El Salvador, Guam, Guatemala, Haiti, Honduras, Jamaica, Mexico, Micronesia (Federal States of), Netherlands Antilles, Nicaragua, Panama, Peru, Philippines, Saudi Arabia, Thailand, Taiwan, United States of America, Venezuela
39M5076 39M5512	米国
39M5463	台湾

電源コードの 部品番号	使用される国および地域
39M5087	タイ
39M5219	北朝鮮、韓国
39M5199	日本
39M5068	アルゼンチン、パラグアイ、ウルグアイ
39M5226	インド
39M5240 39M5241	Brazil
39M5375 39M5378 39M5509	カナダ、ドイツ、米国

第 5 章 コンポーネントの取り外しと交換

以下の情報を使用して、サーバー・コンポーネントの取り外しおよび交換を行います。

交換可能なコンポーネントには、次のタイプがあります。

- **構造部品:** 構造部品 (シャーシ・アセンブリー、上部カバー、ベゼルなどのコンポーネント) の購入および交換はお客様の責任で行っていただきます。お客様の要請により IBM が構造部品の入手または取り付けを行った場合は、サービス料金を請求させていただきます。
- **Tier 1 の、お客様交換可能ユニット (CRU):** IBM が Tier 1 と指定する CRU の交換はお客様ご自身の責任で行っていただきます。お客様の要請により IBM が Tier 1 CRU の導入を行った場合は、その料金を請求させていただきます。
- **Tier 2 の、お客様交換可能ユニット (CRU):** IBM が Tier 2 と指定する CRU はお客様ご自身で取り付けることができますが、対象のサーバーに関して指定された保証サービスの種類に基づき、追加料金なしで IBM に取り付け作業を依頼することもできます。

コンポーネントが構造部品であるか、Tier 1 CRU であるか、Tier 2 CRU であるかを判別するには、101 ページの『第 4 章 部品リスト、IBM NeXtScale nx360 M4 コンピュート・ノード Type 5455』を参照してください。

保証の条件に関する情報については、サーバーに付属の資料「保証情報」を参照してください。

サービスと支援を受ける方法については、419 ページの『付録 D. ヘルプおよび技術サポートの入手』を参照してください。

取り付けツール

IBM NeXtScale nx360 M4 コンピュート・ノードで部品の取り外しまたは交換を行うには、以下のツールが必要です。

- プラス・ドライバー
- T8 TORX ドライバー (部品番号 00FK488、シャーシ背面で提供)
- マイナス・ドライバー

オプション装置の取り付け

一部のコンピューター・ノード・コンポーネントは、オプション装置としても交換可能コンポーネントとしても使用可能です。取り付け手順は、オプション装置でも交換可能コンポーネントでも同じです。

取り付けに関するガイドライン

取り付けについて、以下の情報を使用します。

重要: コンピュート・ノードの電源が入っているときに、コンピュート・ノード内のコンポーネントへ静電気が放出されると、システムが停止して、結果的にデータが失われるおそれがあります。こうした潜在的な問題が起きないように、ホット・スワップ装置の取り付けまたは取り外しを行うときは、常に静電気放電用のリスト・ストラップを着用するか、またはその他の接地対策を採用してください。

オプション装置を取り付ける前に、以下の情報をお読みください。

- vii ページの『安全について』および 112 ページの『静電気に弱い装置の取り扱い』に記載されている安全上の注意をお読みください。この情報は、安全に作業するのに役立ちます。
- 取り付けるデバイスがサポートされていることを確認します。コンピュート・ノードでサポートされているオプション装置のリストについては、<http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us>を参照してください。
- 新規のコンピュート・ノードを取り付ける場合は、この機会を利用して最新のファームウェア更新をダウンロードし、適用してください。このステップを行うことにより、既知の問題が対処され、コンピュート・ノードが最高レベルのパフォーマンスで機能できるようになります。コンピュート・ノードのファームウェア更新をダウンロードするには、<http://www.ibm.com/support/fixcentral>に進みます。

重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。

ファームウェアの更新、管理、およびデプロイ用のツールに関する追加情報については、ToolsCenter for System x and BladeCenter (<http://publib.boulder.ibm.com/infocenter/toolscctr/v1r0/>) を参照してください。

- オプションのハードウェアを取り付ける前に、コンピュート・ノードが正しく作動していることを確認してください。コンピュート・ノードを始動し、オペレーティング・システムがインストール済みの場合はそのオペレーティング・システムが始動することを確認します。または、19990305 エラー・コードが表示されていることを確認します。このエラー・コードは、オペレーティング・システムが検出されていないが、コンピュート・ノードが正しく作動していることを示します。コンピュート・ノードが正常に作動しない場合は、71 ページの『DSA Preboot 診断プログラムの実行』に記載の診断の実行方法についての情報を参照してください。
- 作業を行う区域の整理整とんを心掛けてください。取り外したカバーやその他の部品は、安全な場所に置いてください。
- 自分 1 人では重すぎると思われる物体を持ち上げようとしないでください。重い物体を持ち上げる必要がある場合は、以下の予防措置に従ってください。
 - 足元が安全で、滑るおそれがないことを確認します。
 - 足の間でオブジェクトの重量が同量になるよう分散します。

- ゆっくりとした持ち上げる力を使用します。重い物体を持ち上げるときは、決して身体を急に動かしたり、ひねったりしないでください。
- 背筋を痛めないよう、脚の筋肉を使用して立ち上がるか、押し上げるようにして持ち上げます。
- コンピュート・ノード、モニター、およびその他の装置用に、適切に接地されたコンセントの数量が十分であることを確認してください。
- ディスク・ドライブを変更する場合は重要なデータはすべてバックアップします。
- 小型のマイナス・ドライバー、小型のプラス・ドライバー、および T8 TORX ドライバー（シャーシ背面で提供）を用意します。
- システム・ボードおよび内部コンポーネントのエラー LED を表示するには、コンピュート・ノードを電源に接続しておく必要があります。
- ホット・スワップ・パワー・サプライ、ホット・スワップ・ファン、またはホット・プラグ USB デバイスを取り付けたり、交換するのに、コンピュート・ノードの電源をオフにする必要はありません。ただし、アダプター・ケーブルの取り外しや取り付けが必要なステップを実行する場合は、前もってコンピュート・ノードの電源をオフにする必要があります。また、ライザー・カードの取り外しや取り付けが必要なステップを実行する場合は、前もってコンピュート・ノードから給電部を切り離しておく必要があります。
- コンポーネント上の青色の表示はタッチ・ポイントを示しています。コンポーネントをコンピュート・ノードから取り外したり、取り付けたりするとき、またはラッチを開閉したりするときなどに、このタッチ・ポイントをつかみます。
- コンポーネント上のオレンジ色の表示、またはコンポーネント上やその付近にあるオレンジ色のラベルは、そのコンポーネントがホット・スワップ可能であることを示しています。ホット・スワップが可能な場合、コンピュート・ノードとオペレーティング・システムがホット・スワップ機能をサポートしていれば、コンピュート・ノードの稼働中でもそのコンポーネントの取り外しや取り付けが行えます。（オレンジのラベルは、ホット・スワップ・コンポーネントのタッチ・ポイントも示しています。）特定のホット・スワップ・コンポーネントの取り外しまたは取り付けを行う前に、そのコンポーネントの取り外しまたは取り付けに関して行う可能性があるすべての追加指示を参照してください。
- コンピュート・ノードに対する作業が終了したら、安全用のシールド、ガード、ラベル、および接地ワイヤーをすべて再取り付けします。

システムの信頼性に関するガイドライン

システムの適切な冷却と信頼性を確保するために、以下の要件を満たしていることを確認してください。

- すべてのドライブ・ベイには、ドライブまたはフィラー・パネル、およびその中に電磁適合性 (EMC) シールドが取り付けられていること。
- それぞれのパワー・サプライ・ベイにパワー・サプライまたはフィラーが取り付けられている。
- コンピュート・ノードに冗長電源が備わっている場合は、各パワー・サプライ・ベイにパワー・サプライが取り付けられていること。
- コンピュート・ノード冷却システムが正しく機能するように、コンピュート・ノードの回りに十分なスペースを確保してあること。約 50 mm の空きスペースを

コンピュータ・ノードの前面および背面の周囲に確保してください。ファンの前には物を置かないでください。適切な冷却と空気の流れを確保するために、コンピュータ・ノード・カバーを元通りに取り付けてからコンピュータ・ノードの電源をオンにしてください。コンピュータ・ノードのカバーを取り外して長時間(30 分以上) コンピュータ・ノードを操作すると、コンピュータ・ノードのコンポーネントが損傷を受けることがあります。

- オプション・アダプターに付属の配線手順に従っていること。
- 障害のあるファンを 48 時間以内に交換していること。
- ホット・スワップ・ファンを取り外してから 30 秒以内に元に戻した。
- ホット・スワップ・ドライブを取り外してから 2 分以内に元に戻した。
- 障害のあるホット・スワップ・パワー・サプライは、取り外してから 2 分以内に取り替えること。
- エアー・バッフルを取り付けずにコンピュータ・ノードを作動させないこと。エアー・バッフルを取り付けずにコンピュータ・ノードを動作させると、マイクロプロセッサがオーバーヒートする原因となる場合があります。
- マイクロプロセッサのソケット 2 にソケット・カバーまたはマイクロプロセッサとヒートシンクが常にある。
- 2 つ目のマイクロプロセッサ・オプションを取り付けた場合、4 つ目および 6 つ目のファンが取り付け済みであること。

静電気に弱い装置の取り扱い

静電気に弱い装置を取り扱うには、以下の情報を使用します。

重要: 静電気によってコンピュータ・ノードやその他の電子部品が損傷するおそれがあります。損傷を避けるために、静電気の影響を受けやすい部品は、取り付ける準備ができるまで帯電防止パッケージに入れておいてください。

静電気の放電による損傷のおそれを減らすために、次の注意事項を守ってください。

- 動きを制限する。動くとき、周囲に静電気が蓄積されることがあります。
- 静電防止対策の採用が推奨されます。例えば、静電気放電用のリスト・ストラップがあればそれを着用してください。電源をオンにしたコンピュータ・ノードの内部で作業を行うときは、常に静電気放電用のリスト・ストラップを着用するか、またはその他の接地対策を採用してください。
- 部品は、縁または枠を持って慎重に取り扱ってください。
- はんだ付けの部分やピン、露出した回路には触れないでください。
- 部品は他人が手で触れたり、損傷したりする可能性のある場所に放置しないでください。
- 部品を帯電防止パッケージに入れたまま、コンピュータ・ノードの外側の塗装されていない金属面に 2 秒以上接触させてください。これにより、パッケージとご自分の身体から静電気が排出されます。
- 部品をそのパッケージから取り出して、それを下に置かずに直接コンピュータ・ノードに取り付けてください。部品を下に置く必要がある場合は、その帯電防止パッケージに戻します。部品をコンピュータ・ノードのカバーや金属面の上には置かないでください。

- 寒い天候では、部品の取り扱いには特に注意してください。暖房によって室内の湿度が下がり、静電気が増えます。

装置またはコンポーネントの返却

装置またはコンポーネントの返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、パーツがお手元に届いたときの配送用パッケージ材がある場合は、それを使用して荷造りしてください。

コンピュータ・ノード構成の更新

コンピュータ・ノード構成を更新するには、この情報を使用します。

内部デバイスの追加または取り外しを行った後に初めてコンピュータ・ノードを始動する場合、構成が変更されたことを示すメッセージが表示される場合があります。このとき新しい構成設定値を保存できるように **Setup** ユーティリティが自動的に開始します。**Setup** ユーティリティについて詳しくは、28 ページの『**Setup** ユーティリティの使用』を参照してください。

一部の装置の場合、インストールが必要なデバイス・ドライバーがあります。デバイス・ドライバーのインストールについては、それぞれの装置に付属の資料を参照してください。

コンピュータ・ノードは、取り付けられているマイクロプロセッサの数に関わらず、対称マルチプロセッシング (SMP) コンピュータ・ノードとして作動します。最適のパフォーマンスを発揮するためには、SMP をサポートするオペレーティング・システムにアップグレードする必要があります。詳しくは、オペレーティング・システムの資料を参照してください。

シャーシからのコンピュータ・ノードの取り外し

NeXtScale nx360 M4 コンピュータ・ノードからコンピュータ・ノードを取り外すには、この情報を使用します。

始める前に

コンピュータ・ノードを取り外す前に、以下のステップを実行してください。

1. vii ページの『安全について』および 110 ページの『取り付けに関するガイドライン』をお読みください。
2. コンピュータ・ノードが稼働中の場合は、オペレーティング・システムをシャットダウンします。
3. 電源ボタンを押してコンピュータ・ノードの電源をオフにします (詳しくは、16 ページの『コンピュータ・ノードの電源をオフにする』を参照)。

手順

コンピュータ・ノードをシャーシから取り外すには、以下のステップを実行してください。

1. 図に示されているように、前面ハンドルを開きます。コンピュータ・ノードが、ノード・ベイから約 0.6 cm 外に出ます。

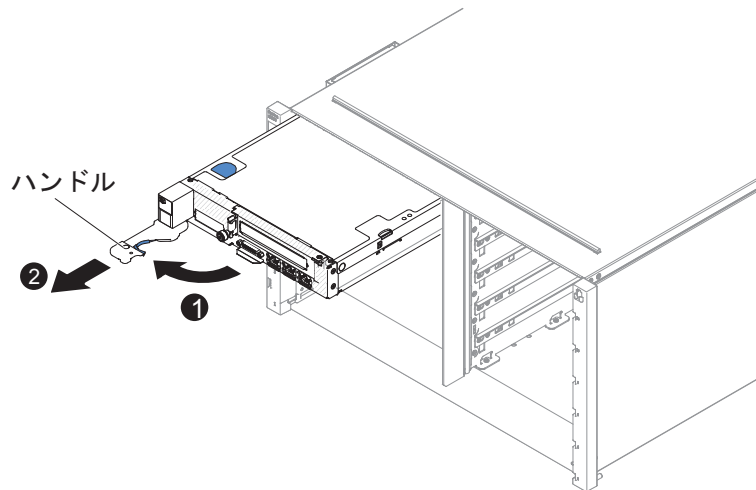


図 15. シャーシからの NeXtScale nx360 M4 コンピュート・ノード の取り外し

重要:

- 適切なシステム冷却を維持するために、各ノード・ベイにコンピュート・ノードまたはノード・ベイ・フィラーのいずれも取り付けずに IBM NeXtScale n1200 エンクロージャーを稼働させないでください。
 - コンピュート・ノードを取り外す場合は、ノード・ベイ番号をメモしてください。コンピュート・ノードを取り外したときとは別のノード・ベイに再取り付けすると、予期しない影響がある可能性があります。一部の構成情報および更新オプションは、ノード・ベイ番号に従って設定されます。コンピュート・ノードを別のノード・ベイに再取り付けする場合は、コンピュート・ノードの再構成が必要になる場合があります。
- コンピュート・ノードをノード・ベイから引き出します。
 - 1 分以内にノード・ベイにノード・ベイ・フィラーまたは別のコンピュート・ノードのいずれかを取り付けてください。

次のタスク

コンピュート・ノードの返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、パーツがお手元に届いたときの配送用パッケージ材がある場合は、それを使用して荷造りしてください。

シャーシへのコンピュート・ノードの取り付け

IBM NeXtScale n1200 エンクロージャーにコンピュート・ノードを取り付けるには、この情報を使用します。

始める前に

コンピュート・ノードをシャーシに取り付ける前に、vii ページの『安全について』および 110 ページの『取り付けに関するガイドライン』をお読みください。

安全 21



注意:

給電部にコンピュータ・ノードを接続すると危険な電力が印加されます。コンピュータ・ノードを取り付ける前には、必ずコンピュータ・ノード・カバーを交換してください。

内蔵イーサネット・コントローラーのないコンピュータ・ノード・モデルを取り付けている場合、コンピュータ・ノードをシャーシに取り付ける前に、管理ネットワーク通信用にネットワーク・インターフェース・アダプターを取り付ける必要があります。コンピュータ・ノードでサポートされているオプション装置のリストについては、<http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us>を参照してください。

手順

コンピュータ・ノードをシャーシに取り付けるには、以下のステップを実行してください。

表 8. サポートされるコンピュータ・ノード (900 W PSU x6 の高回線 AC 入力)

マイクロプロセッサー SKU (W)	マイクロプロセッサーの数	冗長性なし	N+1、N=5、合計 6	N+N、N=3、合計 6
80	1	12	12	7
	2	11	9	5
95	1	12	12	6
	2	10	8	4
115	1	12	11	6
	2	9	7	4
130	1	12	11	6
	2	8	7	4

表 9. サポートされるコンピュータ・ノード (900 W PSU x6 の低回線 AC 入力)

マイクロプロセッサー SKU (W)	マイクロプロセッサーの数	冗長性なし	N+1、N=5、合計 6	N+N、N=3、合計 6
80	1	10	8	4
	2	7	5	3
95	1	9	7	4
	2	6	5	2
115	1	9	7	3
	2	6	4	2
130	1	9	7	4
	2	5	4	2

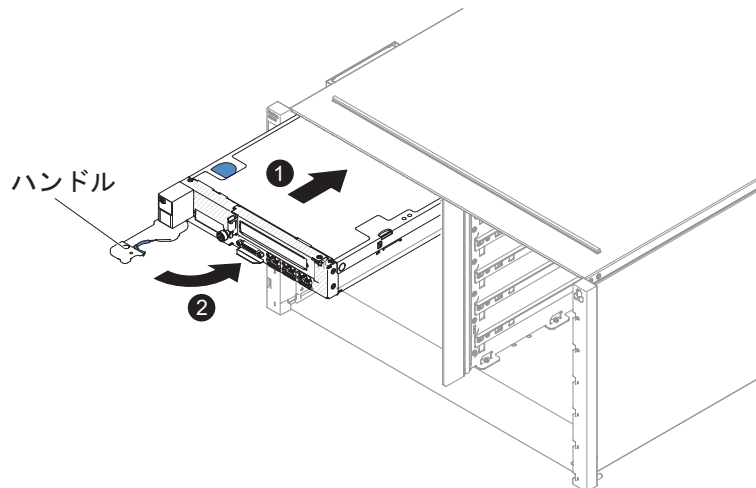


図 16. IBM NeXtScale n1200 エンクロージャーへのコンピュータ・ノードの取り付け

1. ノード・ベイを選択します。

注:

- a. 取り外したコンピュータ・ノードを再取り付けする場合は、取り外したときと同じノード・ベイに取り付ける必要があります。一部のコンピュータ・ノードの構成情報および更新オプションは、ノード・ベイ番号に従って設定されます。コンピュータ・ノードを別のノード・ベイに再取り付けすると、予期しない影響がある可能性があります。コンピュータ・ノードを別のノード・ベイに再取り付けする場合は、コンピュータ・ノードの再構成が必要になる場合があります。
 - b. 適切なシステム冷却を維持するために、各ノード・ベイにコンピュータ・ノードまたはノード・ベイ・フィラーのいずれも取り付けずに IBM NeXtScale n1200 エンクロージャーを稼働させないでください。
2. コンピュータ・ノードの前面ハンドルが開いた位置にあることを確認します。
 3. コンピュータ・ノードを、止まるまでノード・ベイに押し込みます。
 4. コンピュータ・ノード前面にある前面ハンドルを閉じた位置まで押します。

注: コンピュータ・ノードを取り付けると、コンピュータ・ノード内の IMM2 が初期化およびシャーシ・マネージメント・モジュールとの同期を行います。このプロセスは約 90 秒かかります。電源 LED が高速で点滅し、コンピュータ・ノード上の電源ボタンは、このプロセスが完了するまで応答しません。

5. コンピュータ・ノードの電源をオンにします (手順については 15 ページの『コンピュータ・ノードの電源オン』を参照)。
6. コンピュータ・ノードのコントロール・パネル上の電源 LED が継続的に点灯していることを確認します。これは、コンピュータ・ノードに電力が供給され、電源がオンになっていることを示します。
7. 他に取り付けるコンピュータ・ノードがある場合は、ここで取り付けます。
8. コンピュータ・ノードの前面からアクセスできるラベル・タブに、識別情報を記載することができます。

次のタスク

コンピュータ・ノードを初めてシャーシに取り付ける場合は、Setup ユーティリティを使用してコンピュータ・ノードを構成し、コンピュータ・ノードのオペレーティング・システムをインストールする必要があります (113 ページの『コンピュータ・ノード構成の更新』を参照)。

コンピュータ・ノードの構成を変更した場合、あるいは取り外したコンピュータ・ノードとは別のコンピュータ・ノードを取り付ける場合は、Setup ユーティリティを使用してコンピュータ・ノードを構成する必要があります。また、コンピュータ・ノードのオペレーティング・システムをインストールする必要がある場合があります (28 ページの『Setup ユーティリティの使用』を参照)。

コンピュータ・ノードからのストレージ・トレイの取り外し

ストレージ・トレイをNeXtScale nx360 M4 コンピュータ・ノードから取り外すには、この情報を使用します。

始める前に

ストレージ・トレイをコンピュータ・ノードから取り外すには、以下のステップを実行します。

1. vii ページの『安全について』および 110 ページの『取り付けに関するガイドライン』をお読みください。
2. コンピュータ・ノードが稼働中の場合は、オペレーティング・システムをシャットダウンします。
3. 電源ボタンを押してコンピュータ・ノードの電源をオフにします (詳しくは、16 ページの『コンピュータ・ノードの電源をオフにする』を参照)。

手順

ストレージ・トレイをコンピュータ・ノードから取り外すには、以下のステップを実行してください。

1. イージー・スワップ・ハード・ディスク #6 を取り外します (158 ページの『3.5 型ハード・ディスクの取り外し』を参照)。
2. 構成ケーブル、ハードウェア RAID (信号) ケーブル、および mini-SAS ケーブルをストレージ・トレイから切り離します。
3. リリース・ラッチを押し、ストレージ・トレイをコンピュータ・ノードの後部に向けてスライドさせます。

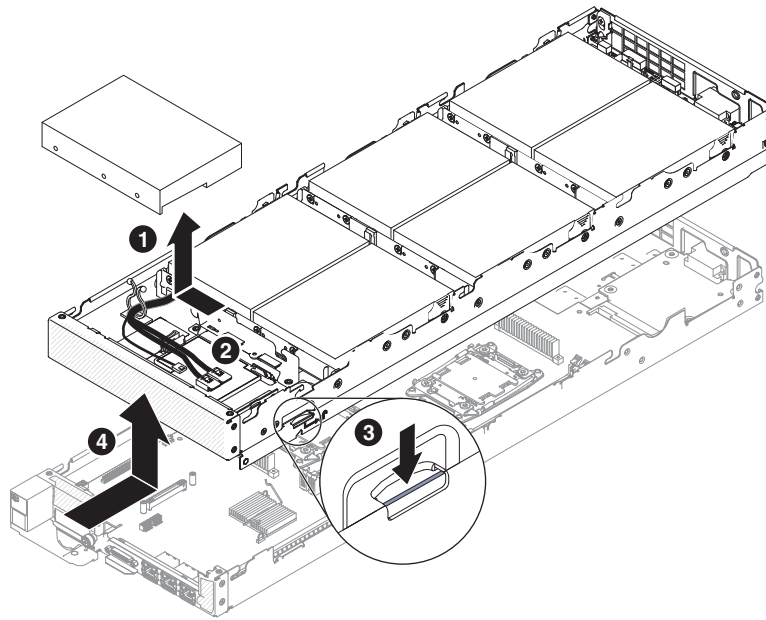


図 17. ストレージ・トレイの取り外し

4. ストレージ・トレイをコンピュータ・ノードから引き出します。

次のタスク

ストレージ・トレイの返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、部品がお手元に届いたときの配送用パッケージ材がある場合は、それを使用してください。

ストレージ・トレイのコンピュータ・ノードへの取り付け

ストレージ・トレイをIBM NeXtScale n1200 エンクロージャーに取り付けるには、この情報を使用します。

始める前に

コンピュータ・ノードをシャーシに取り付ける前に、vii ページの『安全について』および 110 ページの『取り付けに関するガイドライン』をお読みください。

手順

ストレージ・トレイをコンピュータ・ノードに取り付けるには、以下のステップを実行してください。

ハード・ディスクがフル装着されていない場合は、以下の表を参照して、ハード・ディスク・フィラーを取り付ける必要があります。

表 10. ストレージ・トレイ用のハード・ディスク構成

凡例: HDD=> ハード・ディスク									
内部ス トレ ジ・ノ ード	HDD の 数 量	7	6	5	4	3	2	1	0
	ドライ ブ・ベ イ 0	HDD	HDD	HDD	HDD	HDD	HDD	HDD	フィラ ー
	ドライ ブ・ベ イ 1	HDD	HDD	HDD	HDD	HDD	HDD	フィラ ー	フィラ ー
	ドライ ブ・ベ イ 2	HDD	HDD	HDD	HDD	HDD	フィラ ー	フィラ ー	フィラ ー
	ドライ ブ・ベ イ 3	HDD	HDD	HDD	HDD	フィラ ー	フィラ ー	フィラ ー	フィラ ー
	ドライ ブ・ベ イ 4	HDD	HDD	HDD	ブラン ク	ブラン ク	ブラン ク	ブラン ク	ブラン ク
	ドライ ブ・ベ イ 5	HDD	HDD	ブラン ク	ブラン ク	ブラン ク	ブラン ク	ブラン ク	ブラン ク
	ドライ ブ・ベ イ 6	HDD	ブラン ク	ブラン ク	ブラン ク	ブラン ク	ブラン ク	ブラン ク	ブラン ク

ハード・ディスクに障害がある場合は、新しいハード・ディスクまたはフィラーを取り付けるまで、その障害のあるハード・ディスクをストレージ・トレイ内に入れておくことをお勧めします。

1. ストレージ・トレイのリリース・ラッチを右側にして、帯電防止されている平らな面にストレージ・トレイを注意して置きます。
2. 構成ケーブル、ハードウェア RAID (信号) ケーブル、および mini-SAS ケーブルをストレージ・トレイに接続します。
3. イージー・スワップ・ハード・ディスク #6 を取り付けます (159 ページの『3.5 型ハード・ディスクの取り付け』を参照)。
4. ストレージ・トレイ内側の円柱がコンピュータ・ノードのスロットに差し込まれるように、ストレージ・トレイの向きを合わせます。

注: ストレージ・トレイを取り付ける前に、エアー・バッフルとすべてのコンポーネントが正しく取り付けおよび装着されていること、コンピュータ・ノード内部に工具や部品を置き忘れていないことを確認してください。

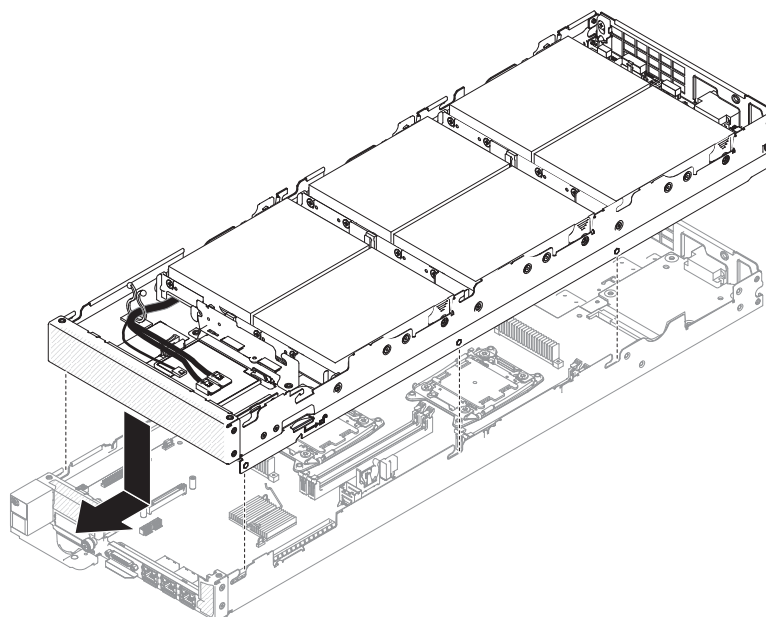


図 18. ストレージ・トレイの取り付け

5. コンピュート・ノードの前部を持ち、カチッと音がして所定の位置に収まるまでストレージ・トレイを前方にスライドさせて閉じます。

構造部品の取り外しと交換

以下の情報を使用して、消耗部品および構造部品の取り外しおよび交換を行います。

構造部品の交換はお客様の責任で行っていただきます。お客様の要請により IBM が構造部品の導入を行った場合は、その料金を請求させていただきます。

本書の図は、ご使用のハードウェアと多少異なる場合があります。

コンピューター・ノード・カバーの取り外し

コンピューター・ノードからカバーを取り外すには、この情報を使用します。

始める前に

コンピューター・ノード・カバーを取り外す前に、以下のステップを実行してください。

1. vii ページの『安全について』および 110 ページの『取り付けに関するガイドライン』をお読みください。
2. IBM NeXtScale n1200 エンクロージャーにコンピューター・ノードが取り付けられている場合は、それを取り外します (手順については 113 ページの『シャーシからのコンピューター・ノードの取り外し』を参照)。
3. コンピューター・ノードのベゼルを手前に向けて、帯電防止されている平らな面にコンピューター・ノードを注意して置きます。

安全 12



注意:

このラベルが貼られている近くには高温になる部品が存在します。



Statement 21



注意:

給電部にコンピュータ・ノードを接続すると危険な電力が印加されます。コンピュータ・ノードを取り付ける前には、必ずコンピュータ・ノード・カバーを交換してください。

手順

コンピュータ・ノード・カバーを取り外すには、以下のステップを実行してください。

1. リリース・ラッチおよびプッシュ・ポイントを同時に押し、カバーをコンピュータ・ノードの後部に向けてスライドさせます。
2. カバーを持ち上げてコンピュータ・ノードから取り外します。

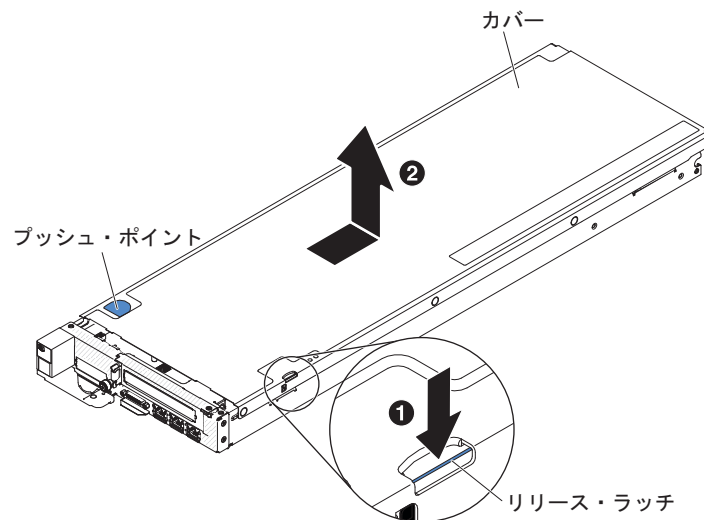


図 19. コンピュータ・ノード・カバーの取り外し

重要: リリース・ラッチを押す場合には、ツールや、先がとがった物を使用しないでください。それらを使用すると、リリース・ラッチに永久的な損傷を与える可能性があります。

3. カバーを水平に置くか、将来利用するために保管しておきます。

次のタスク

カバーの返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、パーツがお手元に届いたときの配送用パッケージ材がある場合は、それを使用して荷造りしてください。

コンピュータ・ノード・カバーの取り付け

コンピュータ・ノード・カバーを取り付けるには、以下のステップを実行してください。

始める前に

コンピュータ・ノード・カバーを取り付ける前に、vii ページの『安全について』および 110 ページの『取り付けに関するガイドライン』をお読みください。

カバーの交換（取り付け）を行う場合は、手順で使用するシステム・サービス・ラベル・キットが準備されていることを確認してください（101 ページの『第 4 章 部品リスト、IBM NeXtScale nx360 M4 コンピュート・ノード Type 5455』を参照）。

重要: カバーを取り付けて閉じなければ、コンピュータ・ノードを IBM NeXtScale n1200 エンクロージャーに挿入することはできません。この保護対策を無視しないようにしてください。

Statement 21



注意:

給電部にコンピュータ・ノードを接続すると危険な電力が印加されます。コンピュータ・ノードを取り付ける前には、必ずコンピュータ・ノード・カバーを交換してください。

手順

コンピュータ・ノード・カバーを取り付けるには、以下のステップを実行してください。

1. コンピュート・ノードのベゼルを手前に向けて、帯電防止されている平らな面にコンピュータ・ノードを注意して置きます。
2. カバー内側の円柱がコンピュータ・ノードのスロットに差し込まれるように、カバーの向きを合わせます。

注: カバーを閉じる前に、エアー・パッフルとすべてのコンポーネントが正しく取り付けおよび装着されていること、コンピュータ・ノード内部に工具や部品を置き忘れていることを確認してください。

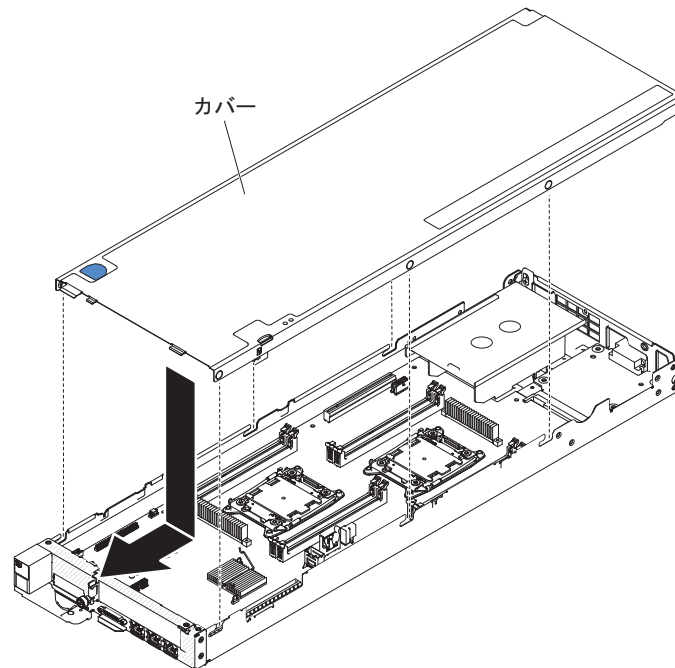


図 20. コンピュート・ノード・カバーの取り付け

3. コンピュート・ノードの前部を持ち、カチッと音がして所定の位置に収まるまでカバーを前方にスライドさせて閉じます。

次のタスク

コンピュート・ノード・カバーを取り付けた後、コンピュート・ノードをシャーシに取り付けます (手順については、114 ページの『シャーシへのコンピュート・ノードの取り付け』を参照)。

エアー・バッフルの取り外し

以下の情報を使用して、エアー・バッフルを取り外します。

このタスクについて

エアー・バッフルを取り外すには、次のステップを実行してください。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 110 ページの『取り付けに関するガイドライン』をお読みください。
2. コンピュート・ノードと周辺装置の電源をオフにし、電源コードおよびすべての外部ケーブルを切り離します (16 ページの『コンピュート・ノードの電源をオフにする』を参照)。
3. カバーを取り外します (120 ページの『コンピュート・ノード・カバーの取り外し』を参照)。
4. エアー・バッフルをつかみ、ピン・ホールからピンを外したら、エアー・バッフルを持ち上げます。

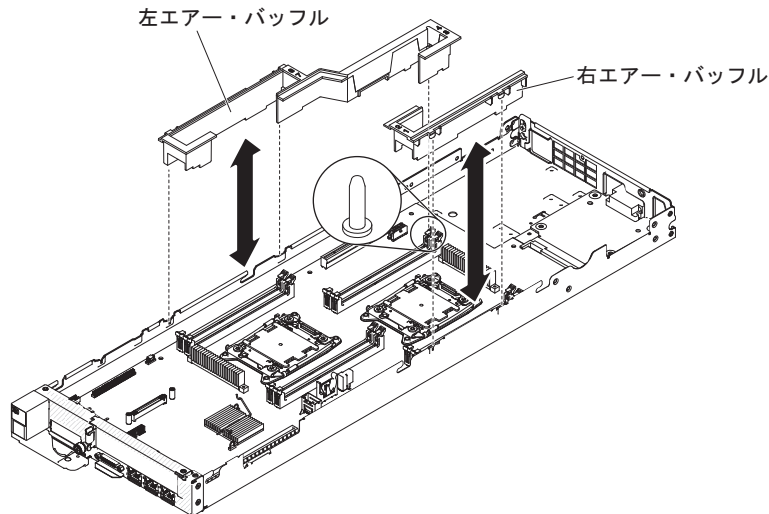


図 21. エアー・バッフルの取り外し

5. コンピュート・ノードからエアー・バッフルを取り外して横に置きます。

重要: 適切な冷却と空気の流れを確保するために、エアー・バッフルを元通りに取り付けてからコンピュート・ノードの電源をオンにしてください。エアー・バッフルを取り外した状態でコンピュート・ノードを作動させると、コンピュート・ノード・コンポーネントが損傷する可能性があります。

エアー・バッフルの再取り付け

以下の情報を使用して、エアー・バッフルを取り付けます。

このタスクについて

エアー・バッフルを取り付けるには、次のステップを実行してください。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 110 ページの『取り付けに関するガイドライン』をお読みください。
2. コンピュート・ノードおよび周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離します。
3. カバーを取り外します (120 ページの『コンピュート・ノード・カバーの取り外し』を参照)。
4. エアー・バッフル・ピンを、左側のエアー・バッフル用のシャーシ左側のバッフル・ピン・ホールに位置合わせし、エアー・バッフルをコンピュート・ノード内に下ろします。エアー・バッフルを下に押して、しっかりと収まった状態にします。

注: 適切な冷却を確保するために、エアー・バッフルを取り付ける前に DIMM コネクターの両端の保持クリップを閉じます。

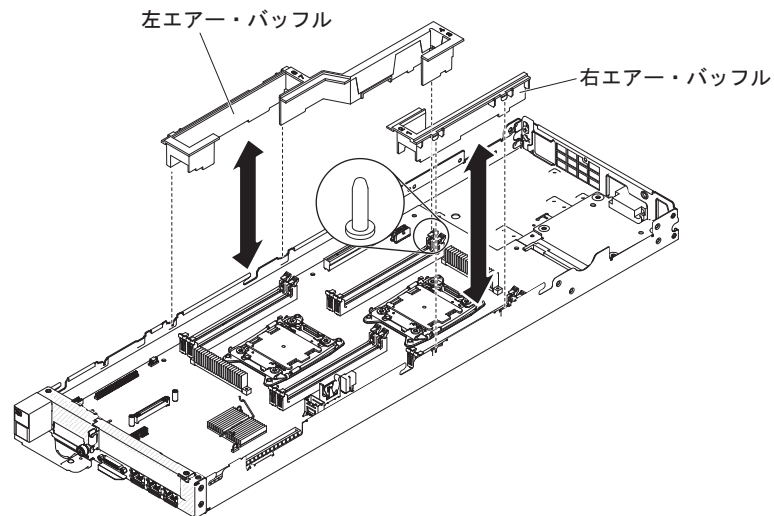


図 22. エアー・バッフルの取り付け

5. カバーを再び取り付けます (122 ページの『コンピュータ・ノード・カバーの取り付け』を参照)。
6. コンピュータ・ノードをスライドさせながらラックに差し込みます。
7. 取り外した電源コードおよびすべてのケーブルを再接続します。
8. 周辺装置とコンピュータ・ノードの電源をオンにします。

RAID アダプター・バッテリー・ホルダーの取り外し

RAID アダプター・バッテリー・ホルダーを取り外すには、この情報を使用します。

このタスクについて

RAID アダプター・リモート・バッテリーがファン・ケージの近くに取り付けられており、それを交換する必要がある場合は、以下のステップを実行します。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 110 ページの『取り付けに関するガイドライン』をお読みください。
2. サーバーと周辺装置の電源をオフにしてすべての電源コードを切り離してから、カバーを取り外します (120 ページの『コンピュータ・ノード・カバーの取り外し』を参照)。
3. リモート・バッテリーとして取り付けられた RAID アダプター・バッテリーの取り外し (『リモート・バッテリーとして取り付けられた RAID アダプター・バッテリーの取り外し』を参照)。
4. バッテリー・ホルダーを持ち上げて、システム・トレイからバッテリー・ホルダーを取り外します。

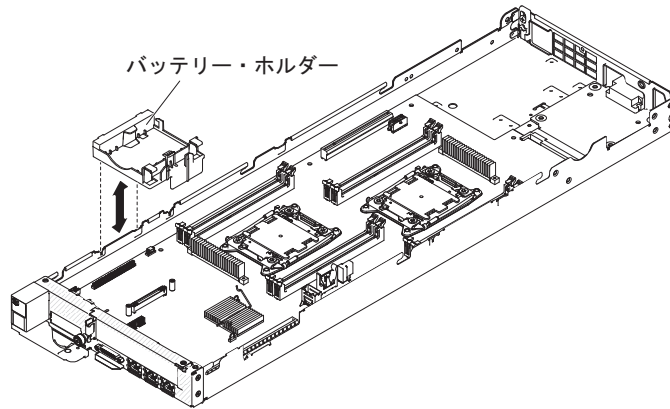


図 23. RAID アダプター・バッテリー・ホルダーの取り外し

タスクの結果

RAID アダプター・バッテリー・ホルダーの返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、パーツがお手元に届いたときの配送用パッケージ材がある場合は、それを使用してください。

RAID アダプター・バッテリー・ホルダーの再取り付け

RAID アダプター・バッテリー・ホルダーを取り付けるには、この情報を使用します。

このタスクについて

RAID アダプター・バッテリー・ホルダーを取り付けるには、以下のステップを実行します。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 110 ページの『取り付けに関するガイドライン』をお読みください。
2. サーバーと周辺装置の電源をオフにしてすべての電源コードと外部デバイスを切り離してから、カバーを取り外します (120 ページの『コンピュート・ノード・カバーの取り外し』を参照)。
3. バッテリー・ホルダーを位置合わせし、システム・トレイ上にバッテリー・ホルダーを設置します。

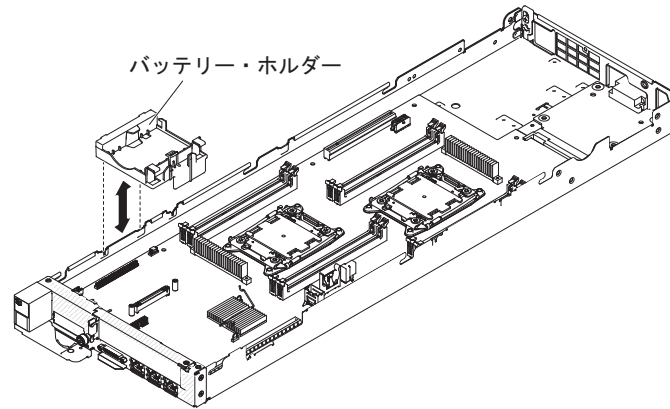


図 24. RAID アダプター・バッテリー・ホルダーの取り付け

4. カバーを再取り付けします (122 ページの『コンピュータ・ノード・カバーの取り付け』を参照)。
5. サーバーをスライドさせながらラックに差し込みます。
6. 電源コードとすべての外部ケーブルを再接続し、サーバーと周辺装置の電源を入れます。

PCI ライザー・フィラーの取り外し

以下の情報を使用して、PCI ライザー・フィラーを取り外します。

このタスクについて

PCI ライザー・フィラーを取り外すには、次のステップを実行します。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 110 ページの『取り付けに関するガイドライン』をお読みください。
2. コンピュータ・ノードと周辺装置の電源をオフにし、電源コードおよびすべての外部ケーブルを切り離します (16 ページの『コンピュータ・ノードの電源をオフにする』を参照)。
3. カバーを取り外します (120 ページの『コンピュータ・ノード・カバーの取り外し』を参照)。
4. PCI ライザー・フィラーをつかんで持ち上げます。

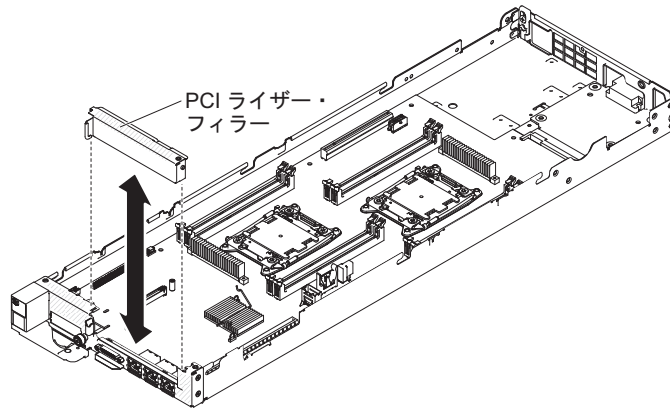


図 25. PCI ライザー・フィラーの取り外し

5. コンピュート・ノードから PCI ライザー・フィラーを取り外して横に置きます。

重要: 適切な冷却と空気の流れを確保するために、PCI ライザー・フィラーを元通りに取り付けてからコンピュート・ノードの電源をオンにしてください。PCI ライザー・フィラーを取り外した状態でコンピュート・ノードを作動させると、コンピュート・ノードのコンポーネントが損傷する場合があります。

PCI ライザー・フィラーの再取り付け

以下の情報を使用して、PCI ライザー・フィラーを取り付けます。

このタスクについて

PCI ライザー・フィラーを取り付けるには、次のステップを実行します。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 110 ページの『取り付けに関するガイドライン』をお読みください。
2. コンピュート・ノードおよび周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離します。
3. カバーを取り外します (120 ページの『コンピュート・ノード・カバーの取り外し』を参照)。
4. PCI ライザー・フィラーのピンをシャーシ右側のバッフル・ピン・ホールに位置合わせし、PCI ライザー・フィラーをコンピュート・ノード内に下ろします。PCI ライザー・フィラーを下に押して、しっかりと収まった状態にします。

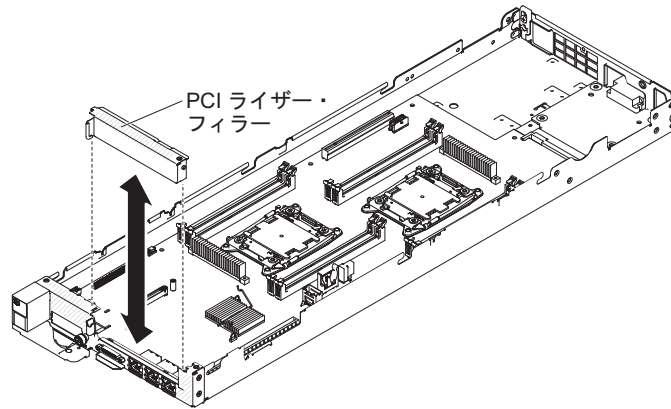


図 26. PCI ライザー・フィラーの取り付け

5. カバーを再び取り付けます (122 ページの『コンピュータ・ノード・カバーの取り付け』を参照)。
6. コンピュータ・ノードをスライドさせながらラックに差し込みます。
7. 取り外した電源コードおよびすべてのケーブルを再接続します。
8. 周辺装置とコンピュータ・ノードの電源をオンにします。

前面ハンドルの取り外し

前面ハンドルを取り外すには、この情報を使用します。

始める前に

前面ハンドルを取り外す前に、以下のステップを実行してください。

1. vii ページの『安全について』および 110 ページの『取り付けに関するガイドライン』をお読みください。
2. IBM NeXtScale n1200 エンクロージャーにコンピュータ・ノードが取り付けられている場合は、それを取り外します (手順については 113 ページの『シャーシからのコンピュータ・ノードの取り外し』を参照)。
3. コンピュータ・ノードのベゼルを手前に向けて、帯電防止されている平らな面にカバー側を下にしてコンピュータ・ノードを注意して置きます。

手順

前面ハンドルを取り外すには、以下のステップを実行します。

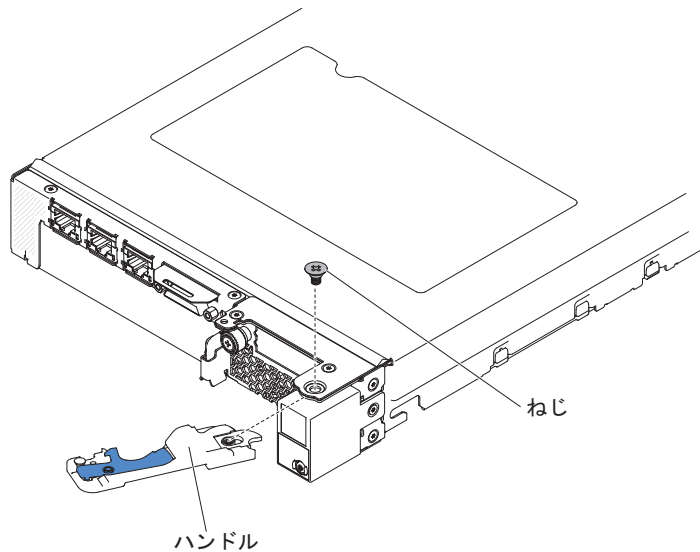


図 27. 前面ハンドルの取り外し

1. ハンドルをコンピュータ・ノードに取り付けているねじを見つけます。
2. プラス・ドライバーを使用して、前面ハンドルからねじを取り外し、ねじを安全な場所に保管します。前面ハンドルを取り付けるときに、そのねじを使用します。

次のタスク

前面ハンドルの返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、部品がお手元に届いたときの配送用パッケージ材がある場合は、それを使用してください。

前面ハンドルの取り付け

前面ハンドルを取り付けるには、この情報を使用します。

始める前に

前面ハンドルを取り付ける前に、以下のステップを実行してください。

1. vii ページの『安全について』および 110 ページの『取り付けに関するガイドライン』をお読みください。
2. IBM NeXtScale n1200 エンクロージャーにコンピュータ・ノードが取り付けられている場合は、それを取り外します (手順については 113 ページの『シャーシからのコンピュータ・ノードの取り外し』を参照)。
3. コンピュータ・ノードのベゼルを手前に向けて、帯電防止されている平らな面にカバー側を下にしてコンピュータ・ノードを注意して置きます。

手順

前面ハンドルを取り付けるには、以下のステップを実行します。

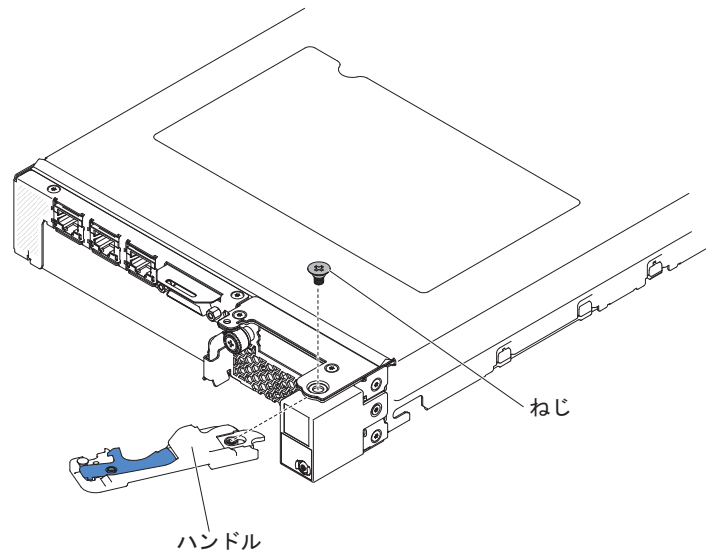


図 28. 前面ハンドルの取り付け

1. 青色のリリース・ラッチがコンピュート・ノードの中央に向くように、前面ハンドルの向きを合わせます。
2. ハンドルの穴を、ハンドルを取り付けるコンピュート・ノードの穴に位置合わせします。
3. プラス・ドライバーを使用して、ハンドルを固定する #2 プラスねじを取り付けます。ハンドルを取り外したときに取り外したねじを取り付けます。

次のタスク

前面ハンドルを取り付けた後、コンピュート・ノードをシャーシに取り付けます (手順については、114 ページの『シャーシへのコンピュート・ノードの取り付け』を参照)。

ハード・ディスク・ケースの取り外し

ハード・ディスク・ケースを取り外すには、この情報を使用します。

始める前に

ハード・ディスク・ケースを取り外す前に、以下のステップを実行してください。

1. vii ページの『安全について』および 110 ページの『取り付けに関するガイドライン』をお読みください。
2. IBM NeXtScale n1200 エンクロージャーにコンピュート・ノードが取り付けられている場合は、それを取り外します (手順については 113 ページの『シャーシからのコンピュート・ノードの取り外し』を参照)。
3. コンピュート・ノードのベゼルを手前に向けて、帯電防止されている平らな面にコンピュート・ノードを注意して置きます。

手順

ハード・ディスク・ケースを取り外すには、以下のステップを実行してください。

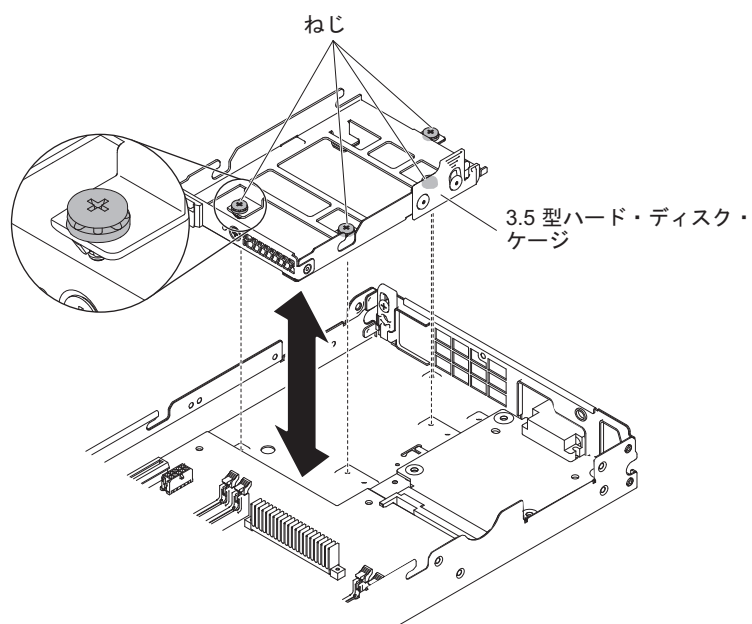


図 29. ハード・ディスク・ケージの取り外し (3.5 型)

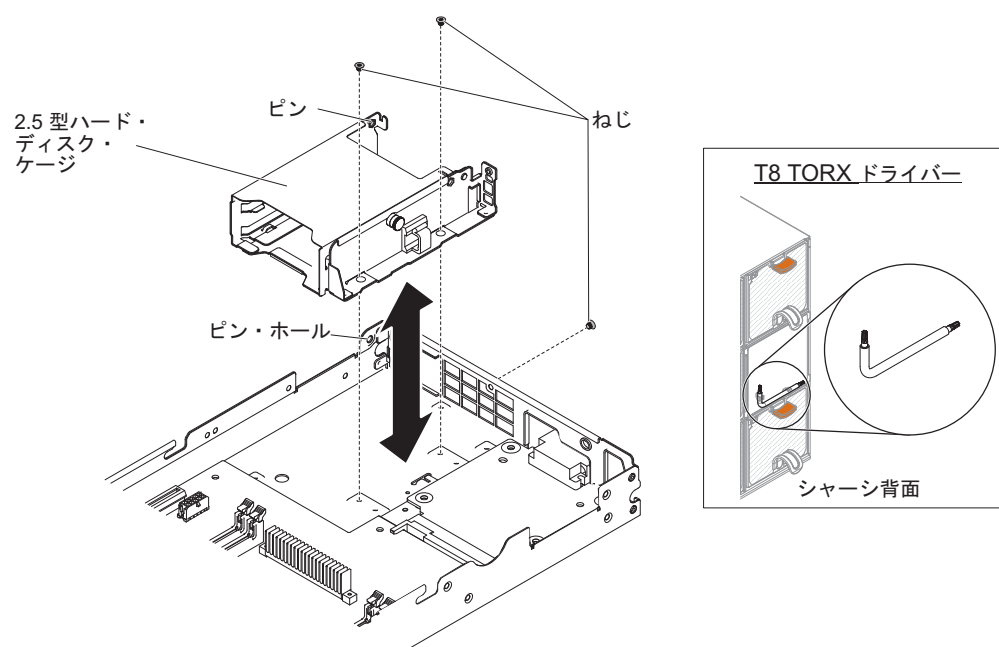


図 30. ハード・ディスク・ケージの取り外し (2.5 型)

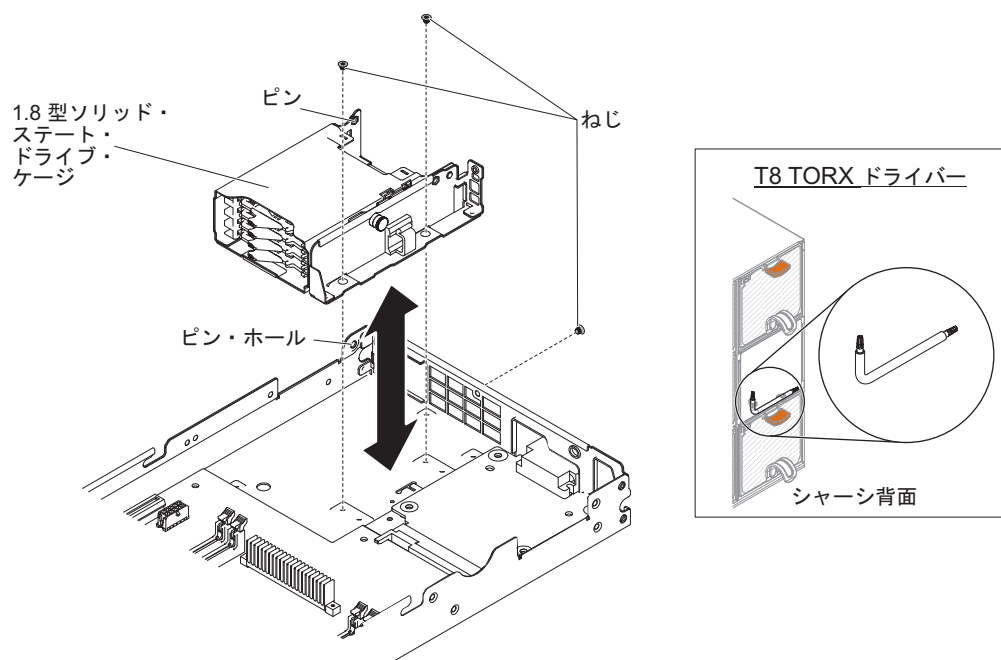


図 31. ハード・ディスク・ケージの取り外し (1.8 型)

1. カバーを取り外します (120 ページの『コンピュート・ノード・カバーの取り外し』を参照)。
2. イージー・スワップ・ハード・ディスクおよびハード・ディスク・ベイ・フィルターを取り外します (157 ページの『ドライブの取り外しと取り付け』を参照)。
3. ハード・ディスク・バックプレートを取り外します (154 ページの『ハード・ディスク・バックプレートの取り外し』を参照)。
4. プラス・ドライバー (3.5 型ハード・ディスク・ケージの場合) または T8 TORX ドライバー (部品番号 00FK488、2.5 型または 1.8 型ハード・ディスク・ケージの場合。シャーシ背面で提供) を使用して、ねじ (3.5 型または 2.5 型ハード・ディスク・ケージの場合は 4 個、1.8 型ハード・ディスク・ケージの場合は 3 個) をケージから取り外し、ベゼルの下からケージを回転させます。次に、ケージをコンピュート・ノードから斜めに取り外します。

次のタスク

ハード・ディスク・ケージの返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、部品がお手元に届いたときの配送用パッケージ材がある場合は、それを使用してください。

ハード・ディスク・ケージの取り付け

ハード・ディスク・ケージを取り付けるには、この情報を使用します。

始める前に

ハード・ディスク・ケージを取り付ける前に、以下のステップを実行してください。

1. vii ページの『安全について』および 110 ページの『取り付けに関するガイドライン』をお読みください。

2. IBM NeXtScale n1200 エンクロージャーにコンピュータ・ノードが取り付けられている場合は、それを取り外します (手順については 113 ページの『シャーシからのコンピュータ・ノードの取り外し』を参照)。
3. コンピュータ・ノードのベゼルを手前に向けて、帯電防止されている平らな面にコンピュータ・ノードを注意して置きます。

手順

ハード・ディスク・ケージを取り付けるには、以下のステップを実行してください。

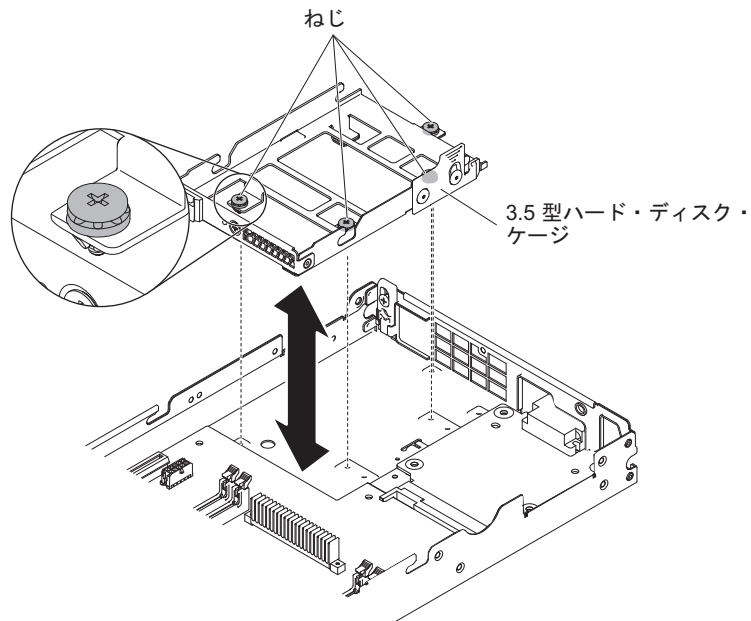


図 32. ハード・ディスク・ケージの取り付け (3.5 型)

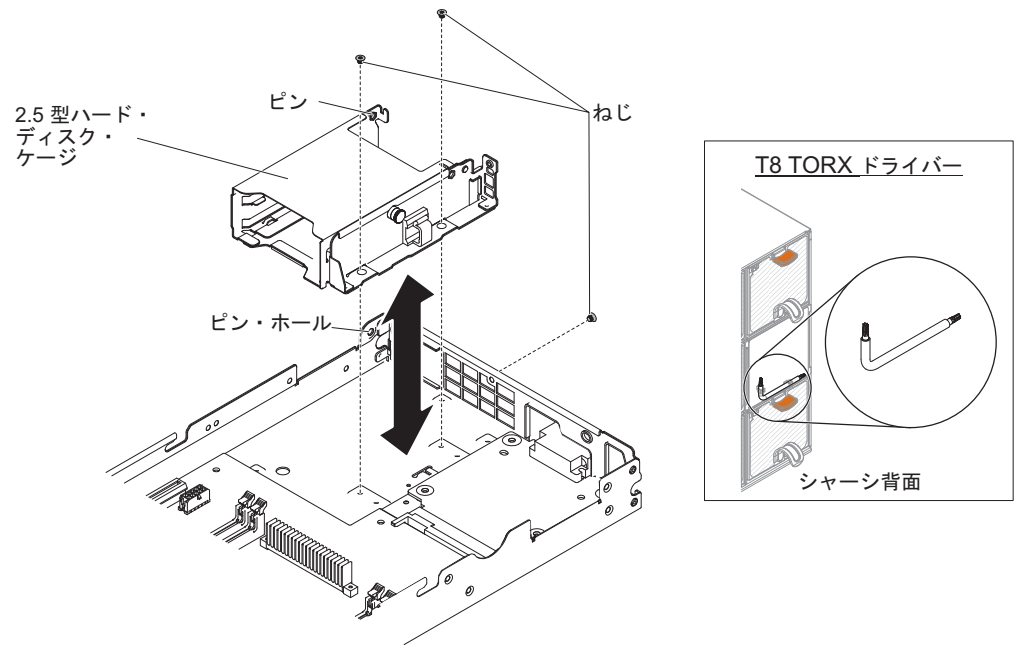


図 33. ハード・ディスク・ケージの取り付け (2.5 型)

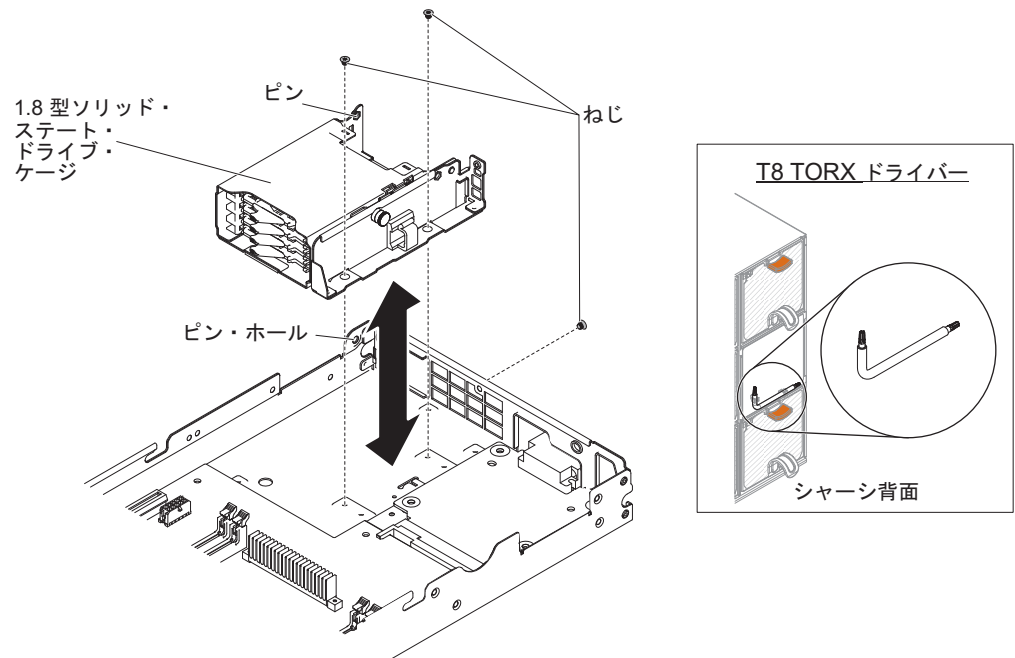


図 34. ハード・ディスク・ケージの取り付け (1.8 型)

1. カバーを取り外します (120 ページの『コンピュータ・ノード・カバーの取り外し』を参照)。
2. ケージをベゼルに斜めに配置して、ケージをシステム・ボード上の所定の位置に回転させます。
3. ケージをシステム・ボード上のねじ穴に位置合わせします。

4. プラス・ドライバー (3.5 型ハード・ディスク・ケースの場合) または T8 TORX ドライバー (部品番号 00FK488、2.5 型または 1.8 型ハード・ディスク・ケースの場合。シャーシ背面で提供) を使用して、ねじ (2.5 型ハード・ディスク・ケースの場合は 4 個、1.8 型ハード・ディスク・ケースの場合は 3 個) を挿入し、ケースをコンピュータ・ノードに固定します。
5. ハード・ディスク・バックプレートを取り付けます (156 ページの『ハード・ディスク・バックプレートの取り付け』を参照)。
6. イージー・スワップ・ハード・ディスクおよびハード・ディスク・ベイ・フィルターを挿入します (157 ページの『ドライブの取り外しと取り付け』を参照)。

次のタスク

ハード・ディスク・ケースを取り付けた後、以下のステップを実行してください。

1. コンピュータ・ノードにカバーを取り付けます (手順については 122 ページの『コンピュータ・ノード・カバーの取り付け』を参照)。
2. コンピュータ・ノードをシャーシの中に取り付けます (手順については、114 ページの『シャーシへのコンピュータ・ノードの取り付け』を参照)。

Tier 1 CRU の取り外しと交換

IBM が Tier 1 と指定する CRU の交換は、お客様ご自身の責任で行っていただきます。お客様の要請により IBM が Tier 1 CRU の導入を行った場合は、その料金を請求させていただきます。

本書の図は、ご使用のハードウェアと多少異なる場合があります。

オペレーター情報パネルの取り外し

オペレーター情報パネルを取り外すには、この情報を使用します。

始める前に

オペレーター情報パネルを取り外す前に、vii ページの『安全について』および 110 ページの『取り付けに関するガイドライン』をお読みください。

このタスクについて

手順

オペレーター情報パネルを取り外すには、次のステップを行います。

1. T8 TORX ドライバー (部品番号 00FK488、シャーシ背面で提供) を使用して、オペレーター情報パネルからねじを取り外します。ねじは、安全な場所に保管してください。

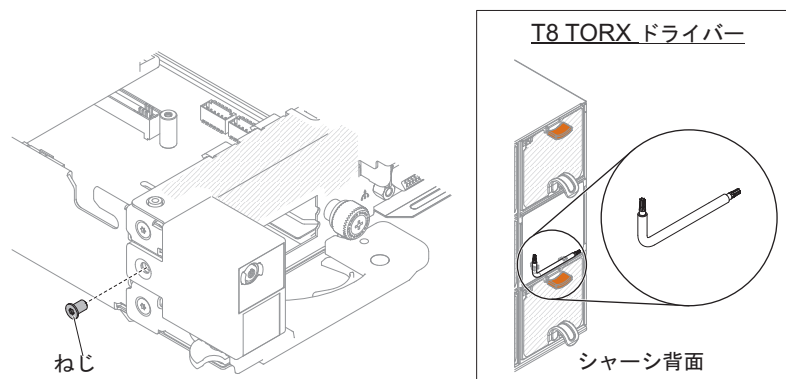


図 35. ねじの取り外し

2. システム・ボードからコネクタを引き抜きます。

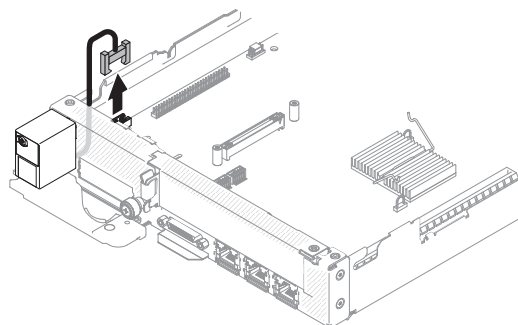


図 36. コネクタの引き抜き

3. 取り外しのためのスペースを確保するために、オペレーター情報パネルを慎重に外側に少し引き出します。

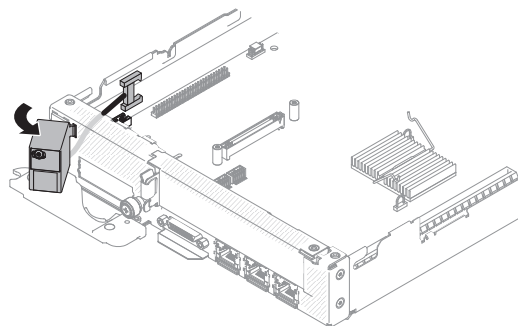


図 37. オペレーター情報パネルを引き出す

4. オペレーター情報パネルを持ち上げ、コンピュータ・ノードから取り外します。

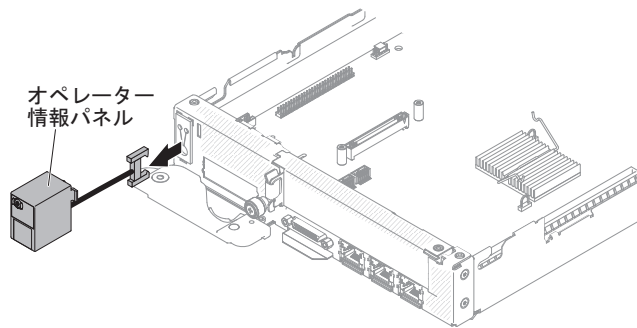


図 38. オペレーター情報パネルを持ち上げる

次のタスク

オペレーター情報パネルの返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、パーツがお手元に届いたときの配送用パッケージ材がある場合は、それを使用して荷造りしてください。

オペレーター情報パネルの取り付け

オペレーター情報パネルを取り付けるには、この情報を使用します。

始める前に

オペレーター情報パネルを取り付ける前に、vii ページの『安全について』および 110 ページの『取り付けに関するガイドライン』をお読みください。

このタスクについて

手順

オペレーター情報パネルを取り付けるには、次のステップを行います。

1. コンピュート・ノードの前面にオペレーター情報パネルを配置します。

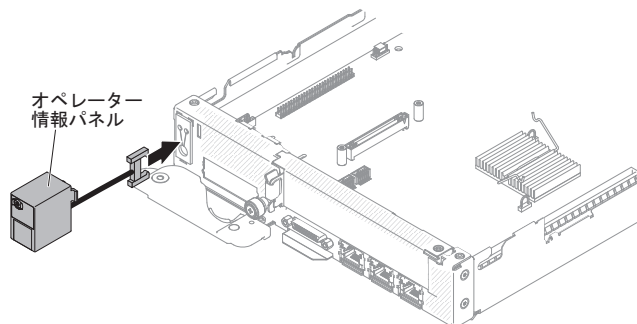


図 39. オペレーター情報パネルの配置

2. オペレーター情報パネルをコンピュート・ノードに対してしっかりと押し付けます。

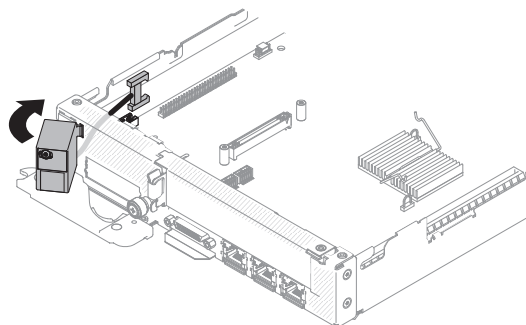


図 40. オペレーター情報パネルの取り付け

3. オペレーター情報パネルのコネクターをシステム・ボードに取り付けます。

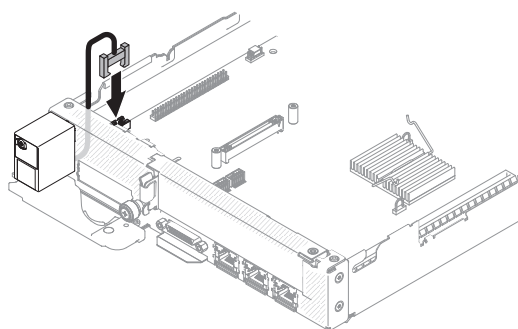


図 41. オペレーター情報パネルのコネクターの取り付け

4. T8 TORX ドライバー (部品番号 00FK488、シャーシ背面で提供) を使用して、オペレーター情報パネルにねじを取り付けます。

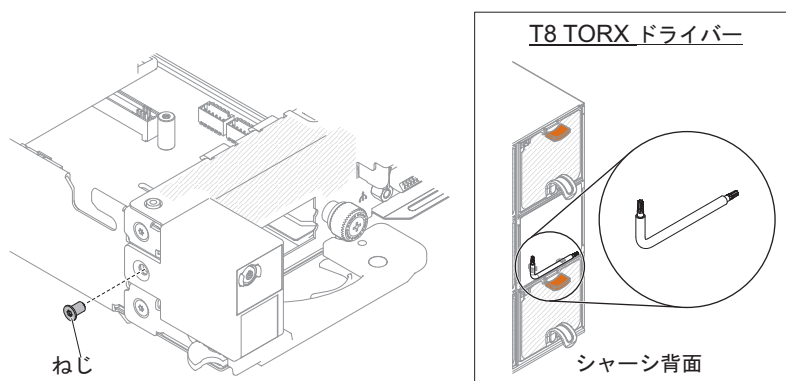


図 42. ねじの取り付け

システム・バッテリーの取り外し

以下の情報を使用して、CMOS バッテリーを取り外します。

このタスクについて

以下の注では、バッテリーの交換時に考慮すべき事項について説明します。

- IBM は安全性を考慮してこの製品を設計しました。 起こりうる危険な事態を防止するために、リチウム・バッテリーの正しい取り扱いが必要です。 バッテリーを交換する場合、以下の説明を厳守する必要があります。

注: 米国の場合、バッテリーの廃棄に関しては、1-800-IBM-4333 に電話してください。

- オリジナルのリチウム・バッテリーを、重金属バッテリーまたは重金属コンポーネントを含むバッテリーに交換する場合、以下の環境上の考慮事項に配慮する必要があります。 重金属を含むバッテリーおよび蓄電池は、通常の家ごみと一緒に廃棄しないでください。 製造者、流通業者、または販売代理人によって無料で回収され、再利用されるか、正しい方法で廃棄されます。
- 交換用バッテリーを注文するには、米国内では 1-800-IBM-SERV に、カナダでは 1-800-465-7999 または 1-800-465-6666 に電話してください。米国およびカナダ以外では、サポート・センターまたは指定のビジネス・パートナーにご連絡ください。

注: バッテリーの交換後は、サーバーを再構成し、システム日付と時刻をリセットしなければなりません。

安全 2



注意:

リチウム・バッテリーを交換する場合は、IBM 部品番号 33F8354 またはメーカーが推奨する同等タイプのバッテリーのみを使用してください。システムにリチウム・バッテリーが入ったモジュールがある場合、そのモジュールの交換には同じメーカーの同じモジュール・タイプのみを使用してください。バッテリーにはリチウムが含まれており、適切な使用、扱い、廃棄をしないと、爆発するおそれがあります。

次のことはしないでください。

- 水に投げ込む、あるいは浸す
- 100°C (華氏 212 度) 以上に過熱
- 修理または分解

バッテリーを廃棄する場合は地方自治体の条例に従ってください。

システム・バッテリーを取り外すには、次のステップを行います。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 110 ページの『取り付けに関するガイドライン』をお読みください。
2. サーバーと周辺装置の電源をオフにして、必要に応じて電源コードとすべての外部ケーブルを切り離します。
3. カバーを取り外します (120 ページの『コンピュート・ノード・カバーの取り外し』を参照)。

4. 必要な場合は、PCI ライザー・カード・アセンブリー 2 を持ち上げて邪魔にならないようにします (169 ページの『PCI ライザー・ケージ・アセンブリーの取り外し』を参照)。
5. システム・バッテリーを取り外します。
 - a. バッテリー・ホルダーにゴム製のカバーが付いている場合は、バッテリー・コネクタからバッテリー・カバーを指で持ち上げて取り外します。
 - b. 指を 1 本使ってバッテリーをソケットから外れるように押して、横に傾けます。

重要: 過度の力でバッテリーを傾けたり押したりしないでください。

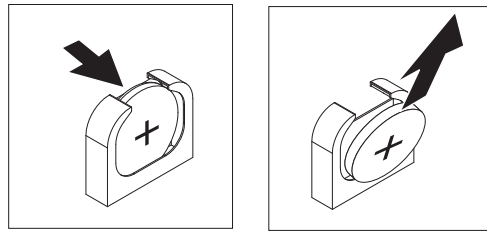


図 43. システム・バッテリーの取り外し

- c. 親指と人差し指を使用してバッテリーをソケットから持ち上げます。

重要: 過度の力でバッテリーを持ち上げないでください。正しくバッテリーを取り外さないと、システム・ボード上のソケットが損傷する可能性があります。ソケットが損傷すると、システム・ボードの交換が必要になる場合があります。
6. バッテリーを廃棄する場合は地方自治体の条例に従ってください。詳しくは、IBM Documentation CD の「IBM Environmental Notices and User's Guide」を参照してください。

システム・バッテリーの再取り付け

このタスクについて

以下の注では、サーバー内でシステム・バッテリーを交換するときに考慮する必要のある事項について説明します。

- システム・バッテリーを交換するときは、同じ製造元の同じタイプのリチウム・バッテリーと交換する必要があります。
- 交換用バッテリーを注文するには、米国では 1-800-426-7378、カナダでは 1-800-465-7999 または 1-800-465-6666 に電話してください。米国およびカナダ以外では、IBM 営業担当員または認可販売店に電話してください。
- システム・ボード・バッテリーの交換後は、サーバーを再構成し、システム日付と時刻をリセットしなければなりません。
- 起こりうる危険を回避するために、以下の安全上の注意に従ってください。

安全 2



注意:

リチウム・バッテリーを交換する場合は、IBM 部品番号 33F8354 またはメーカーが推奨する同等タイプのバッテリーのみを使用してください。システムにリチウム・バッテリーが入ったモジュールがある場合、そのモジュールの交換には同じメーカーの同じモジュール・タイプのみを使用してください。バッテリーにはリチウムが含まれており、適切な使用、扱い、廃棄をしないと、爆発するおそれがあります。

次のことはしないでください。

- 水に投げ込む、あるいは浸す
- 100°C (華氏 212 度) 以上に過熱
- 修理または分解

バッテリーを廃棄する場合は地方自治体の条例に従ってください。

交換用システム・バッテリーを取り付けるには、次のステップを行います。

手順

1. 交換バッテリーに付属の特殊な取り扱いや取り付けの説明書があれば、それに従ってください。
2. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 110 ページの『取り付けに関するガイドライン』をお読みください。
3. サーバーと周辺装置の電源をオフにして、必要に応じて電源コードとすべての外部ケーブルを切り離します。
4. カバーを取り外します (120 ページの『コンピュータ・ノード・カバーの取り外し』を参照)。
5. 必要な場合は、PCI ライザー・カード・アセンブリー 2 を持ち上げて邪魔にならないようにします (169 ページの『PCI ライザー・ケージ・アセンブリーの取り外し』を参照)。
6. 新しいバッテリーを次のように挿入します。
 - a. バッテリーを傾けて、バッテリー・クリップの反対側でバッテリーをソケットに挿入できるようにします。



図 44. システム・バッテリーの取り付け

- b. カチッと音がして定位置に収まるまで、バッテリーを押し下げてソケットに差し込みます。バッテリー・クリップがバッテリーをしっかりと保持していることを確認します。
- c. バッテリー・ホルダーからゴム製のカバーを取り外した場合は、バッテリー・コネクタの上部に指でバッテリー・カバーを取り付けます。

7. 必要な場合は、PCI ライザー・カード・アセンブリー 2 を再取り付けします (170 ページの『PCI ライザー・ケージ・アセンブリーの再取り付け』を参照)。
8. カバーを取り付けます (122 ページの『コンピュート・ノード・カバーの取り付け』を参照)。
9. サーバーをスライドさせながらラックに差し込みます。
10. 外部ケーブルを再接続します。次に電源コードを再接続して、周辺装置とサーバーの電源をオンにします。
11. Setup ユーティリティを始動して、構成をリセットします。
 - システムの日付と時刻を設定します。
 - 始動パスワードを設定します。
 - サーバーを再構成します。

詳しくは、28 ページの『Setup ユーティリティの使用』を参照してください。

メモリー・モジュールの取り外し

以下の情報を使用して、メモリー・モジュールを取り外します。

このタスクについて

デュアル・インライン・メモリー・モジュール (DIMM) を取り外すには、次のステップを行います。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 110 ページの『取り付けに関するガイドライン』をお読みください。
2. サーバーと周辺装置の電源をオフにしてすべての電源コードを切り離します。
3. カバーを取り外します (120 ページの『コンピュート・ノード・カバーの取り外し』を参照)。
4. エアー・バッフルを取り外します (123 ページの『エアー・バッフルの取り外し』を参照)。
5. 慎重に DIMM コネクターの各端にある保持クリップを開き、DIMM を取り外します。

重要: DIMM 保持クリップが破損したり、DIMM コネクターが損傷するのを防ぐために、クリップの開閉は静かに行ってください。

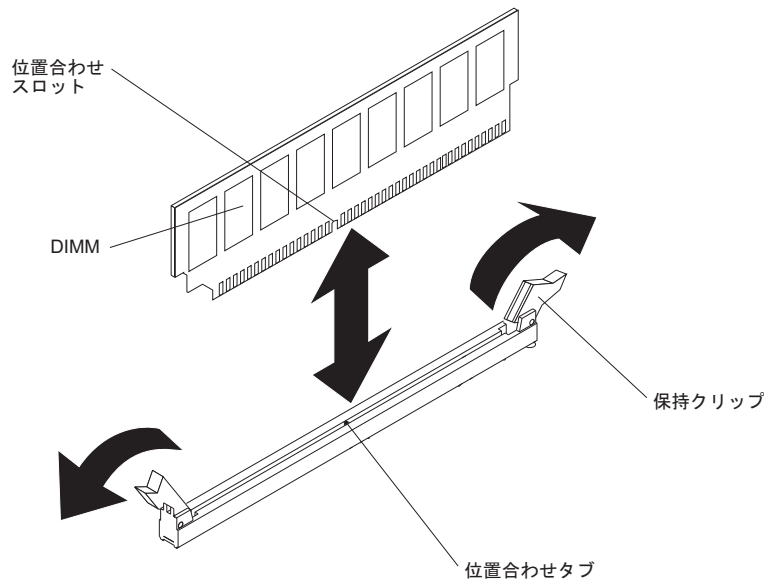


図 45. DIMM の取り外し

6. DIMM の返却を指示された場合は、梱包の指示に従って、提供されている配送用の梱包材を使用してください。

メモリー・モジュールの取り付け

以下の注意書きは、コンピュータ・ノードがサポートする DIMM のタイプと、DIMM を取り付ける際に考慮すべきその他の情報についての説明です。

- DIMM の取り付けまたは取り外しを行うと、コンピュータ・ノードの構成情報が変更されます。コンピュータ・ノードを再始動すると、メモリー構成が変更されたことを示すメッセージがシステムで表示されます。
- このコンピュータ・ノードは、業界標準の double-data-rate 3 (DDR3)、1066、1333、1600、または 1866 MHz、PC3-8500、PC3-10600、PC3-12800、または PC3-14900 registered または unbuffered、SDRAM デュアル・インライン・メモリー・モジュール (DIMM) (エラー修正コード (ECC) 付き) のみをサポートします。このコンピュータ・ノードに対してサポートされているメモリー・モジュールのリストについては、<http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us> を参照してください。
- DDR3 DIMM の仕様は、DIMM のラベルに以下の形式で記載されています。

ggggg eRxff PC3v-wwwwwm-aa-bb-ccd

ここで、

- *ggggg* は DIMM の合計容量です (例えば 1 GB、2 GB、または 4 GB)。
- *eR* はランク数です。
 - 1R = single-rank
 - 2R = dual-rank
 - 4R = quad-rank
- *xff* は、デバイスの編成 (ビット幅) です。
 - x4 = x4 編成 (1 SDRAM あたり 4 DQ 線)

x8 = x8 編成

x16 = x16 編成

- *v* は SDRAM およびサポート・コンポーネントの供給電圧です。

- ブランク = 1.5 V 指定
- L = 1.35 V 指定、1.5 V 作動可能

注: 上記の電圧の値が「指定」となっているのは、タイミングなどの装置特性がこの電圧でサポートされていることを意味します。値が「作動可能」となっているのは、この電圧で装置が安全に作動可能であることを意味します。ただし、タイミングなどの装置特性は、保証されない場合があります。すべての装置は DDR3 の最高公称電圧である 1.5 V を「許容」するはずですが、これは、これらの装置が 1.5 V では作動しない場合があるが、その電圧で装置へ損傷を与えずに電力を供給可能であることを意味します。

- *www* は、DIMM 帯域幅 (Mbps 単位) です。

6400 = 6.40 GBps (DDR3-800 SDRAM、8 バイト基本データ・バス)

8500 = 8.53 GBps (DDR3-1066 SDRAM、8 バイト基本データ・バス)

10600 = 10.66 GBps (DDR3-1333 SDRAM、8 バイト基本データ・バス)

12800 = 12.80 GBps (DDR3-1600 SDRAM、8 バイト基本データ・バス)

14900 = 14.93 GBps (DDR3-1866 SDRAM、8 バイト基本データ・バス)

- *m* は、DIMM のタイプです。

E = ECC 付きの unbuffered DIMM (UDIMM) (x72 ビット・モジュール・データ・バス)

L = Load Reduction DIMM (LRDIMM)

R = registered DIMM (RDIMM)

U = ECC なしの unbuffered DIMM (x64 ビット基本データ・バス)

- *aa* は CAS 待ち時間で、最大動作周波数のクロック数で表します。

- *bb* は、JEDEC SPD 改訂エンコードおよび追加レベルです。

- *cc* は、DIMM 設計の参照設計ファイルです。

- *d* は、DIMM 参照設計の改訂番号です。

注: DIMM のタイプを判別するには、DIMM のラベルを見てください。ラベル上の情報は、xxxxx *n*Rxxx PC3v-xxxxxx-xx-xx-xxx という形式です。6 番目の数値位置の数表示は、DIMM が single-rank (*n*=1) であるか、dual-rank (*n*=2) であるか、quad-rank (*n*=4) であることを示します。

- チャンネル内の RDIMM 数に応じて、DDR3 RDIMM の速度には以下のルールが適用されます。
 - チャンネルごとに 1 つの RDIMM を取り付けした場合、メモリーは 1866 MHz で稼働します。
 - チャンネルごとに 2 つの RDIMM を取り付けした場合、メモリーは 1600 MHz で稼働します。
 - チャンネルごとに 3 つの RDIMM を取り付けした場合、メモリーは 1066 MHz で稼働します。

- コンピュート・ノード内のすべてのチャンネルは、最も高速な共通周波数で稼働します
- registered DIMM、unbuffered DIMM、および負荷低減 DIMM (LRDIMM) を同一のコンピュート・ノードに取り付けしないでください。
- メモリーの最大速度は、マイクロプロセッサ、DIMM 速度、DIMM タイプ、UEFI 設定の「Operating Modes」、およびチャンネルごとに取り付けられた DIMM の数の組み合わせによって決まります。
- two-DIMM-per-channel (チャンネルごとに 2 個の DIMM) 構成では、コンピュート・ノードは以下の条件を満たす場合、自動的に最大メモリー速度 1600 MHz で作動します。
 - 2 個の 1.35 V single-rank、dual-rank、または quad-rank UDIMM、RDIMM、または LRDIMM が同じチャンネルに取り付けられている。 Setup ユーティリティーで、「Memory speed」が「Max performance」モードに設定されており、「LV-DIMM power」が「Enhance performance」モードに設定されている。 1.35 V UDIMM、RDIMM、または LRDIMM は、1.5 V で機能します。
- コンピュート・ノードは、最大 8 個の dual-rank UDIMM をサポートします。 コンピュート・ノードは、チャンネルごとに最大 1 個の UDIMM をサポートします。
- コンピュート・ノードは、最大 8 個の dual-rank RDIMM をサポートします。 コンピュート・ノードは、チャンネルごとに最大 1 個の RDIMM をサポートします。
- 次の表は、ランク指定された DIMM を使用して取り付けることができるメモリーの最大量の例を示しています。

表 11. 各ランクの DIMM を使用して取り付けられる最大メモリー

DIMM の数	DIMM のタイプ	DIMM のサイズ	合計メモリー
8	Dual-rank UDIMM	4 GB	32 GB
8	Single-rank RDIMM	4 GB	32 GB
8	Dual-rank RDIMM	4 GB	32 GB
8	Single-rank RDIMM	8 GB	64 GB
8	Dual-rank RDIMM	8 GB	64 GB
8	Dual-rank RDIMM	16 GB	128 GB

- このコンピュート・ノードで利用できる UDIMM オプションは、4 GB です。 このコンピュート・ノードは、UDIMM を使用した場合、最小 4 GB、最大 32 GB のシステム・メモリーをサポートします。
- このコンピュート・ノードで利用可能な RDIMM オプションは、4 GB、8 GB および 16 GB です。 このコンピュート・ノードは、RDIMM を使用した場合、最小 4 GB、最大 128 GB のシステム・メモリーをサポートします。
- 各マイクロプロセッサには、少なくとも 1 個の DIMM を取り付ける必要があります。例えば、コンピュート・ノードに 2 個のマイクロプロセッサが取り付けられている場合、少なくとも 2 個の DIMM を取り付ける必要があります。 ただし、システム・パフォーマンスを向上させるには、各マイクロプロセッサに少なくとも 4 個の DIMM を取り付けてください。

- コンピュート・ノードが適切に作動することを確実にするために、コンピュータ・ノード内の DIMM は同じタイプ (RDIMM または UDIMM) でなければなりません。
- チャンネルに quad-rank DIMM を 1 つ取り付ける場合は、マイクロプロセッサから最も遠い DIMM コネクタに取り付けてください。

注:

1. マイクロプロセッサ 2 を取り付けたらすぐにマイクロプロセッサ 2 の DIMM を取り付けることができます。マイクロプロセッサ 1 のすべての DIMM スロットが装着されるまで待つ必要はありません。
2. DIMM スロット 5 から 8 は、マイクロプロセッサ 2 用に予約されています。したがって、DIMM スロット 5 から 8 は、マイクロプロセッサ 2 を取り付けた場合に使用可能になります。

下図は、システム・ボード上の DIMM コネクタの位置を示しています。

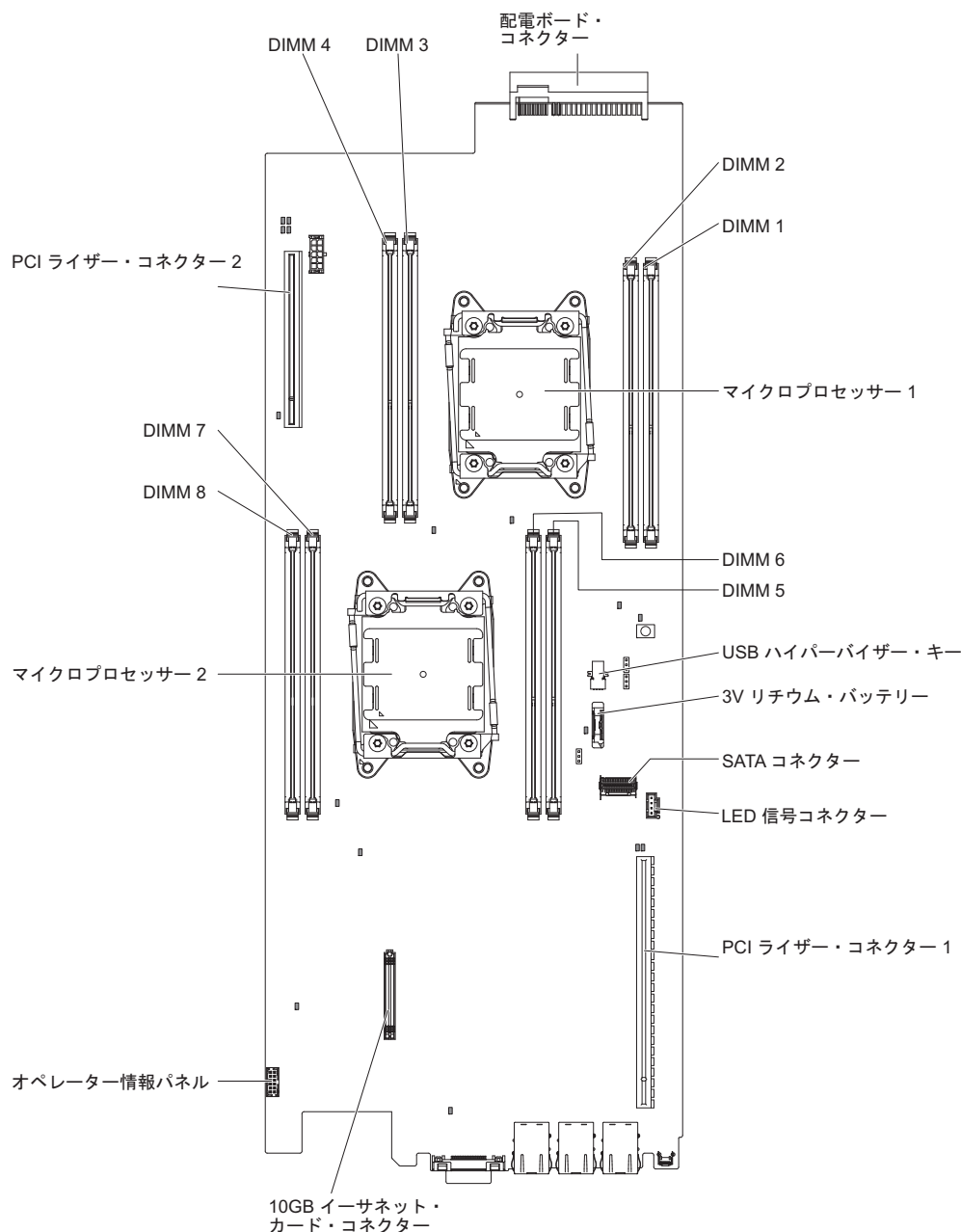


図 46. DIMM コネクタの位置

DIMM の取り付け順序

サーバー・モデルに応じて、サーバーには標準で少なくとも 1 つの 4 GB DIMM がスロット 1 に取り付けられています。追加の DIMM を取り付ける場合は、システム・パフォーマンスを最適化するために、以下の表に示されている順序で DIMM を取り付けます。

一般的に、各マイクロプロセッサのメモリー・インターフェース上のチャンネルには、いずれも任意の順序で DIMM を装着することが可能で、マッチング要件はありません。

表 12. 通常モードでの DIMM の取り付け順序

取り付け済みのマイクロプロセッサ数	DIMM コネクタの装着順序
マイクロプロセッサを 1 つ取り付け済み	4, 3, 1, 2
マイクロプロセッサを 2 つ取り付け済み	4, 5, 3, 6, 1, 8, 2, 7

メモリー・ミラーリング・チャンネル

メモリー・ミラーリング・チャンネル・モードでは、データが 2 つのチャンネル内の 2 ペアの DIMM に同時に複製および保管されます。

障害が発生すると、メモリー・コントローラーは、1 次ペアのメモリー DIMM からバックアップ・ペアの DIMM に切り替わります。Setup ユーティリティを使用してメモリー・ミラーリング・チャンネルを使用可能にするには、「**System Settings**」 > 「**Memory**」を選択します。詳しくは、28 ページの『Setup ユーティリティの使用』を参照してください。メモリー・ミラーリング・チャンネル機能を使用する場合、以下の情報について考慮してください。

- メモリー・ミラーリング・チャンネルを使用する場合、DIMM をペアで同時に付ける必要があります。各ペアの 2 個の DIMM は、サイズ、タイプ、ランク (single、dual、または quad)、および編成が同一である必要がありますが、速度が同一である必要はありません。チャンネルは、すべてのチャンネル内で最も遅い DIMM の速度で稼働します。
- メモリー・ミラーリング・チャンネルを使用可能にした場合、最大使用可能メモリーは取り付け済みのメモリーの半分に減少します。例えば、RDIMM を使用して 8 GB のメモリーを取り付ける場合、メモリー・ミラーリング・チャンネルを使用すると 4 GB のアドレス可能メモリーのみが使用可能です。

次の表は、メモリー・ミラーリング・チャンネル・モードでの取り付け順序を示しています。

表 13. メモリー・ミラーリング・チャンネル・モードの DIMM 装着順序

取り付け済みのマイクロプロセッサ数	DIMM コネクタの装着順序
マイクロプロセッサを 1 つ取り付け済み	4, 3, 1, 2
マイクロプロセッサを 2 つ取り付け済み	4, 3, 5, 6, 1, 2, 8, 7

メモリー・モジュールの交換

以下の情報を使用して、DIMM を取り付けます。

このタスクについて

手順

- vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 110 ページの『取り付けに関するガイドライン』をお読みください。

2. サーバーと周辺装置の電源をオフにして、必要に応じて電源コードとすべての外部ケーブルを切り離します。
3. カバーを取り外します (120 ページの『コンピュータ・ノード・カバーの取り外し』を参照)。
4. エアー・バッフルを取り外します (123 ページの『エアー・バッフルの取り外し』を参照)。
5. 慎重に DIMM コネクターの各端にある保持クリップを開き、DIMM を取り外します。

重要: DIMM 保持クリップが破損したり、DIMM コネクターが損傷するのを防ぐために、クリップの開閉は静かに行ってください。

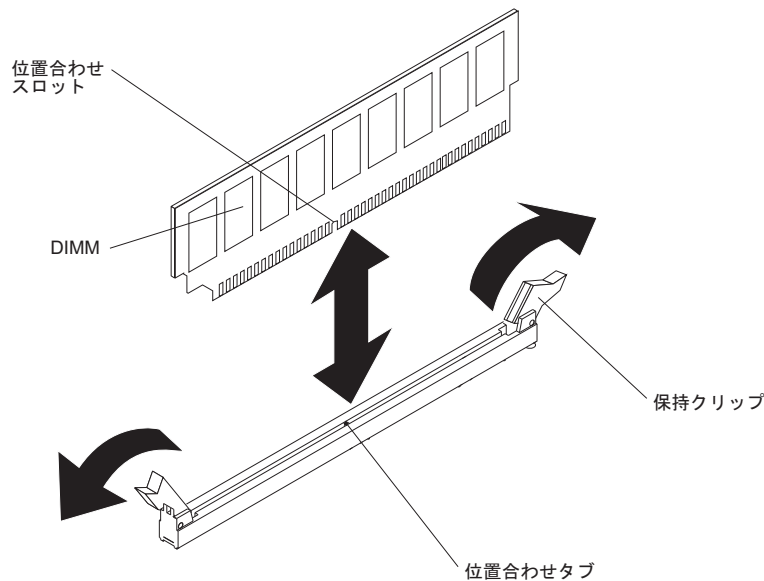


図 47. DIMM の取り付け

6. DIMM が入っている静電防止パッケージを、サーバーの外側の塗装されていない金属面に接触させます。次に DIMM をパッケージから取り出します。
7. 位置合わせスロットと位置合わせタブの位置が正しく合う方向に DIMM を向けます。
8. DIMM の端を、DIMM コネクターの両端にあるスロットの位置に合わせて、DIMM をコネクターに挿入します。
9. DIMM の両端に同時に圧力を加えて、DIMM をコネクターにまっすぐ押し下げ、しっかり押し込みます。DIMM がコネクターにしっかり収まると、保持クリップがカチッという音を立て、ロック位置に固定されます。

注: DIMM と保持クリップの間にすき間がある場合は、DIMM が正しく挿入されていません。保持クリップを開いて DIMM を取り外し、挿入し直してください。

10. エアー・バッフルを再取り付けします (124 ページの『エアー・バッフルの再取り付け』を参照)。

注: エアー・バッフルを再取り付けする前に、DIMM を取り付けしていないスロットを含めて、すべての保持クリップを閉じます。

11. カバーを取り付け直します (122 ページの『コンピュータ・ノード・カバーの取り付け』を参照)。
12. 取り外した電源コードおよびすべてのケーブルを再接続します。
13. 周辺装置とサーバーの電源をオンにします。

オプションの 3.5 型ハード・ディスク・ハードウェア RAID ケージの取り外し

オプションの 3.5 型ハード・ディスク・ハードウェア RAID ケージを取り外すには、この情報を使用します。

始める前に

オプションの 3.5 型ハード・ディスク・ハードウェア RAID ケージを取り外す前に、次のステップを実行してください。

1. vii ページの『安全について』および 110 ページの『取り付けに関するガイドライン』をお読みください。
2. IBM NeXtScale n1200 エンクロージャーにコンピュータ・ノードが取り付けられている場合は、それを取り外します (手順については 113 ページの『シャーシからのコンピュータ・ノードの取り外し』を参照)。
3. コンピュータ・ノードのベゼルを手前に向けて、帯電防止されている平らな面にコンピュータ・ノードを注意して置きます。

手順

オプションの 3.5 型ハード・ディスク・ハードウェア RAID ケージを取り外すには、次のステップを実行してください。

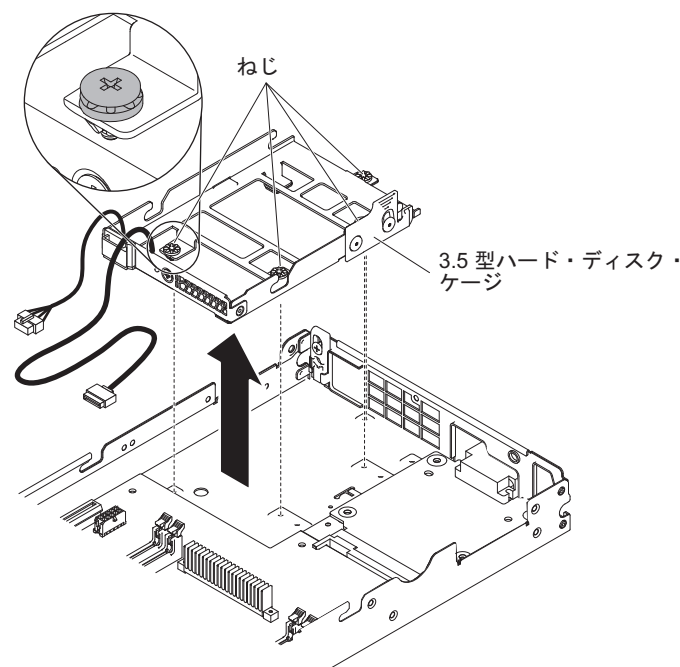


図 48. 3.5 型ハード・ディスク・ハードウェア RAID ケージの取り外し

1. カバーを取り外します (120 ページの『コンピュータ・ノード・カバーの取り外し』を参照)。
2. システム・ボードから電源ケーブルを、ストレージ・トレイから mini-SAS ケーブルを、それぞれ切り離します (196 ページの『ハード・ディスクと ServeRAID SAS/SATA コントローラーのケーブル接続』を参照)。

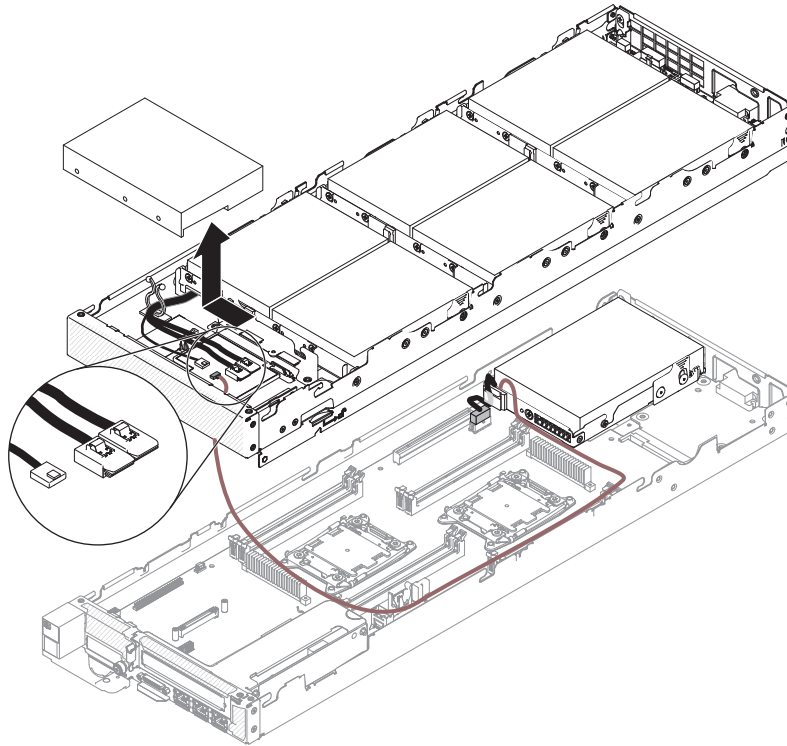


図 49. mini-SAS ケーブルのストレージ・トレイからの切り離し

3. イージー・スワップ・ハード・ディスク #7 を取り外します (158 ページの『3.5 型ハード・ディスクの取り外し』を参照)。
4. プラス・ドライバーを使用して、ケージから 4 個のねじを取り外し、ベゼルの下からケージを回転させます。次に、ケージをコンピュータ・ノードから斜めに取り外します。

次のタスク

ハード・ディスク・ケージの返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、部品がお手元に届いたときの配送用パッケージ材がある場合は、それを使用してください。

オプションの 3.5 型ハード・ディスク・ハードウェア RAID ケージの取り付け

オプションの 3.5 型ハード・ディスク・ハードウェア RAID ケージを取り付けるには、この情報を使用します。

始める前に

ハード・ディスク・ケージを取り付ける前に、以下のステップを実行してください。

1. vii ページの『安全について』および 110 ページの『取り付けに関するガイドライン』をお読みください。
2. IBM NeXtScale n1200 エンクロージャーにコンピュート・ノードが取り付けられている場合は、それを取り外します (手順については 113 ページの『シャーシからのコンピュート・ノードの取り外し』を参照)。
3. コンピュート・ノードのベゼルを手前に向けて、帯電防止されている平らな面にコンピュート・ノードを注意して置きます。

手順

オプションの 3.5 型ハード・ディスク・ハードウェア RAID ケージを取り付けるには、次のステップを実行してください。

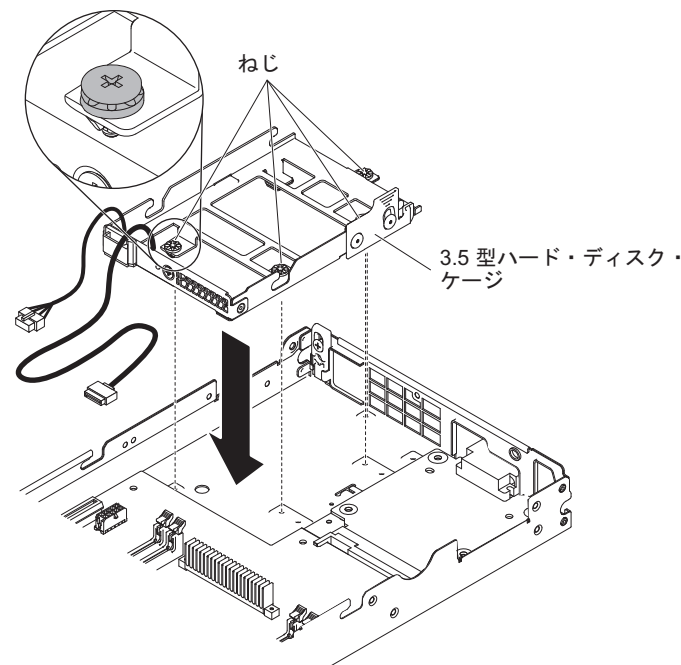


図 50. 3.5 型ハード・ディスク・ハードウェア RAID ケージの取り付け

1. カバーを取り外します (120 ページの『コンピュート・ノード・カバーの取り外し』を参照)。
2. ハードウェア RAID ケージをベゼルに斜めに配置して、ケージをシステム・ボード上の所定の位置に回転させます。
3. ケージをシステム・ボード上のねじ穴に位置合わせします。
4. プラス・ドライバーを使用して、4 個のねじを挿入し、ケージをコンピュート・ノードに固定します。
5. イージー・スワップ・ハード・ディスク #7 を取り付けます (159 ページの『3.5 型ハード・ディスクの取り付け』を参照)。

6. システム・ボードに電源ケーブルを、ストレージ・トレイに mini-SAS ケーブルを、それぞれ接続します (196 ページの『ハード・ディスクと ServeRAID SAS/SATA コントローラーのケーブル接続』を参照)。

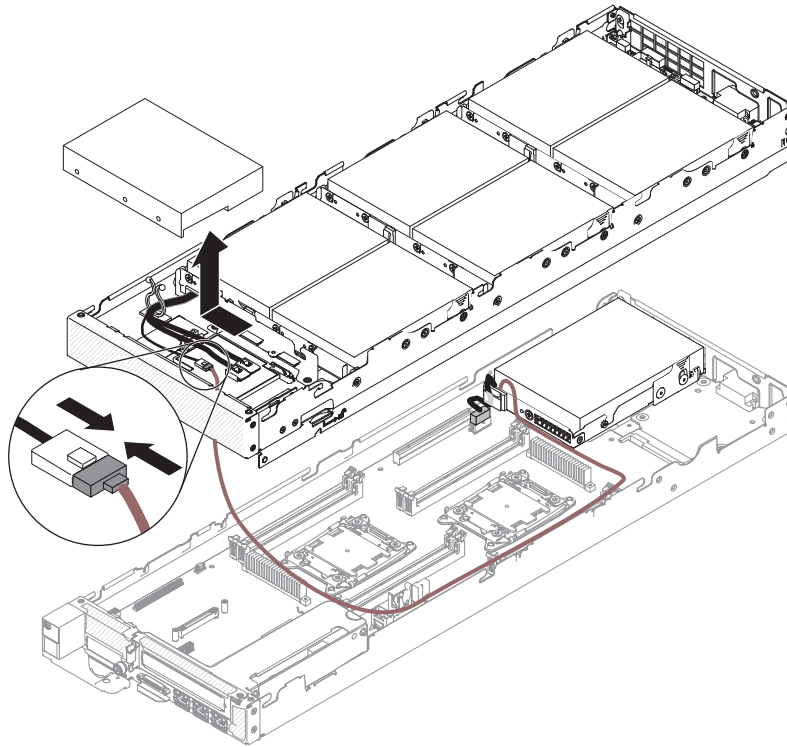


図 51. mini-SAS ケーブルのストレージ・トレイへの接続

次のタスク

ハード・ディスク・ケージを取り付けた後、以下のステップを実行してください。

1. コンピュート・ノードにカバーを取り付けます (手順については 122 ページの『コンピュート・ノード・カバーの取り付け』を参照)。
2. コンピュート・ノードをシャーシの中に取り付けます (手順については、114 ページの『シャーシへのコンピュート・ノードの取り付け』を参照)。

ハード・ディスク・バックプレートの取り外し

ハード・ディスク・バックプレートを取り外すには、この情報を使用します。

始める前に

ハード・ディスク・バックプレートを取り外す前に、以下のステップを実行してください。

1. vii ページの『安全について』および 110 ページの『取り付けに関するガイドライン』をお読みください。
2. IBM NeXtScale n1200 エンクロージャーにコンピュート・ノードが取り付けられている場合は、それを取り外します (手順については 113 ページの『シャーシからのコンピュート・ノードの取り外し』を参照)。

3. コンピュート・ノードのベゼルを手前に向けて、帯電防止されている平らな面に
コンピューター・ノードを注意して置きます。

手順

ハード・ディスク・バックプレートを取り外すには、以下のステップを実行してください。

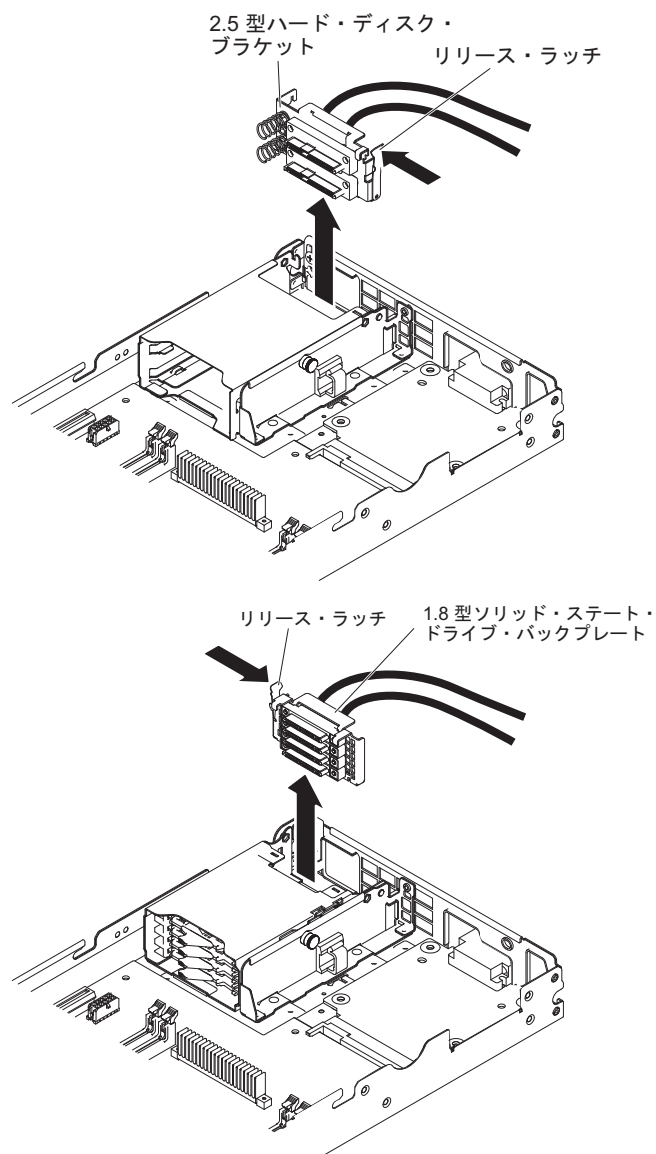


図 52. 2.5 型および 1.8 型それぞれにおける HDD バックプレートの取り外し

1. カバーを取り外します (120 ページの『コンピューター・ノード・カバーの取り外し』を参照)。
2. イージー・スワップ・ハード・ディスクおよびハード・ディスク・ベイ・フィルターのラッチを外して、(ドライブまたはフィルターを外せるようになるまで) わずかに外へ引き出します。
3. リリース・ラッチを解除し、ハード・ディスク・バックプレートを持ち上げて取り外します。

次のタスク

ハード・ディスク・バックプレートの返却を指示された場合は、梱包の指示に従って、提供されている配送用の梱包材を使用してください。

ハード・ディスク・バックプレートの取り付け

ハード・ディスク・バックプレートを取り付けるには、この情報を使用します。

始める前に

ハード・ディスク・バックプレートを取り付ける前に、以下のステップを実行してください。

1. vii ページの『安全について』および 110 ページの『取り付けに関するガイドライン』をお読みください。
2. IBM NeXtScale n1200 エンクロージャーにコンピュート・ノードが取り付けられている場合は、それを取り外します (手順については 113 ページの『シャーシからのコンピュート・ノードの取り外し』を参照)。
3. コンピュート・ノードのベゼルを手前に向けて、帯電防止されている平らな面にコンピュート・ノードを注意して置きます。

手順

ハード・ディスク・バックプレートを取り付けるには、次のステップを実行してください。

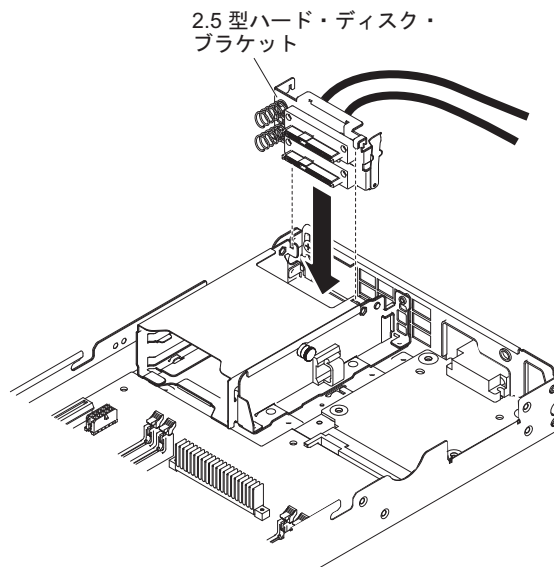


図 53. 2.5 型のバックプレートの取り付け

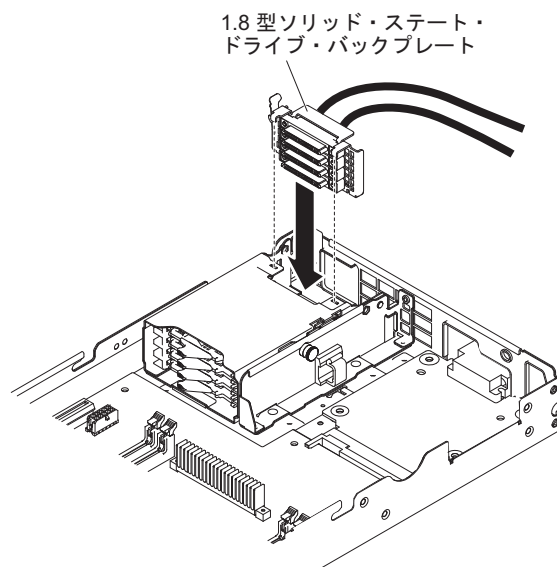


図 54. 1.8 型のバックプレートの取り付け

1. カバーを取り外します (120 ページの『コンピュータ・ノード・カバーの取り外し』を参照)。
2. バックプレートをハード・ディスク・ケージおよびシステム・ボード上のコネクタに位置合わせし、バックプレートがコネクタに完全に装着されて所定の位置に収まるまで押し込みます。
3. リリース・ラッチを閉じます。
4. ハード・ディスクをベイの中にスライドさせて入れ、コネクタにしっかり装着します。
5. リリース・レバーを閉じて、ハード・ディスクをロックします。

次のタスク

ハード・ディスク・バックプレートを取り付けた後、以下のステップを実行してください。

1. コンピュータ・ノードにカバーを取り付けます (手順については 122 ページの『コンピュータ・ノード・カバーの取り付け』を参照)。
2. コンピュータ・ノードをシャーシの中に取り付けます (手順については、114 ページの『シャーシへのコンピュータ・ノードの取り付け』を参照)。

ドライブの取り外しと取り付け

以下の情報を使用して、ドライブの取り外しと取り付けを行います。

以下の注記には、このサーバーがサポートするハード・ディスクのタイプと、ハード・ディスクの取り付け時に考慮すべきその他の情報が記載されています。サポートされているハード・ディスクのリストについては、<http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us/> を参照してください。

- この章の説明のほかに、ハード・ディスクに付属の資料に記載されている説明に従ってください。

- すべてのケーブル、およびドライブに付属する資料で指定されている他の装置があることを確認します。
- ドライブを取り付けるベイを選択します。
- ドライブのスイッチまたはジャンパーを設定する必要があるかどうか判別するために、ドライブに付属の説明書を調べます。SAS または SATA ハード・ディスクを取り付けている場合、その装置の SAS または SATA ID を必ず設定してください。
- コンピュート・ノードは、最大 1 個の 3.5 型、2 個の 2.5 型、または 4 個の 1.8 型イージー・スワップ SAS または SATA ハード・ディスクをサポートします。
- サーバーがサポートするオプション装置の完全なリストについては、
<http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us/http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us/>を参照してください。

3.5 型ハード・ディスクの取り外し

以下の情報を使用して、3.5 型 SAS/SATA ハード・ディスクを取り外します。

このタスクについて

3.5 型 SAS/SATA ハード・ディスクを取り外すには、次のステップを実行してください。

手順

1. vii ページの『安全について』および 110 ページの『取り付けに関するガイドライン』をお読みください。
2. IBM NeXtScale n1200 エンクロージャーにコンピュート・ノードが取り付けられている場合は、それを取り外します (手順については 113 ページの『シャーシからのコンピュート・ノードの取り外し』を参照)。
3. コンピュート・ノードのベゼルを手前に向けて、帯電防止されている平らな面にコンピュート・ノードを注意して置きます。
4. カバーを取り外します (120 ページの『コンピュート・ノード・カバーの取り外し』を参照)。
5. リリース・ラッチを押し下げます。
6. ハード・ディスクを外側に押して、持ち上げてベイから外します。

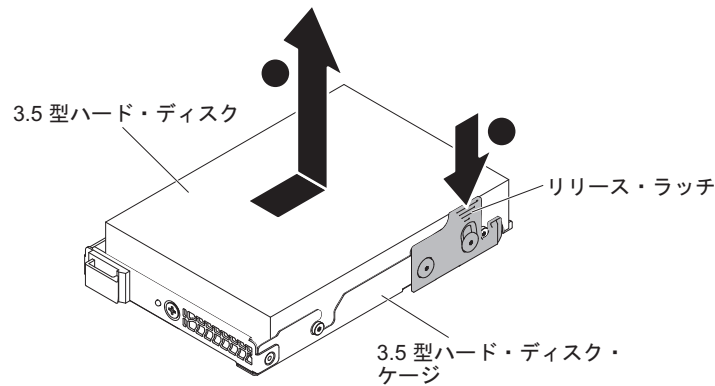


図 55. 3.5 型ハード・ディスクの取り外し

次のタスク

コンポーネントまたはオプション装置の返却を求められた場合は、すべての梱包上の指示に従い、提供された配送用の梱包材がある場合はそれを使用してください。

3.5 型ハード・ディスクの取り付け

以下の情報を使用して、3.5 型 SAS/SATA ハード・ディスクを取り付けます。

始める前に

3.5 型ハード・ディスクを取り付ける前に、次の情報をお読みください。

- ドライブ・トレイに損傷の形跡がないか調べます。
- システムの冷却を正常に保つため、各ドライブ・ベイにドライブまたはフィルター・パネルを取り付けない状態で、10 分間より長くサーバーを稼働させないでください。

このタスクについて

3.5 型 SAS/SATA ハード・ディスクを取り付けるには、次のステップを実行してください。

手順

1. vii ページの『安全について』および 110 ページの『取り付けに関するガイドライン』をお読みください。
2. IBM NeXtScale n1200 エンクロージャーにコンピュート・ノードが取り付けられている場合は、それを取り外します (手順については 113 ページの『シャーシからのコンピュート・ノードの取り外し』を参照)。
3. コンピュート・ノードのベゼルを手前に向けて、帯電防止されている平らな面にコンピュート・ノードを注意して置きます。
4. カバーを取り外します (120 ページの『コンピュート・ノード・カバーの取り外し』を参照)。
5. フィラー・パネルが取り付けられている場合は取り外します。
6. ディスク・ドライブを収納している帯電防止パッケージを、サーバーの塗装されていない金属面に接触させてから、パッケージからディスク・ドライブを取り出し、帯電防止面にそれを置きます。

7. ドライブをベイのガイド・レールに位置合わせし、ドライブ・アセンブリーが所定の位置にカチッと音を立てて収まるまでドライブ・ベイに慎重にスライドして挿入します。

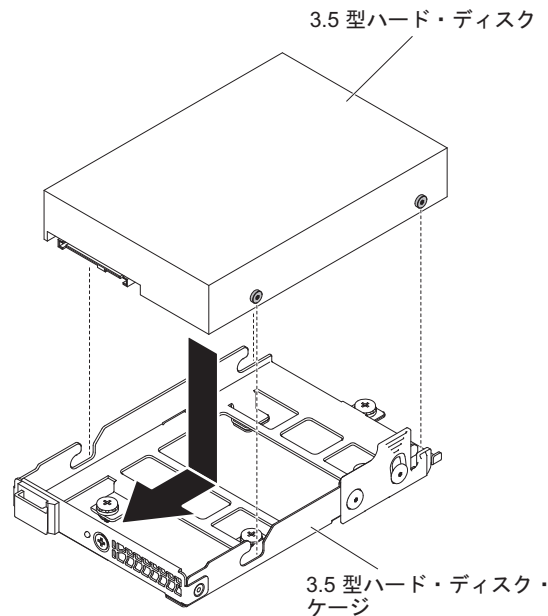


図 56. 3.5 型ハード・ディスクの取り付け

8. ハード・ディスク状況インディケータを見て、ハード・ディスクが正しく稼働しているかどうか確認します。故障したハード・ディスクを交換した後、ディスクが回転すると緑色の活動 LED が点滅します。およそ 1 分後に黄色の LED が消灯します。新しいドライブが再構築を開始すると、黄色の LED がゆっくり点滅し、緑色の活動 LED は再構築プロセス中は点灯しています。黄色の LED が点灯し続ける場合、詳しくは 75 ページの『ハード・ディスクの問題』を参照してください。

注: ハード・ディスクを取り付けた後、ディスク・アレイを再構成する必要があります。RAID アダプターについて詳しくは、IBM Web サイト (<http://www.ibm.com/supportportal>) の RAID 資料を参照してください。

次のタスク

ハード・ディスク・バックプレートを取り付けた後、以下のステップを実行してください。

1. コンピュート・ノードにカバーを取り付けます (手順については 122 ページの『コンピュート・ノード・カバーの取り付け』を参照)。
2. コンピュート・ノードをシャーシの中に取り付けます (手順については、114 ページの『シャーシへのコンピュート・ノードの取り付け』を参照)。

2.5 型ハード・ディスクの取り外し

以下の情報を使用して、2.5 型ハード・ディスクを取り外します。

始める前に

重要: 電源がオンのサーバーの内部コンポーネントに静電気が放電すると、サーバーは停止することがあり、その結果データが失われる可能性があります。こうした潜在的な問題が起きないように、電源をオンにしたサーバーの内部で作業を行うときは、常に静電気放電用のリスト・ストラップを着用するか、またはその他の接地対策を採用してください。

このタスクについて

2.5 型ハード・ディスクを取り外すには、次のステップを実行してください。

手順

1. vii ページの『安全について』および 110 ページの『取り付けに関するガイドライン』をお読みください。
2. IBM NeXtScale n1200 エンクロージャーにコンピュート・ノードが取り付けられている場合は、それを取り外します (手順については 113 ページの『シャーシからのコンピュート・ノードの取り外し』を参照)。
3. コンピュート・ノードのベゼルを手前に向けて、帯電防止されている平らな面にコンピュート・ノードを注意して置きます。
4. カバーを取り外します (120 ページの『コンピュート・ノード・カバーの取り外し』を参照)。
5. 2.5 型ハード・ディスク・ケージのプランジャーを外側に引き、ケージを上側に回転させます。

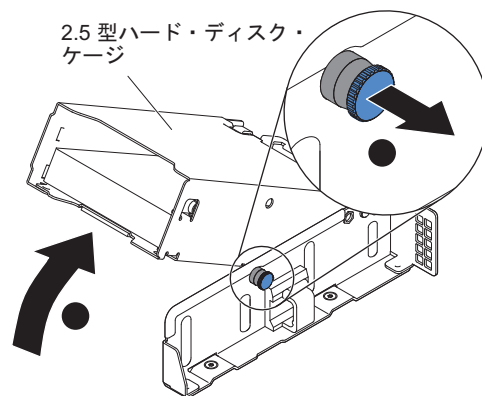


図 57. 2.5 型ハード・ディスク・ケージを持ち上げる

6. このラッチを慎重に外側に少し押して、ねじをラッチ・ホールから解放します。次に、ハード・ディスクを取り外します。

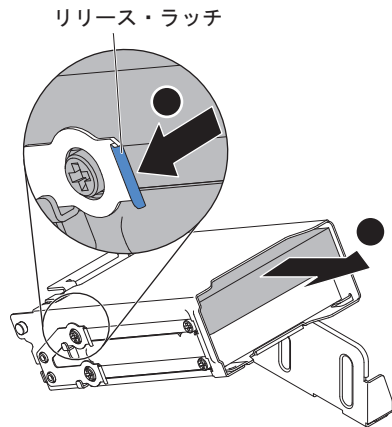


図 58. 2.5 型ハード・ディスクの取り外し

7. 2.5 型ハード・ディスク・ケージのプランジャーを外側に引き、ケージがカチッと音を立てて所定の位置になるまで、ケージを下側に回転させます。

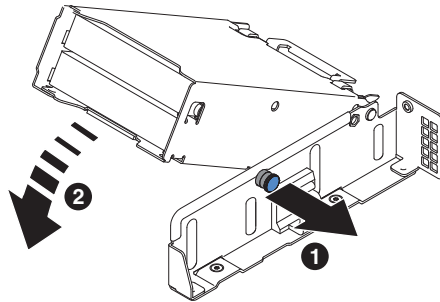


図 59. 2.5 型ハード・ディスクを下げる

次のタスク

コンポーネントまたはオプション装置の返却を求められた場合は、すべての梱包上の指示に従い、提供された配送用の梱包材がある場合はそれを使用してください。

2.5 型ハード・ディスクの取り付け

以下の情報を使用して、2.5 型ハード・ディスクを取り付けます。

始める前に

以下の注意書きでは、このサーバーがサポートしているハード・ディスクのタイプ、およびハード・ディスクを取り付けるときに考慮する必要があるその他の情報を説明しています。

- コンピュータ・ノードはそのモデルに応じて、ベイ内に最大 2 個の 2.5 型 SAS/SATA ハード・ディスクをサポートします。
- サーバーでサポートされているオプション装置のリストについては、<http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us>を参照してください。
- ドライブとドライブ・ベイを調べて、損傷が発生した形跡がないか確認します。
- ドライブがドライブ・ベイに正しく取り付けられていることを確認します。

- ハード・ディスクの取り付けについては、ServeRAID アダプターの資料を参照してください。
- サーバー内のホット・スワップ・ドライブはすべて同一スロット定格速度でなければなりません。異なる定格速度のドライブを使用した場合、すべてのドライブが最低のスロット速度で作動することがあります。
- ケーブルの取り付けまたは取り外しを含む手順を実行する場合、コンピュータ・ノードの電源をオフにする必要があります。

重要: 電源がオンのサーバーの内部コンポーネントに静電気が放電すると、サーバーは停止することがあり、その結果データが失われる可能性があります。こうした潜在的な問題が起きないように、電源をオンにしたサーバーの内部で作業を行うときは、常に静電気放電用のリスト・ストラップを着用するか、またはその他の接地対策を採用してください。

このタスクについて

2.5 型ハード・ディスクを取り付けるには、次のステップを実行してください。

手順

1. vii ページの『安全について』および 110 ページの『取り付けに関するガイドライン』をお読みください。
2. IBM NeXtScale n1200 エンクロージャーにコンピュータ・ノードが取り付けられている場合は、それを取り外します (手順については 113 ページの『シャーシからのコンピュータ・ノードの取り外し』を参照)。
3. コンピュータ・ノードのベゼルを手前に向けて、帯電防止されている平らな面にコンピュータ・ノードを注意して置きます。
4. カバーを取り外します (120 ページの『コンピュータ・ノード・カバーの取り外し』を参照)。
5. 2.5 型ハード・ディスク・ケージのプランジャーを外側に引き、ケージを上側に回転させます。

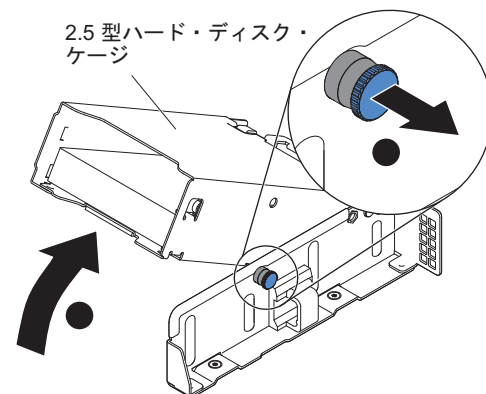


図 60. 2.5 型ハード・ディスク・ケージを持ち上げる

6. フィラー・パネルが取り付けられている場合は取り外します。

7. ディスク・ドライブが入っている帯電防止パッケージをサーバーの塗装されていない金属面に接触させた後、パッケージからディスク・ドライブを取り出します。
8. ドライブをハード・ディスク・ケージのベイに位置合わせし、ドライブが所定の位置にカチッと音を立てて収まるまでドライブ・ベイに慎重にスライドして挿入します。

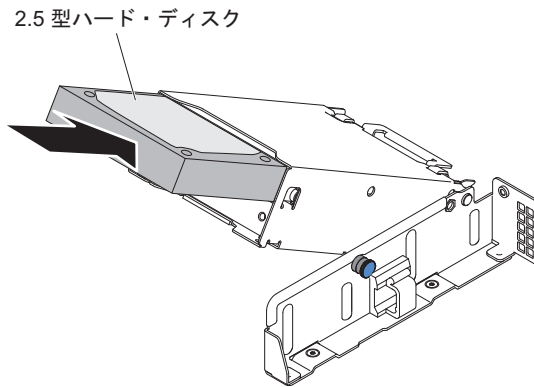


図 61. 2.5 型ハード・ディスクの取り付け

9. 2.5 型ハード・ディスク・ケージのブランジャーを外側に引き、ケージがカチッと音を立てて所定の位置になるまで、ケージを下側に回転させます。

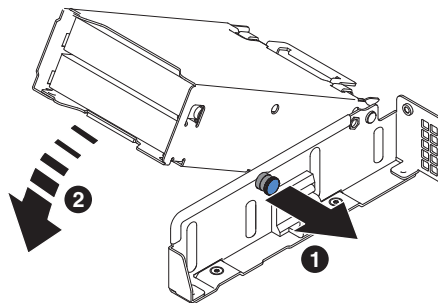


図 62. 2.5 型ハード・ディスクを下げる

注:

- a. ハード・ディスクを取り付けたら、ディスク・ドライブの状況 LED をチェックして、ハード・ディスクが正常に動作していることを確認します。黄色のハード・ディスク状況 LED が連続して点灯している場合は、そのドライブに障害があり、交換する必要があります。緑色のハード・ディスク活動 LED が点滅している場合、そのドライブはアクセス中です。
- b. オプションの ServeRAID アダプターを使用してサーバーが RAID 操作用に構成されている場合、ハード・ディスクの取り付け後にディスク・アレイの再構成が必要になる場合があります。RAID 操作の詳細と ServeRAID マネージャーを使用するための詳細な説明に関しては、*IBM ServeRAID Support CD* にある ServeRAID の資料を参照してください。

次のタスク

ハード・ディスク・バックプレートを取り付けた後、以下のステップを実行してください。

1. コンピュート・ノードにカバーを取り付けます (手順については 122 ページの『コンピュート・ノード・カバーの取り付け』を参照)。
2. コンピュート・ノードをシャーシの中に取り付けます (手順については、114 ページの『シャーシへのコンピュート・ノードの取り付け』を参照)。

1.8 型ハード・ディスクの取り外し

以下の情報を使用して、1.8 型ハード・ディスクを取り外します。

始める前に

重要: 電源がオンのサーバーの内部コンポーネントに静電気が放電すると、サーバーは停止することがあり、その結果データが失われる可能性があります。こうした潜在的な問題が起きないように、電源をオンにしたサーバーの内部で作業を行うときは、常に静電気放電用のリスト・ストラップを着用するか、またはその他の接地対策を採用してください。

このタスクについて

1.8 型ハード・ディスクを取り外すには、次のステップを実行してください。

手順

1. vii ページの『安全について』および 110 ページの『取り付けに関するガイドライン』をお読みください。
2. IBM NeXtScale n1200 エンクロージャーにコンピュート・ノードが取り付けられている場合は、それを取り外します (手順については 113 ページの『シャーシからのコンピュート・ノードの取り外し』を参照)。
3. コンピュート・ノードのベゼルを手前に向けて、帯電防止されている平らな面にコンピュート・ノードを注意して置きます。
4. カバーを取り外します (120 ページの『コンピュート・ノード・カバーの取り外し』を参照)。
5. 1.8 型ハード・ディスク・ケージのブランジャーを外側に引き、ケージを上側に回転させます。

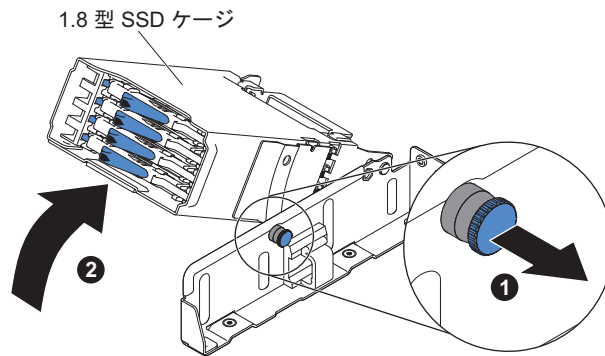


図 63. 1.8 型ハード・ディスク・ケージを持ち上げる

6. リリース・ラッチを内側に押してドライブ・ハンドルを開いてから、ドライブをドライブ・ベイから引き出します。

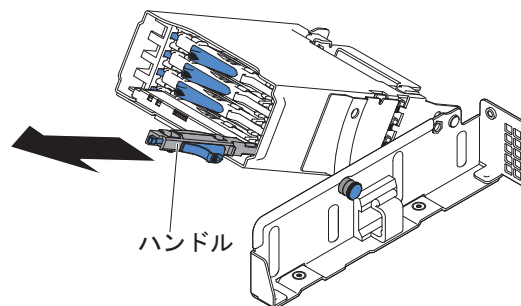


図 64. 1.8 型ハード・ディスクの取り外し

7. 1.8 型ハード・ディスク・ケージのブランジャーを外側に引き、ケージがカチッと音を立てて所定の位置になるまで、ケージを下側に回転させます。

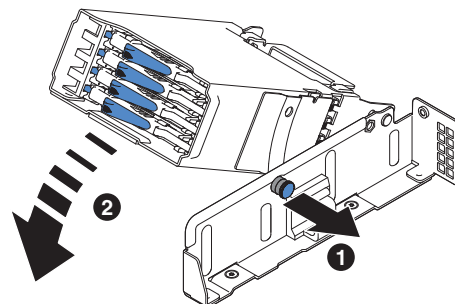


図 65. 1.8 型ハード・ディスクを下げる

次のタスク

コンポーネントまたはオプション装置の返却を求められた場合は、すべての梱包上の指示に従い、提供された配送用の梱包材がある場合はそれを使用してください。

1.8 型ハード・ディスクの取り付け

以下の情報を使用して、1.8 型ハード・ディスクを取り付けます。

始める前に

以下の注意書きでは、このサーバーがサポートしているハード・ディスクのタイプ、およびハード・ディスクを取り付けるときに考慮する必要があるその他の情報を説明しています。

- コンピュート・ノードはそのモデルに応じて、ベイ内に最大 4 個の 1.8 型 SAS/SATA ハード・ディスクをサポートします。
- サーバーでサポートされているオプション装置のリストについては、<http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us>を参照してください。
- ドライブとドライブ・ベイを調べて、損傷が発生した形跡がないか確認します。
- ドライブがドライブ・ベイに正しく取り付けられていることを確認します。
- ハード・ディスクの取り付けについては、ServeRAID アダプターの資料を参照してください。
- サーバー内のホット・スワップ・ドライブはすべて同一スループット定格速度でなければなりません。異なる定格速度のドライブを使用した場合、すべてのドライブが最低のスループット速度で作動することがあります。
- ケーブルの取り付けまたは取り外しを含む手順を実行する場合、コンピュート・ノードの電源をオフにする必要があります。

重要: 電源がオンのサーバーの内部コンポーネントに静電気が放電すると、サーバーは停止することがあり、その結果データが失われる可能性があります。こうした潜在的な問題が起きないように、電源をオンにしたサーバーの内部で作業を行うときは、常に静電気放電用のリスト・ストラップを着用するか、またはその他の接地対策を採用してください。

このタスクについて

1.8 型ハード・ディスクを取り付けるには、次のステップを実行してください。

手順

1. vii ページの『安全について』および 110 ページの『取り付けに関するガイドライン』をお読みください。
2. IBM NeXtScale n1200 エンクロージャーにコンピュート・ノードが取り付けられている場合は、それを取り外します (手順については 113 ページの『シャーシからのコンピュート・ノードの取り外し』を参照)。
3. コンピュート・ノードのベゼルを手前に向けて、帯電防止されている平らな面にコンピュート・ノードを注意して置きます。
4. カバーを取り外します (120 ページの『コンピュート・ノード・カバーの取り外し』を参照)。
5. 1.8 型ハード・ディスク・ケージのブランジャーを外側に引き、ケージを上側に回転させます。

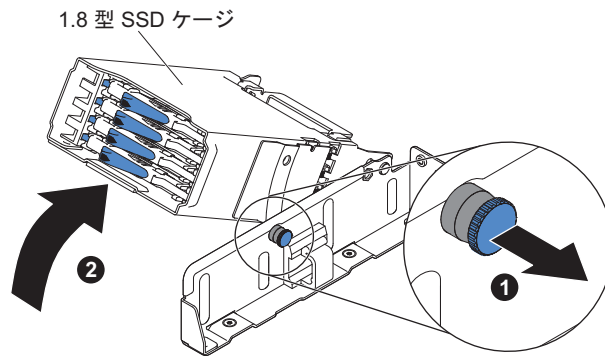


図 66. 1.8 型ハード・ディスク・ケージを持ち上げる

6. フィラー・パネルが取り付けられている場合は取り外します。
7. ディスク・ドライブが入っている帯電防止パッケージをサーバーの塗装されていない金属面に接触させた後、パッケージからディスク・ドライブを取り出します。
8. トレイ・ハンドルが開いていることを確認し、ドライブが所定の位置にカチッと音を立てて収まるまでドライブ・ベイに慎重にスライドして挿入します。

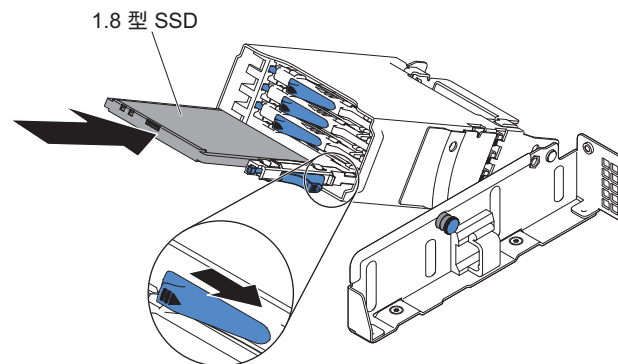


図 67. 1.8 型ハード・ディスクの取り付け

9. 1.8 型ハード・ディスク・ケージのブランジャーを外側に引き、ケージがカチッと音を立てて所定の位置になるまで、ケージを下側に回転させます。

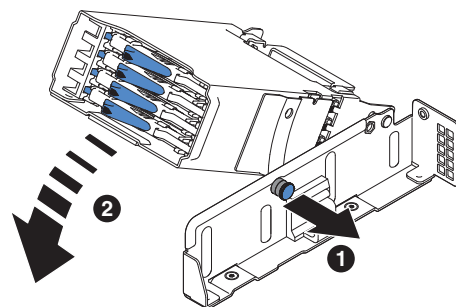


図 68. 1.8 型ハード・ディスクを下げる

注:

- a. ハード・ディスクを取り付けたら、ディスク・ドライブの状況 LED をチェックして、ハード・ディスクが正常に動作していることを確認します。黄色のハード・ディスク状況 LED が連続して点灯している場合は、そのドライブに障害があり、交換する必要があります。緑色のハード・ディスク活動 LED が点滅している場合、そのドライブはアクセス中です。
- b. オプションの ServeRAID アダプターを使用してサーバーが RAID 操作に構成されている場合、ハード・ディスクの取り付け後にディスク・アレイの再構成が必要になる場合があります。RAID 操作の詳細と ServeRAID マネージャーを使用するための詳細な説明に関しては、*IBM ServeRAID Support CD* にある ServeRAID の資料を参照してください。

次のタスク

ハード・ディスク・バックプレートを取り付けた後、以下のステップを実行してください。

1. コンピュート・ノードにカバーを取り付けます (手順については 122 ページの『コンピュート・ノード・カバーの取り付け』を参照)。
2. コンピュート・ノードをシャーシの中に取り付けます (手順については、114 ページの『シャーシへのコンピュート・ノードの取り付け』を参照)。

PCI ライザー・ケージ・アセンブリーの取り外し

このタスクについて

注: アダプターを取り付けない場合でも、PCI ライザー・ケージ・ブラケットを取り付ける必要があります。

PCI ライザー・ケージ・アセンブリーを取り外すには、次のステップを行います。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 110 ページの『取り付けに関するガイドライン』をお読みください。
2. サーバーおよび周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを外します。
3. カバーを取り外します (120 ページの『コンピュート・ノード・カバーの取り外し』を参照)。
4. PCI ライザー・ケージのタッチ・ポイント後部、および PCI ライザー・ケージ・アセンブリーの前部 PCI ライザー・ケージで適切な場所をつかみます。親指でコンピュート・ノードの右側のベゼル (小さい四角の面) を押し下げ、持ち上げてシステム・ボードの PCI ライザー・ケージ・スロットから出します。

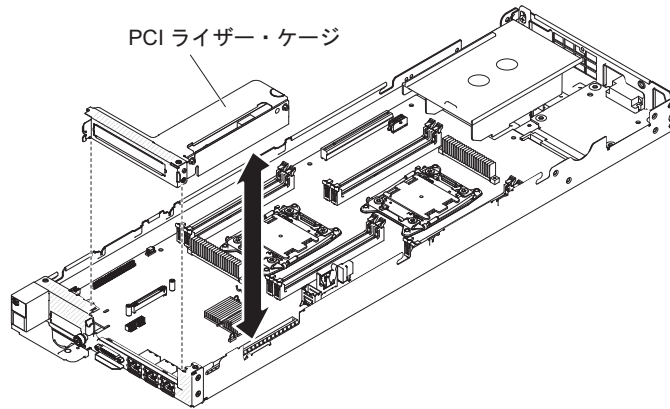


図 69. PCI ライザー・ケージ・アセンブリーの取り外し

5. PCI ライザー・ケージ・アセンブリーにアダプターが取り付けられている場合、アダプターに接続されたケーブルをすべて取り外します。
6. アダプターがある場合は、それを PCI ライザー・ケージ・アセンブリーから取り外します（171 ページの『アダプターの取り外し』を参照）。
7. アダプターと PCI ライザー・ケージ・アセンブリーを脇に置いておきます。
8. PCI ライザー・ケージ・アセンブリーの返却を指示された場合は、梱包の指示に従って、提供されている配送用の梱包材を使用してください。

PCI ライザー・ケージ・アセンブリーの再取り付け このタスクについて

注: アダプターを取り付けない場合でも、PCI ライザー・ケージ・ブラケットを取り付ける必要があります。

PCI ライザー・ケージ・アセンブリーを取り付けるには、次のステップを実行します。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 110 ページの『取り付けに関するガイドライン』をお読みください。
2. サーバーと周辺装置の電源をオフにしてすべての電源コードを切り離します。
3. カバーを取り外します（120 ページの『コンピュート・ノード・カバーの取り外し』を参照）。
4. 新規の PCI ライザー・ケージ・アセンブリーにアダプターを取り付けます（172 ページの『アダプターの再取り付け』を参照）。
5. アダプター・メーカーの指示どおりに、ジャンパーまたはスイッチをすべてアダプターに設定します。
6. PCI フィラー・パネルが取り付けられている場合は、それをサーバー前面から取り外します。
7. PCI ライザー・ケージ・アセンブリーを、システム・ボードにある PCI ライザー・コネクターと位置合わせしてから、PCI ライザー・ケージのタッチ・ポイント後部、および PCI ライザー・ケージ・アセンブリーの前部の適切な場所をつかみます。

8. PCI ライザー・ケージ・アセンブリーがシステム・ボードのコネクターに正しく収まるまで、しっかりと押し下げます。

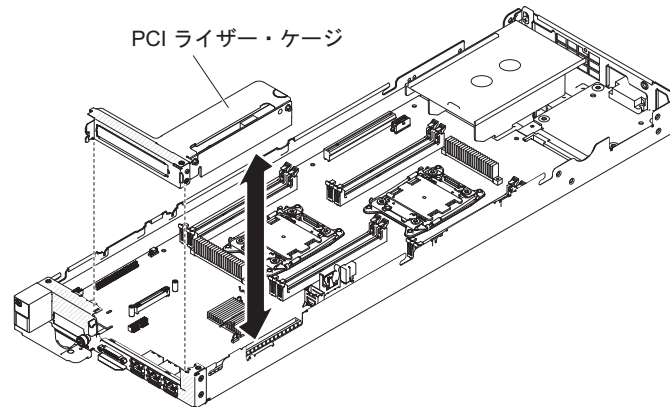


図 70. PCI ライザー・ケージ・アセンブリーの取り付け

9. カバーを取り付け直します (122 ページの『コンピュータ・ノード・カバーの取り付け』を参照)。
10. サーバーをスライドさせながらラックに差し込みます。
11. 取り外した電源コードおよびすべてのケーブルを再接続します。
12. 周辺装置とサーバーの電源をオンにします。

アダプターの取り外し

以下の情報を使用して、アダプターを取り外します。

このタスクについて

アダプターを取り外すには、次のステップを行います。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 110 ページの『取り付けに関するガイドライン』をお読みください。
2. サーバーと周辺装置の電源をオフにしてすべての電源コードを切り離してから、カバーを取り外します (120 ページの『コンピュータ・ノード・カバーの取り外し』を参照)。
3. アダプターからケーブルをすべて取り外します。
4. PCI ライザー・ケージ・アセンブリーを青色のタブをつかんで持ち上げ、PCI ライザー・ケージ・アセンブリーを取り外します。
5. 平らな帯電防止面の上に PCI ライザー・ケージ・アセンブリーを置きます。
6. アダプターの上端または上部の隅を慎重につかみ、PCI ライザー・ケージ・アセンブリーから引き抜きます。

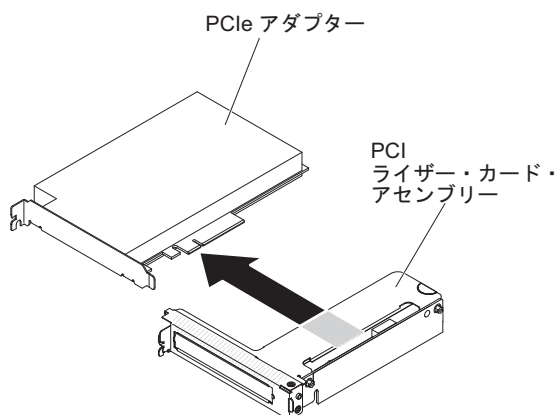


図 71. アダプターの取り外し

タスクの結果

アダプターの返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、パーツがお手元に届いたときの配送用パッケージ材がある場合は、それを使用して荷造りしてください。

アダプターの再取り付け

以下の注意書きは、サーバーがサポートするアダプターのタイプと、アダプターを取り付けるときに考慮すべきその他の情報について説明します。

このタスクについて

- アダプターに付属の説明書を読んで、その指示に従ってください。また、本章の指示にも従ってください。
- 構成情報については、ServeRAID 資料 () を参照してください。
- どの PCI アダプターを取り付ける場合も、PCI Express ライザー・カード・アセンブリを取り外す前に、給電部から電源コードを切り離す必要があります。そうでないと、システム・ボード・ロジックによってアクティブな電源管理イベント信号が使用不可になり、Wake on LAN 機能が作動しない可能性があります。ただし、ローカルでサーバーの電源がオンになった後は、システム・ボード・ロジックによってアクティブな電源管理イベント信号が使用可能になります。

アダプターを取り付けるには、次のステップを実行してください。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 110 ページの『取り付けに関するガイドライン』をお読みください。
2. サーバーおよび周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離します。
3. サーバーのカバーを取り外します (120 ページの『コンピュータ・ノード・カバーの取り外し』を参照)。
4. アダプターに配線指示書がある場合は、この指示に従います。アダプターを取り付ける前に、アダプターのケーブルを配線します。

5. アダプター上のエッジ・コネクタと PCI ライザー・ケージ・アセンブリーのコネクタとを位置合わせして、ライザー・ケージ・アセンブリーにアダプターを挿入します。コネクタの端を、PCI ライザー・ケージ・アセンブリーにしっかりと押し込みます。アダプターが PCI ライザー・ケージ・アセンブリー内にカチッと音を立ててしっかりと収まったか確認してください。

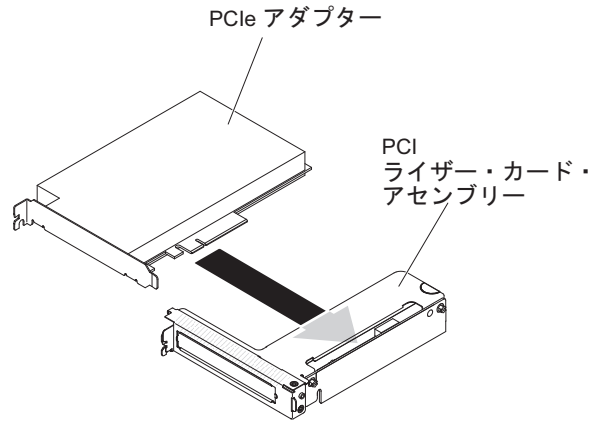


図 72. アダプターの取り付け

重要: アダプターの取り付け時に、アダプターがライザー・ケージ・アセンブリーに正しく収まっていること、およびライザー・ケージ・アセンブリーがシステム・ボード上のライザー・ケージ・コネクタにしっかりと取り付けられていることを確認してから、サーバーの電源をオンにします。アダプターを正しく取り付けないと、システム・ボード、ライザー・ケージ・アセンブリー、またはアダプターが損傷するおそれがあります。

6. PCI ライザー・ケージ・アセンブリーをサーバー内に取り付けます (170 ページの『PCI ライザー・ケージ・アセンブリーの再取り付け』を参照)。
7. 新しく取り付けたアダプターに、ケーブルを接続します。
8. アダプターに必要な構成タスクをすべて実行します。
9. カバーを再び取り付けます (122 ページの『コンピュータ・ノード・カバーの取り付け』を参照)。
10. サーバーをスライドさせながらラックに差し込みます。
11. 取り外した電源コードおよびすべてのケーブルを再接続します。
12. 周辺装置とサーバーの電源をオンにします。

USB フラッシュ・ドライブの取り外し

USB フラッシュ・ドライブを取り外すには、この情報を使用します。

始める前に

USB フラッシュ・ドライブを取り外す前に、以下のステップを実行してください。

1. vii ページの『安全について』および 110 ページの『取り付けに関するガイドライン』をお読みください。

2. IBM NeXtScale n1200 エンクロージャーにコンピュータ・ノードが取り付けられている場合は、それを取り外します (手順については 113 ページの『シャーシからのコンピュータ・ノードの取り外し』を参照)。
3. コンピュータ・ノードのベゼルを手前に向けて、帯電防止されている平らな面にコンピュータ・ノードを注意して置きます。

手順

USB フラッシュ・ドライブを取り外すには、以下のステップを実行してください。

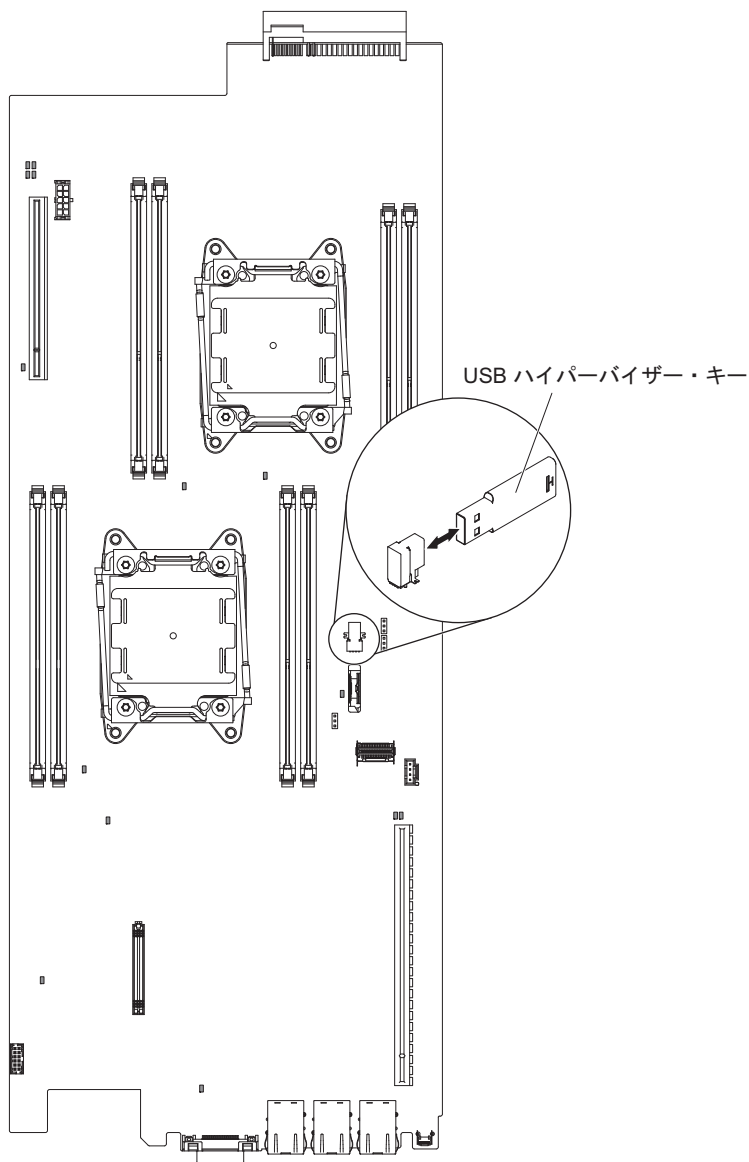


図 73. USB フラッシュ・ドライブの取り外し

1. カバーを取り外します (120 ページの『コンピュータ・ノード・カバーの取り外し』を参照)。
2. システム・ボード上の USB コネクターを見つけます (16 ページの『システム・ボードの内部コネクター』を参照)。

3. USB フラッシュ・ドライブを引き、コネクタから取り外します。

次のタスク

USB フラッシュ・ドライブの返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、部品がお手元に届いたときの配送用パッケージ材がある場合は、それを使用してください。

USB フラッシュ・ドライブの取り付け

USB フラッシュ・ドライブを取り付けるには、この情報を使用します。

始める前に

USB フラッシュ・ドライブを取り付ける前に、以下のステップを実行してください。

1. vii ページの『安全について』および 110 ページの『取り付けに関するガイドライン』をお読みください。
2. IBM NeXtScale n1200 エンクロージャーにコンピュート・ノードが取り付けられている場合は、それを取り外します (手順については 113 ページの『シャーシからのコンピュート・ノードの取り外し』を参照)。
3. コンピュート・ノードのベゼルを手前に向けて、帯電防止されている平らな面にコンピュート・ノードを注意して置きます。

このタスクについて

このコンポーネントは、オプション装置または CRU として取り付けることができます。オプション装置と CRU の取り付け手順は同じです。

手順

USB フラッシュ・ドライブを取り付けるには、以下のステップを実行してください。

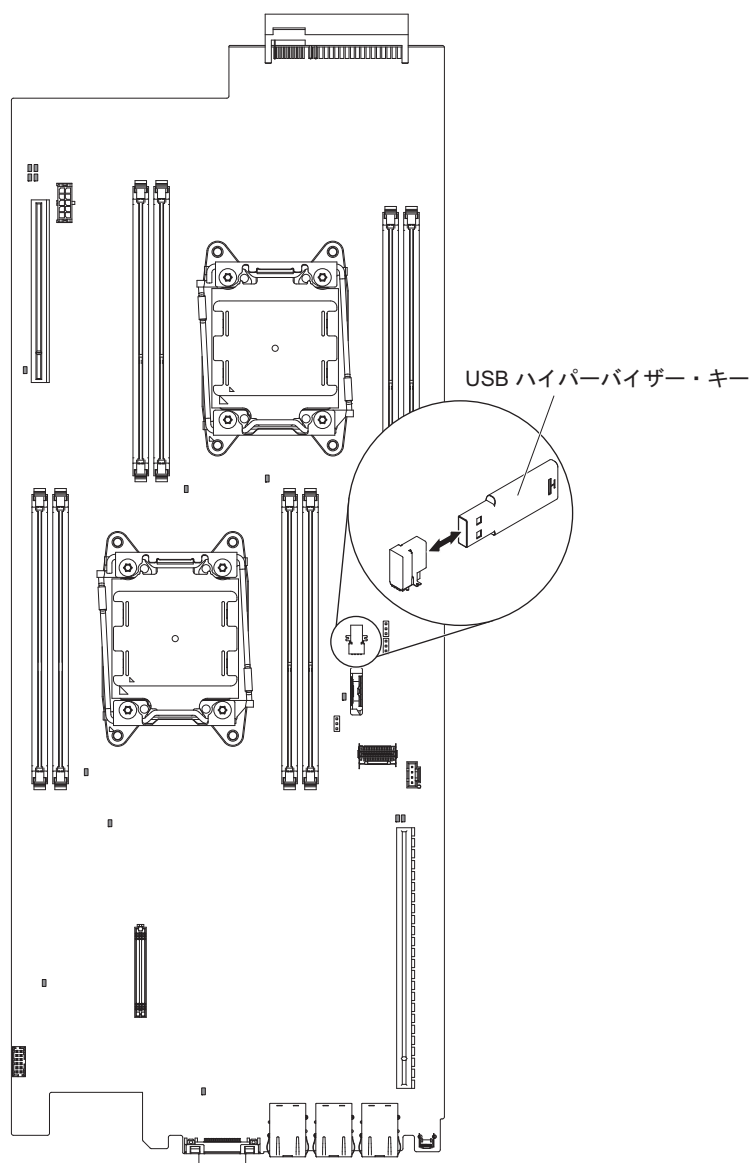


図 74. USB フラッシュ・ドライブの取り付け

1. カバーを取り外します (120 ページの『コンピュータ・ノード・カバーの取り外し』を参照)。
2. システム・ボード上の USB コネクターを見つけます (16 ページの『システム・ボードの内部コネクター』を参照)。
3. USB フラッシュ・ドライブをコネクターに押し込みます。

次のタスク

USB フラッシュ・ドライブを取り付けた後、以下のステップを実行してください。

1. コンピュータ・ノードにカバーを取り付けます (手順については 122 ページの『コンピュータ・ノード・カバーの取り付け』を参照)。
2. コンピュータ・ノードをシャーシの中に取り付けます (手順については、114 ページの『シャーシへのコンピュータ・ノードの取り付け』を参照)。

Tier 2 の CRU の取り外しと交換

Tier 2 CRU はお客様ご自身で取り付けることができますが、対象のサーバーに関して指定された保証サービスの種類に基づき、追加料金なしで IBM に取り付けを依頼することもできます。

本書の図は、ご使用のハードウェアと多少異なる場合があります。

マイクロプロセッサとヒートシンクの取り外し

マイクロプロセッサおよびヒートシンクを取り外すには、この情報を使用します。

このタスクについて

- マイクロプロセッサの取り外しは、必ずトレーニングを受けた技術員が行う必要があります。

重要: マイクロプロセッサを取り外す場合は、必ずマイクロプロセッサ取り付けツールを使用してください。マイクロプロセッサ取り付けツールを使用しないと、システム・ボード上のマイクロプロセッサ・ソケットが損傷する可能性があります。マイクロプロセッサ・ソケットが損傷すると、システム・ボードの交換が必要になる場合があります。

- マイクロプロセッサ・ソケット接点は非常に壊れやすいので特に注意してください。マイクロプロセッサ・ソケットの接点には触れないようにしてください。マイクロプロセッサ接点またはマイクロプロセッサ・ソケット接点の皮膚からの油脂などによる汚れは、接点とソケット間の接触不良の原因になることがあります。
- マイクロプロセッサおよびヒートシンクの熱伝導グリースが、何かと接触することのないようにしてください。何らかの面に接触すると、熱伝導グリースおよびマイクロプロセッサ・ソケットが汚れるおそれがあります。
- マイクロプロセッサ・ソケットのロック・レバーを持ち上げるのに、ツールや、先がとがった物を使用しないでください。これらを使用すると、システム・ボードに永久的な損傷を与える可能性があります。
- マイクロプロセッサの各ソケットには、常にソケット・カバーあるいはマイクロプロセッサとヒートシンクが取り付けられている必要があります。
- マイクロプロセッサの取り外しや取り付けを行う際は、必ず新しいマイクロプロセッサに付属の取り付けツールを使用してください。他のツールは使用しないでください。
- 複数のマイクロプロセッサを取り付ける場合には、1 回に 1 個のマイクロプロセッサ・ソケットを開くようにして、他のマイクロプロセッサ・ソケットの接点の損傷を防いでください。
- マイクロプロセッサ取り付けツールにはあらかじめマイクロプロセッサが取り付けられており、マイクロプロセッサには保護カバーが付いていることがあります。指示があるまで、ツールを使用したり、カバーを取り外したりしないでください。

注: 取り付けツールには、2 つの異なるサイズのマイクロプロセッサを取り付けるための 2 つの設定があります。ツールにマークされた設定は、小さい方のロー・

コア・マイクロプロセッサで使用する『L』と、大きい方のハイ・コア・マイクロプロセッサで使用する『H』です。取り付けツールは、E5-26xx、E5-46xx、E5-26xx v2、E5-46xx v2 の各マイクロプロセッサ・ファミリーをサポートします。

マイクロプロセッサおよびヒートシンクを取り外すには、次のステップを実行してください。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 110 ページの『取り付けに関するガイドライン』をお読みください。
2. コンピュート・ノードと周辺装置の電源をオフにしてすべての電源コードを切り離します。
3. カバーを取り外します (120 ページの『コンピュート・ノード・カバーの取り外し』を参照)。
4. エアー・バッフルを取り外します (123 ページの『エアー・バッフルの取り外し』を参照)。
5. 取り外すマイクロプロセッサを見つけます (16 ページの『システム・ボードの内部コネクター』を参照)。
6. ヒートシンクを取り外します。

重要: ヒートシンクの下部にある熱伝導材には触れないでください。熱伝導材に触れると、熱伝導材の品質が劣化します。マイクロプロセッサあるいはヒートシンクの熱伝導材が汚れた場合は、アルコール・ワイプを使用して、マイクロプロセッサまたはヒートシンク上の汚れた熱伝導材を拭き取り、きれいな熱伝導グリースを再度ヒートシンクに塗布してください。

- a. マイクロプロセッサ保持器具の隅にある 4 つのねじを緩めます。
- b. ヒートシンクを持ち上げてサーバーから取り出します。取り外したヒートシンクを (熱伝導グリース側を上にして) 清潔で平らな面に置きます。

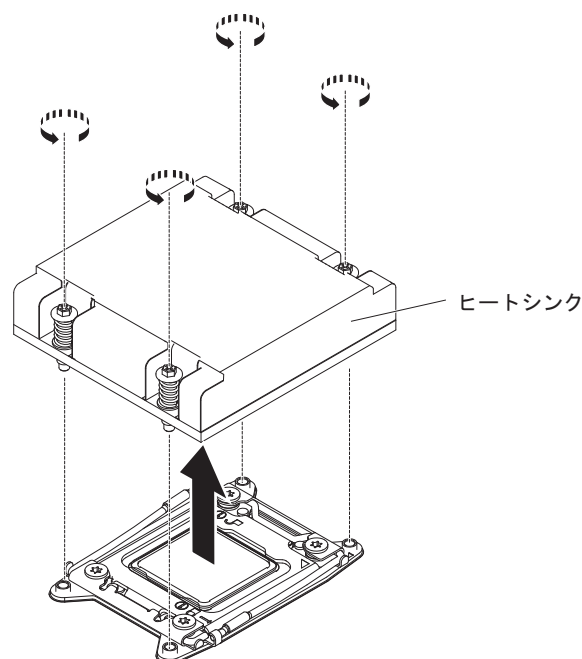


図 75. ヒートシンクの取り外し

7. マイクロプロセッサ・ソケットのリリース・レバーおよび保持器具を開きます。

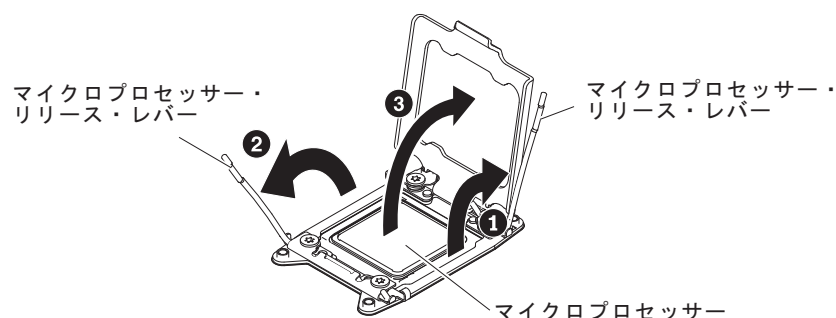


図 76. マイクロプロセッサ・ソケット・レバーと保持器具の開放

- a. どちらのリリース・レバーが最初に開くリリース・レバーとしてラベルが付けられているかを確認し、そのリリース・レバーを開きます。
- b. マイクロプロセッサ・ソケット上の 2 つ目のリリース・レバーを開きます。
- c. マイクロプロセッサ保持器具を開きます。

重要: マイクロプロセッサ接点には触れないでください。マイクロプロセッサ接点の皮膚からの油脂などによる汚れは、接点とソケット間の接触不良の原因になることがあります。

8. ソケットからマイクロプロセッサを取り外します。
 - a. 空の取り付けツールを選択し、ハンドルが開放位置にあることを確認します。取り付けツール・ハンドルが開放位置にない場合、**1** インターロック・ラッチを持ち上げながら、**2** マイクロプロセッサ取り付けツールのハンドルを左回りに回転させて開放位置にしてから、インターロック・ラッ

チを解放します。以下の取り付けツールの図は、インターロック・ラッチの位置、およびマイクロプロセッサを装着する前にハンドルを左回りに回転させる様子を示しています。

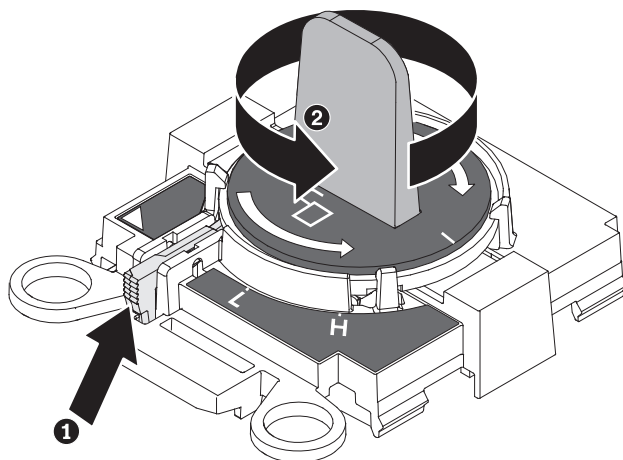


図 77. 取り付けツール・ハンドルの調整

- b. 次の図に示すように、取り付けツールをねじと位置合わせし、取り付けツールをマイクロプロセッサの上に下ろします。取り付けツールは、適切に位置合わせしなければソケット上に平坦に載りません。

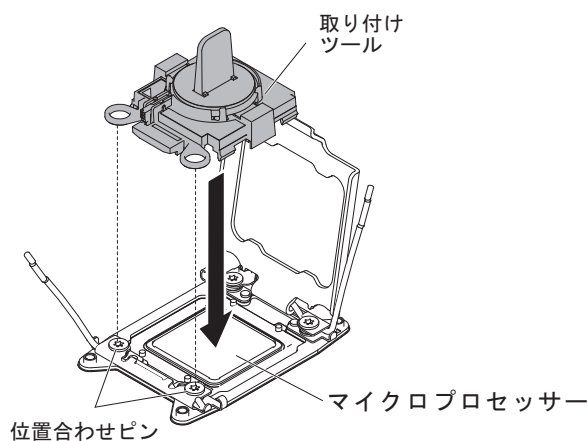


図 78. マイクロプロセッサの取り付け

- c. 取り付けツールのハンドルを慎重に右回りに、マイクロプロセッサのサイズに応じて『H』 または 『L』 位置でロックするまで回転させてから、マイクロプロセッサを持ち上げてソケットから抜きます。

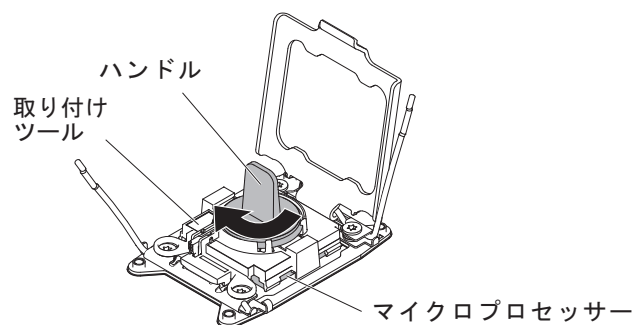


図 79. 取り付けツール・ハンドルの調整

- d. マイクロプロセッサを持ち上げてソケットから取り外します。

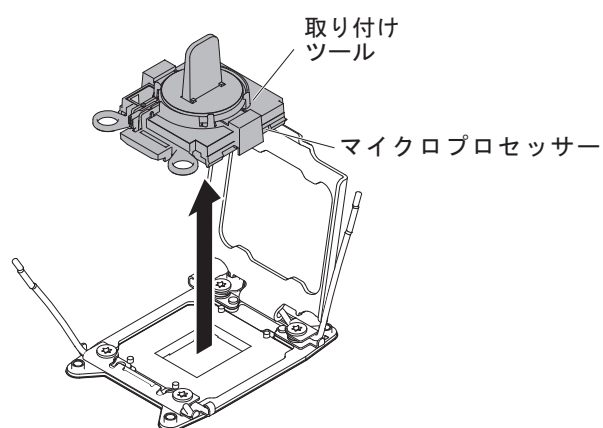


図 80. 取り付けツールの取り外し

9. 新しいマイクロプロセッサを取り付けます（182 ページの『マイクロプロセッサとヒートシンクの再取り付け』を参照）。

重要: マイクロプロセッサを交換する場合は、新規のマイクロプロセッサに付属の空の取り付けツールを使用してマイクロプロセッサを取り外します。

10. マイクロプロセッサをソケットに取り付けない場合は、ステップ 8 (186 ページ) で取り外したソケット・カバーをマイクロプロセッサ・ソケットに取り付けます。

重要: ソケットのピンは壊れやすいです。ピンが損傷すると、システム・ボードの交換が必要になります。

タスクの結果

マイクロプロセッサの返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、パーツがお手元に届いたときの配送用パッケージ材がある場合は、それを使用して荷造りしてください。

マイクロプロセッサとヒートシンクの再取り付け

以下の注記には、このサーバーがサポートするマイクロプロセッサのタイプと、マイクロプロセッサとヒートシンクの取り付け時に考慮すべきその他の情報が記載されています。

このタスクについて

- マイクロプロセッサの取り付けは、必ずトレーニングを受けた技術員が行う必要があります。

重要: マイクロプロセッサを取り付ける場合は、必ずマイクロプロセッサ取り付けツールを使用してください。マイクロプロセッサ取り付けツールを使用しないと、システム・ボード上のマイクロプロセッサ・ソケットが損傷する可能性があります。マイクロプロセッサ・ソケットが損傷すると、システム・ボードの交換が必要になる場合があります。

- マイクロプロセッサ・ソケット接点は非常に壊れやすいので特に注意してください。マイクロプロセッサ・ソケットの接点には触れないようにしてください。マイクロプロセッサ接点またはマイクロプロセッサ・ソケット接点の皮膚からの油脂などによる汚れは、接点とソケット間の接触不良の原因になることがあります。
- マイクロプロセッサおよびヒートシンクの熱伝導グリースが、何かと接触することのないようにしてください。何らかの面に接触すると、熱伝導グリースおよびマイクロプロセッサ・ソケットが汚れるおそれがあります。
- マイクロプロセッサ・ソケットのロック・レバーを持ち上げるのに、ツールや、先がとがった物を使用しないでください。これらを使用すると、システム・ボードに永久的な損傷を与える可能性があります。
- マイクロプロセッサの各ソケットには、常にソケット・カバーあるいはマイクロプロセッサとヒートシンクが取り付けられている必要があります。
- マイクロプロセッサの取り外しや取り付けを行う際は、必ず新しいマイクロプロセッサに付属の取り付けツールを使用してください。他のツールは使用しないでください。
- 複数のマイクロプロセッサを取り付ける場合には、1 回に 1 個のマイクロプロセッサ・ソケットを開くようにして、他のマイクロプロセッサ・ソケットの接点の損傷を防いでください。
- マイクロプロセッサ取り付けツールにはあらかじめマイクロプロセッサが取り付けられており、マイクロプロセッサには保護カバーが付いていることがあります。指示があるまで、ツールを使用したり、カバーを取り外したりしないでください。

注: 必ず、ご使用のマイクロプロセッサ取り付けツール・アセンブリーに付属している取り付けツールを使用してください。

- サーバーは最大 2 個のマルチコア・マイクロプロセッサをサポートします。サポートされるマイクロプロセッサのリストについては、<http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us> を参照してください。
- 1 つ目のマイクロプロセッサは、必ずシステム・ボードのマイクロプロセッサ・ソケット 1 に取り付ける必要があります。

- 1 つのマイクロプロセッサが取り付けられている場合、適切なシステム冷却を確保するためにエアー・バッフルを取り付ける必要があります。
- 2 つ目のマイクロプロセッサを取り付けるときに、1 つ目のマイクロプロセッサをシステム・ボードから取り外さないでください。
- 2 つ目のマイクロプロセッサを取り付ける場合は、追加のメモリーと 4 つ目および 6 つ目のファンも取り付ける必要があります。取り付け順序の詳細は、144 ページの『メモリー・モジュールの取り付け』を参照してください。
- 同じサーバー内で異なるコアのマイクロプロセッサを混用しないでください。
- 追加のマイクロプロセッサを取り付けた場合にサーバーが適切に稼働することを保証するために、Quick Path Interconnect (QPI) のリンク速度、内蔵メモリー・コントローラーの周波数、コア周波数、電力セグメント、内部キャッシュ・サイズ、およびタイプが同一のマイクロプロセッサを使用してください。
- 同じサーバー・モデル内での異なるステッピング・レベルのマイクロプロセッサの混用はサポートされません。
- 同じサーバー・モデル内で異なるステッピング・レベルのマイクロプロセッサを混用する場合、マイクロプロセッサ・ソケット 1 に最も低いステッピング・レベルおよびフィーチャーのマイクロプロセッサを取り付ける必要はありません。
- 両方のマイクロプロセッサの電圧調節モジュールがシステム・ボードに組み込まれています。
- マイクロプロセッサに付属の資料を読み、サーバー・ファームウェアを更新する必要があるかどうかを判断してください。ご使用のサーバー用の最新レベルのサーバー・ファームウェアおよびその他のコード更新をダウンロードするには、<http://www.ibm.com/support/fixcentral>に進みます。
- マイクロプロセッサの速度はご使用のサーバーに自動的にセットされるため、マイクロプロセッサの周波数選択ジャンパーやスイッチをセットする必要はありません。
- 熱伝導グリースの保護カバー (例えば、プラスチックのキャップまたはテープ裏打ちシール) をヒートシンクから取り外した場合、ヒートシンク下部の熱伝導グリースに触れたり、ヒートシンクを下に置いたりしないでください。熱伝導グリースに関してその塗布または作業の詳細は、189 ページの『熱伝導グリース』を参照してください。

注: マイクロプロセッサからヒートシンクを取り外すと、熱伝導グリースの分散が均一でなくなるため、熱伝導グリースの交換が必要になります。

- オプションの追加マイクロプロセッサを注文するには、IBM 営業担当員または IBM 販売店にお問い合わせください。

取り付けツールには、2 つの異なるサイズのマイクロプロセッサを取り付けるための 2 つの設定があります。ツールにマークされた設定は、小さい方のロー・コア・マイクロプロセッサで使用する『L』と、大きい方のハイ・コア・マイクロプロセッサで使用する『H』です。取り付けツールは、E5-26xx、E5-46xx、E5-26xx v2、E5-46xx v2 の各マイクロプロセッサ・ファミリーをサポートします。

マイクロプロセッサおよびヒートシンクを交換するには、以下の手順を実行してください。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 110 ページの『取り付けに関するガイドライン』をお読みください。
2. サーバーおよび周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離します。
重要: 静電気の影響を受けやすい部品を取り扱う場合は、静電気による損傷を防ぐための予防措置を行います。これらの部品の取り扱い方法の詳細については、112 ページの『静電気に弱い装置の取り扱い』を参照してください。
3. カバーを取り外します (120 ページの『コンピュート・ノード・カバーの取り外し』を参照)。
4. エアー・バッフルを取り外します (123 ページの『エアー・バッフルの取り外し』を参照)。
5. マイクロプロセッサ保持器具の隅にある 4 つのねじを緩めます。
6. マイクロプロセッサ・ソケットのリリース・レバーおよび保持器具を開きます。

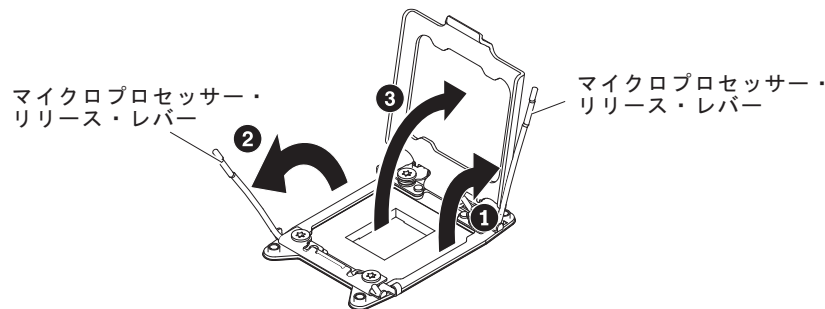


図 81. マイクロプロセッサ・ソケット・レバーと保持器具の開放

- a. どちらのリリース・レバーが最初に開くリリース・レバーとしてラベルが付けられているかを確認し、そのリリース・レバーを開きます。
 - b. マイクロプロセッサ・ソケット上の 2 つ目のリリース・レバーを開きます。
 - c. マイクロプロセッサ保持器具を開きます。
重要: マイクロプロセッサおよびマイクロプロセッサ・ソケット上のコネクタには触れないでください。
7. マイクロプロセッサ・ソケットにマイクロプロセッサを取り付けます。
 - a. 新しいマイクロプロセッサ取り付けツール・アセンブリーが入っているパッケージを開き、取り付けツール・アセンブリーをパッケージから慎重に取り出します。
注: マイクロプロセッサ接点には触れないでください。マイクロプロセッサ接点の皮膚からの油脂などによる汚れは、接点とソケット間の接触不良の原因になることがあります。
 - b. マイクロプロセッサに保護カバーが付いている場合は、そのカバーを取り外します。マイクロプロセッサは、取り付けツールに事前に取り付けられています。

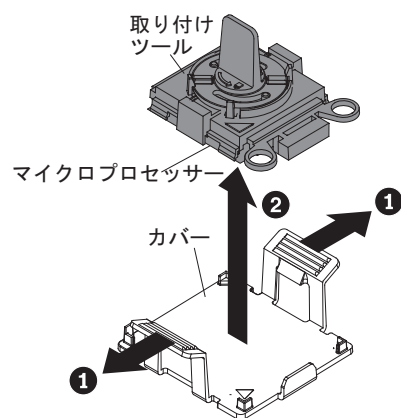


図 82. 取り付けツール・カバーの取り外し

- c. 取り付けツールをマイクロプロセッサ・ソケットに位置合わせします。
取り付けツールは、適切に位置合わせしなければソケット上に平坦に載りません。

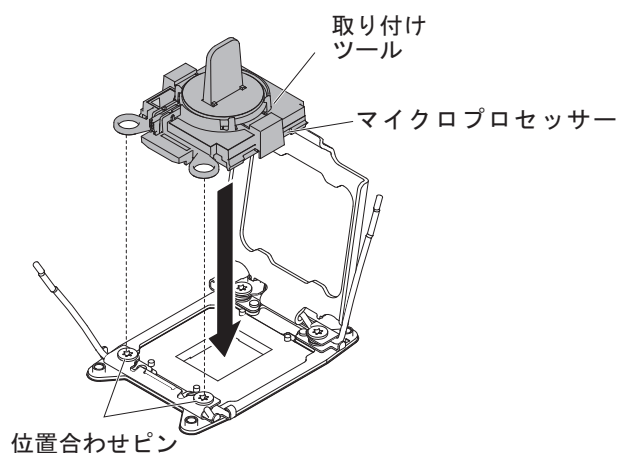


図 83. 取り付けツールの位置合わせ

- d. 取り付けツール・アセンブリーのハンドルを左回りに、マイクロプロセッサがソケットに挿入されるまで回転させます。その後、取り付けツールを持ち上げてソケットから抜きます。次の図は、開放位置にあるツールのハンドルを示しています。

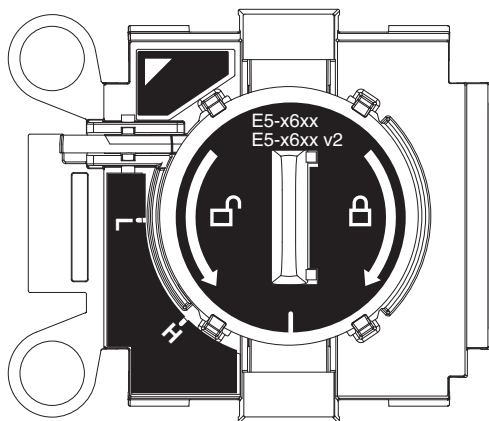


図 84. 取り付けツール

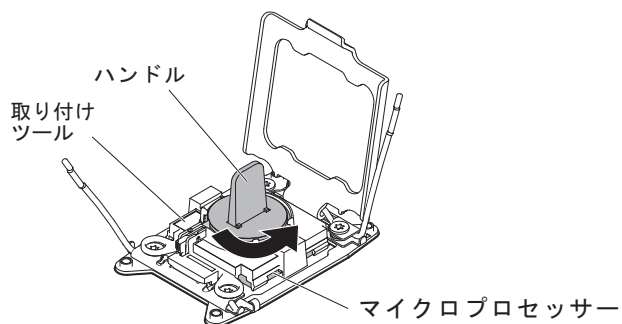


図 85. 取り付けツール・ハンドルの調整

重要:

- マイクロプロセッサをソケットに押し込まないでください。
- マイクロプロセッサ保持器具を閉じる前に、マイクロプロセッサが正しい方向で正しい位置にソケットに取り付けられていることを確認してください。
- ヒートシンクの下部あるいはマイクロプロセッサの上部の熱伝導材には触れないでください。熱伝導材に触れると、熱伝導材の品質が劣化します。

8. マイクロプロセッサ・ソケットの表面にマイクロプロセッサ・ソケット・カバー、テープ、あるいはラベルが付いている場合は、それらを取り外します。ソケット・カバーを安全な場所に保管します。

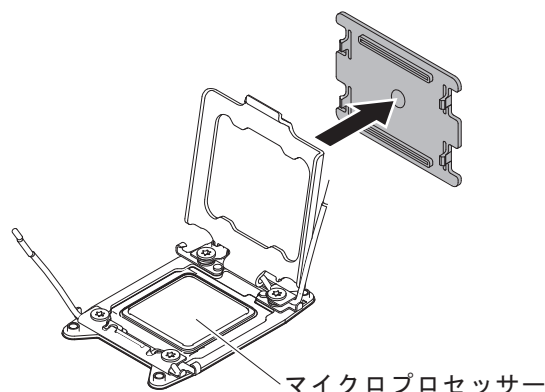


図 86. ソケット・カバーの取り外し

重要: 静電気の影響を受けやすい部品を取り扱う場合は、静電気による損傷を防ぐための予防措置を行います。これらの部品の取り扱い方法については、112 ページの『静電気に弱い装置の取り扱い』を参照してください。

9. マイクロプロセッサー・ソケットのリリース・レバーおよび保持器具を閉じます。

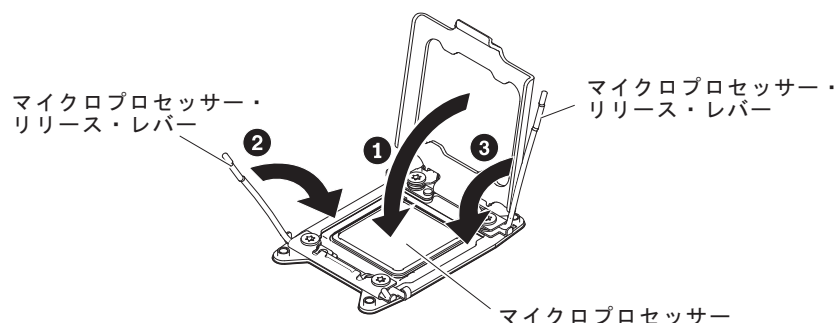


図 87. マイクロプロセッサー・ソケット・レバーと保持器具の閉じ方

- a. マイクロプロセッサー・ソケット上のマイクロプロセッサー保持器具を閉じます。
- b. どちらのリリース・レバーが最初に閉じるリリース・レバーとしてラベルが付けられているかを確認し、そのリリース・レバーを閉じます。
- c. マイクロプロセッサー・ソケットの 2 番目のリリース・レバーを閉じます。

重要:

- 新しいヒートシンクを取り付ける場合、プラスチックのカバーを取り外した後は、ヒートシンクを下に置かないでください。
- ヒートシンクの下部にある熱伝導グリースに触れないでください。熱伝導グリースに触ると、品質が劣化します。

10. ヒートシンクを取り付けます。

重要:

- プラスチックのカバーを取り外した後は、ヒートシンクを下に置かないでください。
- プラスチックのカバーを取り外した後は、ヒートシンクの下部の熱伝導グリースに触れないでください。熱伝導グリースに触ると、品質が劣化します。詳しくは、189 ページの『熱伝導グリース』を参照してください。

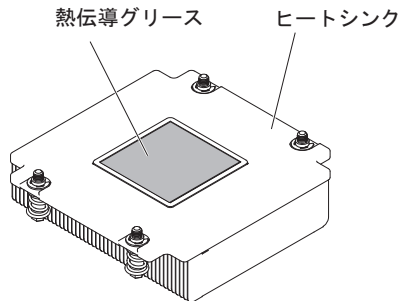


図 88. 熱伝導グリース

- ヒートシンクの下プラスチック保護カバーを取り除きます。
- マイクロプロセッサの上にヒートシンクを持っていきます。ヒートシンクには、正しく位置合わせするための切り欠きがあります。

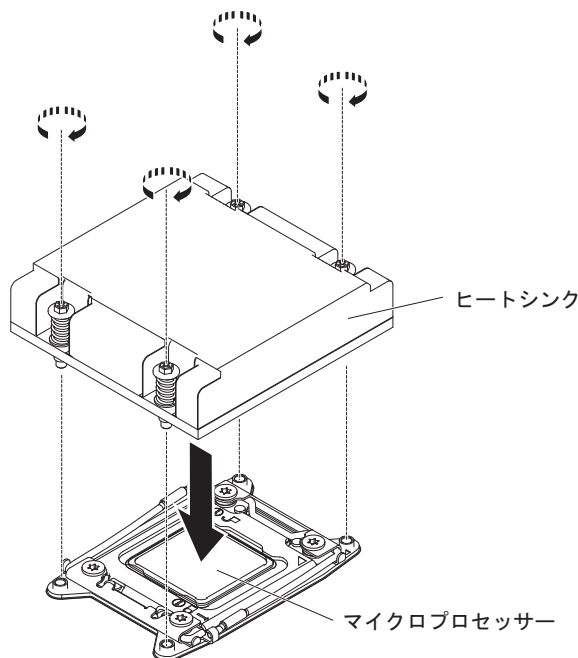


図 89. ヒートシンクの取り付け

- 熱伝導材側を下にして、ヒートシンクを保持ブラケット内のマイクロプロセッサの上に位置合わせして置きます。
- ヒートシンクをしっかりと押します。
- マイクロプロセッサ保持器具の隅にある 4 つのねじを締めます。

11. エアー・バッフルを再び取り付けます (124 ページの『エアー・バッフルの再取り付け』を参照)。
12. カバーを取り付けます (122 ページの『コンピュート・ノード・カバーの取り付け』を参照)。
13. サーバーをスライドさせながらラックに差し込みます。
14. 取り外した電源コードおよびすべてのケーブルを再接続します。
15. 周辺装置とサーバーの電源をオンにします。

熱伝導グリース

ヒートシンクをマイクロプロセッサ上部から取り外して再利用する場合、またはグリースにごみが付いている場合は、必ず熱伝導グリースを交換してください。

このタスクについて

ヒートシンクを、取り外した元のマイクロプロセッサに再度取り付ける場合は、以下の要件を満たしていることを確認してください。

- ヒートシンクとマイクロプロセッサ上の熱伝導グリースが汚れていないこと。
- ヒートシンクとマイクロプロセッサ上の既存の熱伝導グリースに熱伝導グリースを追加しないこと。

注:

- vii ページの『安全について』で始まる『安全について』をお読みください。
- 110 ページの『取り付けに関するガイドライン』をお読みください。
- 112 ページの『静電気に弱い装置の取り扱い』をお読みください。

マイクロプロセッサとヒートシンク上の損傷または汚染した熱伝導グリースを交換するには、以下のステップを実行します。

手順

1. ヒートシンクを清潔な作業面に置きます。
2. パッケージのクリーニング・パッドを取り出して、完全に広げます。
3. クリーニング・パッドで、ヒートシンクの底に付いた熱伝導グリースをふき取ります。

注: 熱伝導グリースが完全に除去されたことを確認してください。

4. クリーニング・パッドの清潔な部分で、マイクロプロセッサの熱伝導グリースをふき取ります。熱伝導グリースをすべて除去したら、クリーニング・パッドを破棄します。
5. 熱伝導グリース用の注射器を使用して、マイクロプロセッサの上部に 0.02 ml の点を等間隔に 9 つ配置します。最も外側のドットをマイクロプロセッサの端から約 5 mm 内に置く必要があります。これは、グリースを均等に配置するためです。

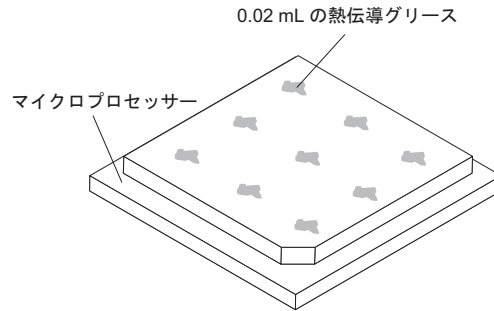


図 90. 熱伝導グリースの配分

注: グリースを適切に塗ると、注射器には約半分のグリースが残ります。

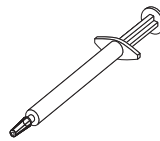


図 91. 注射器

6. ヒートシンクをマイクロプロセッサに取り付けます (10 (187 ページ)を参照)。

コンピュータ・ノードの取り外し

コンピュータ・ノードを取り外すには、この情報を使用します。

始める前に

注:

1. 以下の手順は、トレーニングを受けたサービス技術員のみが実行できます。
2. システム・ボードを交換する前に、有効化した Features on Demand (FoD) キーのバックアップを必ず取ってください。システム・ボードを交換した後、すべての Features on Demand 機能を再アクティブ化します。機能のアクティベーションの自動化およびアクティベーション・キーのインストールの手順については、「*IBM Features on Demand User's Guide*」に説明があります。この資料をダウンロードするには、<http://www.ibm.com/systems/x/fod/> にアクセスしてログインし、「**Help**」をクリックしてください。
3. システム・ボードを交換する場合は、最新のファームウェアを使用してサーバーを更新するか、またはお客様作成のディスクセットまたは CD イメージに含まれている既存のファームウェアを復元してください。最新のファームウェアまたは既存のファームウェアのコピーが手元にあることを確認してから、先に進んでください。
4. システム・ボードを交換する場合は、必ず、統合管理モジュール拡張アップグレードを取り外し、新しいシステム・ボードにそれを取り付けてください。拡張アップグレードについて詳しくは、40 ページの『リモート・プレゼンス機能およびブルー・スクリーン・キャプチャー機能の使用』を参照してください。

注: システム・ボードを交換した後には、Features on Demand (FoD) を再アクティブ化する必要があります。

コンピュータ・ノードを取り外す前に、以下のステップを実行してください。

1. vii ページの『安全について』および 110 ページの『取り付けに関するガイドライン』をお読みください。
2. IBM NeXtScale n1200 エンクロージャーにコンピュータ・ノードが取り付けられている場合は、それを取り外します (手順については 113 ページの『シャーシからのコンピュータ・ノードの取り外し』を参照)。
3. コンピュータ・ノードのベゼルを手前に向けて、帯電防止されている平らな面にコンピュータ・ノードを注意して置きます。
4. 交換手順で使用する以下のものを入手します (101 ページの『第 4 章 部品リスト、IBM NeXtScale nx360 M4 コンピュータ・ノード Type 5455』を参照)。
 - アルコール・ワイブ (部品番号 59P4739)
 - RFID タグ (出荷時のコンピュータ・ノードでベゼルに RFID タグが付いている場合にのみ必要)
 - T8 TORX ドライバー (部品番号 00FK488、シャーシ背面で提供)
 - 熱伝導グリース・キット (部品番号 41Y9292)

このタスクについて

重要: システム・ボードを交換する場合、コンピュータ・ノードを最新のファームウェアを使用して更新するか、既存のファームウェアをリストアする必要があります。最新のファームウェアまたは既存のファームウェアのコピーが手元にあることを確認してから、先に進んでください。

システム・ボード上のコネクタ、ジャンパー、および LED の位置について詳しくは、16 ページの『システム・ボードのレイアウト』を参照してください。

手順

コンピュータ・ノードを取り外すには、以下のステップを実行してください。

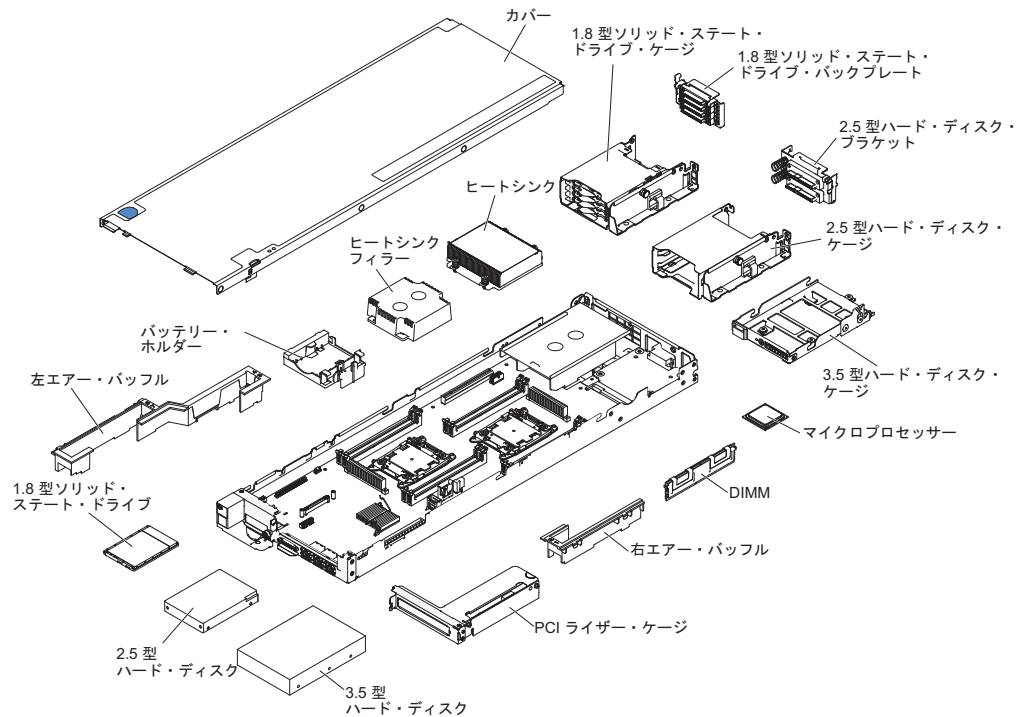


図 92. コンピュート・ノードの主要コンポーネント

1. カバーを取り外します (120 ページの『コンピュート・ノード・カバーの取り外し』を参照)。
2. 以下にリストされているすべての取り付け済みコンポーネントをコンピュート・ノードから取り外し、それらのコンポーネントを帯電防止面に置くか、新しいコンピュート・ノードに取り付けます。
 - DIMM (143 ページの『メモリー・モジュールの取り外し』を参照)。
 - エア・バッフル (123 ページの『エア・バッフルの取り外し』を参照)。
 - ハード・ディスクおよびハード・ディスク・ベイ・フィルタ (158 ページの『3.5 型ハード・ディスクの取り外し』、160 ページの『2.5 型ハード・ディスクの取り外し』、および 165 ページの『1.8 型ハード・ディスクの取り外し』を参照)。
 - マイクロプロセッサ、ヒートシンク、およびマイクロプロセッサ・ヒートシンク・フィルタ。交換用のマイクロプロセッサに付属のマイクロプロセッサ取り付けツールを使用して、コンピュート・ノードから各マイクロプロセッサを取り外し、そのマイクロプロセッサをすぐに新規のコンピュート・ノードに取り付けます (177 ページの『マイクロプロセッサとヒートシンクの取り外し』および 182 ページの『マイクロプロセッサとヒートシンクの再取り付け』を参照)。
 - ハード・ディスク・バックプレート (154 ページの『ハード・ディスク・バックプレートの取り外し』を参照)。

次のタスク

コンピュータ・ノードの返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、パーツがお手元に届いたときの配送用パッケージ材がある場合は、それを使用して荷造りしてください。

コンピュータ・ノードの取り付け

コンピュータ・ノードを取り付けるには、以下のステップを実行してください。

始める前に

注: 以下の手順は、トレーニングを受けたサービス技術員のみが実行できます。

コンピュータ・ノードを取り付ける前に、以下のステップを実行してください。

1. vii ページの『安全について』および 110 ページの『取り付けに関するガイドライン』をお読みください。
2. IBM NeXtScale n1200 エンクロージャーにコンピュータ・ノードが取り付けられている場合は、それを取り外します (手順については 113 ページの『シャーシからのコンピュータ・ノードの取り外し』を参照)。
3. コンピュータ・ノードのベゼルを手前に向けて、帯電防止されている平らな面にコンピュータ・ノードを注意して置きます。
4. 交換手順で使用する以下のものを入手します (101 ページの『第 4 章 部品リスト、IBM NeXtScale nx360 M4 コンピュータ・ノード Type 5455』を参照)。
 - アルコール・ワイプ (部品番号 59P4739)
 - ベゼル
 - RFID タグ (出荷時のコンピュータ・ノードでベゼルに RFID タグが付いている場合にのみ必要)
 - T8 TORX ドライバー (部品番号 00FK488、シャーシ背面で提供)
 - 熱伝導グリース・キット (部品番号 41Y9292)

このタスクについて

重要: システム・ボードを交換する場合、コンピュータ・ノードを最新のファームウェアを使用して更新するか、既存のファームウェアをリストアする必要があります。最新のファームウェアまたは既存のファームウェアのコピーが手元にあることを確認してから、先に進んでください。詳しくは、23 ページの『ファームウェアの更新』を参照してください。

手順

コンピュータ・ノードを取り付けるには、以下のステップを実行してください。

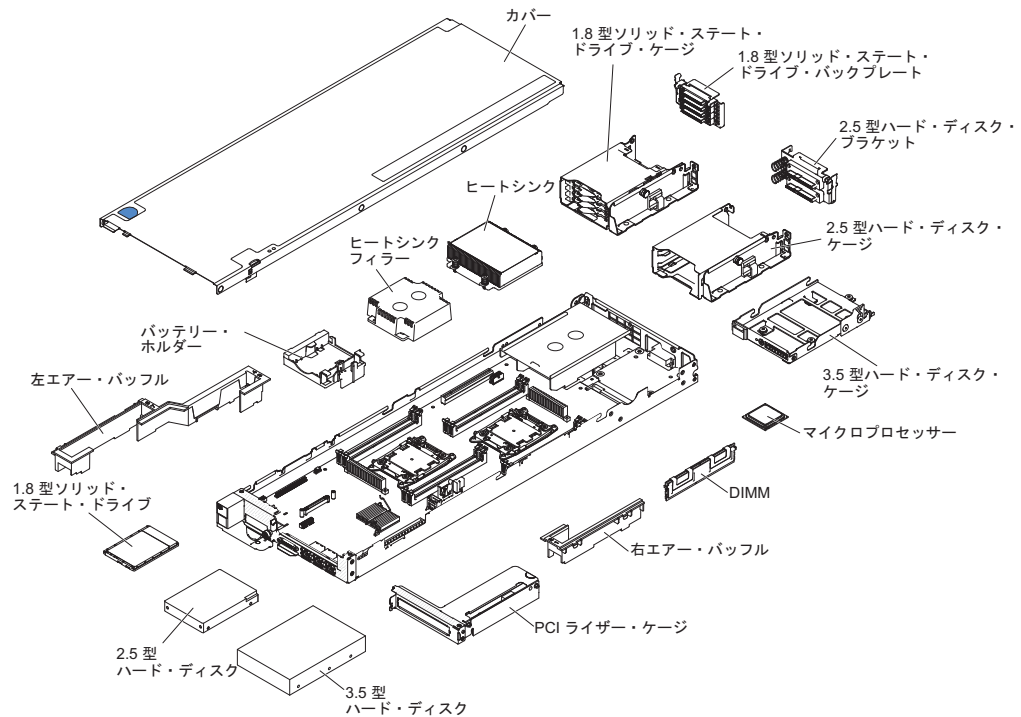


図 93. コンピュート・ノードの主要コンポーネント

以下のリストにある、旧コンピューター・ノードから取り外したすべてのコンポーネントを、新しいコンピューター・ノードに取り付けます。

- DIMM (144 ページの『メモリー・モジュールの取り付け』を参照)。
- エアー・バッフル (124 ページの『エアー・バッフルの再取り付け』を参照)。
- ハード・ディスクおよびハード・ディスク・フィルタ (159 ページの『3.5 型ハード・ディスクの取り付け』、162 ページの『2.5 型ハード・ディスクの取り付け』、および 166 ページの『1.8 型ハード・ディスクの取り付け』を参照)。
- マイクロプロセッサ、ヒートシンク、およびマイクロプロセッサ・ヒートシンク・フィルタ。交換用のマイクロプロセッサに付属のマイクロプロセッサ取り付けツールを使用して、コンピューター・ノードから各マイクロプロセッサを取り外し、そのマイクロプロセッサをすぐに新規のコンピューター・ノードに取り付けます (177 ページの『マイクロプロセッサとヒートシンクの取り外し』および 182 ページの『マイクロプロセッサとヒートシンクの再取り付け』を参照)。
- ハード・ディスク・バックプレート (156 ページの『ハード・ディスク・バックプレートの取り付け』を参照)。

次のタスク

コンピューター・ノードを取り付けた後、以下のステップを実行してください。

1. コンピューター・ノードにカバーを取り付けます (手順については 122 ページの『コンピューター・ノード・カバーの取り付け』を参照)。
2. コンピューター・ノードをシャーシの中に取り付けます (手順については、114 ページの『シャーシへのコンピューター・ノードの取り付け』を参照)。

3. コンピュート・ノードに Features on Demand (FOD) フィーチャーが取り付けられている場合は、「*IBM Feature on Demand User's Guide*」の説明を参照して、これらのフィーチャーを再びアクティブにします。この資料をダウンロードするには、<http://www.ibm.com/systems/x/fod/> にアクセスしてログインし、「**Help**」をクリックしてください。
4. 汎用固有 ID (UUID) および重要プロダクト・データ (VPD) を更新します。
Advanced Settings ユーティリティを使用して、UEFI ベースのコンピュート・ノードの UUID および VPD を更新します (47 ページの『汎用固有 ID (UUID) の更新』を参照)。
5. コンピュート・ノードを最新のファームウェアを使用して更新するか、既存のファームウェアをリストアします (詳しくは、23 ページの『ファームウェアの更新』を参照)。

内部ケーブルのルーティングおよびコネクター

このセクションでは、IBM NeXtScale nx360 M4 コンピュート・ノードに一部のコンポーネントを取り付ける際のケーブルの配線について説明します。

ケーブルおよびデバイス接続の要件について詳しくは、そのデバイスに付属の資料を参照してください。

ソフトウェア RAID 信号ケーブルを使用したハード・ディスクのケーブル接続

ソフトウェア RAID 信号ケーブルを使用したハード・ディスクの内部ルーティングとコネクター。

次の図は、ソフトウェア RAID 信号ケーブルを使用したハード・ディスクの内部ルーティングとコネクターを示しています。

注: 適切なケーブルがケーブル・クリップを通っていることを確認してください。

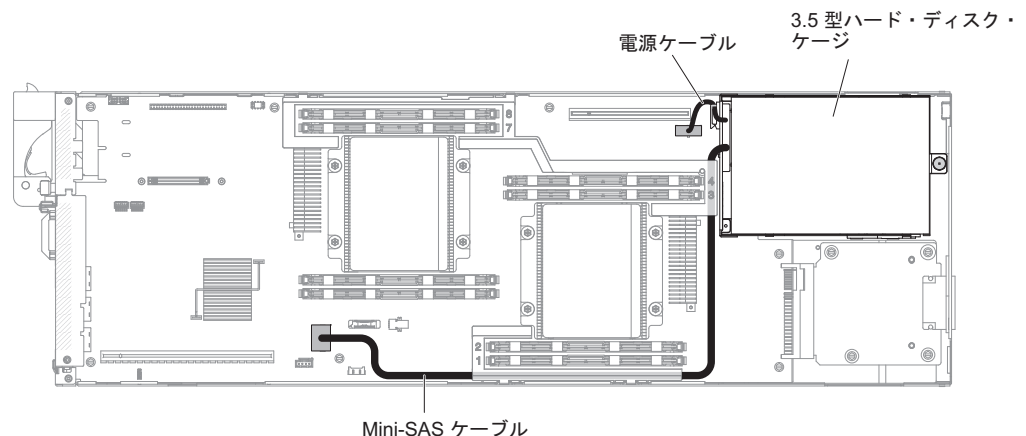


図 94. ソフトウェア RAID 信号ケーブル接続を使用した 3.5 型ハード・ディスク

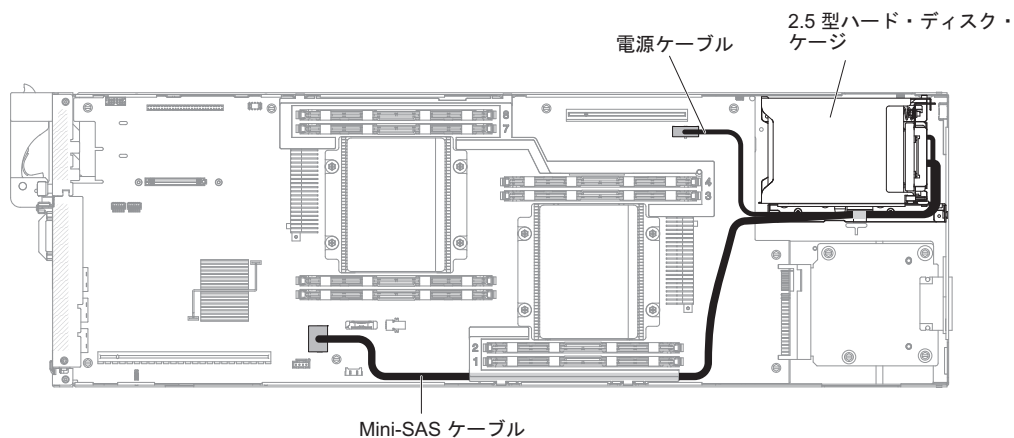


図 95. ソフトウェア RAID 信号ケーブル接続を使用した 2.5 型ハード・ディスク

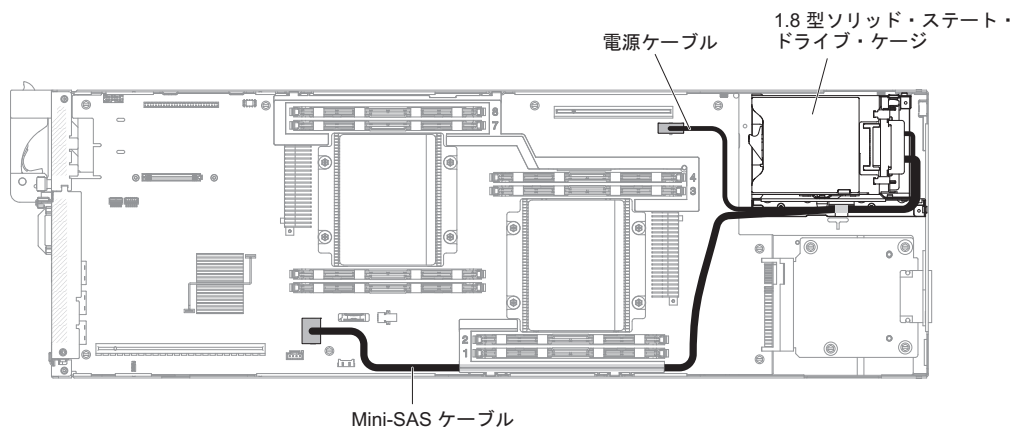


図 96. ソフトウェア RAID 信号ケーブル接続を使用した 1.8 型ハード・ディスク

ハード・ディスクと ServeRAID SAS/SATA コントローラーのケーブル接続

ハード・ディスクと ServeRAID SAS/SATA コントローラーを接続するための内部ルーティングとコネクター

以下の図は、3.5 型、2.5 型、および 1.8 型のハード・ディスク・モデルのそれぞれで、ServeRAID SAS/SATA コントローラーを使用した場合の内部ルーティングおよびコネクターを示しています。

注: 適切なケーブルがケーブル・クリップを通っていることを確認してください。

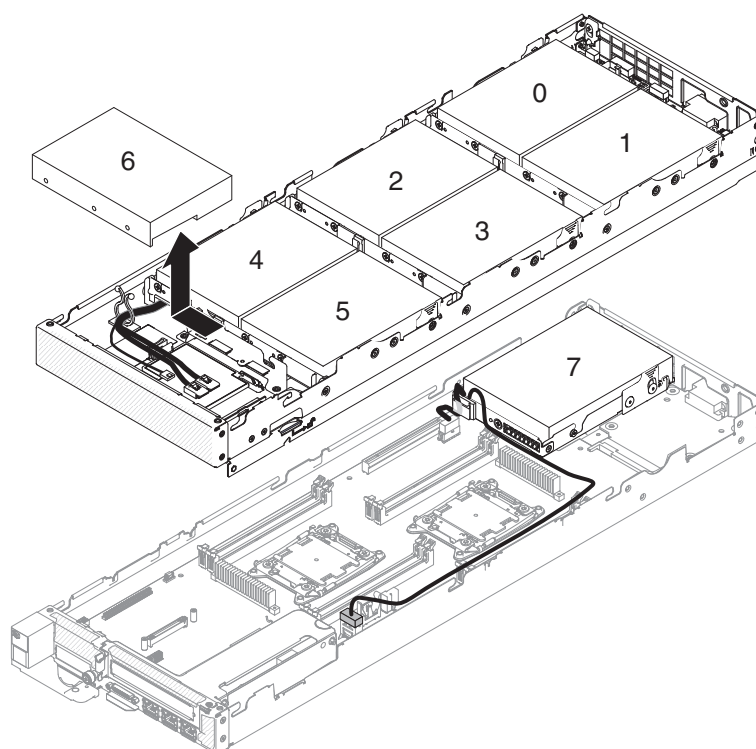


図 97. 3.5 型ハード・ディスクと ServeRAID SATA コントローラー・ケーブルの接続 (ハード・ディスク #7 にハードウェア RAID サポートなし)

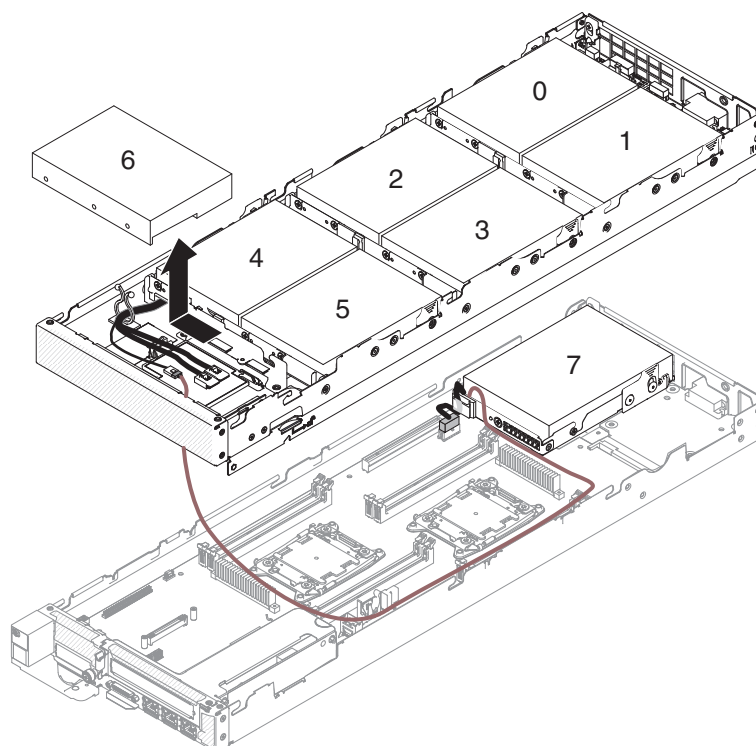


図 98. 3.5 型ハード・ディスクと ServeRAID SATA コントローラー・ケーブルの接続 (すべてのハード・ディスクでハードウェア RAID がサポートされている)

注:

1. 3.5 型ハード・ディスク・モデルの場合、ストレージ・トレイが取り付けられている場合にのみ ServeRAID SATA コントローラーを使用することができます。
2. 構成ケーブルを接続または切り離す前に、ハード・ディスク #6 (取り付けられている場合) を取り外す必要があります。ハード・ディスクのドライブ・ベイの並びについては、11 ページの『ストレージ・トレイの主要コンポーネント』を参照してください。

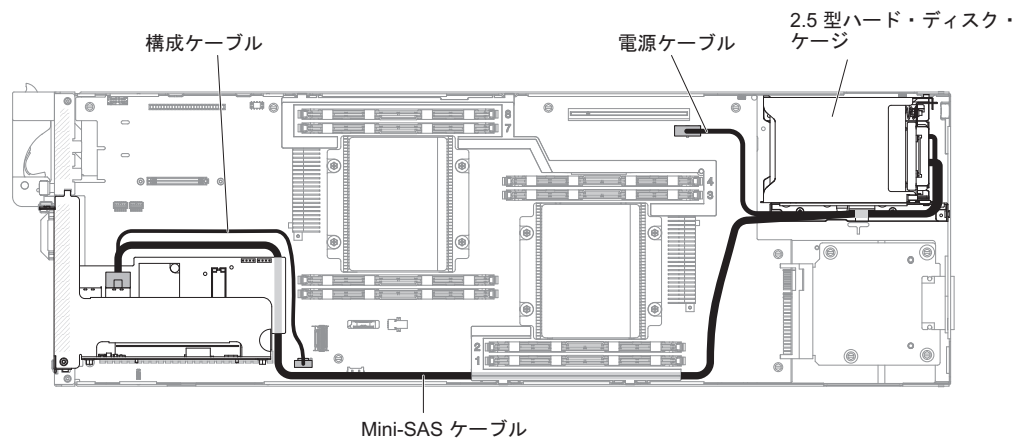


図 99. 2.5 型ハード・ディスクと ServeRAID SAS/SATA コントローラー・ケーブルの接続

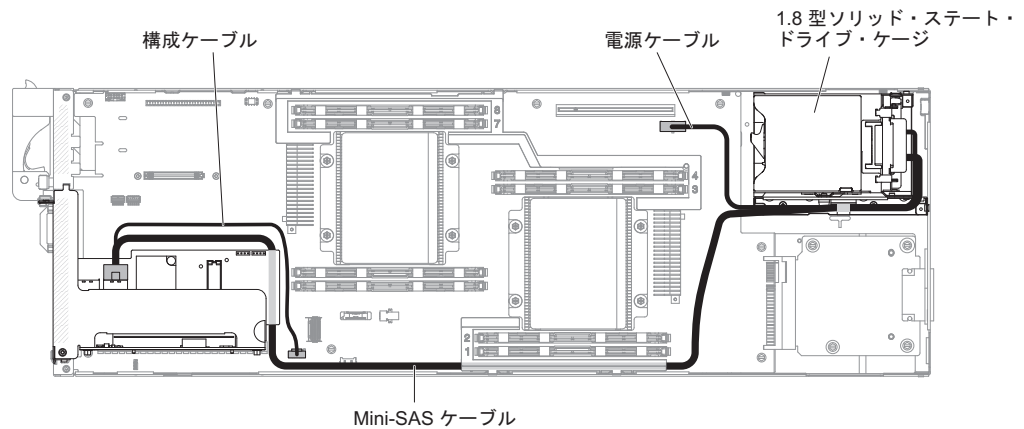


図 100. 1.8 型ハード・ディスクと ServeRAID SAS/SATA コントローラー・ケーブルの接続

付録 A. 統合管理モジュール II (IMM2) のエラー・メッセージ

このセクションでは、統合管理モジュール II (IMM2) のエラー・メッセージについて詳しく説明します。

ハードウェア・イベントがサーバー上の 統合管理モジュール II (IMM2) によって検出されると、統合管理モジュール II (IMM2) はそのイベントをサーバー内のシステム・イベント・ログに記録します。

イベント・コードごとに、以下のフィールドが表示されます。

Event identifier (イベント ID)

イベントあるいはイベントのクラスを一意的に識別する 16 進数の ID。本書では、イベント ID は 0x で始まり、後に 8 文字が続きます。

Event description (イベント記述)

あるイベントについて表示される、ログに記録されたメッセージ・ストリング。イベント・ログにイベント・ストリングが表示される場合、特定のコンポーネントなどの情報が表示されます。本書では、そのような追加情報は [arg1] や [arg2] などの変数で示されています。

Explanation (説明)

イベントが発生した理由を説明する追加情報を提供します。

重大度 その状態の懸念のレベルの表示。システム・イベント・ログでは、重大度は先頭文字に省略されています。以下の重大度が表示されることがあります。

通知: イベントは監査目的で記録されたもので、通常はユーザーの処置または正常に動作する状態の変更です。

警告: イベントはエラーほど深刻ではありませんが、可能であればエラーになる前に状態を修正することをお勧めします。また、追加のモニターまたは保守が必要な状態である場合もあります。

エラー:

イベントは、サービスあるいは期待された機能を悪化させる障害またはクリティカルな状態です。

アラート・カテゴリー

同類のイベントがカテゴリーごとに分類されます。アラート・カテゴリーは以下の形式になります。

重大度 - 装置

重大度は、以下の重大度レベルのいずれかです。

- **クリティカル:** サーバー内の主要コンポーネントが機能していません。
- **警告:** イベントがクリティカル・レベルに進行する可能性があります。
- **システム:** イベントは、システム・エラーあるいは構成変更の結果です。

装置は、イベント生成の原因となったサーバー内の特定の装置です。

保守可能

問題を修正するためにユーザー処置が必要かどうかを指定します。

CIM 情報

CIM メッセージ・レジストリーによって使用されるメッセージ ID のプレフィックスとシーケンス番号を提供します。

SNMP トラップ ID

SNMP アラート管理情報ベース (MIB) にある SNMP トラップ ID。

自動連絡サービス

このフィールドを「Yes」に設定すると、Electronic Service Agent™ (ESA) が有効になり、イベント生成時には IBM サポートに自動的に通知されます。

IBM サポートからのコールを待つ間に、イベントの推奨処置を実行することができます。

ユーザー応答

イベントを解決するために実行すべき処置を示します。

このセクションにリストされている手順を、問題が解決するまで順番に実行します。このフィールドに説明されている処置をすべて実行した後、まだ問題を解決できない場合には、IBM サポートにお問い合わせください。

注: このリストには、このマシン・タイプおよびモデルに適用されない可能性があるエラー・コードとメッセージも含まれます。

以下に、統合管理モジュール II (IMM2) エラー・メッセージ、および検出されたサーバーの問題を修正するための推奨アクションをリストします。統合管理モジュール II (IMM2) についての詳細は、<http://www-947.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnocid=migr-5086346> の「*Integrated Management Module II User's Guide*」を参照してください。

**40000001-00000000 Management Controller [arg1]
Network Initialization Complete.**

説明: このメッセージは、管理コントローラーのネットワークで初期化が完了した場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - IMM ネットワーク・イベント

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0001

SNMP トラップ ID: 37

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

**40000002-00000000 Certificate Authority [arg1] has
detected a [arg2] Certificate Error.**

説明: このメッセージは、SSL サーバー、SSL クライアント、または SSL トラステッド CA 証明書のエラー

がある場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: システム - SSL 認証

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0002

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: インポートしている証明書が正しく、適切に生成されていることを確認します。

**40000003-00000000 Ethernet Data Rate modified
from [arg1] to [arg2] by user [arg3].**

説明: このメッセージは、ユーザーがイーサネット・ポートのデータ転送速度を変更した場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0003

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000004-00000000 Ethernet Duplex setting modified from [arg1] to [arg2] by user [arg3].

説明: このメッセージは、ユーザーがイーサネット・ポートの二重設定を変更した場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0004

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000005-00000000 Ethernet MTU setting modified from [arg1] to [arg2] by user [arg3].

説明: このメッセージは、ユーザーがイーサネット・ポート MTU 設定を変更した場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0005

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000006-00000000 Ethernet locally administered MAC address modified from [arg1] to [arg2] by user [arg3].

説明: このメッセージは、ユーザーがイーサネット・ポート MAC アドレス設定を変更した場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0006

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000007-00000000 Ethernet interface [arg1] by user [arg2].

説明: このメッセージは、ユーザーがイーサネット・インターフェースを使用可能または使用不可にする場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0007

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000008-00000000 Hostname set to [arg1] by user [arg2].

説明: このメッセージは、ユーザーが管理コントローラーのホスト名を変更する場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - IMM ネットワーク・イベント

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0008

SNMP トラップ ID: 37

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000009-00000000 IP address of network interface modified from [arg1] to [arg2] by user [arg3].

説明: このメッセージは、ユーザーが管理コントローラーの IP アドレスを変更する場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - IMM ネットワーク・イベント

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0009

SNMP トラップ ID: 37

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000000a-00000000 IP subnet mask of network interface modified from [arg1] to [arg2] by user [arg3].

説明: このメッセージは、ユーザーが管理コントローラーの IP サブネット・マスクを変更する場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0010

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000000b-00000000 IP address of default gateway modified from [arg1] to [arg2] by user [arg3].

説明: このメッセージは、ユーザーが管理コントローラーのデフォルトのゲートウェイ IP アドレスを変更する場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0011

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000000c-00000000 OS Watchdog response [arg1] by [arg2] .

説明: このメッセージは、ユーザーによって OS ウォッチドッグが使用可能または使用不可にされた場合に使用されます。

重大度: 警告

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0012

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000000d-00000000 DHCP[[arg1]] failure, no IP address assigned.

説明: このメッセージは、DHCP サーバーが管理コントローラーに IP アドレスを割り当てることができない場合に使用されます。

重大度: 警告

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0013

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM ネットワーク・ケーブルが接続されていることを確認します。
2. IMM に IP アドレスを割り当てることができる DHCP サーバーがネットワーク上に存在することを確認します。

4000000e-00000000 Remote Login Successful. Login ID: [arg1] from [arg2] at IP address [arg3].

説明: このメッセージは、ユーザーが管理コントローラーに正常にログインする場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - リモート・ログイン

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0014

SNMP トラップ ID: 30

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000000f-00000000 Attempting to [arg1] server [arg2] by user [arg3].

説明: このメッセージは、ユーザーが管理コントローラーを使用してシステム上の電源機能を実行している場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0015

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000010-00000000 Security: Userid: [arg1] had [arg2] login failures from WEB client at IP address [arg3].

説明: このメッセージは、ユーザーが Web ブラウザーから管理コントローラーへのログインに失敗した場合に使用されます。

重大度: 警告

アラート・カテゴリ: システム - リモート・ログイン

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0016

SNMP トラップ ID: 30

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. 正しいログイン ID およびパスワードが使用されていることを確認してください。
2. システム管理者にログイン ID またはパスワードをリセットするように依頼してください。

40000011-00000000 Security: Login ID: [arg1] had [arg2] login failures from CLI at [arg3].

説明: このメッセージは、ユーザーが Legacy CLI から管理コントローラーへのログインに失敗した場合に使用されます。

重大度: 警告

アラート・カテゴリ: システム - リモート・ログイン

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0017

SNMP トラップ ID: 30

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. 正しいログイン ID およびパスワードが使用されていることを確認してください。
2. システム管理者にログイン ID またはパスワードをリセットするように依頼してください。

40000012-00000000 Remote access attempt failed.

Invalid userid or password received.

Userid is [arg1] from WEB browser at IP address [arg2].

説明: このメッセージは、リモート・ユーザーが Web ブラウザー・セッションからリモート制御セッションを確立できなかった場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - リモート・ログイン

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0018

SNMP トラップ ID: 30

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 正しいログイン ID およびパスワードが使用されていることを確認してください。

40000013-00000000 Remote access attempt failed.

Invalid userid or password received.

Userid is [arg1] from TELNET client at IP address [arg2].

説明: このメッセージは、ユーザーが Telnet セッションから管理コントローラーへのログインに失敗した場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - リモート・ログイン

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0019

SNMP トラップ ID: 30

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 正しいログイン ID およびパスワード

ドが使用されていることを確認してください。

**40000014-00000000 The [arg1] on system [arg2]
cleared by user [arg3].**

説明: このメッセージは、システム上の管理コントローラー・イベント・ログがユーザーによって消去された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0020

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

**40000015-00000000 Management Controller [arg1]
reset was initiated by user [arg2].**

説明: このメッセージは、管理コントローラーのリセットがユーザーによって開始された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0021

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

**40000016-00000000 ENET[[arg1]]
DHCP-HSTN=[arg2], DN=[arg3],
IP@=[arg4], SN=[arg5], GW@=[arg6],
DNS1@=[arg7] .**

説明: このメッセージは、管理コントローラーの IP アドレスと構成が DHCP サーバーによって割り当てられた場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0022

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

**40000017-00000000 ENET[[arg1]]
IP-Cfg:HstName=[arg2], IP@=[arg3]
,NetMsk=[arg4], GW@=[arg5] .**

説明: このメッセージは、管理コントローラーの IP アドレスと構成がユーザー・データを使用して静的に割り当てられた場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0023

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

**40000018-00000000 LAN: Ethernet[[arg1]] interface is
no longer active.**

説明: このメッセージは、管理コントローラーのイーサネット・インターフェースがアクティブでなくなった場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0024

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

**40000019-00000000 LAN: Ethernet[[arg1]] interface is
now active.**

説明: このメッセージは、管理コントローラーのイーサネット・インターフェースがアクティブになった場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0025

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000001a-00000000 DHCP setting changed to [arg1] by user [arg2].

説明: このメッセージは、ユーザーが DHCP 設定を変更した場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0026

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000001b-00000000 Management Controller [arg1]: Configuration restored from a file by user [arg2].

説明: このメッセージは、ユーザーが管理コントローラー構成をファイルから復元した場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0027

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000001c-00000000 Watchdog [arg1] Screen Capture Occurred .

説明: このメッセージは、オペレーティング・システム・エラーが発生し、画面がキャプチャーされた場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0028

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: オペレーティング・システム・エラーがない場合は、問題が解決するまで以下のステップを実行します。

1. ウォッチドッグ・タイマーをより高い値に再構成します。
2. IMM Ethernet-over-USB インターフェースが使用可能になっていることを確認します。
3. オペレーティング・システムに、RNDIS または cdc_ether デバイス・ドライバを再インストールします。
4. ウォッチドッグを使用不可にします。

オペレーティング・システム・エラーがある場合は、インストールされているオペレーティング・システムの整合性を検査します。

4000001d-00000000 Watchdog [arg1] Failed to Capture Screen.

説明: このメッセージは、オペレーティング・システム・エラーが発生し、画面キャプチャーが失敗した場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0029

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. ウォッチドッグ・タイマーをより高い値に再構成します。
2. IMM Ethernet over USB インターフェースが使用可能になっていることを確認します。
3. オペレーティング・システムに、RNDIS または cdc_ether デバイス・ドライバを再インストールします。
4. ウォッチドッグを使用不可にします。インストールされたオペレーティング・システムの整合性を検査します。
5. IMM ファームウェアを更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。

4000001e-00000000 Running the backup Management Controller [arg1] main application.

説明: このメッセージは、管理コントローラーがバックアップ・メイン・アプリケーションを実行する手段を用いた場合に使用されます。

重大度: 警告

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0030

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: IMM ファームウェアを更新します。
重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。

4000001f-00000000 Please ensure that the Management Controller [arg1] is flashed with the correct firmware. The Management Controller is unable to match its firmware to the server.

説明: このメッセージは、管理コントローラーのファームウェア・バージョンがサーバーと一致しない場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0031

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: IMM ファームウェアを、サーバーがサポートするバージョンに更新します。 **重要:** 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。

40000020-00000000 Management Controller [arg1] Reset was caused by restoring default values.

説明: このメッセージは、ユーザーが構成をデフォルト値に復元したために管理コントローラーがリセットされた場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0032

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000021-00000000 Management Controller [arg1] clock has been set from NTP server [arg2].

説明: このメッセージは、管理コントローラーのクロックが Network Time Protocol サーバーから設定された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0033

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000022-00000000 SSL data in the Management Controller [arg1] configuration data is invalid. Clearing configuration data region and disabling SSL.

説明: このメッセージは、管理コントローラーが構成データで無効な SSL データを検出し、構成データ領域をクリアし、SSL を使用不可にしている場合に使用されません。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0034

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. インポートしている証明書が正しいことを確認します。
2. 証明書のインポートを再試行します。

40000023-00000000 Flash of [arg1] from [arg2] succeeded for user [arg3].

説明: このメッセージは、ユーザーがインターフェースおよび IP アドレスからファームウェア・コンポーネント (MC メインアプリケーション、MC ブート ROM、BIOS、診断、システム電源バックプレーン、リモート拡張ユニットの電源バックプレーン、内蔵システム管理プロセッサ、またはリモート拡張ユニットのプロセッサ) を正常にフラッシュした場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0035

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000024-00000000 Flash of [arg1] from [arg2] failed for user [arg3].

説明: このメッセージは、ユーザーが障害のためにインターフェースと IP アドレスからファームウェア・コンポーネントをフラッシュしなかった場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0036

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000025-00000000 The [arg1] on system [arg2] is 75% full.

説明: このメッセージは、システム上の管理コントローラー・イベント・ログが 75% フルである場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - イベント・ログ 75% フル

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0037

SNMP トラップ ID: 35

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000026-00000000 The [arg1] on system [arg2] is 100% full.

説明: このメッセージは、システム上の管理コントローラー・イベント・ログが 100% フルである場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - イベント・ログ 75% フル

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0038

SNMP トラップ ID: 35

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以前のログ項目が失われないようにするには、ログをテキスト・ファイルとして保管し、ログをクリアします。

40000027-00000000 Platform Watchdog Timer expired for [arg1].

説明: このメッセージは、実装環境でプラットフォーム・ウォッチドッグ・タイマーの満了が検出されたユーース・ケースに表示されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: システム - OS タイムアウト

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0039

SNMP トラップ ID: 21

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. ウォッチドッグ・タイマーをより高い値に再構成します。
2. IMM Ethernet-over-USB インターフェースが使用可能になっていることを確認します。
3. オペレーティング・システムに、RNDIS または cdc_ether デバイス・ドライバを再インストールします。
4. ウォッチドッグを使用不可にします。
5. インストールされたオペレーティング・システムの整合性を検査します。

**40000028-00000000 Management Controller Test
Alert Generated by [arg1].**

説明: このメッセージは、ユーザーがテスト・アラートを生成した場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0040

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

**40000029-00000000 Security: Userid: [arg1] had
[arg2] login failures from an SSH client
at IP address [arg3].**

説明: このメッセージは、ユーザーが SSH から管理コントローラーへのログインに失敗した場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - リモート・ログイン

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0041

SNMP トラップ ID: 30

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. 正しいログイン ID およびパスワードが使用されていることを確認してください。

2. システム管理者にログイン ID またはパスワードをリセットするように依頼してください。

**4000002a-00000000 [arg1] firmware mismatch
internal to system [arg2]. Please attempt
to flash the [arg3] firmware.**

説明: このメッセージは、特定タイプのファームウェア・ミスマッチが検出されたユース・ケースに表示されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0042

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: IMM ファームウェアを再消去して、最新のバージョンにします。

4000002b-00000000 Domain name set to [arg1].

説明: ユーザーによってドメイン・ネームが設定されました。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0043

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

**4000002c-00000000 Domain Source changed to [arg1]
by user [arg2].**

説明: ユーザーによってドメイン・ソースが変更されました。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0044

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

**4000002d-00000000 DDNS setting changed to [arg1]
by user [arg2].**

説明: ユーザーによって DDNS 設定が変更されました。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0045

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

**4000002e-00000000 DDNS registration successful. The
domain name is [arg1].**

説明: DDNS 登録および値

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0046

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000002f-00000000 IPv6 enabled by user [arg1] .

説明: ユーザーが IPv6 プロトコルを有効にしました。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0047

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000030-00000000 IPv6 disabled by user [arg1] .

説明: ユーザーが IPv6 プロトコルを無効にしました。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0048

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

**40000031-00000000 IPv6 static IP configuration
enabled by user [arg1].**

説明: ユーザーが IPv6 静的アドレス割り当て方式を有効にしました。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0049

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

**40000032-00000000 IPv6 DHCP enabled by user
[arg1].**

説明: ユーザーが IPv6 DHCP 割り当て方式を有効にしました。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0050

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

**40000033-00000000 IPv6 stateless auto-configuration
enabled by user [arg1].**

説明: ユーザーが IPv6 ステートレス自動割り当て方式を有効にしました。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0051

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000034-00000000 IPv6 static IP configuration disabled by user [arg1].

説明: ユーザーが IPv6 静的割り当て方式を無効にしました。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0052

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000035-00000000 IPv6 DHCP disabled by user [arg1].

説明: ユーザーが IPv6 DHCP 割り当て方式を無効にしました。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0053

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000036-00000000 IPv6 stateless auto-configuration disabled by user [arg1].

説明: ユーザーが IPv6 ステートレス自動割り当て方式を無効にしました。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0054

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000037-00000000 ENET[[arg1]] IPv6-LinkLocal:HstName=[arg2], IP@=[arg3], Pref=[arg4] .

説明: IPv6 リンク・ローカル・アドレスがアクティブです。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0055

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000038-00000000 ENET[[arg1]] IPv6-Static:HstName=[arg2], IP@=[arg3], Pref=[arg4], GW@=[arg5].

説明: IPv6 静的アドレスがアクティブです。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0056

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000039-00000000 ENET[[arg1]] DHCPv6-HSTN=[arg2], DN=[arg3], IP@=[arg4], Pref=[arg5].

説明: IPv6 DHCP 割り当てアドレスがアクティブです。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0057

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000003a-00000000 IPv6 static address of network interface modified from [arg1] to [arg2] by user [arg3].

説明: ユーザーが、管理コントローラーの IPv6 固定アドレスを変更しました。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0058

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000003b-00000000 DHCPv6 failure, no IP address assigned.

説明: S DHCPv6 サーバーが、管理コントローラーへの IP アドレスの割り当てに失敗しました。

重大度: 警告

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0059

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM ネットワーク・ケーブルが接続されていることを確認します。
2. IMM に IP アドレスを割り当てることができる DHCPv6 サーバーがネットワーク上に存在することを確認します。

4000003c-00000000 Platform Watchdog Timer expired for [arg1].

説明: 実装環境で OS ロダー・ウォッチドッグ・タイマーの満了が検出されました。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: システム - ロダー・タイムアウト

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0060

SNMP トラップ ID: 26

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ウォッチドッグ・タイマーをより高い値に再構成します。
2. IMM Ethernet over USB インターフェースが使用可能になっていることを確認します。
3. オペレーティング・システムに、RNDIS または cdc_ether デバイス・ドライバーを再インストールします。
4. ウォッチドッグを使用不可にします。
5. インストールされたオペレーティング・システムの整合性を検査します。

4000003d-00000000 Telnet port number changed from [arg1] to [arg2] by user [arg3].

説明: ユーザーが Telnet ポート番号を変更しました。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0061

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000003e-00000000 SSH port number changed from [arg1] to [arg2] by user [arg3].

説明: ユーザーが SSH ポート番号を変更しました。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0062

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000003f-00000000 Web-HTTP port number changed from [arg1] to [arg2] by user [arg3].

説明: ユーザーが Web HTTP ポート番号を変更しました。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0063

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000040-00000000 Web-HTTPS port number changed from [arg1] to [arg2] by user [arg3].

説明: ユーザーが Web HTTPS ポート番号を変更しました。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0064

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000041-00000000 CIM/XML HTTP port number changed from [arg1] to [arg2] by user [arg3].

説明: ユーザーが CIM HTTP ポート番号を変更しました。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0065

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000042-00000000 CIM/XML HTTPS port number changed from [arg1] to [arg2] by user [arg3].

説明: ユーザーが CIM HTTPS ポート番号を変更しました。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0066

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000043-00000000 SNMP Agent port number changed from [arg1] to [arg2] by user [arg3].

説明: ユーザーが SNMP エージェント・ポート番号を変更しました。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0067

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000044-00000000 SNMP Traps port number changed from [arg1] to [arg2] by user [arg3].

説明: ユーザーが SNMP トラップ・ポート番号を変更しました。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0068

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000045-00000000 Syslog port number changed from [arg1] to [arg2] by user [arg3].

説明: ユーザーが、Syslog 受信側のポート番号を変更しました。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0069

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000046-00000000 Remote Presence port number changed from [arg1] to [arg2] by user [arg3].

説明: ユーザーが、リモート・プレゼンスのポート番号を変更しました。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0070

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000047-00000000 LED [arg1] state changed to [arg2] by [arg3].

説明: ユーザーが LED の状態を変更しました。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0071

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000048-00000000 Inventory data changed for device [arg1], new device data hash=[arg2], new master data hash=[arg3] .

説明: 何らかの理由で物理インベントリーが変化しました。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0072

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000049-00000000 SNMP [arg1] enabled by user [arg2] .

説明: ユーザーが SNMPv1 または SNMPv3 あるいはトラップを有効にしました。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0073

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000004a-00000000 SNMP [arg1] disabled by user [arg2] .

説明: ユーザーが SNMPv1 または SNMPv3 あるいはトラップを無効にしました。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0074

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000004b-00000000 **SNMPv1 [arg1] set by user**
 [arg2]: Name=[arg3], AccessType=[arg4],
 Address=[arg5], .

説明: ユーザーが、SNMP コミュニティー・ストリングを変更しました。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0075

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000004c-00000000 **LDAP Server configuration set by user**
 [arg1]: SelectionMethod=[arg2],
 DomainName=[arg3], Server1=[arg4],
 Server2=[arg5], Server3=[arg6],
 Server4=[arg7].

説明: ユーザーが、LDAP サーバー構成を変更しました。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0076

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000004d-00000000 **LDAP set by user [arg1]:**
 RootDN=[arg2],
 UIDSearchAttribute=[arg3],
 BindingMethod=[arg4],
 EnhancedRBS=[arg5], TargetName=[arg6],
 GroupFilter=[arg7],
 GroupAttribute=[arg8],
 LoginAttribute=[arg9].

説明: ユーザーが、LDAP の各種設定を構成しました。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0077

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000004e-00000000 **Serial Redirection set by user**
 [arg1]: Mode=[arg2], BaudRate=[arg3],
 StopBits=[arg4], Parity=[arg5],
 SessionTerminateSequence=[arg6].

説明: ユーザーが、シリアル・ポート・モードを構成しました。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0078

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000004f-00000000 **Date and Time set by user**
 [arg1]: Date=[arg2], Time=[arg3], DST
 Auto-adjust=[arg4], Timezone=[arg5].

説明: ユーザーが日時設定を構成しました。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0079

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000050-00000000 **Server General Settings set by user**
 [arg1]: Name=[arg2],
 Contact=[arg3], Location=[arg4],
 Room=[arg5], RackID=[arg6], Rack
 U-position=[arg7].

説明: ユーザーが、ロケーション設定を構成しました。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0080

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000051-00000000 Server Power Off Delay set to [arg1] by user [arg2].

説明: ユーザーが、サーバーの電源オフ遅延を構成しました。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0081

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000052-00000000 Server [arg1] scheduled for [arg2] at [arg3] by user [arg4].

説明: ユーザーが、特定の時刻のサーバー電源アクションを構成しました。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0082

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000053-00000000 Server [arg1] scheduled for every [arg2] at [arg3] by user [arg4].

説明: ユーザーが、サーバー電源アクションの繰り返しを構成しました。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0083

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000054-00000000 Server [arg1] [arg2] cleared by user [arg3].

説明: ユーザーが、Server Power Action をクリアしました。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0084

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000055-00000000 Synchronize time setting by user [arg1]: Mode=[arg2], NTPServerHost=[arg3]:[arg4], NTPUpdateFrequency=[arg5].

説明: ユーザーが、日時の同期設定を構成しました。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0085

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000056-00000000 SMTP Server set by user [arg1] to [arg2]:[arg3].

説明: ユーザーが、SMTP サーバーを構成しました。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0086

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000057-00000000 Telnet [arg1] by user [arg2].

説明: ユーザーが Telnet サービスを有効または無効にしました。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0087

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000058-00000000 DNS servers set by user [arg1]: UseAdditionalServers=[arg2], PreferredDNSType=[arg3], IPv4Server1=[arg4], IPv4Server2=[arg5], IPv4Server3=[arg6], IPv6Server1=[arg7], IPv6Server2=[arg8], IPv6Server3=[arg9].

説明: ユーザーが DNS サーバーを構成します。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0088

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000059-00000000 LAN over USB [arg1] by user [arg2].

説明: ユーザーが、USB-LAN を構成しました。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0089

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000005a-00000000 LAN over USB Port Forwarding set by user [arg1]: ExternalPort=[arg2], USB-LAN port=[arg3].

説明: ユーザーが、USB-LAN ポート転送を構成しました。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0090

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000005b-00000000 Secure Web services (HTTPS) [arg1] by user [arg2].

説明: ユーザーが、セキュア Web サービスを使用可能または使用不可にしました。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0091

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000005c-00000000 Secure CIM/XML(HTTPS) [arg1] by user [arg2].

説明: ユーザーがセキュア CIM/XML サービスを有効または無効にしました。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM または ID: 0092

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000005d-00000000 Secure LDAP [arg1] by user [arg2].

説明: ユーザーが、セキュア LDAP サービスを使用可能または使用不可にしました。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0093

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000005e-00000000 SSH [arg1] by user [arg2].

説明: ユーザーが SSH サービスを有効または無効にしました。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0094

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000005f-00000000 Server timeouts set by user [arg1]: EnableOSWatchdog=[arg2], OSWatchdogTimeout=[arg3], EnableLoaderWatchdog=[arg4], LoaderTimeout=[arg5].

説明: ユーザーが、サーバー・タイムアウトを構成しました。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0095

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000060-00000000 License key for [arg1] added by user [arg2].

説明: ユーザーがライセンス・キーをインストールします。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0096

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000061-00000000 License key for [arg1] removed by user [arg2].

説明: ユーザーがライセンス・キーを削除します。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0097

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000062-00000000 Global Login General Settings set by user [arg1]: AuthenticationMethod=[arg2], LockoutPeriod=[arg3], SessionTimeout=[arg4].

説明: ユーザーが、グローバル・ログインの一般設定を変更しました。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0098

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000063-00000000 Global Login Account Security

set by user [arg1]:
 PasswordRequired=[arg2],
 PasswordExpirationPeriod=[arg3],
 MinimumPasswordReuseCycle=[arg4],
 MinimumPasswordLength=[arg5],
 MinimumPasswordChangeInterval=[arg6],
 MaxmumLoginFailures=[arg7],
 LockoutAfterMaxFailures=[arg8],
 MinimumDifferentCharacters=[arg9],
 DefaultIDExpired=[arg10],
 ChangePasswordFirstAccess=[arg11].

説明: ユーザーが、グローバル・ログインのアカウント・セキュリティ設定を「Legacy」に変更しました。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0099

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000064-00000000 User [arg1] created.

説明: ユーザー・アカウントが作成されました。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0100

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000065-00000000 User [arg1] removed.

説明: ユーザー・アカウントが削除されました。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0101

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000066-00000000 User [arg1] password modified.

説明: ユーザー・アカウントが変更されました。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0102

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000067-00000000 User [arg1] role set to [arg2].

説明: ユーザー・アカウントの役割が割り当てられました。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0103

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000068-00000000 User [arg1] custom privileges set: [arg2].

説明: ユーザー・アカウントの特権が割り当てられました。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0104

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000069-00000000 User [arg1] for SNMPv3 set:
 AuthenticationProtocol=[arg2],
 PrivacyProtocol=[arg3],
 AccessType=[arg4], HostforTraps=[arg5].

説明: ユーザー・アカウントの SNMPv3 設定が変更されました。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0105

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000006a-00000000 SSH Client key added for user
 [arg1].

説明: ユーザーが、SSH クライアント・キーをローカルで定義しました。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0106

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000006b-00000000 SSH Client key imported for
 user [arg1] from [arg2].

説明: ユーザーが、SSH クライアント・キーをインポートしました。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0107

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000006c-00000000 SSH Client key removed from
 user [arg1].

説明: ユーザーが、SSH クライアント・キーを削除しました。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0108

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000006d-00000000 Management Controller [arg1]:
 Configuration saved to a file by user
 [arg2].

説明: ユーザーが、管理コントローラー構成をファイルに保存しました。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0109

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000006e-00000000 Alert Configuration Global Event
 Notification set by user [arg1]:
 RetryLimit=[arg2], RetryInterval=[arg3],
 EntryInterval=[arg4].

説明: ユーザーが、グローバル・イベント通知設定を変更しました。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0110

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000006f-00000000 Alert Recipient Number [arg1]
updated: Name=[arg2],
DeliveryMethod=[arg3], Address=[arg4],
IncludeLog=[arg5], Enabled=[arg6],
EnabledAlerts=[arg7],
AllowedFilters=[arg8].

説明: ユーザーがアラート受信者を追加または更新しました。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0111

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000070-00000000 SNMP Traps enabled by user
[arg1]: EnabledAlerts=[arg2],
AllowedFilters=[arg3] .

説明: ユーザーが SNMP トラップ構成を有効にしました。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0112

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000071-00000000 The power cap value changed
from [arg1] watts to [arg2] watts by
user [arg3].

説明: 電源キャップ値がユーザーによって変更されました。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0113

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000072-00000000 The minimum power cap value
changed from [arg1] watts to [arg2]
watts.

説明: 電源キャップの最小値が変更されました。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0114

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000073-00000000 The maximum power cap value
changed from [arg1] watts to [arg2]
watts.

説明: 電源キャップの最大値が変更されました。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0115

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000074-00000000 The soft minimum power cap
value changed from [arg1] watts to
[arg2] watts.

説明: ソフト最小電源キャップ値が変更されました。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0116

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000075-00000000 The measured power value exceeded the power cap value.

説明: 電力上限値を超えました。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - 電源

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0117

SNMP トラップ ID: 164

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000076-00000000 The new minimum power cap value exceeded the power cap value.

説明: 最小電源キャップが電源キャップを超えています。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - 電源

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0118

SNMP トラップ ID: 164

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000077-00000000 Power capping was activated by user [arg1].

説明: 電源キャッピングがユーザーによってアクティブになりました。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0119

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000078-00000000 Power capping was deactivated by user [arg1].

説明: 電源キャッピングがユーザーによって非アクティブになりました。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0120

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000079-00000000 Static Power Savings mode has been turned on by user [arg1].

説明: ユーザーによって、静的省電力モードがオンにされました。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0121

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000007a-00000000 Static Power Savings mode has been turned off by user [arg1].

説明: ユーザーによって、静的省電力モードがオフにされました。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0122

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

**4000007b-00000000 Dynamic Power Savings mode
has been turned on by user [arg1].**

説明: ユーザーによって、動的省電力モードがオンにされました。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0123

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

**4000007c-00000000 Dynamic Power Savings mode
has been turned off by user [arg1].**

説明: ユーザーによって、動的省電力モードがオフにされました。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0124

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

**4000007d-00000000 Power cap and external throttling
occurred.**

説明: 電源キャップ・スロットルおよび外部スロットルが生じました。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0125

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000007e-00000000 External throttling occurred .

説明: 外部スロットルが生じました。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0126

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000007f-00000000 Power cap throttling occurred.

説明: 電源キャップ・スロットルが生じました。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0127

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

**40000080-00000000 Remote Control session started
by user [arg1] in [arg2] mode.**

説明: Remote Control セッションが開始されました。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0128

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

**40000081-00000000 PXE boot requested by user
[arg1].**

説明: PXE ブートが要求されました。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0129

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000082-00000000 The measured power value has returned below the power cap value.

説明: 電力上限値を超えた状態から回復しました。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - 電源

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0130

SNMP トラップ ID: 164

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000083-00000000 The new minimum power cap value has returned below the power cap value.

説明: 最小電力上限が電力上限値を超えた状態から回復しました。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - 電源

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0131

SNMP トラップ ID: 164

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000084-00000000 IMM firmware mismatch between nodes [arg1] and [arg2]. Please attempt to flash the IMM firmware to the same level on all nodes.

説明: ノード間で IMM ファームウェアのミスマッチが検出されました。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0132

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: すべてのノードの IMM ファームウェアを同一レベルにフラッシュするよう試行してください。

40000085-00000000 FPGA firmware mismatch between nodes [arg1] and [arg2]. Please attempt to flash the FPGA firmware to the same level on all nodes.

説明: ノード間で FPGA ファームウェアのミスマッチが検出されました。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0133

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: すべてのノードの FPGA ファームウェアを同一レベルにフラッシュするよう試行してください。

40000086-00000000 Test Call Home Generated by user [arg1].

説明: ユーザーによって生成されたテスト・コール・ホームです。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0134

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000087-00000000 Manual Call Home by user [arg1]: [arg2].

説明: ユーザーによる手動コール・ホームです。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0135

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: IBM サポートが問題に対応します。

40000088-00000000 Management Controller [arg1]:
Configuration restoration from a file by
user [arg2] completed.

説明: このメッセージは、ユーザーが管理コントローラー構成をファイルから復元し、それが完了したユース・ケースに表示されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0136

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000089-00000000 Management Controller [arg1]:
Configuration restoration from a file by
user [arg2] failed to complete.

説明: このメッセージは、ユーザーが管理コントローラー構成をファイルから復元しようとして、復元の完了に失敗したユース・ケースに表示されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0137

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. サーバーの電源を切り、給電部から切り離します。IMM をリセットするには、サーバーを AC 電源から切り離す必要があります。
2. 45 秒後にサーバーを給電部に再接続し、サーバーの電源をオンにします。
3. 操作を再試行してください。

4000008a-00000000 Management Controller [arg1]:
Configuration restoration from a file by
user [arg2] failed to start.

説明: このメッセージは、ユーザーが管理コントローラー構成をファイルから復元しようとして、復元の開始が失敗したユース・ケースに表示されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0138

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. サーバーの電源を切り、給電部から切り離します。IMM をリセットするには、サーバーを AC 電源から切り離す必要があります。
2. 45 秒後にサーバーを給電部に再接続し、サーバーの電源をオンにします。
3. 操作を再試行してください。

4000008b-00000000 One or more of the Storage
Management IP addresses has changed.

説明: このメッセージは、ストレージ管理用の IP アドレスが変更された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - IMM ネットワーク・イベント

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0139

SNMP トラップ ID: 37

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

80010002-0701xxxx Numeric sensor
[NumericSensorElementName] going low
(lower non-critical) has asserted. (CMOS
Battery)

説明: このメッセージは、下限非クリティカル・センサーの下降が表明されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 警告

アラート・カテゴリ: 警告 - 電圧

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0476

SNMP トラップ ID: 13

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: システム・バッテリーを交換します。

80010202-0701xxxx Numeric sensor

**[NumericSensorElementName] going low
(lower critical) has asserted.**

説明: このメッセージは、下限クリティカル・センサーの下降が表明されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - 電圧

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0480

SNMP トラップ ID: 1

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 指定されたセンサーが CMOS バッテリーである場合は、システム・バッテリーを交換してください。指定されたセンサーが Planar 3.3V または Planar 5V である場合は、システム・ボードを交換してください (トレーニングを受けた技術員のみ)。指定されたセンサーが Planar 12V である場合は、問題が解決するまで以下のステップを実行してください。

1. パワー・サプライ n LED を確認します。
2. 障害のあるパワー・サプライを取り外します。
3. 『電源問題および電源問題の解決』にある処置に従います。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。(n = パワー・サプライ番号)

80010701-0701xxxx Numeric sensor

**[NumericSensorElementName] going high
(upper non-critical) has asserted.
(Ambient Temp)**

説明: このメッセージは、上限非クリティカル・センサーの上昇が表明されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 警告

アラート・カテゴリ: 警告 - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0490

SNMP トラップ ID: 12

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. 空のノード・スロットに、ノード・フィラーが正しく取り付けられていることを確認してください。
2. エアー・バッフルが配置され、正しく取り付けられたことを確認し、ノード・カバーが取り付けられ、完全に閉まっていることを確認してください。
3. ファンが作動しており、空気の流れの障害となるものがないこと (サーバーの前面と後面) を確認してください。
4. 周囲の温度を下げてください。システムは仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『機能および仕様』を参照)。

80010701-0702xxxx Numeric sensor

**[NumericSensorElementName] going high
(upper non-critical) has asserted. (DIMM
AB Temp)**

説明: このメッセージは、上限非クリティカル・センサーの上昇が表明されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 警告

アラート・カテゴリ: 警告 - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0490

SNMP トラップ ID: 12

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. 空のノード・スロットに、ノード・フィラーが正しく取り付けられていることを確認してください。
2. エアー・バッフルが配置され、正しく取り付けられたことを確認し、ノード・カバーが取り付けられ、完全に閉まっていることを確認してください。
3. ファンが作動しており、空気の流れの障害となるものがないこと (サーバーの前面と後面) を確認してください。
4. 周囲の温度を下げてください。システムは仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『機能および仕様』を参照)。

80010701-0703xxxx Numeric sensor

**[NumericSensorElementName] going high
(upper non-critical) has asserted. (CPU1
VR Temp VCO)**

説明: このメッセージは、上限非クリティカル・センサーの上昇が表明されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 警告

アラート・カテゴリ: 警告 - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0490

SNMP トラップ ID: 12

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. 空のノード・スロットに、ノード・フィラーが正しく取り付けられていることを確認してください。
2. エアー・バッフルが配置され、正しく取り付けられたことを確認し、ノード・カバーが取り付けられ、完全に閉まっていることを確認してください。
3. ファンが作動しており、空気の流れの障害となるものがないこと (サーバーの前部と後部) を確認してください。
4. 周囲の温度を下げてください。システムは仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『機能および仕様』を参照)。

80010701-0704xxxx Numeric sensor

[NumericSensorElementName] going high (upper non-critical) has asserted. (HDD Inlet Temp)

説明: このメッセージは、上限非クリティカル・センサーの上昇が表明されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 警告

アラート・カテゴリ: 警告 - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0490

SNMP トラップ ID: 12

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. 空のノード・スロットに、ノード・フィラーが正しく取り付けられていることを確認してください。
2. エアー・バッフルが配置され、正しく取り付けられたことを確認し、ノード・カバーが取り付けられ、完全に閉まっていることを確認してください。
3. ファンが作動しており、空気の流れの障害となるものがないこと (サーバーの前部と後部) を確認してください。

4. 周囲の温度を下げてください。システムは仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『機能および仕様』を参照)。

80010701-1001xxxx Numeric sensor

[NumericSensorElementName] going high (upper non-critical) has asserted. (PCI Riser 1 Temp)

説明: このメッセージは、上限非クリティカル・センサーの上昇が表明されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 警告

アラート・カテゴリ: 警告 - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0490

SNMP トラップ ID: 12

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. 空のノード・スロットに、ノード・フィラーが正しく取り付けられていることを確認してください。
2. エアー・バッフルが配置され、正しく取り付けられたことを確認し、ノード・カバーが取り付けられ、完全に閉まっていることを確認してください。
3. ファンが作動しており、空気の流れの障害となるものがないこと (サーバーの前部と後部) を確認してください。
4. 周囲の温度を下げてください。システムは仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『機能および仕様』を参照)。

80010701-1002xxxx Numeric sensor

[NumericSensorElementName] going high (upper non-critical) has asserted. (PCI Riser 2 Temp)

説明: このメッセージは、上限非クリティカル・センサーの上昇が表明されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 警告

アラート・カテゴリ: 警告 - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0490

SNMP トラップ ID: 12

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. 空のノード・スロットに、ノード・フィラーが正しく取り付けられていることを確認してください。
2. エアー・バッフルが配置され、正しく取り付けられたことを確認し、ノード・カバーが取り付けられ、完全に閉まっていることを確認してください。
3. ファンが作動しており、空気の流れの障害となるものがないこと (サーバーの前部と後部) を確認してください。
4. 周囲の温度を下げてください。システムは仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『機能および仕様』を参照)。

80010701-1501xxxx Numeric sensor

[NumericSensorElementName] going high (upper non-critical) has asserted. (PIB Ambient Temp)

説明: このメッセージは、上限非クリティカル・センサーの上昇が表明されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0490

SNMP トラップ ID: 12

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. 空のノード・スロットに、ノード・フィラーが正しく取り付けられていることを確認してください。
2. エアー・バッフルが配置され、正しく取り付けられたことを確認し、ノード・カバーが取り付けられ、完全に閉まっていることを確認してください。
3. ファンが作動しており、空気の流れの障害となるものがないこと (サーバーの前部と後部) を確認してください。
4. 周囲の温度を下げてください。システムは仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『機能および仕様』を参照)。

80010701-1502xxxx Numeric sensor

[NumericSensorElementName] going high (upper non-critical) has asserted. (GPU Outlet Temp)

説明: このメッセージは、上限非クリティカル・センサーの上昇が表明されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0490

SNMP トラップ ID: 12

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. 空のノード・スロットに、ノード・フィラーが正しく取り付けられていることを確認してください。
2. エアー・バッフルが配置され、正しく取り付けられたことを確認し、ノード・カバーが取り付けられ、完全に閉まっていることを確認してください。
3. ファンが作動しており、空気の流れの障害となるものがないこと (サーバーの前部と後部) を確認してください。
4. 周囲の温度を下げてください。システムは仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『機能および仕様』を参照)。

80010701-1a01xxxx Numeric sensor

[NumericSensorElementName] going high (upper non-critical) has asserted. (HDD Outlet Temp)

説明: このメッセージは、上限非クリティカル・センサーの上昇が表明されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0490

SNMP トラップ ID: 12

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. 空のノード・スロットに、ノード・フィラーが正しく取り付けられていることを確認してください。
2. エアー・バッフルが配置され、正しく取り付けられたことを確認し、ノード・カバーが取り付けられ、完全に閉まっていることを確認してください。
3. ファンが作動しており、空気の流れの障害となるものがないこと (サーバーの前部と後部) を確認してください。
4. 周囲の温度を下げてください。システムは仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『機能および仕様』を参照)。

80010701-2c01xxxx Numeric sensor

**[NumericSensorElementName] going high
(upper non-critical) has asserted. (Mezz
Card Temp)**

説明: このメッセージは、上限非クリティカル・センサーの上昇が表明されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0490

SNMP トラップ ID: 12

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. 空のノード・スロットに、ノード・フィラーが正しく取り付けられていることを確認してください。
2. エアー・バッフルが配置され、正しく取り付けられたことを確認し、ノード・カバーが取り付けられ、完全に閉まっていることを確認してください。
3. ファンが作動しており、空気の流れの障害となるものがないこと (サーバーの前部と後部) を確認してください。
4. 周囲の温度を下げてください。システムは仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『機能および仕様』を参照)。

80010701-2d01xxxx Numeric sensor

**[NumericSensorElementName] going high
(upper non-critical) has asserted. (PCH
Temp)**

説明: このメッセージは、上限非クリティカル・センサーの上昇が表明されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0490

SNMP トラップ ID: 12

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. 空のノード・スロットに、ノード・フィラーが正しく取り付けられていることを確認してください。

2. エアー・バッフルが配置され、正しく取り付けられたことを確認し、ノード・カバーが取り付けられ、完全に閉まっていることを確認してください。
3. ファンが作動しており、空気の流れの障害となるものがないこと (サーバーの前部と後部) を確認してください。
4. 周囲の温度を下げてください。システムは仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『機能および仕様』を参照)。

80010901-0701xxxx Numeric sensor

**[NumericSensorElementName] going high
(upper critical) has asserted. (Ambient
Temp)**

説明: このメッセージは、上限クリティカル・センサーの上昇が表明されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0494

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. 空のノード・スロットに、ノード・フィラーが正しく取り付けられていることを確認してください。
2. エアー・バッフルが配置され、正しく取り付けられたことを確認し、ノード・カバーが取り付けられ、完全に閉まっていることを確認してください。
3. ファンが作動しており、空気の流れの障害となるものがないこと (サーバーの前部と後部) を確認してください。
4. 周囲の温度を下げてください。システムは仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『機能および仕様』を参照)。

80010901-0702xxxx Numeric sensor

**[NumericSensorElementName] going high
(upper critical) has asserted. (DIMM AB
Temp)**

説明: このメッセージは、上限クリティカル・センサーの上昇が表明されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0494

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. 空のノード・スロットに、ノード・フィラーが正しく取り付けられていることを確認してください。
2. エアー・バッフルが配置され、正しく取り付けられたことを確認し、ノード・カバーが取り付けられ、完全に閉まっていることを確認してください。
3. ファンが作動しており、空気の流れの障害となるものがないこと (サーバーの前部と後部) を確認してください。
4. 周囲の温度を下げてください。システムは仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『機能および仕様』を参照)。

80010901-0703xxxx Numeric sensor

[NumericSensorElementName] going high (upper critical) has asserted. (CPU1 VR Temp VCO)

説明: このメッセージは、上限クリティカル・センサーの上昇が表明されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0494

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. 空のノード・スロットに、ノード・フィラーが正しく取り付けられていることを確認してください。
2. エアー・バッフルが配置され、正しく取り付けられたことを確認し、ノード・カバーが取り付けられ、完全に閉まっていることを確認してください。
3. ファンが作動しており、空気の流れの障害となるものがないこと (サーバーの前部と後部) を確認してください。
4. 周囲の温度を下げてください。システムは仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『機能および仕様』を参照)。

80010901-0704xxxx Numeric sensor

[NumericSensorElementName] going high (upper critical) has asserted. (HDD Inlet Temp)

説明: このメッセージは、上限クリティカル・センサーの上昇が表明されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0494

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. 空のノード・スロットに、ノード・フィラーが正しく取り付けられていることを確認してください。
2. エアー・バッフルが配置され、正しく取り付けられたことを確認し、ノード・カバーが取り付けられ、完全に閉まっていることを確認してください。
3. ファンが作動しており、空気の流れの障害となるものがないこと (サーバーの前部と後部) を確認してください。
4. 周囲の温度を下げてください。システムは仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『機能および仕様』を参照)。

80010901-1001xxxx Numeric sensor

[NumericSensorElementName] going high (upper critical) has asserted. (PCI Riser 1 Temp)

説明: このメッセージは、上限クリティカル・センサーの上昇が表明されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0494

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. 空のノード・スロットに、ノード・フィラーが正しく取り付けられていることを確認してください。

2. エアー・バッフルが配置され、正しく取り付けられたことを確認し、ノード・カバーが取り付けられ、完全に閉まっていることを確認してください。
3. ファンが作動しており、空気の流れの障害となるものがないこと（サーバーの前部と後部）を確認してください。
4. 周囲の温度を下げてください。システムは仕様の範囲内で稼働させる必要があります（詳しくは、『機能および仕様』を参照）。

80010901-1002xxxx Numeric sensor

[NumericSensorElementName] going high (upper critical) has asserted. (PCI Riser 2 Temp)

説明: このメッセージは、上限クリティカル・センサーの上昇が表明されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0494

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. 空のノード・スロットに、ノード・フィラーが正しく取り付けられていることを確認してください。
2. エアー・バッフルが配置され、正しく取り付けられたことを確認し、ノード・カバーが取り付けられ、完全に閉まっていることを確認してください。
3. ファンが作動しており、空気の流れの障害となるものがないこと（サーバーの前部と後部）を確認してください。
4. 周囲の温度を下げてください。システムは仕様の範囲内で稼働させる必要があります（詳しくは、『機能および仕様』を参照）。

80010901-1501xxxx Numeric sensor

[NumericSensorElementName] going high (upper critical) has asserted. (PIB Ambient Temp)

説明: このメッセージは、上限クリティカル・センサーの上昇が表明されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0494

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. 空のノード・スロットに、ノード・フィラーが正しく取り付けられていることを確認してください。
2. エアー・バッフルが配置され、正しく取り付けられたことを確認し、ノード・カバーが取り付けられ、完全に閉まっていることを確認してください。
3. ファンが作動しており、空気の流れの障害となるものがないこと（サーバーの前部と後部）を確認してください。
4. 周囲の温度を下げてください。システムは仕様の範囲内で稼働させる必要があります（詳しくは、『機能および仕様』を参照）。

80010901-1502xxxx Numeric sensor

[NumericSensorElementName] going high (upper critical) has asserted. (GPU Outlet Temp)

説明: このメッセージは、上限クリティカル・センサーの上昇が表明されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0494

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. 空のノード・スロットに、ノード・フィラーが正しく取り付けられていることを確認してください。
2. エアー・バッフルが配置され、正しく取り付けられたことを確認し、ノード・カバーが取り付けられ、完全に閉まっていることを確認してください。
3. ファンが作動しており、空気の流れの障害となるものがないこと（サーバーの前部と後部）を確認してください。
4. 周囲の温度を下げてください。システムは仕様の範囲内で稼働させる必要があります（詳しくは、『機能および仕様』を参照）。

80010901-1a01xxxx Numeric sensor

[NumericSensorElementName] going high (upper critical) has asserted. (HDD Outlet Temp)

説明: このメッセージは、上限クリティカル・センサーの上昇が表明されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0494

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. 空のノード・スロットに、ノード・フィラーが正しく取り付けられていることを確認してください。
2. エアー・バッフルが配置され、正しく取り付けられたことを確認し、ノード・カバーが取り付けられ、完全に閉まっていることを確認してください。
3. ファンが作動しており、空気の流れの障害となるものがないこと (サーバーの前部と後部) を確認してください。
4. 周囲の温度を下げてください。システムは仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『機能および仕様』を参照)。

80010901-2c01xxxx Numeric sensor

[NumericSensorElementName] going high (upper critical) has asserted. (Mezz Card Temp)

説明: このメッセージは、上限クリティカル・センサーの上昇が表明されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0494

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. 空のノード・スロットに、ノード・フィラーが正しく取り付けられていることを確認してください。

2. エアー・バッフルが配置され、正しく取り付けられたことを確認し、ノード・カバーが取り付けられ、完全に閉まっていることを確認してください。
3. ファンが作動しており、空気の流れの障害となるものがないこと (サーバーの前部と後部) を確認してください。
4. 周囲の温度を下げてください。システムは仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『機能および仕様』を参照)。

80010901-2d01xxxx Numeric sensor

[NumericSensorElementName] going high (upper critical) has asserted. (PCH Temp)

説明: このメッセージは、上限クリティカル・センサーの上昇が表明されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0494

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. 空のノード・スロットに、ノード・フィラーが正しく取り付けられていることを確認してください。
2. エアー・バッフルが配置され、正しく取り付けられたことを確認し、ノード・カバーが取り付けられ、完全に閉まっていることを確認してください。
3. ファンが作動しており、空気の流れの障害となるものがないこと (サーバーの前部と後部) を確認してください。
4. 周囲の温度を下げてください。システムは仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『機能および仕様』を参照)。

80010902-0701xxxx Numeric sensor

[NumericSensorElementName] going high (upper critical) has asserted.

説明: このメッセージは、上限クリティカル・センサーの上昇が表明されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - 電圧

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0494

SNMP トラップ ID: 1

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 指定されたセンサーが Planar 3.3V または Planar 5V である場合は、(トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換してください。指定されたセンサーが Planar 12V である場合は、問題が解決するまで以下のステップを実行してください。

1. パワー・サプライ n LED を確認します。
2. 障害のあるパワー・サプライを取り外します。
3. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。(n = パワー・サプライ番号)

80010b01-0701xxxx Numeric sensor

[NumericSensorElementName] going high (upper non-recoverable) has asserted. (Ambient Temp)

説明: このメッセージは、上限リカバリー不能センサーの上昇が表明されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0498

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. 空のノード・スロットに、ノード・フィラーが正しく取り付けられていることを確認してください。
2. エアー・バッフルが配置され、正しく取り付けられたことを確認し、ノード・カバーが取り付けられ、完全に閉まっていることを確認してください。
3. ファンが作動しており、空気の流れの障害となるものがないこと (サーバーの前部と後部) を確認してください。
4. 周囲の温度を下げてください。システムは仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『機能および仕様』を参照)。

80010b01-0702xxxx Numeric sensor

[NumericSensorElementName] going high (upper non-recoverable) has asserted. (DIMM AB Temp)

説明: このメッセージは、上限リカバリー不能センサー

の上昇が表明されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0498

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. 空のノード・スロットに、ノード・フィラーが正しく取り付けられていることを確認してください。
2. エアー・バッフルが配置され、正しく取り付けられたことを確認し、ノード・カバーが取り付けられ、完全に閉まっていることを確認してください。
3. ファンが作動しており、空気の流れの障害となるものがないこと (サーバーの前部と後部) を確認してください。
4. 周囲の温度を下げてください。システムは仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『機能および仕様』を参照)。

80010b01-0703xxxx Numeric sensor

[NumericSensorElementName] going high (upper non-recoverable) has asserted. (CPU1 VR Temp VCO)

説明: このメッセージは、上限リカバリー不能センサーの上昇が表明されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0498

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. 空のノード・スロットに、ノード・フィラーが正しく取り付けられていることを確認してください。
2. エアー・バッフルが配置され、正しく取り付けられたことを確認し、ノード・カバーが取り付けられ、完全に閉まっていることを確認してください。
3. ファンが作動しており、空気の流れの障害となるものがないこと (サーバーの前部と後部) を確認してください。

4. 周囲の温度を下げてください。システムは仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『機能および仕様』を参照)。

80010b01-0704xxxx Numeric sensor

**[NumericSensorElementName] going high
(upper non-recoverable) has asserted.
(HDD Inlet Temp)**

説明: このメッセージは、上限リカバリー不能センサーの上昇が表明されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0498

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. 空のノード・スロットに、ノード・フィラーが正しく取り付けられていることを確認してください。
2. エアー・バッフルが配置され、正しく取り付けられたことを確認し、ノード・カバーが取り付けられ、完全に閉まっていることを確認してください。
3. ファンが作動しており、空気の流れの障害となるものがないこと (サーバーの前部と後部) を確認してください。
4. 周囲の温度を下げてください。システムは仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『機能および仕様』を参照)。

80010b01-1001xxxx Numeric sensor

**[NumericSensorElementName] going high
(upper non-recoverable) has asserted.
(PCI Riser 1 Temp)**

説明: このメッセージは、上限リカバリー不能センサーの上昇が表明されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0498

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. 空のノード・スロットに、ノード・フィラーが正しく取り付けられていることを確認してください。
2. エアー・バッフルが配置され、正しく取り付けられたことを確認し、ノード・カバーが取り付けられ、完全に閉まっていることを確認してください。
3. ファンが作動しており、空気の流れの障害となるものがないこと (サーバーの前部と後部) を確認してください。
4. 周囲の温度を下げてください。システムは仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『機能および仕様』を参照)。

80010b01-1002xxxx Numeric sensor

**[NumericSensorElementName] going high
(upper non-recoverable) has asserted.
(PCI Riser 2 Temp)**

説明: このメッセージは、上限リカバリー不能センサーの上昇が表明されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0498

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. 空のノード・スロットに、ノード・フィラーが正しく取り付けられていることを確認してください。
2. エアー・バッフルが配置され、正しく取り付けられたことを確認し、ノード・カバーが取り付けられ、完全に閉まっていることを確認してください。
3. ファンが作動しており、空気の流れの障害となるものがないこと (サーバーの前部と後部) を確認してください。
4. 周囲の温度を下げてください。システムは仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『機能および仕様』を参照)。

80010b01-1501xxxx Numeric sensor

**[NumericSensorElementName] going high
(upper non-recoverable) has asserted.
(PIB Ambient Temp)**

説明: このメッセージは、上限リカバリー不能センサーの上昇が表明されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0498

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. 空のノード・スロットに、ノード・フィラーが正しく取り付けられていることを確認してください。
2. エアー・バッフルが配置され、正しく取り付けられたことを確認し、ノード・カバーが取り付けられ、完全に閉まっていることを確認してください。
3. ファンが作動しており、空気の流れの障害となるものがないこと (サーバーの前部と後部) を確認してください。
4. 周囲の温度を下げてください。システムは仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『機能および仕様』を参照)。

80010b01-1502xxxx Numeric sensor

[NumericSensorElementName] going high (upper non-recoverable) has asserted. (GPU Outlet Temp)

説明: このメッセージは、上限リカバリー不能センサーの上昇が表明されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0498

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. 空のノード・スロットに、ノード・フィラーが正しく取り付けられていることを確認してください。
2. エアー・バッフルが配置され、正しく取り付けられたことを確認し、ノード・カバーが取り付けられ、完全に閉まっていることを確認してください。
3. ファンが作動しており、空気の流れの障害となるものがないこと (サーバーの前部と後部) を確認してください。
4. 周囲の温度を下げてください。システムは仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『機能および仕様』を参照)。

80010b01-1a01xxxx Numeric sensor

[NumericSensorElementName] going high (upper non-recoverable) has asserted. (HDD Outlet Temp)

説明: このメッセージは、上限リカバリー不能センサーの上昇が表明されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0498

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. 空のノード・スロットに、ノード・フィラーが正しく取り付けられていることを確認してください。
2. エアー・バッフルが配置され、正しく取り付けられたことを確認し、ノード・カバーが取り付けられ、完全に閉まっていることを確認してください。
3. ファンが作動しており、空気の流れの障害となるものがないこと (サーバーの前部と後部) を確認してください。
4. 周囲の温度を下げてください。システムは仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『機能および仕様』を参照)。

80010b01-2c01xxxx Numeric sensor

[NumericSensorElementName] going high (upper non-recoverable) has asserted. (Mezz Card Temp)

説明: このメッセージは、上限リカバリー不能センサーの上昇が表明されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0498

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. 空のノード・スロットに、ノード・フィラーが正しく取り付けられていることを確認してください。

2. エアー・バッフルが配置され、正しく取り付けられたことを確認し、ノード・カバーが取り付けられ、完全に閉まっていることを確認してください。
3. ファンが作動しており、空気の流れの障害となるものがないこと（サーバーの前部と後部）を確認してください。
4. 周囲の温度を下げてください。システムは仕様の範囲内で稼働させる必要があります（詳しくは、『機能および仕様』を参照）。

80010b01-2d01xxxx Numeric sensor

[NumericSensorElementName] going high (upper non-recoverable) has asserted. (PCH Temp)

説明: このメッセージは、上限リカバリー不能センサーの上昇が表明されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0498

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. 空のノード・スロットに、ノード・フィラーが正しく取り付けられていることを確認してください。
2. エアー・バッフルが配置され、正しく取り付けられたことを確認し、ノード・カバーが取り付けられ、完全に閉まっていることを確認してください。
3. ファンが作動しており、空気の流れの障害となるものがないこと（サーバーの前部と後部）を確認してください。
4. 周囲の温度を下げてください。システムは仕様の範囲内で稼働させる必要があります（詳しくは、『機能および仕様』を参照）。

80030006-2101xxxx Sensor [SensorElementName] has deasserted. (Sig Verify Fail)

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーによる表明解除が検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0509

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

80030012-2301xxxx Sensor [SensorElementName] has deasserted. (OS RealTime Mod)

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーによる表明解除が検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0509

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

8007010f-2201xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned from normal to non-critical state. (GPT Status)

説明: このメッセージは、センサーが正常な状態から非クリティカルな状態に変化したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 警告

アラート・カテゴリ: 警告 - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0520

SNMP トラップ ID: 60

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. IBM サポート・サイトを参照し、この GPT エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
2. UEFI 設定の「DISK GPT Recovery」を「Automatic」に設定します。
3. 破損したディスクを交換します。

8007010f-2582xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned from normal to non-critical state. (I/O Resources)

説明: このメッセージは、センサーが正常な状態から非

クリティカルな状態に変化したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 警告

アラート・カテゴリ: 警告 - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0520

SNMP トラップ ID: 60

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: PCI I/O リソース・エラーを解決するために、以下のステップを実行してください。

1. 「F1 Setup」に進む
2. System Settings
3. Device and I/O ports
4. PCI 64 bit Resource および enable の選択

80070114-2201xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned from normal to non-critical state. (TPM Phy Pres Set)

説明: このメッセージは、センサーが正常な状態から非クリティカルな状態に変化したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 警告

アラート・カテゴリ: 警告 - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0520

SNMP トラップ ID: 60

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. TPM 物理プレゼンス・スイッチが「ON」位置にあることを必要とする管理用タスクを実行します。
2. 物理プレゼンス・スイッチを「OFF」位置に復元します。
3. システムをリブートします。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) エラーが解決しない場合は、プレーナーを交換します。

80070128-2e01xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned from normal to non-critical state. (ME Recovery)

説明: このメッセージは、センサーが正常な状態から非クリティカルな状態に変化したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 警告

アラート・カテゴリ: 警告 - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0520

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. IMM を再始動します。エラーが解決しない場合は、ステップ 2 に進みます。
2. 最新レベルの iMM/uEFI コードに更新し、ステップ 3 に進みます。
3. ノードを交換します。

80070201-0301xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to critical from a less severe state. (CPU 1 OverTemp)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に変化したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0522

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. 空のノード・スロットに、ノード・フィラーが正しく取り付けられていることを確認してください。
2. エアー・バッフルが配置され、正しく取り付けられたことを確認し、ノード・カバーが取り付けられ、完全に閉まっていることを確認してください。
3. ファンが作動しており、空気の流れの障害となるものがないこと (サーバーの前部と後部) を確認してください。
4. 周囲の温度を下げてください。システムは仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『機能および仕様』を参照)。
5. PCI アダプターがサーバーにサポートされていることを確認します。確認するには、IBM ServerProven Web サイトを参照してください。
6. PCI アダプターを交換し、PCI アダプターが正常に作動していることを確認します。

80070201-0302xxxx **Sensor [SensorElementName] has transitioned to critical from a less severe state. (CPU 2 OverTemp)**

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に変化したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0522

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. 空のノード・スロットに、ノード・フィラーが正しく取り付けられていることを確認してください。
2. エアー・バッフルが配置され、正しく取り付けられたことを確認し、ノード・カバーが取り付けられ、完全に閉まっていることを確認してください。
3. ファンが作動しており、空気の流れの障害となるものがないこと (サーバーの前面と後面) を確認してください。
4. 周囲の温度を下げてください。システムは仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『機能および仕様』を参照)。
5. PCI アダプターがサーバーにサポートされていることを確認します。確認するには、IBM ServerProven Web サイトを参照してください。
6. PCI アダプターを交換し、PCI アダプターが正常に作動していることを確認します。

80070201-1101xxxx **Sensor [SensorElementName] has transitioned to critical from a less severe state. (PCI 1 Temp)**

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に変化したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0522

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. 空のノード・スロットに、ノード・フィラーが正しく取り付けられていることを確認してください。
2. エアー・バッフルが配置され、正しく取り付けられたことを確認し、ノード・カバーが取り付けられ、完全に閉まっていることを確認してください。
3. ファンが作動しており、空気の流れの障害となるものがないこと (サーバーの前面と後面) を確認してください。
4. 周囲の温度を下げてください。システムは仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『機能および仕様』を参照)。
5. PCI アダプターがサーバーにサポートされていることを確認します。確認するには、IBM ServerProven Web サイトを参照してください。
6. PCI アダプターを交換し、PCI アダプターが正常に作動していることを確認します。

80070201-1102xxxx **Sensor [SensorElementName] has transitioned to critical from a less severe state. (PCI 2 Temp)**

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に変化したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0522

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. 空のノード・スロットに、ノード・フィラーが正しく取り付けられていることを確認してください。
2. エアー・バッフルが配置され、正しく取り付けられたことを確認し、ノード・カバーが取り付けられ、完全に閉まっていることを確認してください。
3. ファンが作動しており、空気の流れの障害となるものがないこと (サーバーの前面と後面) を確認してください。
4. 周囲の温度を下げてください。システムは仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『機能および仕様』を参照)。
5. PCI アダプターがサーバーにサポートされていることを確認します。確認するには、IBM ServerProven Web サイトを参照してください。
6. PCI アダプターを交換し、PCI アダプターが正常に作動していることを確認します。

80070201-1103xxxx **Sensor [SensorElementName] has transitioned to critical from a less severe state. (PCI 3 Temp)**

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に変化したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0522

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. 空のノード・スロットに、ノード・フィラーが正しく取り付けられていることを確認してください。
2. エアー・バッフルが配置され、正しく取り付けられたことを確認し、ノード・カバーが取り付けられ、完全に閉まっていることを確認してください。
3. ファンが作動しており、空気の流れの障害となるものがないこと (サーバーの前部と後部) を確認してください。
4. 周囲の温度を下げてください。システムは仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『機能および仕様』を参照)。
5. PCI アダプターがサーバーにサポートされていることを確認します。確認するには、IBM ServerProven Web サイトを参照してください。
6. PCI アダプターを交換し、PCI アダプターが正常に作動していることを確認します。

80070201-1104xxxx **Sensor [SensorElementName] has transitioned to critical from a less severe state. (PCI 4 Temp)**

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に変化したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0522

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. 空のノード・スロットに、ノード・フィラーが正しく取り付けられていることを確認してください。
2. エアー・バッフルが配置され、正しく取り付けられたことを確認し、ノード・カバーが取り付けられ、完全に閉まっていることを確認してください。
3. ファンが作動しており、空気の流れの障害となるものがないこと (サーバーの前部と後部) を確認してください。
4. 周囲の温度を下げてください。システムは仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『機能および仕様』を参照)。
5. PCI アダプターがサーバーにサポートされていることを確認します。確認するには、IBM ServerProven Web サイトを参照してください。
6. PCI アダプターを交換し、PCI アダプターが正常に作動していることを確認します。

80070202-0701xxxx **Sensor [SensorElementName] has transitioned to critical from a less severe state. (SysBrd Vol Fault)**

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に変化したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - 電圧

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0522

SNMP トラップ ID: 1

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. システム・イベント・ログを確認します。
 2. システム・ボード上のエラー LED を確認します。
 3. 障害のある装置をすべて交換します。
 4. サーバーのファームウェアの更新を確認します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。
-

80070202-1501xxxx **Sensor [SensorElementName] has transitioned to critical from a less severe state. (PIB Fault)**

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に変化したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - 電圧

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0522

SNMP トラップ ID: 1

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: ノードを交換します。

80070202-1502xxxx **Sensor [SensorElementName] has transitioned to critical from a less severe state. (PDB Fault)**

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に変化したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - 電圧

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0522

SNMP トラップ ID: 1

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. システム・イベント・ログを確認します。
 2. システム・ボード上のエラー LED を確認します。
 3. 障害のある装置をすべて交換します。
 4. サーバーのファームウェアの更新を確認します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。
-

8007020f-2201xxxx **Sensor [SensorElementName] has transitioned to critical from a less severe state. (TXT ACM Module)**

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に変化したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0522

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ITXT を使用可能化する必要がない場合は、Setup ユーティリティから TXT を使用不可にします。
 2. TXT を使用可能化する必要がある場合は、Setup ユーティリティから TPM が使用可能でアクティブ化されていることを確認します。
 3. 問題が解決しない場合は、サービス担当員にお問い合わせください。
-

8007020f-2582xxxx **Sensor [SensorElementName] has transitioned to critical from a less severe state. (I/O Resources)**

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に変化したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0522

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: PCI I/O リソース・エラーを解決するために、以下のステップを実行してください。

1. 「F1 Setup」に進む
 2. System Settings
 3. Device and I/O ports
 4. PCI 64 bit Resource および enable の選択
-

80070214-2201xxxx **Sensor [SensorElementName] has transitioned to critical from a less severe state. (TPM Lock)**

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に変化したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0522

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. サーバー・ファームウェアを更新します (『サーバー・ファームウェアの回復』を参照)。
2. 問題が続く場合は、(トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します (『システム・ボードの取り外し』および『システム・ボードの取り付け』を参照)。

80070219-0701xxxx **Sensor [SensorElementName] has transitioned to critical from a less severe state. (SysBrd Fault)**

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に変化したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0522

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. システム・ボード上のエラー LED を確認します。
2. システム・イベント・ログを確認します。
3. システム・ファームウェア・バージョンを確認し、最新バージョンに更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。

4. AC 電源コードをいったん抜いてから差し込み、次にステップ 1 および 2 を再度実行します。
5. 問題が解決しない場合は、(トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

8007021b-0301xxxx **Sensor [SensorElementName] has transitioned to critical from a less severe state. (CPU 1 QPILinkErr)**

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に変化したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0522

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. サーバーのファームウェアの更新を確認します。
2. 取り付け済みのマイクロプロセッサに互換性があることを確認します。
3. マイクロプロセッサ 2 拡張ボードが正しく取り付けられていることを確認します (『マイクロプロセッサ 2 拡張ボードの取り付け』を参照)。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ 2 を交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ 2 拡張ボードを交換します。

8007021b-0302xxxx **Sensor [SensorElementName] has transitioned to critical from a less severe state. (CPU 2 QPILinkErr)**

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に変化したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0522

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. サーバーのファームウェアの更新を確認します。

2. 取り付け済みのマイクロプロセッサに互換性があることを確認します。
3. マイクロプロセッサ 2 拡張ボードが正しく取り付けられていることを確認します (『マイクロプロセッサ 2 拡張ボードの取り付け』を参照)。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ 2 を交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ 2 拡張ボードを交換します。

80070228-2e01xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to critical from a less severe state.

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に変化したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0522

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 指定されたセンサーが IPMB IO エラー、Me エラー、または ME フラッシュ・エラーである場合は、問題が解決するまで以下のステップを実行します。

1. IMM を再始動します。エラーが解決しない場合は、ステップ 2 に進みます。
2. ファームウェア (UEFI および IMM) を最新レベルに更新します。エラーが解決しない場合は、ステップ 3 に進みます。
3. ノードを交換します。

80070301-0301xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to non-recoverable from a less severe state. (CPU 1 OverTemp)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からリカバリー不能な状態に変化したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0524

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. 空のノード・スロットに、ノード・フィラーが正しく取り付けられていることを確認してください。
2. エアー・バッフルが配置され、正しく取り付けられたことを確認し、ノード・カバーが取り付けられ、完全に閉まっていることを確認してください。
3. ファンが作動しており、空気の流れの障害となるものがないこと (サーバーの前部と後部) を確認してください。
4. 周囲の温度を下げてください。システムは仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『機能および仕様』を参照)。
5. PCI アダプターがサーバーにサポートされていることを確認します。確認するには、IBM ServerProven Web サイトを参照してください。
6. PCI アダプターを交換し、PCI アダプターが正常に作動していることを確認します。

80070301-0302xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to non-recoverable from a less severe state. (CPU 2 OverTemp)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からリカバリー不能な状態に変化したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0524

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. 空のノード・スロットに、ノード・フィラーが正しく取り付けられていることを確認してください。
2. エアー・バッフルが配置され、正しく取り付けられたことを確認し、ノード・カバーが取り付けられ、完全に閉まっていることを確認してください。
3. ファンが作動しており、空気の流れの障害となるものがないこと (サーバーの前部と後部) を確認してください。
4. 周囲の温度を下げてください。システムは仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『機能および仕様』を参照)。

5. PCI アダプターがサーバーにサポートされていることを確認します。確認するには、IBM ServerProven Web サイトを参照してください。
6. PCI アダプターを交換し、PCI アダプターが正常に作動していることを確認します。

80070301-1101xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to non-recoverable from a less severe state. (PCI 1 Temp)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からリカバリー不能な状態に変化したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0524

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. 空のノード・スロットに、ノード・フィラーが正しく取り付けられていることを確認してください。
2. エアー・バッフルが配置され、正しく取り付けられたことを確認し、ノード・カバーが取り付けられ、完全に閉まっていることを確認してください。
3. ファンが作動しており、空気の流れの障害となるものがないこと (サーバーの前部と後部) を確認してください。
4. 周囲の温度を下げてください。システムは仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『機能および仕様』を参照)。
5. PCI アダプターがサーバーにサポートされていることを確認します。確認するには、IBM ServerProven Web サイトを参照してください。
6. PCI アダプターを交換し、PCI アダプターが正常に作動していることを確認します。

80070301-1102xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to non-recoverable from a less severe state. (PCI 2 Temp)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からリカバリー不能な状態に変化したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0524

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. 空のノード・スロットに、ノード・フィラーが正しく取り付けられていることを確認してください。
2. エアー・バッフルが配置され、正しく取り付けられたことを確認し、ノード・カバーが取り付けられ、完全に閉まっていることを確認してください。
3. ファンが作動しており、空気の流れの障害となるものがないこと (サーバーの前部と後部) を確認してください。
4. 周囲の温度を下げてください。システムは仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『機能および仕様』を参照)。
5. PCI アダプターがサーバーにサポートされていることを確認します。確認するには、IBM ServerProven Web サイトを参照してください。
6. PCI アダプターを交換し、PCI アダプターが正常に作動していることを確認します。

80070301-1103xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to non-recoverable from a less severe state. (PCI 3 Temp)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からリカバリー不能な状態に変化したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0524

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. 空のノード・スロットに、ノード・フィラーが正しく取り付けられていることを確認してください。
2. エアー・バッフルが配置され、正しく取り付けられたことを確認し、ノード・カバーが取り付けられ、完全に閉まっていることを確認してください。
3. ファンが作動しており、空気の流れの障害となるものがないこと (サーバーの前部と後部) を確認してください。
4. 周囲の温度を下げてください。システムは仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『機能および仕様』を参照)。

5. PCI アダプターがサーバーにサポートされていることを確認します。確認するには、IBM ServerProven Web サイトを参照してください。
6. PCI アダプターを交換し、PCI アダプターが正常に作動していることを確認します。

80070301-1104xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to non-recoverable from a less severe state. (PCI 4 Temp)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からリカバリー不能な状態に変化したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0524

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. 空のノード・スロットに、ノード・フィラーが正しく取り付けられていることを確認してください。
2. エアー・パッフルが配置され、正しく取り付けられたことを確認し、ノード・カバーが取り付けられ、完全に閉まっていることを確認してください。
3. ファンが作動しており、空気の流れの障害となるものがないこと（サーバーの前部と後部）を確認してください。
4. 周囲の温度を下げてください。システムは仕様の範囲内で稼働させる必要があります（詳しくは、『機能および仕様』を参照）。
5. PCI アダプターがサーバーにサポートされていることを確認します。確認するには、IBM ServerProven Web サイトを参照してください。
6. PCI アダプターを交換し、PCI アダプターが正常に作動していることを確認します。

80070614-2201xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to non-recoverable. (TPM Phy Pres Set)

説明: このメッセージは、センサーがリカバリー不能な状態に変化したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0530

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. サーバー・ファームウェアを更新します（『サーバー・ファームウェアの回復』を参照）。
2. 問題が続く場合は、(トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します（『システム・ボードの取り外し』および『システム・ボードの取り付け』を参照）。

8008010f-2101xxxx Device [LogicalDeviceElementName] has been added. (Phy Presence Jump)

説明: このメッセージは、デバイスが挿入されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0536

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

80080128-2101xxxx Device [LogicalDeviceElementName] has been added. (Low Security Jump)

説明: このメッセージは、デバイスが挿入されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0536

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

800b010c-2581xxxx Redundancy Lost for [RedundancySetElementName] has asserted. (Backup Memory)

説明: このメッセージは、冗長性が失われたことが表明された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0802

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. システム・イベント・ログで DIMM の障害イベント (訂正不能または PFA) を確認し、障害を解決します。
2. Setup ユーティリティでミラーリングを再度使用可能にします。

800b030c-2581xxxx Non-redundant:Sufficient Resources from Redundancy Degraded or Fully Redundant for [RedundancySetElementName] has asserted. (Backup Memory)

説明: このメッセージは、Redundancy Set が Redundancy Degraded または Fully Redundant から、Non-redundant:Sufficient に変化した場合に使用されます。

重大度: 警告

アラート・カテゴリ: 警告 - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0806

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. システム・イベント・ログで DIMM の障害イベント (訂正不能または PFA) を確認し、障害を解決します。
2. Setup ユーティリティでミラーリングを再度使用可能にします。

800b050c-2581xxxx Non-redundant:Insufficient Resources for [RedundancySetElementName] has asserted. (Backup Memory)

説明: このメッセージは、Redundancy Set が「非冗長: 不十分なりソース」状態に変化した場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0810

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. システム・イベント・ログで DIMM の障害イベント (訂正不能または PFA) を確認し、障害を解決します。
2. Setup ユーティリティでミラーリングを再度使用可能にします。

806f0007-0301xxxx [ProcessorElementName] has Failed with IERR. (CPU 1)

説明: このメッセージは、「プロセッサ障害 - IERR 状態」が発生したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - CPU

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0042

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. イーサネット、SCSI、および SAS などのすべてのアダプターおよび標準デバイスにおいて、最新のファームウェアおよびデバイス・ドライバのレベルがインストールされていることを確認します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
 2. ファームウェア (UEFI および IMM) を最新レベルに更新します (『ファームウェアの更新』)。
 3. DSA プログラムを実行します。
 4. アダプターを取り付け直します。
 5. アダプターを交換します。
 6. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ n を交換します。
 7. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。 (n = マイクロプロセッサ番号)
-

806f0007-0302xxxx [ProcessorElementName] has Failed with IERR. (CPU 2)

説明: このメッセージは、「プロセッサ障害 - IERR 状態」が発生したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - CPU

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0042

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. イーサネット、SCSI、および SAS などのすべてのアダプターおよび標準デバイスにおいて、最新のファームウェアおよびデバイス・ドライバのレベルがインストールされていることを確認します。重要:一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
2. ファームウェア (UEFI および IMM) を最新レベルに更新します (『ファームウェアの更新』)。
3. DSA プログラムを実行します。
4. アダプターを取り付け直します。
5. アダプターを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ n を交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。(n = マイクロプロセッサ番号)

806f0009-1301xxxx [PowerSupplyElementName] has been turned off. (Host Power)

説明: このメッセージは、実装環境で使用不可にされた電源装置が検出されたユース・ケースに表示されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - 電源オフ

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0106

SNMP トラップ ID: 23

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f000d-0401xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been added. (Computer HDD0)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0162

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f000d-0402xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been added. (Computer HDD1)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0162

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f000d-0403xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been added. (Computer HDD2)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0162

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f000d-0404xxxx The Drive
[StorageVolumeElementName] has been added. (Computer HDD3)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0162

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f000d-0405xxxx The Drive
[StorageVolumeElementName] has been added. (1U Storage HDD0)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0162

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f000d-0406xxxx The Drive
[StorageVolumeElementName] has been added. (1U Storage HDD1)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0162

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f000d-0407xxxx The Drive
[StorageVolumeElementName] has been added. (1U Storage HDD2)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0162

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f000d-0408xxxx The Drive
[StorageVolumeElementName] has been added. (1U Storage HDD3)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0162

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f000d-0409xxxx The Drive
[StorageVolumeElementName] has been added. (1U Storage HDD4)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0162

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f000d-040axxxx The Drive
[StorageVolumeElementName] has been added. (1U Storage HDD5)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0162

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f000d-040bxxxx The Drive
[StorageVolumeElementName] has been added. (1U Storage HDD6)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0162

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f000d-040cxxxx The Drive
[StorageVolumeElementName] has been added. (1U Storage HDD7)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0162

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f000f-220101xx The System
[ComputerSystemElementName] has detected no memory in the system. (ABR Status)

説明: このメッセージは、実装環境で、メモリーをシステム内で検出済みであることが検出されたユース・ケースに表示されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0794

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。ファームウェア・エラー: システム・ブート状況:

806f000f-220102xx Subsystem [MemoryElementName]
has insufficient memory for operation. (ABR Status)

説明: このメッセージは、操作に使用可能なメモリーが不十分であることを実装環境が検出した場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0132

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。ファームウェア・エラー: システム・ブート状況:

806f000f-220103xx The System

[ComputerSystemElementName]
encountered firmware error -
unrecoverable boot device failure. (ABR Status)

説明: このメッセージは、リカバリー不能ブート・デバイス障害を示すシステム・ファームウェア・エラーが発生したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0770

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。ファームウェア・エラー: システム・ブート状況:

806f000f-220104xx The System

[ComputerSystemElementName]has
encountered a motherboard failure. (ABR Status)

説明: このメッセージは、致命的なマザーボード障害がシステムで発生したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0795

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。ファームウェア・エラー: システム・ブート状況:

806f000f-220107xx The System

[ComputerSystemElementName]
encountered firmware error -
unrecoverable keyboard failure. (ABR Status)

説明: このメッセージは、リカバリー不能キーボード障害を示すシステム・ファームウェア・エラーが発生したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0764

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。ファームウェア・エラー: システム・ブート状況:

806f000f-22010axx The System

[ComputerSystemElementName]
encountered firmware error - no video
device detected. (ABR Status)

説明: このメッセージは、ビデオ・デバイスが検出されないことを示すシステム・ファームウェア・エラーが発生したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0766

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。ファームウェア・エラー: システム・ブート状況:

806f000f-22010bxx Firmware BIOS (ROM)
corruption was detected on system
[ComputerSystemElementName] during
POST. (ABR Status)

説明: システムで POST 中に、ファームウェア BIOS (ROM) 破損が検出されました。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0850

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. サーバーが始動するための最小構成を満たしていることを確認します (『パワー・サプライ LED』を参照)。
2. バックアップ・ページからサーバー・ファームウェアをリカバリーします。a. サーバーを再始動します。b. プロンプトが出されたら、F3 を押してファームウェアをリカバリーします。
3. サーバーのファームウェアを最新レベルに更新します (『ファームウェアの更新』を参照)。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
4. 問題が発生しなくなるまで、各コンポーネントを一度に 1 つずつ取り外し、そのたびにサーバーを再始動します。
5. 問題が解決しない場合は、(トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

ファームウェア・エラー: システム・ブート状況:

806f000f-22010cxx CPU voltage mismatch detected on
[ProcessorElementName]. (ABR Status)

説明: このメッセージは、CPU 電圧がソケット電圧と一致していないことを実装環境が検出した場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - CPU

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0050

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。ファームウェア・エラー: システム・ブート状況:

806f000f-2201ffff The System
[ComputerSystemElementName]
encountered a POST Error. (ABR
Status)

説明: このメッセージは、実装環境で POST エラーが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0184

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。ファームウェア・エラー: システム・ブート状況:

806f0013-1701xxxx A diagnostic interrupt has
occurred on system
[ComputerSystemElementName]. (NMI
State)

説明: このメッセージは、実装環境でフロント・パネル

NMI/診断割り込みが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0222

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: NMI ボタンを押していない場合は、以下のステップを実行してください。

1. NMI ボタンが押されていないことを確認します。
2. オペレーター情報パネルのケーブルを交換します。
3. オペレーター情報パネルを交換します。

806f0021-2201xxxx Fault in slot

[PhysicalConnectorSystemElementName]
on system
[ComputerSystemElementName]. (No Op
ROM Space)

説明: このメッセージは、実装環境でスロットの障害が検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0330

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. PCI LED を確認します。
2. 対象のアダプターおよびライザー・カードを取り付け直します。
3. サーバーのファームウェア (UEFI および IMM) およびアダプターのファームウェアを更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
4. 両方のアダプターを取り外します。
5. ライザー・カードを交換します。
6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

806f0021-2582xxxx Fault in slot

[PhysicalConnectorSystemElementName]
on system
[ComputerSystemElementName]. (All PCI
Error)

説明: このメッセージは、実装環境でスロットの障害が検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0330

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. PCI LED を確認します。
2. 対象のアダプターおよびライザー・カードを取り付け直します。
3. サーバーのファームウェア (UEFI および IMM) およびアダプターのファームウェアを更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
4. 両方のアダプターを取り外します。
5. ライザー・カードを交換します。
6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

1 つの PCI エラー。

806f0021-2c01xxxx Fault in slot

[PhysicalConnectorSystemElementName]
on system
[ComputerSystemElementName]. (Mezz
Error)

説明: このメッセージは、実装環境でスロットの障害が検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0330

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. PCI LED を確認します。
2. 対象のアダプターおよびライザー・カードを取り付け直します。
3. サーバーのファームウェア (UEFI および IMM) およびアダプターのファームウェアを更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
4. 両方のアダプターを取り外します。
5. ライザー・カードを交換します。
6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

806f0021-3001xxxx Fault in slot

[PhysicalConnectorSystemElementName]
on system

[ComputerSystemElementName]. (PCI 1)

説明: このメッセージは、実装環境でスロットの障害が検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0330

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. PCI LED を確認します。
2. 対象のアダプターおよびライザー・カードを取り付け直します。
3. サーバーのファームウェア (UEFI および IMM) およびアダプターのファームウェアを更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
4. 両方のアダプターを取り外します。
5. ライザー・カードを交換します。

6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

806f0021-3002xxxx Fault in slot

[PhysicalConnectorSystemElementName]
on system

[ComputerSystemElementName]. (PCI 2)

説明: このメッセージは、実装環境でスロットの障害が検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0330

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. PCI LED を確認します。
2. 対象のアダプターおよびライザー・カードを取り付け直します。
3. サーバーのファームウェア (UEFI および IMM) およびアダプターのファームウェアを更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
4. 両方のアダプターを取り外します。
5. ライザー・カードを交換します。
6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

806f0021-3003xxxx Fault in slot

[PhysicalConnectorSystemElementName]
on system

[ComputerSystemElementName]. (PCI 3)

説明: このメッセージは、実装環境でスロットの障害が検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0330

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. PCI LED を確認します。
2. 対象のアダプターおよびライザー・カードを取り付け直します。
3. サーバーのファームウェア (UEFI および IMM) およびアダプターのファームウェアを更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
4. 両方のアダプターを取り外します。
5. ライザー・カードを交換します。
6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

806f0021-3004xxxx Fault in slot

[PhysicalConnectorSystemElementName]
on system
[ComputerSystemElementName]. (PCI 4)

説明: このメッセージは、実装環境でスロットの障害が検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0330

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. PCI LED を確認します。
2. 対象のアダプターおよびライザー・カードを取り付け直します。
3. サーバーのファームウェア (UEFI および IMM) およびアダプターのファームウェアを更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
4. 両方のアダプターを取り外します。
5. ライザー・カードを交換します。
6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

806f0023-2101xxxx Watchdog Timer expired for [WatchdogElementName]. (IPMI Watchdog)

説明: このメッセージは、実装環境でウォッチドッグ・タイマーの満了が検出されたユース・ケースに表示されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0368

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f0028-2101xxxx Sensor [SensorElementName] is unavailable or degraded on management system [ComputerSystemElementName]. (TPM Cmd Failures)

説明: このメッセージは、センサーが使用不可または機能低下であることが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 警告

アラート・カテゴリ: 警告 - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0398

SNMP トラップ ID: 60

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. サーバーの電源をオフにし、電源コードを切り離します。電源コードを再接続し、サーバーを再始動します。
2. 問題が解決しない場合は、(トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

806f0107-0301xxxx An Over-Temperature Condition has been detected on [ProcessorElementName]. (CPU 1)

説明: このメッセージは、プロセッサの温度超過状態が検出されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0036

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動していること、通気を行うための障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エアー・バッフルが所定の位置に正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じていることを確認します。
2. マイクロプロセッサ n のヒートシンクが正しく取り付けられていることを確認します。
3. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ n を交換します。(n = マイクロプロセッサ番号)

806f0107-0302xxxx An Over-Temperature Condition has been detected on [ProcessorElementName]. (CPU 2)

説明: このメッセージは、プロセッサの温度超過状態が検出されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0036

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動していること、通気を行うための障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エアー・バッフルが所定の位置に正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じていることを確認します。
2. マイクロプロセッサ n のヒートシンクが正しく取り付けられていることを確認します。
3. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ n を交換します。(n = マイクロプロセッサ番号)

806f0109-1301xxxx [PowerSupplyElementName] has been Power Cycled. (Host Power)

説明: このメッセージは、実装環境で電源の再投入が行われた電源装置が検出されたユース・ケースに表示されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0108

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f010c-2001xxxx Uncorrectable error detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 1)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0138

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。
2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
3. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。
7. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合は、該当するすべての

DIMM を手動で再度使用可能にします。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合は、サーバーをいったん給電部から切り離してから再接続し、サーバーを再始動します。

8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。

**806f010c-2002xxxx Uncorrectable error detected for
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 2)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0138

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。
2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
3. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。
7. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合は、該当するすべての DIMM を手動で再度使用可能にします。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合は、サーバーをいったん給電部から切り離してから再接続し、サーバーを再始動します。

8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。

**806f010c-2003xxxx Uncorrectable error detected for
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 3)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0138

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。
 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
 3. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
 6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。
 7. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合は、該当するすべての DIMM を手動で再度使用可能にします。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合は、サーバーをいったん給電部から切り離してから再接続し、サーバーを再始動します。
 8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。
-

**806f010c-2004xxxx Uncorrectable error detected for
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 4)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0138

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。
2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
3. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。
7. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合は、該当するすべての DIMM を手動で再度使用可能にします。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合は、サーバーをいったん給電部から切り離してから再接続し、サーバーを再始動します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。

**806f010c-2005xxxx Uncorrectable error detected for
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 5)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0138

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。
2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
3. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。
7. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合は、該当するすべての DIMM を手動で再度使用可能にします。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合は、サーバーをいったん給電部から切り離してから再接続し、サーバーを再始動します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。

**806f010c-2006xxxx Uncorrectable error detected for
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 6)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0138

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。
2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
3. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。
7. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合は、該当するすべての DIMM を手動で再度使用可能にします。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合は、サーバーをいったん給電部から切り離してから再接続し、サーバーを再始動します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。

**806f010c-2007xxxx Uncorrectable error detected for
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 7)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0138

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。
 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
 3. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
 6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。
 7. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合は、該当するすべての DIMM を手動で再度使用可能にします。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合は、サーバーをいったん給電部から切り離してから再接続し、サーバーを再始動します。
 8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。
-

**806f010c-2008xxxx Uncorrectable error detected for
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 8)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0138

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。
2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
3. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。
7. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合は、該当するすべての DIMM を手動で再度使用可能にします。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合は、サーバーをいったん給電部から切り離してから再接続し、サーバーを再始動します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。

**806f010c-2581xxxx Uncorrectable error detected for
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName]. (All
DIMMS)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0138

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。
2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
3. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。
7. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合は、該当するすべての DIMM を手動で再度使用可能にします。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合は、サーバーをいったん給電部から切り離してから再接続し、サーバーを再始動します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。

1 つの DIMM。

806f010d-0401xxxx The Drive

**[StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault.
(Computer HDD0)**

説明: このメッセージは、障害のためにドライブが使用不可になったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0164

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f010d-0402xxxx The Drive

**[StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault.
(Computer HDD1)**

説明: このメッセージは、障害のためにドライブが使用不可になったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0164

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。

2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f010d-0403xxxx The Drive

**[StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault.
(Computer HDD2)**

説明: このメッセージは、障害のためにドライブが使用不可になったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0164

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f010d-0404xxxx The Drive

**[StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault.
(Computer HDD3)**

説明: このメッセージは、障害のためにドライブが使用不可になったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0164

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f010d-0405xxxx The Drive

[StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault. (1U Storage HDD0)

説明: このメッセージは、障害のためにドライブが使用不可になったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0164

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f010d-0406xxxx The Drive

[StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault. (1U Storage HDD1)

説明: このメッセージは、障害のためにドライブが使用不可になったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0164

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f010d-0407xxxx The Drive

[StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault. (1U Storage HDD2)

説明: このメッセージは、障害のためにドライブが使用不可になったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0164

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。

2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f010d-0408xxxx The Drive

[StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault. (1U Storage HDD3)

説明: このメッセージは、障害のためにドライブが使用不可になったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0164

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f010d-0409xxxx The Drive

[StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault. (1U Storage HDD4)

説明: このメッセージは、障害のためにドライブが使用不可になったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0164

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f010d-040axxxx The Drive

[StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault. (1U Storage HDD5)

説明: このメッセージは、障害のためにドライブが使用不可になったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0164

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f010d-040bxxxx The Drive

[StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault. (1U Storage HDD6)

説明: このメッセージは、障害のためにドライブが使用不可になったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0164

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f010d-040cxxxx The Drive

[StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault. (1U Storage HDD7)

説明: このメッセージは、障害のためにドライブが使用不可になったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0164

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。

2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f010f-2201xxxx The System

[ComputerSystemElementName] encountered a firmware hang. (Firmware Error)

説明: このメッセージは、実装環境でシステム・ファームウェアのハングが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: システム - ブート障害

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0186

SNMP トラップ ID: 25

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. サーバーが始動するための最小構成を満たしていることを確認します (『パワー・サプライ LED』を参照)。
2. 1 次ページのサーバー・ファームウェアを更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
3. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

806f0113-0301xxxx A bus timeout has occurred on system [ComputerSystemElementName]. (CPU 1 PECI)

説明: このメッセージは、実装環境でバス・タイムアウトが検出されたユース・ケースに表示されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0224

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. マイクロプロセッサを取り付け直し、サーバーを再始動します。
2. マイクロプロセッサ n を交換します。(n = マイクロプロセッサ番号)

806f0113-0302xxxx A bus timeout has occurred on system [ComputerSystemElementName]. (CPU 2 PECI)

説明: このメッセージは、実装環境でバス・タイムアウトが検出されたユース・ケースに表示されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0224

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. マイクロプロセッサを取り付け直し、サーバーを再始動します。
2. マイクロプロセッサ n を交換します。(n = マイクロプロセッサ番号)

806f0123-2101xxxx Reboot of system [ComputerSystemElementName] initiated by [WatchdogElementName]. (IPMI Watchdog)

説明: このメッセージは、実装環境でウォッチドッグによるリブートの発生が検出されたユース・ケースに表示されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0370

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f0125-1001xxxx [ManagedElementName] detected as absent. (PCI Riser 1)

説明: このメッセージは、管理されたエレメントがないことを実装環境が検出した場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0392

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f0125-1002xxxx [ManagedElementName] detected as absent. (PCI Riser 2)

説明: このメッセージは、管理されたエレメントがないことを実装環境が検出した場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0392

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f0125-1f01xxxx [ManagedElementName] detected as absent. (PDB Cable)

説明: このメッセージは、管理されたエレメントがないことを実装環境が検出した場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0392

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: システムに GPU/ストレージ・トレイを取り付けていない場合、ログ・イベントは正常な状態です。システムに GPU/ストレージ・トレイを取り付けている場合は、以下の 2 つの部分をチェックします。

1. PDB (配電ボード) ケーブルがライザー・カードから PDB に正しく接続されていることを確認します。
2. 別の PDB ケーブルに交換します。

806f0125-2c01xxxx [ManagedElementName] detected as absent. (Mezz Card)

説明: このメッセージは、管理されたエレメントがないことを実装環境が検出した場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0392

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f0207-0301xxxx [ProcessorElementName] has Failed with FRB1/BIST condition. (CPU 1)

説明: このメッセージは、実装環境で「プロセッサ障害 - FRB1/BIST 状態」が検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - CPU

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0044

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. イーサネット、SCSI、および SAS などのすべてのアダプターおよび標準デバイスにおいて、最新のファームウェアおよびデバイス・ドライバのレベルがインストールされていることを確認します。重要:一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
2. ファームウェア (UEFI および IMM) を最新レベルに更新します (『ファームウェアの更新』)。
3. DSA プログラムを実行します。
4. アダプターを取り付け直します。

5. アダプターを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ n を交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。 (n = マイクロプロセッサ番号)

806f0207-0302xxxx [ProcessorElementName] has Failed with FRB1/BIST condition. (CPU 2)

説明: このメッセージは、実装環境で「プロセッサ障害 - FRB1/BIST 状態」が検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - CPU

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0044

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. イーサネット、SCSI、および SAS などのすべてのアダプターおよび標準デバイスにおいて、最新のファームウェアおよびデバイス・ドライバのレベルがインストールされていることを確認します。重要:一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
2. ファームウェア (UEFI および IMM) を最新レベルに更新します (『ファームウェアの更新』)。
3. DSA プログラムを実行します。
4. アダプターを取り付け直します。
5. アダプターを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ n を交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。 (n = マイクロプロセッサ番号)

806f0207-2584xxxx [ProcessorElementName] has Failed with FRB1/BIST condition. (All CPUs)

説明: このメッセージは、実装環境で「プロセッサ障害 - FRB1/BIST 状態」が検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - CPU

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0044

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

- イーサネット、SCSI、および SAS などのすべてのアダプターおよび標準デバイスにおいて、最新のファームウェアおよびデバイス・ドライバのレベルがインストールされていることを確認します。重要:一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
 - ファームウェア (UEFI および IMM) を最新レベルに更新します (『ファームウェアの更新』)。
 - DSA プログラムを実行します。
 - アダプターを取り付け直します。
 - アダプターを交換します。
 - (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ n を交換します。
 - (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。(n = マイクロプロセッサ番号)
- 1 つの CPU。

806f020d-0401xxxx Failure Predicted on drive
[StorageVolumeElementName] for array
[ComputerSystemElementName].
(Computer HDD0)

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 警告

アラート・カテゴリ: システム - 障害予知

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0168

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

- ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。

- 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
- 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f020d-0402xxxx Failure Predicted on drive
[StorageVolumeElementName] for array
[ComputerSystemElementName].
(Computer HDD1)

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 警告

アラート・カテゴリ: システム - 障害予知

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0168

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

- ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。
- 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
- 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f020d-0403xxxx Failure Predicted on drive
[StorageVolumeElementName] for array
[ComputerSystemElementName].
(Computer HDD2)

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 警告

アラート・カテゴリ: システム - 障害予知

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0168

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f020d-0404xxxx Failure Predicted on drive
[StorageVolumeElementName] for array
[ComputerSystemElementName].
(Computer HDD3)

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0168

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f020d-0405xxxx Failure Predicted on drive
[StorageVolumeElementName] for array
[ComputerSystemElementName].(1U
Storage HDD0)

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0168

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f020d-0406xxxx Failure Predicted on drive
[StorageVolumeElementName] for array
[ComputerSystemElementName].(1U
Storage HDD1)

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0168

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f020d-0407xxxx Failure Predicted on drive
[StorageVolumeElementName] for array
[ComputerSystemElementName].(1U
Storage HDD2)

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 警告

アラート・カテゴリ: システム - 障害予知

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0168

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f020d-0408xxxx Failure Predicted on drive
[StorageVolumeElementName] for array
[ComputerSystemElementName].(1U
Storage HDD3)

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 警告

アラート・カテゴリ: システム - 障害予知

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0168

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル

3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f020d-0409xxxx Failure Predicted on drive
[StorageVolumeElementName] for array
[ComputerSystemElementName].(1U
Storage HDD4)

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 警告

アラート・カテゴリ: システム - 障害予知

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0168

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f020d-040axxxx Failure Predicted on drive
[StorageVolumeElementName] for array
[ComputerSystemElementName].(1U
Storage HDD5)

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 警告

アラート・カテゴリ: システム - 障害予知

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0168

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f020d-040bxxxx Failure Predicted on drive
[StorageVolumeElementName] for array
[ComputerSystemElementName].(1U
Storage HDD6)

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0168

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f020d-040cxxxx Failure Predicted on drive
[StorageVolumeElementName] for array
[ComputerSystemElementName].(1U
Storage HDD7)

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0168

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f0223-2101xxxx Powering off system
[ComputerSystemElementName] initiated
by [WatchdogElementName]. (IPMI
Watchdog)

説明: このメッセージは、実装環境でウォッチドッグによる電源オフが発生したことが検出されたユース・ケースに表示されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0372

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f030c-2001xxxx Scrub Failure for
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 1)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー消し込み障害が検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0136

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。
2. DIMM がしっかりと装着されていること、および DIMM コネクターに異物がないことを確認します。その後、同じ DIMM を使用して再試行します。
3. 問題が DIMM に関連している場合は、エラー LED によって示される障害のある DIMM を交換します。
4. 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 問題がマイクロプロセッサ・ソケット・ピンに関連している場合は、システム・ボードを交換します。

806f030c-2002xxxx Scrub Failure for

[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 2)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー消し込み障害が検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0136

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す

必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。
2. DIMM がしっかりと装着されていること、および DIMM コネクターに異物がないことを確認します。その後、同じ DIMM を使用して再試行します。
3. 問題が DIMM に関連している場合は、エラー LED によって示される障害のある DIMM を交換します。
4. 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 問題がマイクロプロセッサ・ソケット・ピンに関連している場合は、システム・ボードを交換します。

806f030c-2003xxxx Scrub Failure for

[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 3)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー消し込み障害が検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0136

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。
2. DIMM がしっかりと装着されていること、および DIMM コネクターに異物がないことを確認します。その後、同じ DIMM を使用して再試行します。
3. 問題が DIMM に関連している場合は、エラー LED によって示される障害のある DIMM を交換します。
4. 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 問題がマイクロプロセッサ・ソケット・ピンに関連している場合は、システム・ボードを交換します。

806f030c-2004xxxx Scrub Failure for
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 4)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー消し込み障害が検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0136

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。

2. DIMM がしっかりと装着されていること、および DIMM コネクターに異物がないことを確認します。その後、同じ DIMM を使用して再試行します。
3. 問題が DIMM に関連している場合は、エラー LED によって示される障害のある DIMM を交換します。
4. 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 問題がマイクロプロセッサ・ソケット・ピンに関連している場合は、システム・ボードを交換します。

806f030c-2005xxxx Scrub Failure for
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 5)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー消し込み障害が検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0136

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。
2. DIMM がしっかりと装着されていること、および DIMM コネクターに異物がないことを確認します。その後、同じ DIMM を使用して再試行します。

3. 問題が DIMM に関連している場合は、エラー LED によって示される障害のある DIMM を交換します。
4. 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 問題がマイクロプロセッサ・ソケット・ピンに関連している場合は、システム・ボードを交換します。

806f030c-2006xxxx Scrub Failure for
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 6)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー消し込み障害が検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0136

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。
2. DIMM がしっかりと装着されていること、および DIMM コネクターに異物がないことを確認します。その後、同じ DIMM を使用して再試行します。
3. 問題が DIMM に関連している場合は、エラー LED によって示される障害のある DIMM を交換します。
4. 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED

またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。

5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 問題がマイクロプロセッサ・ソケット・ピンに関連している場合は、システム・ボードを交換します。

806f030c-2007xxxx Scrub Failure for
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 7)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー消し込み障害が検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0136

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。
2. DIMM がしっかりと装着されていること、および DIMM コネクターに異物がないことを確認します。その後、同じ DIMM を使用して再試行します。
3. 問題が DIMM に関連している場合は、エラー LED によって示される障害のある DIMM を交換します。
4. 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。

5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 問題がマイクロプロセッサ・ソケット・ピンに関連している場合は、システム・ボードを交換します。

806f030c-2008xxxx Scrub Failure for
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 8)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー消し込み障害が検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0136

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。
2. DIMM がしっかりと装着されていること、および DIMM コネクターに異物がないことを確認します。その後、同じ DIMM を使用して再試行します。
3. 問題が DIMM に関連している場合は、エラー LED によって示される障害のある DIMM を交換します。
4. 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていた

り、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。

6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 問題がマイクロプロセッサ・ソケット・ピンに関連している場合は、システム・ボードを交換します。

806f0313-1701xxxx A software NMI has occurred on
system [ComputerSystemElementName].
(NMI State)

説明: このメッセージは、実装環境でソフトウェア NMI が検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0228

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. デバイス・ドライバをチェックします。
2. デバイス・ドライバを再インストールします。
3. すべてのデバイス・ドライバを最新レベルに更新します。
4. ファームウェア (UEFI および IMM) を更新します。

806f0323-2101xxxx Power cycle of system
[ComputerSystemElementName] initiated
by watchdog [WatchdogElementName].
(IPMI Watchdog)

説明: このメッセージは、ウォッチドッグによる電源サイクルが行われたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0374

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f040c-2001xxxx [PhysicalMemoryElementName]

Disabled on Subsystem

[MemoryElementName]. (DIMM 1)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0131

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。
2. メモリーの障害 (メモリー訂正不能エラー、あるいはメモリー・ロギングが限度に達した、など) によって DIMM が使用不可にされている場合は、そのエラー・イベントの推奨処置に従い、サーバーを再始動します。
3. このメモリー・イベントに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup ユーティリティまたは Advanced Settings ユーティリティ (ASU) から DIMM を再び使用可能にすることができます。

806f040c-2002xxxx [PhysicalMemoryElementName]

Disabled on Subsystem

[MemoryElementName]. (DIMM 2)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0131

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。
2. メモリーの障害 (メモリー訂正不能エラー、あるいはメモリー・ロギングが限度に達した、など) によって DIMM が使用不可にされている場合は、そのエラー・イベントの推奨処置に従い、サーバーを再始動します。
3. このメモリー・イベントに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup ユーティリティまたは Advanced Settings ユーティリティ (ASU) から DIMM を再び使用可能にすることができます。

806f040c-2003xxxx [PhysicalMemoryElementName]

Disabled on Subsystem

[MemoryElementName]. (DIMM 3)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0131

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。
2. メモリーの障害 (メモリー訂正不能エラー、あるいはメモリー・ロギングが限度に達した、など) によって DIMM が使用不可にされている場合は、そのエラー・イベントの推奨処置に従い、サーバーを再始動します。
3. このメモリー・イベントに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup ユーティリティまたは Advanced Settings ユーティリティ (ASU) から DIMM を再び使用可能にすることができます。

806f040c-2004xxxx [PhysicalMemoryElementName]**Disabled on Subsystem****[MemoryElementName]. (DIMM 4)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0131

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。
2. メモリーの障害 (メモリー訂正不能エラー、あるいはメモリー・ロギングが限度に達した、など) によって DIMM が使用不可にされている場合は、そのエラー・イベントの推奨処置に従い、サーバーを再始動します。
3. このメモリー・イベントに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup ユーティリティまたは Advanced Settings ユーティリティ (ASU) から DIMM を再び使用可能にすることができます。

806f040c-2005xxxx [PhysicalMemoryElementName]**Disabled on Subsystem****[MemoryElementName]. (DIMM 5)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0131

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。
2. メモリーの障害 (メモリー訂正不能エラー、あるいはメモリー・ロギングが限度に達した、など) によ

て DIMM が使用不可にされている場合は、そのエラー・イベントの推奨処置に従い、サーバーを再始動します。

3. このメモリー・イベントに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup ユーティリティまたは Advanced Settings ユーティリティ (ASU) から DIMM を再び使用可能にすることができます。

806f040c-2006xxxx [PhysicalMemoryElementName]**Disabled on Subsystem****[MemoryElementName]. (DIMM 6)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0131

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。
2. メモリーの障害 (メモリー訂正不能エラー、あるいはメモリー・ロギングが限度に達した、など) によって DIMM が使用不可にされている場合は、そのエラー・イベントの推奨処置に従い、サーバーを再始動します。
3. このメモリー・イベントに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup ユーティリティまたは Advanced Settings ユーティリティ (ASU) から DIMM を再び使用可能にすることができます。

806f040c-2007xxxx [PhysicalMemoryElementName]**Disabled on Subsystem****[MemoryElementName]. (DIMM 7)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0131

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。
2. メモリーの障害 (メモリー訂正不能エラー、あるいはメモリー・ロギングが限度に達した、など) によって DIMM が使用不可にされている場合は、そのエラー・イベントの推奨処置に従い、サーバーを再始動します。
3. このメモリー・イベントに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup ユーティリティまたは Advanced Settings ユーティリティ (ASU) から DIMM を再び使用可能にすることができます。

806f040c-2008xxxx [PhysicalMemoryElementName]
Disabled on Subsystem
[MemoryElementName]. (DIMM 8)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0131

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。
2. メモリーの障害 (メモリー訂正不能エラー、あるいはメモリー・ロギングが限度に達した、など) によって DIMM が使用不可にされている場合は、そのエラー・イベントの推奨処置に従い、サーバーを再始動します。
3. このメモリー・イベントに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM

コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup ユーティリティまたは Advanced Settings ユーティリティ (ASU) から DIMM を再び使用可能にすることができます。

806f040c-2581xxxx [PhysicalMemoryElementName]
Disabled on Subsystem
[MemoryElementName]. (All DIMMS)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0131

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。
2. メモリーの障害 (メモリー訂正不能エラー、あるいはメモリー・ロギングが限度に達した、など) によって DIMM が使用不可にされている場合は、そのエラー・イベントの推奨処置に従い、サーバーを再始動します。
3. このメモリー・イベントに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup ユーティリティまたは Advanced Settings ユーティリティ (ASU) から DIMM を再び使用可能にすることができます。

1 つの DIMM。

806f0413-2582xxxx A PCI PERR has occurred on
system [ComputerSystemElementName].
(PCIs)

説明: このメッセージは、実装環境で PCI PERR が検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0232

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. PCI LED を確認します。
2. 対象のアダプターおよびライザー・カードを取り付け直します。
3. サーバーのファームウェア (UEFI および IMM) およびアダプターのファームウェアを更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
4. 両方のアダプターを取り外します。
5. PCIe アダプターを交換します。
6. ライザー・カードを交換します。

806f0507-0301xxxx [ProcessorElementName] has a Configuration Mismatch. (CPU 1)

説明: このメッセージは、実装環境でプロセッサ構成のミスマッチが発生したことが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - CPU

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0062

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. CPU LED を確認します。CPU LED の詳細については、『Light Path 診断』を参照してください。
2. サーバーのファームウェアの更新を確認します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
3. 取り付けられたマイクロプロセッサ同士に互換性があることを確認します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ n を取り付け直します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ n を交換します。(n = マイクロプロセッサ番号)

806f0507-0302xxxx [ProcessorElementName] has a Configuration Mismatch. (CPU 2)

説明: このメッセージは、実装環境でプロセッサ構成のミスマッチが発生したことが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - CPU

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0062

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. CPU LED を確認します。CPU LED の詳細については、『Light Path 診断』を参照してください。
2. サーバーのファームウェアの更新を確認します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
3. 取り付けられたマイクロプロセッサ同士に互換性があることを確認します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ n を取り付け直します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ n を交換します。(n = マイクロプロセッサ番号)

806f0507-2584xxxx [ProcessorElementName] has a Configuration Mismatch. (All CPUs)

説明: このメッセージは、実装環境でプロセッサ構成のミスマッチが発生したことが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - CPU

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0062

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. CPU LED を確認します。CPU LED の詳細については、『Light Path 診断』を参照してください。

2. サーバーのファームウェアの更新を確認します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
 3. 取り付けられたマイクロプロセッサ同士に互換性があることを確認します。
 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ n を取り付け直します。
 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ n を交換します。(n = マイクロプロセッサ番号)
- 1 つの CPU。

806f050c-2001xxxx Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 1)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0144

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。
2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
3. 同じ DIMM でまだエラーが発生する場合は、対象の DIMM を交換します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・

ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。

6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。

806f050c-2002xxxx Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 2)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0144

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。
2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
3. 同じ DIMM でまだエラーが発生する場合は、対象の DIMM を交換します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。

806f050c-2003xxxx Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 3)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

重大度: 警告

アラート・カテゴリ: 警告 - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0144

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。
2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
3. 同じ DIMM でまだエラーが発生する場合は、対象の DIMM を交換します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。

806f050c-2004xxxx Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 4)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

重大度: 警告

アラート・カテゴリ: 警告 - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0144

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。

2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
3. 同じ DIMM でまだエラーが発生する場合は、対象の DIMM を交換します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。

806f050c-2005xxxx Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 5)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

重大度: 警告

アラート・カテゴリ: 警告 - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0144

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。
2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
3. 同じ DIMM でまだエラーが発生する場合は、対象の DIMM を交換します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。

5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。

806f050c-2006xxxx Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 6)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

重大度: 警告

アラート・カテゴリ: 警告 - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0144

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。
2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
3. 同じ DIMM でまだエラーが発生する場合は、対象の DIMM を交換します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。

806f050c-2007xxxx Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 7)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギン

グ限度に達したことが検出された場合に使用されます。

重大度: 警告

アラート・カテゴリ: 警告 - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0144

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。
2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
3. 同じ DIMM でまだエラーが発生する場合は、対象の DIMM を交換します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。

806f050c-2008xxxx Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 8)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

重大度: 警告

アラート・カテゴリ: 警告 - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0144

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。
2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
3. 同じ DIMM でまだエラーが発生する場合は、対象の DIMM を交換します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。

806f050c-2581xxxx Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (All DIMMS)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ログギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

重大度: 警告

アラート・カテゴリ: 警告 - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0144

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。
2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
3. 同じ DIMM でまだエラーが発生する場合は、対象の DIMM を交換します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていた

り、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。

5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。

1 つの DIMM。

806f050d-0401xxxx Array

[ComputerSystemElementName] is in critical condition. (Computer HDD0)

説明: このメッセージは、アレイがクリティカルであることが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0174

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。
5. RAID アダプターを交換します。
6. 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換します。

806f050d-0402xxxx Array

[ComputerSystemElementName] is in critical condition. (Computer HDD1)

説明: このメッセージは、アレイがクリティカルであることが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0174

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。
5. RAID アダプターを交換します。
6. 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換します。

806f050d-0403xxxx Array

[ComputerSystemElementName] is in critical condition. (Computer HDD2)

説明: このメッセージは、アレイがクリティカルであることが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0174

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。
5. RAID アダプターを交換します。
6. 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換します。

806f050d-0404xxxx Array

[ComputerSystemElementName] is in critical condition. (Computer HDD3)

説明: このメッセージは、アレイがクリティカルであることが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0174

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。
5. RAID アダプターを交換します。
6. 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換します。

806f050d-0405xxxx Array

[ComputerSystemElementName] is in critical condition. (1U Storage HDD0)

説明: このメッセージは、アレイがクリティカルであることが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0174

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。
5. RAID アダプターを交換します。
6. 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換します。

806f050d-0406xxxx Array

[ComputerSystemElementName] is in critical condition. (1U Storage HDD1)

説明: このメッセージは、アレイがクリティカルであることが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0174

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。
5. RAID アダプターを交換します。
6. 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換します。

806f050d-0407xxxx Array

[ComputerSystemElementName] is in critical condition. (1U Storage HDD2)

説明: このメッセージは、アレイがクリティカルであることが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0174

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。

4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。

5. RAID アダプターを交換します。

6. 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換します。

806f050d-0408xxxx Array

[ComputerSystemElementName] is in critical condition. (1U Storage HDD3)

説明: このメッセージは、アレイがクリティカルであることが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0174

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。
5. RAID アダプターを交換します。
6. 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換します。

806f050d-0409xxxx Array

[ComputerSystemElementName] is in critical condition. (1U Storage HDD4)

説明: このメッセージは、アレイがクリティカルであることが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0174

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。
5. RAID アダプターを交換します。
6. 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換します。

806f050d-040axxxx Array

[ComputerSystemElementName] is in critical condition. (1U Storage HDD5)

説明: このメッセージは、アレイがクリティカルであることが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0174

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。
5. RAID アダプターを交換します。
6. 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換します。

806f050d-040bxxxx Array

[ComputerSystemElementName] is in critical condition. (1U Storage HDD6)

説明: このメッセージは、アレイがクリティカルであることが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0174

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。
5. RAID アダプターを交換します。
6. 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換します。

806f050d-040cxxxx Array

[ComputerSystemElementName] is in critical condition. (1U Storage HDD7)

説明: このメッセージは、アレイがクリティカルであることが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0174

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。
5. RAID アダプターを交換します。
6. 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換します。

806f0513-2582xxxx A PCI SERR has occurred on system [ComputerSystemElementName]. (PCIs)

説明: このメッセージは、実装環境で PCI SERR が検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0234

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. PCI LED を確認します。
2. 対象のアダプターおよびライザー・カードを取り付け直します。
3. サーバーのファームウェア (UEFI および IMM) およびアダプターのファームウェアを更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
4. アダプターがサポートされていることを確認します。サポートするオプション装置のリストについては、<http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us/> を参照してください。
5. 両方のアダプターを取り外します。
6. PCIe アダプターを交換します。
7. ライザー・カードを交換します。

806f052b-2101xxxx Invalid or Unsupported firmware or software was detected on system [ComputerSystemElementName]. (IMM2 FW Failover)

説明: このメッセージは、無効/サポートされないファームウェア/ソフトウェア・バージョンが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0446

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. サーバーが始動するための最小構成を満たしていることを確認します (『パワー・サプライ LED』を参照)。

2. サーバーを再始動して、バックアップ・ページからサーバー・ファームウェアをリカバリーします。
3. サーバーのファームウェアを最新レベルに更新します (『ファームウェアの更新』を参照)。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
4. 問題が発生しなくなるまで、各コンポーネントを一度に 1 つずつ取り外し、そのたびにサーバーを再始動します。
5. 問題が解決しない場合は、(トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

806f0607-0301xxxx An SM BIOS Uncorrectable CPU complex error for [ProcessorElementName] has asserted. (CPU 1)

説明: このメッセージは、SM BIOS 訂正不能 CPU 複合エラーが表明された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - CPU

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0816

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. 取り付けられたマイクロプロセッサ同士に互換性があることを確認します (マイクロプロセッサの要件については、『マイクロプロセッサおよびヒートシンクの取り付け』を参照)。
2. サーバーのファームウェアを最新レベルに更新します (『ファームウェアの更新』を参照)。
3. (トレーニングを受けた技術員のみ) 互換性の無いマイクロプロセッサを交換します。

806f0607-0302xxxx An SM BIOS Uncorrectable CPU complex error for [ProcessorElementName] has asserted. (CPU 2)

説明: このメッセージは、SM BIOS 訂正不能 CPU 複合エラーが表明された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - CPU

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0816

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. 取り付けられたマイクロプロセッサ同士に互換性があることを確認します (マイクロプロセッサの要件については、『マイクロプロセッサおよびヒートシンクの取り付け』を参照)。
2. サーバーのファームウェアを最新レベルに更新します (『ファームウェアの更新』を参照)。
3. (トレーニングを受けた技術員のみ) 互換性の無いマイクロプロセッサを交換します。

806f0607-2584xxxx An SM BIOS Uncorrectable CPU complex error for [ProcessorElementName] has asserted. (All CPUs)

説明: このメッセージは、SM BIOS 訂正不能 CPU 複合エラーが表明された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - CPU

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0816

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. 取り付けられたマイクロプロセッサ同士に互換性があることを確認します (マイクロプロセッサの要件については、『マイクロプロセッサおよびヒートシンクの取り付け』を参照)。
2. サーバーのファームウェアを最新レベルに更新します (『ファームウェアの更新』を参照)。
3. (トレーニングを受けた技術員のみ) 互換性の無いマイクロプロセッサを交換します。

1 つの CPU。

806f060d-0401xxxx Array [ComputerSystemElementName] has failed. (Computer HDD0)

説明: このメッセージは、アレイに障害が起きたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0176

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. RAID アダプターを交換します。
5. 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換します。

806f060d-0402xxxx Array [ComputerSystemElementName] has failed. (Computer HDD1)

説明: このメッセージは、アレイに障害が起きたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0176

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。
 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
 3. SAS ケーブルを交換します。
 4. RAID アダプターを交換します。
 5. 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換します。
-

806f060d-0403xxxx Array**[ComputerSystemElementName] has
failed. (Computer HDD2)**

説明: このメッセージは、アレイに障害が起きたことが
実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディ
スク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0176

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハード・
ディスクのファームウェアのレベルが最新であるこ
とを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認
します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. RAID アダプターを交換します。
5. 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換
します。

806f060d-0404xxxx Array**[ComputerSystemElementName] has
failed. (Computer HDD3)**

説明: このメッセージは、アレイに障害が起きたことが
実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディ
スク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0176

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハード・
ディスクのファームウェアのレベルが最新であるこ
とを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認
します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. RAID アダプターを交換します。

5. 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換
します。

806f060d-0405xxxx Array**[ComputerSystemElementName] has
failed. (1U Storage HDD0)**

説明: このメッセージは、アレイに障害が起きたことが
実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディ
スク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0176

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハード・
ディスクのファームウェアのレベルが最新であるこ
とを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認
します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. RAID アダプターを交換します。
5. 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換
します。

806f060d-0406xxxx Array**[ComputerSystemElementName] has
failed. (1U Storage HDD1)**

説明: このメッセージは、アレイに障害が起きたことが
実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディ
スク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0176

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハード・
ディスクのファームウェアのレベルが最新であるこ
とを確認します。

2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. RAID アダプターを交換します。
5. 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換します。

806f060d-0407xxxx Array
[ComputerSystemElementName] has failed. (1U Storage HDD2)

説明: このメッセージは、アレイに障害が起きたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0176

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. RAID アダプターを交換します。
5. 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換します。

806f060d-0408xxxx Array
[ComputerSystemElementName] has failed. (1U Storage HDD3)

説明: このメッセージは、アレイに障害が起きたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0176

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. RAID アダプターを交換します。
5. 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換します。

806f060d-0409xxxx Array
[ComputerSystemElementName] has failed. (1U Storage HDD4)

説明: このメッセージは、アレイに障害が起きたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0176

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. RAID アダプターを交換します。
5. 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換します。

806f060d-040axxxx Array
[ComputerSystemElementName] has failed. (1U Storage HDD5)

説明: このメッセージは、アレイに障害が起きたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0176

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. RAID アダプターを交換します。
5. 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換します。

806f060d-040bxxxx Array

[ComputerSystemElementName] has
failed. (1U Storage HDD6)

説明: このメッセージは、アレイに障害が起きたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0176

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. RAID アダプターを交換します。
5. 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換します。

806f060d-040cxxxx Array

[ComputerSystemElementName] has
failed. (1U Storage HDD7)

説明: このメッセージは、アレイに障害が起きたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0176

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. RAID アダプターを交換します。
5. 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換します。

806f070c-2001xxxx Configuration Error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 1)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0126

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: DIMM が正しい順序で取り付けられていること、すべて同じサイズ、タイプ、速度、およびテクノロジーであることを確認します。

806f070c-2002xxxx Configuration Error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 2)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0126

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: DIMM が正しい順序で取り付けられていること、すべて同じサイズ、タイプ、速度、およびテクノロジーであることを確認します。

806f070c-2003xxxx Configuration Error for
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 3)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0126

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: DIMM が正しい順序で取り付けられていること、すべて同じサイズ、タイプ、速度、およびテクノロジーであることを確認します。

806f070c-2004xxxx Configuration Error for
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 4)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0126

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: DIMM が正しい順序で取り付けられていること、すべて同じサイズ、タイプ、速度、およびテクノロジーであることを確認します。

806f070c-2005xxxx Configuration Error for
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 5)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM

構成エラーが解除されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0126

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: DIMM が正しい順序で取り付けられていること、すべて同じサイズ、タイプ、速度、およびテクノロジーであることを確認します。

806f070c-2006xxxx Configuration Error for
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 6)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0126

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: DIMM が正しい順序で取り付けられていること、すべて同じサイズ、タイプ、速度、およびテクノロジーであることを確認します。

806f070c-2007xxxx Configuration Error for
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 7)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0126

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: DIMM が正しい順序で取り付けられていること、すべて同じサイズ、タイプ、速度、およびテクノロジーであることを確認します。

806f070c-2008xxxx Configuration Error for
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 8)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0126

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: DIMM が正しい順序で取り付けられていること、すべて同じサイズ、タイプ、速度、およびテクノロジーであることを確認します。

806f070c-2581xxxx Configuration Error for
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName]. (All
DIMMS)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0126

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: DIMM が正しい順序で取り付けられていること、すべて同じサイズ、タイプ、速度、およびテクノロジーであることを確認します。 1 つの DIMM。

806f070d-0401xxxx Rebuild in progress for Array in
system [ComputerSystemElementName].
(Computer HDD0)

説明: このメッセージは、アレイの再作成が進行中であ

るあることが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0178

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f070d-0402xxxx Rebuild in progress for Array in
system [ComputerSystemElementName].
(Computer HDD1)

説明: このメッセージは、アレイの再作成が進行中であるあることが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0178

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f070d-0403xxxx Rebuild in progress for Array in
system [ComputerSystemElementName].
(Computer HDD2)

説明: このメッセージは、アレイの再作成が進行中であるあることが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0178

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f070d-0404xxxx Rebuild in progress for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Computer HDD3)

説明: このメッセージは、アレイの再作成が進行中であるあることが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0178

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f070d-0405xxxx Rebuild in progress for Array in system [ComputerSystemElementName]. (1U Storage HDD0)

説明: このメッセージは、アレイの再作成が進行中であるあることが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0178

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f070d-0406xxxx Rebuild in progress for Array in system [ComputerSystemElementName]. (1U Storage HDD1)

説明: このメッセージは、アレイの再作成が進行中であるあることが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0178

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f070d-0407xxxx Rebuild in progress for Array in system [ComputerSystemElementName]. (1U Storage HDD2)

説明: このメッセージは、アレイの再作成が進行中であるあることが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0178

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f070d-0408xxxx Rebuild in progress for Array in system [ComputerSystemElementName]. (1U Storage HDD3)

説明: このメッセージは、アレイの再作成が進行中であるあることが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0178

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f070d-0409xxxx Rebuild in progress for Array in system [ComputerSystemElementName]. (1U Storage HDD4)

説明: このメッセージは、アレイの再作成が進行中であるあることが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0178

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f070d-040axxxx Rebuild in progress for Array in system [ComputerSystemElementName]. (1U Storage HDD5)

説明: このメッセージは、アレイの再作成が進行中であることが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0178

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f070d-040bxxxx Rebuild in progress for Array in system [ComputerSystemElementName]. (1U Storage HDD6)

説明: このメッセージは、アレイの再作成が進行中であることが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0178

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f070d-040cxxxx Rebuild in progress for Array in system [ComputerSystemElementName]. (1U Storage HDD7)

説明: このメッセージは、アレイの再作成が進行中であることが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0178

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f072b-2201xxxx A successful software or firmware change was detected on system [ComputerSystemElementName]. (Bkup Auto Update)

説明: このメッセージは、ソフトウェアまたはファームウェアの変更が正常に行われたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0450

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。ROM リカバリー:

806f0807-0301xxxx [ProcessorElementName] has been Disabled. (CPU 1)

説明: このメッセージは、実装環境でプロセッサが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0061

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f0807-0302xxxx [ProcessorElementName] has been Disabled. (CPU 2)

説明: このメッセージは、実装環境でプロセッサが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0061

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f0807-2584xxxx [ProcessorElementName] has been Disabled. (All CPUs)

説明: このメッセージは、実装環境でプロセッサが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0061

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。1 つの CPU。

806f0813-2581xxxx A Uncorrectable Bus Error has occurred on system [ComputerSystemElementName]. (DIMMs)

説明: このメッセージは、実装環境でバスの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0240

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. システム・イベント・ログを確認します。
2. (トレーニングを受けた技術員のみ) 障害のあるマイクロプロセッサをシステム・ボードから取り外します (『マイクロプロセッサおよびヒートシンクの取り外し』を参照)。
3. サーバーのファームウェアの更新を確認します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レ

ベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。

4. 2 つのマイクロプロセッサが一致していることを確認してください。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

806f0813-2582xxxx A Uncorrectable Bus Error has occurred on system [ComputerSystemElementName]. (PCIs)

説明: このメッセージは、実装環境でバスの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0240

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. システム・イベント・ログを確認します。
2. (トレーニングを受けた技術員のみ) 障害のあるマイクロプロセッサをシステム・ボードから取り外します (『マイクロプロセッサおよびヒートシンクの取り外し』を参照)。
3. サーバーのファームウェアの更新を確認します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
4. 2 つのマイクロプロセッサが一致していることを確認してください。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

806f0813-2584xxxx A Uncorrectable Bus Error has occurred on system [ComputerSystemElementName]. (CPUs)

説明: このメッセージは、実装環境でバスの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0240

SNMP トラップ ID: 50**自動的にサポートに通知:** はい**ユーザーの処置:**

1. システム・イベント・ログを確認します。
2. (トレーニングを受けた技術員のみ) 障害のあるマイクロプロセッサをシステム・ボードから取り外します (『マイクロプロセッサおよびヒートシンクの取り外し』を参照)。
3. サーバーのファームウェアの更新を確認します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
4. 2 つのマイクロプロセッサが一致していることを確認してください。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

806f0823-2101xxxx Watchdog Timer interrupt occurred for [WatchdogElementName]. (IPMI Watchdog)

説明: このメッセージは、実装環境でウォッチドッグ・タイマー割り込みの発生が検出されたユース・ケースに表示されます。

重大度: 通知**アラート・カテゴリ:** システム - その他**保守可能:** いいえ**CIM 情報:** 接頭部: PLAT および ID: 0376**SNMP トラップ ID:****自動的にサポートに通知:** いいえ**ユーザーの処置:** アクションは不要です。通知用のみです。

806f090c-2001xxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] Throttled. (DIMM 1)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出された場合に使用されます。

重大度: 警告**アラート・カテゴリ:** システム - その他**保守可能:** はい**CIM 情報:** 接頭部: PLAT および ID: 0142**SNMP トラップ ID: 22****自動的にサポートに通知:** いいえ**ユーザーの処置:**

1. DIMM を取り付け直し、サーバーを再始動します。
2. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f090c-2002xxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] Throttled. (DIMM 2)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出された場合に使用されます。

重大度: 警告**アラート・カテゴリ:** システム - その他**保守可能:** はい**CIM 情報:** 接頭部: PLAT および ID: 0142**SNMP トラップ ID: 22****自動的にサポートに通知:** いいえ**ユーザーの処置:**

1. DIMM を取り付け直し、サーバーを再始動します。
2. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f090c-2003xxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] Throttled. (DIMM 3)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出された場合に使用されます。

重大度: 警告**アラート・カテゴリ:** システム - その他**保守可能:** はい**CIM 情報:** 接頭部: PLAT および ID: 0142**SNMP トラップ ID: 22****自動的にサポートに通知:** いいえ**ユーザーの処置:**

1. DIMM を取り付け直し、サーバーを再始動します。
2. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f090c-2004xxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] Throttled. (DIMM 4)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出された場合に使用されます。

重大度: 警告

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0142

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. DIMM を取り付け直し、サーバーを再始動します。
2. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f090c-2005xxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] Throttled. (DIMM 5)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出された場合に使用されます。

重大度: 警告

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0142

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. DIMM を取り付け直し、サーバーを再始動します。
2. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f090c-2006xxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] Throttled. (DIMM 6)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出された場合に使用されます。

重大度: 警告

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0142

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. DIMM を取り付け直し、サーバーを再始動します。
2. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f090c-2007xxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] Throttled. (DIMM 7)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出された場合に使用されます。

重大度: 警告

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0142

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. DIMM を取り付け直し、サーバーを再始動します。
2. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f090c-2008xxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] Throttled. (DIMM 8)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出された場合に使用されます。

重大度: 警告

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0142

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. DIMM を取り付け直し、サーバーを再始動します。
2. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f0a07-0301xxxx [ProcessorElementName] is operating in a Degraded State. (CPU 1)

説明: このメッセージは、プロセッサが機能低下状態で稼働していることが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 警告

アラート・カテゴリ: 警告 - CPU

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0038

SNMP トラップ ID: 42

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 室温を確認してください。仕様の範囲内で稼働させる必要があります。
3. マイクロプロセッサ n のヒートシンクが正しく取り付けられていることを確認します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ n を交換します。(n = マイクロプロセッサ番号)

806f0a07-0302xxxx [ProcessorElementName] is operating in a Degraded State. (CPU 2)

説明: このメッセージは、プロセッサが機能低下状態で稼働していることが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 警告

アラート・カテゴリ: 警告 - CPU

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0038

SNMP トラップ ID: 42

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 室温を確認してください。仕様の範囲内で稼働させる必要があります。
3. マイクロプロセッサ n のヒートシンクが正しく取り付けられていることを確認します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ n を交換します。(n = マイクロプロセッサ番号)

806f0a0c-2001xxxx An Over-Temperature Condition has been detected on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 1)

説明: このメッセージは、メモリーの温度超過状態が検

出されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0146

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 室温が仕様内であることを確認します。
3. ファンに障害がある場合は、ファンの障害に対する処置を実行します。
4. DIMM n を交換します。(n = DIMM 番号)

806f0a0c-2002xxxx An Over-Temperature Condition has been detected on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 2)

説明: このメッセージは、メモリーの温度超過状態が検出されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0146

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 室温が仕様内であることを確認します。
3. ファンに障害がある場合は、ファンの障害に対する処置を実行します。
4. DIMM n を交換します。(n = DIMM 番号)

806f0a0c-2003xxxx An Over-Temperature Condition
has been detected on the
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 3)

説明: このメッセージは、メモリーの温度超過状態が検出されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0146

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 室温が仕様内であることを確認します。
3. ファンに障害がある場合は、ファンの障害に対する処置を実行します。
4. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f0a0c-2004xxxx An Over-Temperature Condition
has been detected on the
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 4)

説明: このメッセージは、メモリーの温度超過状態が検出されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0146

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく

く取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。

2. 室温が仕様内であることを確認します。
3. ファンに障害がある場合は、ファンの障害に対する処置を実行します。
4. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f0a0c-2005xxxx An Over-Temperature Condition
has been detected on the
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 5)

説明: このメッセージは、メモリーの温度超過状態が検出されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0146

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 室温が仕様内であることを確認します。
3. ファンに障害がある場合は、ファンの障害に対する処置を実行します。
4. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f0a0c-2006xxxx An Over-Temperature Condition
has been detected on the
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 6)

説明: このメッセージは、メモリーの温度超過状態が検出されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0146

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 室温が仕様内であることを確認します。
3. ファンに障害がある場合は、ファンの障害に対する処置を実行します。
4. DIMM n を交換します。(n = DIMM 番号)

806f0a0c-2007xxxx An Over-Temperature Condition has been detected on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 7)

説明: このメッセージは、メモリーの温度超過状態が検出されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0146

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 室温が仕様内であることを確認します。
3. ファンに障害がある場合は、ファンの障害に対する処置を実行します。
4. DIMM n を交換します。(n = DIMM 番号)

806f0a0c-2008xxxx An Over-Temperature Condition has been detected on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 8)

説明: このメッセージは、メモリーの温度超過状態が検

出されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0146

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 室温が仕様内であることを確認します。
3. ファンに障害がある場合は、ファンの障害に対する処置を実行します。
4. DIMM n を交換します。(n = DIMM 番号)

806f0a13-0301xxxx A Fatal Bus Error has occurred on system [ComputerSystemElementName]. (CPU 1 PECT)

説明: このメッセージは、実装環境でバスの致命的エラーが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0244

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. マイクロプロセッサを取り付け直し、サーバーを再始動します。
2. マイクロプロセッサ n を交換します。(n = マイクロプロセッサ番号)

806f0a13-0302xxxx A Fatal Bus Error has occurred on system [ComputerSystemElementName]. (CPU 2 PECT)

説明: このメッセージは、実装環境でバスの致命的エラーが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0244

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. マイクロプロセッサを取り付け直し、サーバーを再始動します。
2. マイクロプロセッサ n を交換します。(n = マイクロプロセッサ番号)

81010002-0701xxxx Numeric sensor

[NumericSensorElementName] going low
(lower non-critical) has deasserted.
(CMOS Battery)

説明: このメッセージは、下限非クリティカル・センサーの下降が表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - 電圧

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0477

SNMP トラップ ID: 13

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010202-0701xxxx Numeric sensor

[NumericSensorElementName] going low
(lower critical) has deasserted. (CMOS
Battery)

説明: このメッセージは、下限クリティカル・センサーの下降が表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 電圧

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0481

SNMP トラップ ID: 1

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみで

す。 SysBrd 12V : SysBrd 3.3V : SysBrd 5V :

81010701-0701xxxx Numeric sensor

[NumericSensorElementName] going high
(upper non-critical) has deasserted.
(Ambient Temp)

説明: このメッセージは、上限非クリティカル・センサーの上昇が表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0491

SNMP トラップ ID: 12

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010701-0702xxxx Numeric sensor

[NumericSensorElementName] going high
(upper non-critical) has deasserted.
(DIMM AB Temp)

説明: このメッセージは、上限非クリティカル・センサーの上昇が表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0491

SNMP トラップ ID: 12

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010701-0703xxxx Numeric sensor

[NumericSensorElementName] going high
(upper non-critical) has deasserted.
(CPU1 VR Temp VCO)

説明: このメッセージは、上限非クリティカル・センサーの上昇が表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0491

SNMP トラップ ID: 12

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010701-0704xxxx Numeric sensor

[NumericSensorElementName] going high
(upper non-critical) has deasserted. (HDD
Inlet Temp)

説明: このメッセージは、上限非クリティカル・センサーの上昇が表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0491

SNMP トラップ ID: 12

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010701-1001xxxx Numeric sensor

[NumericSensorElementName] going high
(upper non-critical) has deasserted. (PCI
Riser 1 Temp)

説明: このメッセージは、上限非クリティカル・センサーの上昇が表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0491

SNMP トラップ ID: 12

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010701-1002xxxx Numeric sensor

[NumericSensorElementName] going high
(upper non-critical) has deasserted. (PCI
Riser 2 Temp)

説明: このメッセージは、上限非クリティカル・センサーの上昇が表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0491

SNMP トラップ ID: 12

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010701-1501xxxx Numeric sensor

[NumericSensorElementName] going high
(upper non-critical) has deasserted. (PIB
Ambient Temp)

説明: このメッセージは、上限非クリティカル・センサーの上昇が表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0491

SNMP トラップ ID: 12

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010701-1502xxxx Numeric sensor

[NumericSensorElementName] going high
(upper non-critical) has deasserted. (GPU
Outlet Temp)

説明: このメッセージは、上限非クリティカル・センサーの上昇が表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0491

SNMP トラップ ID: 12

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010701-1a01xxxx Numeric sensor

[NumericSensorElementName] going high
(upper non-critical) has deasserted. (HDD
Outlet Temp)

説明: このメッセージは、上限非クリティカル・センサーの上昇が表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0491

SNMP トラップ ID: 12

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010701-2c01xxxx Numeric sensor

[NumericSensorElementName] going high
(upper non-critical) has deasserted. (Mezz
Card Temp)

説明: このメッセージは、上限非クリティカル・センサーの上昇が表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0491

SNMP トラップ ID: 12

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010701-2d01xxxx Numeric sensor

[NumericSensorElementName] going high
(upper non-critical) has deasserted. (PCH
Temp)

説明: このメッセージは、上限非クリティカル・センサーの上昇が表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0491

SNMP トラップ ID: 12

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010901-0701xxxx Numeric sensor

[NumericSensorElementName] going high
(upper critical) has deasserted. (Ambient
Temp)

説明: このメッセージは、上限クリティカル・センサーの上昇が表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0495

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010901-0702xxxx Numeric sensor

[NumericSensorElementName] going high
(upper critical) has deasserted. (DIMM
AB Temp)

説明: このメッセージは、上限クリティカル・センサーの上昇が表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0495

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010901-0703xxxx Numeric sensor

**[NumericSensorElementName] going high
(upper critical) has deasserted. (CPU1
VR Temp VCO)**

説明: このメッセージは、上限クリティカル・センサーの上昇が表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0495

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010901-0704xxxx Numeric sensor

**[NumericSensorElementName] going high
(upper critical) has deasserted. (HDD
Inlet Temp)**

説明: このメッセージは、上限クリティカル・センサーの上昇が表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0495

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010901-1001xxxx Numeric sensor

**[NumericSensorElementName] going high
(upper critical) has deasserted. (PCI
Riser 1 Temp)**

説明: このメッセージは、上限クリティカル・センサーの上昇が表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0495

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010901-1002xxxx Numeric sensor

**[NumericSensorElementName] going high
(upper critical) has deasserted. (PCI
Riser 2 Temp)**

説明: このメッセージは、上限クリティカル・センサーの上昇が表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0495

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010901-1501xxxx Numeric sensor

**[NumericSensorElementName] going high
(upper critical) has deasserted. (PIB
Ambient Temp)**

説明: このメッセージは、上限クリティカル・センサーの上昇が表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0495

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010901-1502xxxx Numeric sensor

**[NumericSensorElementName] going high
(upper critical) has deasserted. (GPU
Outlet Temp)**

説明: このメッセージは、上限クリティカル・センサーの上昇が表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0495

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010901-1a01xxxx Numeric sensor

[NumericSensorElementName] going high (upper critical) has deasserted. (HDD Outlet Temp)

説明: このメッセージは、上限クリティカル・センサーの上昇が表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0495

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010901-2c01xxxx Numeric sensor

[NumericSensorElementName] going high (upper critical) has deasserted. (Mezz Card Temp)

説明: このメッセージは、上限クリティカル・センサーの上昇が表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0495

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010901-2d01xxxx Numeric sensor

[NumericSensorElementName] going high (upper critical) has deasserted. (PCH Temp)

説明: このメッセージは、上限クリティカル・センサーの上昇が表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0495

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010902-0701xxxx Numeric sensor

[NumericSensorElementName] going high (upper critical) has deasserted. (SysBrd 12V)

説明: このメッセージは、上限クリティカル・センサーの上昇が表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 電圧

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0495

SNMP トラップ ID: 1

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。 SysBrd 3.3V : SysBrd 5V :

81010b01-0701xxxx Numeric sensor

[NumericSensorElementName] going high (upper non-recoverable) has deasserted. (Ambient Temp)

説明: このメッセージは、上限リカバリー不能センサーの上昇が表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0499

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010b01-0702xxxx Numeric sensor

[NumericSensorElementName] going high
(upper non-recoverable) has deasserted.
(DIMM AB Temp)

説明: このメッセージは、上限リカバリー不能センサーの上昇が表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0499

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010b01-0703xxxx Numeric sensor

[NumericSensorElementName] going high
(upper non-recoverable) has deasserted.
(CPU1 VR Temp VCO)

説明: このメッセージは、上限リカバリー不能センサーの上昇が表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0499

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010b01-0704xxxx Numeric sensor

[NumericSensorElementName] going high
(upper non-recoverable) has deasserted.
(HDD Inlet Temp)

説明: このメッセージは、上限リカバリー不能センサーの上昇が表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0499

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010b01-1001xxxx Numeric sensor

[NumericSensorElementName] going high
(upper non-recoverable) has deasserted.
(PCI Riser 1 Temp)

説明: このメッセージは、上限リカバリー不能センサーの上昇が表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0499

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010b01-1002xxxx Numeric sensor

[NumericSensorElementName] going high
(upper non-recoverable) has deasserted.
(PCI Riser 2 Temp)

説明: このメッセージは、上限リカバリー不能センサーの上昇が表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0499

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010b01-1501xxxx Numeric sensor

[NumericSensorElementName] going high
(upper non-recoverable) has deasserted.
(PIB Ambient Temp)

説明: このメッセージは、上限リカバリー不能センサーの上昇が表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0499

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010b01-1502xxxx Numeric sensor

[NumericSensorElementName] going high
(upper non-recoverable) has deasserted.
(GPU Outlet Temp)

説明: このメッセージは、上限リカバリー不能センサーの上昇が表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0499

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010b01-1a01xxxx Numeric sensor

[NumericSensorElementName] going high
(upper non-recoverable) has deasserted.
(HDD Outlet Temp)

説明: このメッセージは、上限リカバリー不能センサーの上昇が表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0499

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010b01-2c01xxxx Numeric sensor

[NumericSensorElementName] going high
(upper non-recoverable) has deasserted.
(Mezz Card Temp)

説明: このメッセージは、上限リカバリー不能センサーの上昇が表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0499

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010b01-2d01xxxx Numeric sensor

[NumericSensorElementName] going high
(upper non-recoverable) has deasserted.
(PCH Temp)

説明: このメッセージは、上限リカバリー不能センサーの上昇が表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0499

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81030006-2101xxxx Sensor [SensorElementName] has asserted. (Sig Verify Fail)

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーによる表明が検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0508

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81030012-2301xxxx Sensor [SensorElementName] has asserted. (OS RealTime Mod)

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーによる表明が検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0508

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

8107010f-2201xxxx Sensor [SensorElementName] has deasserted the transition from normal to non-critical state. (GPT Status)

説明: このメッセージは、センサーが正常な状態から非クリティカルな状態への変化を表明解除したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0521

SNMP トラップ ID: 60

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

8107010f-2582xxxx Sensor [SensorElementName] has deasserted the transition from normal to non-critical state. (I/O Resources)

説明: このメッセージは、センサーが正常な状態から非クリティカルな状態への変化を表明解除したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0521

SNMP トラップ ID: 60

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81070128-2e01xxxx Sensor [SensorElementName] has deasserted the transition from normal to non-critical state. (ME Recovery)

説明: このメッセージは、センサーが正常な状態から非クリティカルな状態への変化を表明解除したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0521

SNMP トラップ ID: 60

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81070201-0301xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to a less severe state from critical. (CPU 1 OverTemp)

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に変化したことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0523

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81070201-0302xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to a less severe state from critical. (CPU 2 OverTemp)

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーがクリテ

ィカルな状態から重大度の低い状態に変化したことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0523

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81070201-1101xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to a less severe state from critical. (PCI 1 Temp)

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に変化したことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0523

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81070201-1102xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to a less severe state from critical. (PCI 2 Temp)

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に変化したことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0523

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81070201-1103xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to a less severe state from critical. (PCI 3 Temp)

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に変化したことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0523

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81070201-1104xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to a less severe state from critical. (PCI 4 Temp)

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に変化したことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0523

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81070202-0701xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to a less severe state from critical. (SysBrd Vol Fault)

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に変化したことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - 電圧

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0523

SNMP トラップ ID: 1

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81070202-1501xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to a less severe state from critical. (PIB Fault)

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に変化したことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - 電圧

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0523

SNMP トラップ ID: 1

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81070202-1502xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to a less severe state from critical. (PDB Fault)

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に変化したことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - 電圧

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0523

SNMP トラップ ID: 1

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

8107020f-2201xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to a less severe state from critical. (TXT ACM Module)

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に変化したことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0523

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

8107020f-2582xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to a less severe state from critical. (I/O Resources)

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に変化したことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0523

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81070214-2201xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to a less severe state from critical. (TPM Lock)

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に変化したことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0523

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81070219-0701xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to a less severe state from critical. (SysBrd Fault)

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に変化したことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0523

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

8107021b-0301xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to a less severe state from critical. (CPU 1 QPILinkErr)

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に変化したことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0523

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

8107021b-0302xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to a less severe state from critical. (CPU 2 QPILinkErr)

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に変化したことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0523

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81070228-2e01xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to a less severe state from critical. (IPMB IO Error)

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に変化したことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0523

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。 ME エラー、ME フラッシュ・エラー。

81070301-0301xxxx Sensor [SensorElementName] has deasserted the transition to non-recoverable from a less severe state. (CPU 1 OverTemp)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からリカバリー不能状態に変化したことが表明解除されたことを実装環境が検出した場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0525

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81070301-0302xxxx Sensor [SensorElementName] has deasserted the transition to non-recoverable from a less severe state. (CPU 2 OverTemp)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からリカバリー不能状態に変化したことが表明解除されたことを実装環境が検出した場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0525

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81070301-1101xxxx Sensor [SensorElementName] has deasserted the transition to non-recoverable from a less severe state. (PCI 1 Temp)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からリカバリー不能状態に変化したことが表明解除されたことを実装環境が検出した場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0525

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81070301-1102xxxx Sensor [SensorElementName] has deasserted the transition to non-recoverable from a less severe state. (PCI 2 Temp)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からリカバリー不能状態に変化したことが表明解除されたことを実装環境が検出した場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0525

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81070301-1103xxxx Sensor [SensorElementName] has deasserted the transition to non-recoverable from a less severe state. (PCI 3 Temp)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からリカバリー不能状態に変化したことが表明解除されたことを実装環境が検出した場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0525

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81070301-1104xxxx Sensor [SensorElementName] has deasserted the transition to non-recoverable from a less severe state. (PCI 4 Temp)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からリカバリー不能状態に変化したことが表明解除されたことを実装環境が検出した場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0525

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

810b010c-2581xxxx Redundancy Lost for [RedundancySetElementName] has deasserted. (Backup Memory)

説明: このメッセージは、冗長性が失われたことが表明解除された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0803

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

810b030c-2581xxxx Non-redundant:Sufficient Resources from Redundancy Degraded or Fully Redundant for [RedundancySetElementName] has deasserted. (Backup Memory)

説明: このメッセージは、Redundancy Set が「非冗長: 十分なりソース」状態から変化した場合に使用されません。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: 警告 - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0807

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**810b050c-2581xxxx Non-redundant:Insufficient
Resources for
[RedundancySetElementName] has
deasserted. (Backup Memory)**

説明: このメッセージは、Redundancy Set が「非冗長: 不十分なリソース」状態から変化した場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0811

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**816f0007-0301xxxx [ProcessorElementName] has
Recovered from IERR. (CPU 1)**

説明: このメッセージは、「プロセッサのリカバリー済み - IERR 状態」が発生したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - CPU

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0043

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**816f0007-0302xxxx [ProcessorElementName] has
Recovered from IERR. (CPU 2)**

説明: このメッセージは、「プロセッサのリカバリー済み - IERR 状態」が発生したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - CPU

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0043

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**816f0009-1301xxxx [PowerSupplyElementName] has
been turned on. (Host Power)**

説明: このメッセージは、使用可能にされた電源装置が実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - 電源オン

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0107

SNMP トラップ ID: 24

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**816f000d-0401xxxx The Drive
[StorageVolumeElementName] has been
removed from unit
[PhysicalPackageElementName].
(Computer HDD0)**

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが除去されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0163

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ハード・ディスク n を取り付け直します。(n = ハード・ディスク番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。
2. ハード・ディスクを交換します。
3. ディスクのファームウェアおよび RAID コントローラーのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。
4. SAS ケーブルをチェックします。

816f000d-0402xxxx The Drive

[StorageVolumeElementName] has been removed from unit
[PhysicalPackageElementName].
(Computer HDD1)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが除去されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0163

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ハード・ディスク n を取り付け直します。(n = ハード・ディスク番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。
2. ハード・ディスクを交換します。
3. ディスクのファームウェアおよび RAID コントローラーのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。
4. SAS ケーブルをチェックします。

816f000d-0403xxxx The Drive

[StorageVolumeElementName] has been removed from unit
[PhysicalPackageElementName].
(Computer HDD2)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが除去されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0163

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ハード・ディスク n を取り付け直します。(n = ハード・ディスク番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。
2. ハード・ディスクを交換します。
3. ディスクのファームウェアおよび RAID コントローラーのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。
4. SAS ケーブルをチェックします。

816f000d-0404xxxx The Drive

[StorageVolumeElementName] has been removed from unit
[PhysicalPackageElementName].
(Computer HDD3)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが除去されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0163

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ハード・ディスク n を取り付け直します。(n = ハード・ディスク番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。
2. ハード・ディスクを交換します。
3. ディスクのファームウェアおよび RAID コントローラーのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。
4. SAS ケーブルをチェックします。

816f000d-0405xxxx The Drive

[StorageVolumeElementName] has been removed from unit
[PhysicalPackageElementName]. (1U Storage HDD0)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが除去されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0163

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ハード・ディスク n を取り付け直します。(n = ハード・ディスク番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。
2. ハード・ディスクを交換します。
3. ディスクのファームウェアおよび RAID コントローラーのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。
4. SAS ケーブルをチェックします。

816f000d-0406xxxx The Drive

[StorageVolumeElementName] has been removed from unit
[PhysicalPackageElementName]. (1U Storage HDD1)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが除去されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0163

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ハード・ディスク n を取り付け直します。(n = ハード・ディスク番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。
2. ハード・ディスクを交換します。
3. ディスクのファームウェアおよび RAID コントローラーのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。
4. SAS ケーブルをチェックします。

816f000d-0407xxxx The Drive

[StorageVolumeElementName] has been removed from unit
[PhysicalPackageElementName]. (1U Storage HDD2)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが除去されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0163

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ハード・ディスク n を取り付け直します。(n = ハード・ディスク番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。
2. ハード・ディスクを交換します。
3. ディスクのファームウェアおよび RAID コントローラーのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。
4. SAS ケーブルをチェックします。

816f000d-0408xxxx The Drive

[StorageVolumeElementName] has been removed from unit
[PhysicalPackageElementName]. (1U Storage HDD3)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが除去されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0163

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ハード・ディスク n を取り付け直します。(n = ハード・ディスク番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。
2. ハード・ディスクを交換します。

3. ディスクのファームウェアおよび RAID コントローラーのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。
4. SAS ケーブルをチェックします。

816f000d-0409xxxx The Drive

[StorageVolumeElementName] has been removed from unit [PhysicalPackageElementName]. (1U Storage HDD4)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが除去されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0163

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ハード・ディスク n を取り付け直します。(n = ハード・ディスク番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。
2. ハード・ディスクを交換します。
3. ディスクのファームウェアおよび RAID コントローラーのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。
4. SAS ケーブルをチェックします。

816f000d-040axxxx The Drive

[StorageVolumeElementName] has been removed from unit [PhysicalPackageElementName]. (1U Storage HDD5)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが除去されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0163

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ハード・ディスク n を取り付け直します。(n = ハード・ディスク番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。
2. ハード・ディスクを交換します。
3. ディスクのファームウェアおよび RAID コントローラーのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。
4. SAS ケーブルをチェックします。

816f000d-040bxxxx The Drive

[StorageVolumeElementName] has been removed from unit [PhysicalPackageElementName]. (1U Storage HDD6)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが除去されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0163

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ハード・ディスク n を取り付け直します。(n = ハード・ディスク番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。
2. ハード・ディスクを交換します。
3. ディスクのファームウェアおよび RAID コントローラーのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。
4. SAS ケーブルをチェックします。

816f000d-040cxxxx The Drive

[StorageVolumeElementName] has been removed from unit [PhysicalPackageElementName]. (1U Storage HDD7)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが除去されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0163

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ハード・ディスク n を取り付け直します。(n = ハード・ディスク番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。
2. ハード・ディスクを交換します。
3. ディスクのファームウェアおよび RAID コントローラーのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。
4. SAS ケーブルをチェックします。

816f000f-2201ffff The System

[ComputerSystemElementName] has detected a POST Error deassertion. (ABR Status)

説明: このメッセージは、実装環境で POST エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0185

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。ファームウェア・エラー: システム・ブート状況:

816f0013-1701xxxx System

[ComputerSystemElementName] has recovered from a diagnostic interrupt. (NMI State)

説明: このメッセージは、実装環境でフロント・パネル NMI/診断割り込みからのリカバリーが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0223

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0021-2201xxxx Fault condition removed on slot [PhysicalConnectorElementName] on system [ComputerSystemElementName]. (No Op ROM Space)

説明: このメッセージは、実装環境でスロットの障害状態が除去されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0331

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0021-2582xxxx Fault condition removed on slot [PhysicalConnectorElementName] on system [ComputerSystemElementName]. (All PCI Error)

説明: このメッセージは、実装環境でスロットの障害状態が除去されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0331

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。1 つの PCI エラー。

816f0021-2c01xxxx Fault condition removed on slot [PhysicalConnectorElementName] on system [ComputerSystemElementName]. (Mezz Error)

説明: このメッセージは、実装環境でスロットの障害状態が除去されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0331

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0021-3001xxxx Fault condition removed on slot
[PhysicalConnectorElementName] on
system [ComputerSystemElementName].
(PCI 1)

説明: このメッセージは、実装環境でスロットの障害状態が除去されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0331

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0021-3002xxxx Fault condition removed on slot
[PhysicalConnectorElementName] on
system [ComputerSystemElementName].
(PCI 2)

説明: このメッセージは、実装環境でスロットの障害状態が除去されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0331

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0021-3003xxxx Fault condition removed on slot
[PhysicalConnectorElementName] on
system [ComputerSystemElementName].
(PCI 3)

説明: このメッセージは、実装環境でスロットの障害状態が除去されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0331

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0021-3004xxxx Fault condition removed on slot
[PhysicalConnectorElementName] on
system [ComputerSystemElementName].
(PCI 4)

説明: このメッセージは、実装環境でスロットの障害状態が除去されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0331

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0028-2101xxxx Sensor [SensorElementName] has
returned to normal on management
system [ComputerSystemElementName].
(TPM Cmd Failures)

説明: このメッセージは、センサーが機能低下/使用不可/障害から戻ったことが実装環境で検出された場合に表示されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: 警告 - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0399

SNMP トラップ ID: 60

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0107-0301xxxx An Over-Temperature Condition
has been removed on
[ProcessorElementName]. (CPU 1)

説明: このメッセージは、プロセッサの温度超過状態が除去されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0037

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**816f0107-0302xxxx An Over-Temperature Condition
has been removed on
[ProcessorElementName]. (CPU 2)**

説明: このメッセージは、プロセッサの温度超過状態が除去されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0037

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**816f010c-2001xxxx Uncorrectable error recovery
detected for
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 1)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0139

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**816f010c-2002xxxx Uncorrectable error recovery
detected for
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 2)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0139

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**816f010c-2003xxxx Uncorrectable error recovery
detected for
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 3)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0139

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**816f010c-2004xxxx Uncorrectable error recovery
detected for
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 4)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0139

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**816f010c-2005xxxx Uncorrectable error recovery
detected for
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 5)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0139

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**816f010c-2006xxxx Uncorrectable error recovery
detected for
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 6)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0139

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**816f010c-2007xxxx Uncorrectable error recovery
detected for
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 7)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0139

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**816f010c-2008xxxx Uncorrectable error recovery
detected for
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 8)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0139

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**816f010c-2581xxxx Uncorrectable error recovery
detected for
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName]. (All
DIMMS)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

816f010d-0401xxxx • 816f010d-0405xxxx

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0139

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。 1 つの DIMM。

816f010d-0401xxxx The Drive

[StorageVolumeElementName] has been enabled. (Computer HDD0)

説明: このメッセージは、ドライブが使用可能になったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0167

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010d-0402xxxx The Drive

[StorageVolumeElementName] has been enabled. (Computer HDD1)

説明: このメッセージは、ドライブが使用可能になったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0167

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010d-0403xxxx The Drive

[StorageVolumeElementName] has been enabled. (Computer HDD2)

説明: このメッセージは、ドライブが使用可能になった

ことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0167

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010d-0404xxxx The Drive

[StorageVolumeElementName] has been enabled. (Computer HDD3)

説明: このメッセージは、ドライブが使用可能になったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0167

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010d-0405xxxx The Drive

[StorageVolumeElementName] has been enabled. (1U Storage HDD0)

説明: このメッセージは、ドライブが使用可能になったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0167

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010d-0406xxxx The Drive**[StorageVolumeElementName] has been enabled. (1U Storage HDD1)**

説明: このメッセージは、ドライブが使用可能になったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0167

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010d-0407xxxx The Drive**[StorageVolumeElementName] has been enabled. (1U Storage HDD2)**

説明: このメッセージは、ドライブが使用可能になったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0167

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010d-0408xxxx The Drive**[StorageVolumeElementName] has been enabled. (1U Storage HDD3)**

説明: このメッセージは、ドライブが使用可能になったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0167

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010d-0409xxxx The Drive**[StorageVolumeElementName] has been enabled. (1U Storage HDD4)**

説明: このメッセージは、ドライブが使用可能になったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0167

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010d-040axxxx The Drive**[StorageVolumeElementName] has been enabled. (1U Storage HDD5)**

説明: このメッセージは、ドライブが使用可能になったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0167

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010d-040bxxxx The Drive**[StorageVolumeElementName] has been enabled. (1U Storage HDD6)**

説明: このメッセージは、ドライブが使用可能になったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0167

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010d-040cxxxx The Drive

[StorageVolumeElementName] has been enabled. (1U Storage HDD7)

説明: このメッセージは、ドライブが使用可能になったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0167

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010f-2201xxxx The System

[ComputerSystemElementName] has recovered from a firmware hang. (Firmware Error)

説明: このメッセージは、実装環境でシステム・ファームウェアがハングした状態からリカバリーされた場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0187

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0113-0301xxxx System

[ComputerSystemElementName] has recovered from a bus timeout. (CPU 1 PECI)

説明: このメッセージは、システムがバス・タイムアウトからリカバリーされたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0225

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ n を交換します (『マイクロプロセッサとヒートシンクの取り外し』および『マイクロプロセッサとヒートシンクの再取り付け』を参照)。
2. 問題が解決せず、同じエラーを示す別の CPU がいない場合は、システム・ボードを交換します。
3. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します (『システム・ボードの取り外し』および『システム・ボードの取り付け』を参照)。(n = マイクロプロセッサ番号)

816f0113-0302xxxx System

[ComputerSystemElementName] has recovered from a bus timeout. (CPU 2 PECI)

説明: このメッセージは、システムがバス・タイムアウトからリカバリーされたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0225

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ n を交換します (『マイクロプロセッサとヒートシンクの取り外し』および『マイクロプロセッサとヒートシンクの再取り付け』を参照)。
2. 問題が解決せず、同じエラーを示す別の CPU がいない場合は、システム・ボードを交換します。
3. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します (『システム・ボードの取り外し』および『システム・ボードの取り付け』を参照)。(n = マイクロプロセッサ番号)

816f0125-1001xxxx [ManagedElementName] detected as present. (PCI Riser 1)

説明: このメッセージは、管理されたエレメントが現在はあることを実装環境が検出した場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0390

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0125-1002xxxx [ManagedElementName] detected as present. (PCI Riser 2)

説明: このメッセージは、管理されたエレメントが現在はあることを実装環境が検出した場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0390

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0125-1f01xxxx [ManagedElementName] detected as present. (PDB Cable)

説明: このメッセージは、管理されたエレメントが現在はあることを実装環境が検出した場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0390

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0125-2c01xxxx [ManagedElementName] detected as present. (Mezz Card)

説明: このメッセージは、管理されたエレメントが現在はあることを実装環境が検出した場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0390

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0207-0301xxxx [ProcessorElementName] has Recovered from FRB1/BIST condition. (CPU 1)

説明: このメッセージは、「プロセッサのリカバリー済み - FRB1/BIST 状態」が発生したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - CPU

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0045

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0207-0302xxxx [ProcessorElementName] has Recovered from FRB1/BIST condition. (CPU 2)

説明: このメッセージは、「プロセッサのリカバリー済み - FRB1/BIST 状態」が発生したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - CPU

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0045

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0207-2584xxxx [ProcessorElementName] has Recovered from FRB1/BIST condition. (All CPUs)

説明: このメッセージは、「プロセッサのリカバリー済み - FRB1/BIST 状態」が発生したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - CPU

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0045

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。 1 つの CPU。

816f020d-0401xxxx Failure no longer Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName]. (Computer HDD0)

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されなくなったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - 障害予知

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0169

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f020d-0402xxxx Failure no longer Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName]. (Computer HDD1)

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されなくなったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - 障害予知

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0169

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f020d-0403xxxx Failure no longer Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName]. (Computer HDD2)

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されなくなったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - 障害予知

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0169

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f020d-0404xxxx Failure no longer Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName]. (Computer HDD3)

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されなくなったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - 障害予知

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0169

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f020d-0405xxxx Failure no longer Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName]. (1U Storage HDD0)

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されなくなったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - 障害予知

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0169

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f020d-0406xxxx Failure no longer Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName]. (1U Storage HDD1)

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されなくなったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - 障害予知

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0169

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f020d-0407xxxx Failure no longer Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName]. (1U Storage HDD2)

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されなくなったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - 障害予知

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0169

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f020d-0408xxxx Failure no longer Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName]. (1U Storage HDD3)

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されなくなったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - 障害予知

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0169

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f020d-0409xxxx Failure no longer Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName]. (1U Storage HDD4)

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されなくなったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - 障害予知

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0169

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f020d-040axxxx Failure no longer Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName]. (1U Storage HDD5)

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されなくなったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - 障害予知

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0169

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f020d-040bxxxx **Failure no longer Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName]. (1U Storage HDD6)**

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されなくなったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - 障害予知

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0169

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f020d-040cxxxx **Failure no longer Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName]. (1U Storage HDD7)**

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されなくなったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - 障害予知

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0169

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030c-2001xxxx **Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has recovered. (DIMM 1)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー消し込み障害リカバリーが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0137

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030c-2002xxxx **Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has recovered. (DIMM 2)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー消し込み障害リカバリーが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0137

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030c-2003xxxx **Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has recovered. (DIMM 3)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー消し込み障害リカバリーが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0137

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030c-2004xxxx **Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has recovered. (DIMM 4)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー消し込み障害リカバリーが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0137

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030c-2005xxxx Scrub Failure for
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName]has
recovered. (DIMM 5)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー消し込み障害リカバリーが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0137

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030c-2006xxxx Scrub Failure for
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName]has
recovered. (DIMM 6)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー消し込み障害リカバリーが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0137

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030c-2007xxxx Scrub Failure for
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName]has
recovered. (DIMM 7)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー消し込み障害リカバリーが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0137

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030c-2008xxxx Scrub Failure for
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName]has
recovered. (DIMM 8)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー消し込み障害リカバリーが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0137

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0313-1701xxxx System
[ComputerSystemElementName] has
recovered from an NMI. (NMI State)

説明: このメッセージは、ソフトウェア NMI から回復したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0230

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f040c-2001xxxx [PhysicalMemoryElementName]
Enabled on Subsystem
[MemoryElementName]. (DIMM 1)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

816f040c-2002xxxx • 816f040c-2007xxxx

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0130

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f040c-2002xxxx [PhysicalMemoryElementName]
Enabled on Subsystem
[MemoryElementName]. (DIMM 2)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0130

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f040c-2003xxxx [PhysicalMemoryElementName]
Enabled on Subsystem
[MemoryElementName]. (DIMM 3)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0130

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f040c-2004xxxx [PhysicalMemoryElementName]
Enabled on Subsystem
[MemoryElementName]. (DIMM 4)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0130

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f040c-2005xxxx [PhysicalMemoryElementName]
Enabled on Subsystem
[MemoryElementName]. (DIMM 5)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0130

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f040c-2006xxxx [PhysicalMemoryElementName]
Enabled on Subsystem
[MemoryElementName]. (DIMM 6)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0130

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f040c-2007xxxx [PhysicalMemoryElementName]
Enabled on Subsystem
[MemoryElementName]. (DIMM 7)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0130

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**816f040c-2008xxxx [PhysicalMemoryElementName]
Enabled on Subsystem
[MemoryElementName]. (DIMM 8)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0130

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**816f040c-2581xxxx [PhysicalMemoryElementName]
Enabled on Subsystem
[MemoryElementName]. (All DIMMS)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0130

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。 1 つの DIMM。

**816f0413-2582xxxx A PCI PERR recovery has
occurred on system
[ComputerSystemElementName]. (PCIs)**

説明: このメッセージは、実装環境で PCI PERR がリカバリーされたことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0233

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**816f0507-0301xxxx [ProcessorElementName] has
Recovered from a Configuration
Mismatch. (CPU 1)**

説明: このメッセージは、実装環境でプロセッサ構成のミスマッチがリカバリーされたこと検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - CPU

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0063

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**816f0507-0302xxxx [ProcessorElementName] has
Recovered from a Configuration
Mismatch. (CPU 2)**

説明: このメッセージは、実装環境でプロセッサ構成のミスマッチがリカバリーされたこと検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - CPU

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0063

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**816f0507-2584xxxx [ProcessorElementName] has
Recovered from a Configuration
Mismatch. (All CPUs)**

説明: このメッセージは、実装環境でプロセッサ構成

のミスマッチがリカバリーされたこと検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - CPU

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0063

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。 1 つの CPU。

**816f050c-2001xxxx Memory Logging Limit Removed
for [PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 1)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: 警告 - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0145

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**816f050c-2002xxxx Memory Logging Limit Removed
for [PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 2)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: 警告 - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0145

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**816f050c-2003xxxx Memory Logging Limit Removed
for [PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 3)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: 警告 - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0145

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**816f050c-2004xxxx Memory Logging Limit Removed
for [PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 4)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: 警告 - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0145

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**816f050c-2005xxxx Memory Logging Limit Removed
for [PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 5)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: 警告 - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0145

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050c-2006xxxx Memory Logging Limit Removed for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 6)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: 警告 - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0145

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050c-2007xxxx Memory Logging Limit Removed for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 7)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: 警告 - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0145

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050c-2008xxxx Memory Logging Limit Removed for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 8)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: 警告 - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0145

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050c-2581xxxx Memory Logging Limit Removed for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (All DIMMS)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: 警告 - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0145

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。1 つの DIMM。

816f050d-0401xxxx Critical Array [ComputerSystemElementName] has deasserted. (Computer HDD0)

説明: このメッセージは、クリティカル・アレイが表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0175

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050d-0402xxxx Critical Array

**[ComputerSystemElementName] has
deasserted. (Computer HDD1)**

説明: このメッセージは、クリティカル・アレイが表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0175

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050d-0403xxxx Critical Array

**[ComputerSystemElementName] has
deasserted. (Computer HDD2)**

説明: このメッセージは、クリティカル・アレイが表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0175

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050d-0404xxxx Critical Array

**[ComputerSystemElementName] has
deasserted. (Computer HDD3)**

説明: このメッセージは、クリティカル・アレイが表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0175

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050d-0405xxxx Critical Array

**[ComputerSystemElementName] has
deasserted. (1U Storage HDD0)**

説明: このメッセージは、クリティカル・アレイが表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0175

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050d-0406xxxx Critical Array

**[ComputerSystemElementName] has
deasserted. (1U Storage HDD1)**

説明: このメッセージは、クリティカル・アレイが表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0175

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050d-0407xxxx Critical Array

**[ComputerSystemElementName] has
deasserted. (1U Storage HDD2)**

説明: このメッセージは、クリティカル・アレイが表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0175

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050d-0408xxxx Critical Array

[ComputerSystemElementName] has deasserted. (1U Storage HDD3)

説明: このメッセージは、クリティカル・アレイが表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0175

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050d-0409xxxx Critical Array

[ComputerSystemElementName] has deasserted. (1U Storage HDD4)

説明: このメッセージは、クリティカル・アレイが表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0175

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050d-040axxxx Critical Array

[ComputerSystemElementName] has deasserted. (1U Storage HDD5)

説明: このメッセージは、クリティカル・アレイが表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0175

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050d-040bxxxx Critical Array

[ComputerSystemElementName] has deasserted. (1U Storage HDD6)

説明: このメッセージは、クリティカル・アレイが表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0175

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050d-040cxxxx Critical Array

[ComputerSystemElementName] has deasserted. (1U Storage HDD7)

説明: このメッセージは、クリティカル・アレイが表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0175

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0607-0301xxxx An SM BIOS Uncorrectable CPU complex error for [ProcessorElementName] has deasserted. (CPU 1)

説明: このメッセージは、SM BIOS 訂正不能 CPU 複合エラーが表明解除された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - CPU

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0817

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0607-0302xxxx An SM BIOS Uncorrectable CPU complex error for [ProcessorElementName] has deasserted. (CPU 2)

説明: このメッセージは、SM BIOS 訂正不能 CPU 複合エラーが表明解除された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - CPU

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0817

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0607-2584xxxx An SM BIOS Uncorrectable CPU complex error for [ProcessorElementName] has deasserted. (All CPUs)

説明: このメッセージは、SM BIOS 訂正不能 CPU 複合エラーが表明解除された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - CPU

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0817

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。1 つの CPU。

816f060d-0401xxxx Array in system [ComputerSystemElementName] has been restored. (Computer HDD0)

説明: このメッセージは、障害が起きたアレイがリストアされたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0177

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f060d-0402xxxx Array in system [ComputerSystemElementName] has been restored. (Computer HDD1)

説明: このメッセージは、障害が起きたアレイがリストアされたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0177

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f060d-0403xxxx Array in system**[ComputerSystemElementName] has been restored. (Computer HDD2)**

説明: このメッセージは、障害が起きたアレイがリストアされたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0177

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f060d-0404xxxx Array in system**[ComputerSystemElementName] has been restored. (Computer HDD3)**

説明: このメッセージは、障害が起きたアレイがリストアされたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0177

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f060d-0405xxxx Array in system**[ComputerSystemElementName] has been restored. (1U Storage HDD0)**

説明: このメッセージは、障害が起きたアレイがリストアされたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0177

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f060d-0406xxxx Array in system**[ComputerSystemElementName] has been restored. (1U Storage HDD1)**

説明: このメッセージは、障害が起きたアレイがリストアされたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0177

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f060d-0407xxxx Array in system**[ComputerSystemElementName] has been restored. (1U Storage HDD2)**

説明: このメッセージは、障害が起きたアレイがリストアされたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0177

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f060d-0408xxxx Array in system**[ComputerSystemElementName] has been restored. (1U Storage HDD3)**

説明: このメッセージは、障害が起きたアレイがリストアされたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0177

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f060d-0409xxxx Array in system
[ComputerSystemElementName] has been restored. (1U Storage HDD4)

説明: このメッセージは、障害が起きたアレイがリストアされたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0177

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f060d-040axxxx Array in system
[ComputerSystemElementName] has been restored. (1U Storage HDD5)

説明: このメッセージは、障害が起きたアレイがリストアされたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0177

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f060d-040bxxxx Array in system
[ComputerSystemElementName] has been restored. (1U Storage HDD6)

説明: このメッセージは、障害が起きたアレイがリストアされたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0177

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f060d-040cxxxx Array in system
[ComputerSystemElementName] has been restored. (1U Storage HDD7)

説明: このメッセージは、障害が起きたアレイがリストアされたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0177

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070c-2001xxxx Configuration error for
[PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] has deasserted. (DIMM 1)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0127

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070c-2002xxxx Configuration error for
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName]has
deasserted. (DIMM 2)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0127

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070c-2003xxxx Configuration error for
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName]has
deasserted. (DIMM 3)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0127

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070c-2004xxxx Configuration error for
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName]has
deasserted. (DIMM 4)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0127

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070c-2005xxxx Configuration error for
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName]has
deasserted. (DIMM 5)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0127

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070c-2006xxxx Configuration error for
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName]has
deasserted. (DIMM 6)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0127

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070c-2007xxxx Configuration error for
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName]has
deasserted. (DIMM 7)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0127

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070c-2008xxxx Configuration error for
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName]has
deasserted. (DIMM 8)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0127

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070c-2581xxxx Configuration error for
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName]has
deasserted. (All DIMMS)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0127

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。 1 つの DIMM。

816f070d-0401xxxx Rebuild completed for Array in
system [ComputerSystemElementName].
(Computer HDD0)

説明: このメッセージは、アレイの再作成が完了したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0179

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070d-0402xxxx Rebuild completed for Array in
system [ComputerSystemElementName].
(Computer HDD1)

説明: このメッセージは、アレイの再作成が完了したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0179

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070d-0403xxxx Rebuild completed for Array in
system [ComputerSystemElementName].
(Computer HDD2)

説明: このメッセージは、アレイの再作成が完了したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0179

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070d-0404xxxx Rebuild completed for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Computer HDD3)

説明: このメッセージは、アレイの再作成が完了したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0179

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070d-0405xxxx Rebuild completed for Array in system [ComputerSystemElementName]. (1U Storage HDD0)

説明: このメッセージは、アレイの再作成が完了したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0179

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070d-0406xxxx Rebuild completed for Array in system [ComputerSystemElementName]. (1U Storage HDD1)

説明: このメッセージは、アレイの再作成が完了したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0179

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070d-0407xxxx Rebuild completed for Array in system [ComputerSystemElementName]. (1U Storage HDD2)

説明: このメッセージは、アレイの再作成が完了したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0179

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070d-0408xxxx Rebuild completed for Array in system [ComputerSystemElementName]. (1U Storage HDD3)

説明: このメッセージは、アレイの再作成が完了したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0179

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070d-0409xxxx Rebuild completed for Array in system [ComputerSystemElementName]. (1U Storage HDD4)

説明: このメッセージは、アレイの再作成が完了したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0179

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070d-040axxxx Rebuild completed for Array in system [ComputerSystemElementName]. (1U Storage HDD5)

説明: このメッセージは、アレイの再作成が完了したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0179

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070d-040bxxxx Rebuild completed for Array in system [ComputerSystemElementName]. (1U Storage HDD6)

説明: このメッセージは、アレイの再作成が完了したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0179

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070d-040cxxxx Rebuild completed for Array in system [ComputerSystemElementName]. (1U Storage HDD7)

説明: このメッセージは、アレイの再作成が完了したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0179

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0807-0301xxxx [ProcessorElementName] has been Enabled. (CPU 1)

説明: このメッセージは、実装環境でプロセッサが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0060

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0807-0302xxxx [ProcessorElementName] has been Enabled. (CPU 2)

説明: このメッセージは、実装環境でプロセッサが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0060

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0807-2584xxxx [ProcessorElementName] has been Enabled. (All CPUs)

説明: このメッセージは、実装環境でプロセッサが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0060

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。 1 つの CPU。

816f0813-2581xxxx System

[ComputerSystemElementName]has recovered from an Uncorrectable Bus Error. (DIMMs)

説明: このメッセージは、システムがバスの訂正不能エラーからリカバリーされたことを実装環境が検出した場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0241

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0813-2582xxxx System

[ComputerSystemElementName]has recovered from an Uncorrectable Bus Error. (PCIs)

説明: このメッセージは、システムがバスの訂正不能エラーからリカバリーされたことを実装環境が検出した場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0241

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0813-2584xxxx System

[ComputerSystemElementName]has recovered from an Uncorrectable Bus Error. (CPUs)

説明: このメッセージは、システムがバスの訂正不能エラーからリカバリーされたことを実装環境が検出した場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0241

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f090c-2001xxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] is no longer Throttled. (DIMM 1)

説明: このメッセージは、メモリーのスロットルが発生しなくなったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0143

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f090c-2002xxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] is no longer Throttled. (DIMM 2)

説明: このメッセージは、メモリーのスロットルが発生しなくなったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0143

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f090c-2003xxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] is no longer Throttled. (DIMM 3)

説明: このメッセージは、メモリーのスロットルが発生しなくなったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0143

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f090c-2004xxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] is no longer Throttled. (DIMM 4)

説明: このメッセージは、メモリーのスロットルが発生しなくなったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0143

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f090c-2005xxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] is no longer Throttled. (DIMM 5)

説明: このメッセージは、メモリーのスロットルが発生しなくなったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0143

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f090c-2006xxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] is no longer Throttled. (DIMM 6)

説明: このメッセージは、メモリーのスロットルが発生しなくなったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0143

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f090c-2007xxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] is no longer Throttled. (DIMM 7)

説明: このメッセージは、メモリーのスロットルが発生しなくなったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0143

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f090c-2008xxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] is no longer Throttled. (DIMM 8)

説明: このメッセージは、メモリーのスロットルが発生しなくなったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0143

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0a07-0301xxxx The Processor

[ProcessorElementName] is no longer operating in a Degraded State. (CPU 1)

説明: このメッセージは、プロセッサがもはや機能低下状態で稼働していないことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: 警告 - CPU

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0039

SNMP トラップ ID: 42

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0a07-0302xxxx The Processor

[ProcessorElementName] is no longer operating in a Degraded State. (CPU 2)

説明: このメッセージは、プロセッサがもはや機能低下状態で稼働していないことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: 警告 - CPU

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0039

SNMP トラップ ID: 42

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0a0c-2001xxxx An Over-Temperature Condition has been removed on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 1)

説明: このメッセージは、メモリーの温度超過状態が除去されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0147

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0a0c-2002xxxx An Over-Temperature Condition has been removed on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 2)

説明: このメッセージは、メモリーの温度超過状態が除去されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0147

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0a0c-2003xxxx An Over-Temperature Condition has been removed on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 3)

説明: このメッセージは、メモリーの温度超過状態が除去されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0147

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0a0c-2004xxxx An Over-Temperature Condition
has been removed on the
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 4)

説明: このメッセージは、メモリーの温度超過状態が除去されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0147

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0a0c-2005xxxx An Over-Temperature Condition
has been removed on the
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 5)

説明: このメッセージは、メモリーの温度超過状態が除去されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0147

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0a0c-2006xxxx An Over-Temperature Condition
has been removed on the
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 6)

説明: このメッセージは、メモリーの温度超過状態が除去されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0147

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0a0c-2007xxxx An Over-Temperature Condition
has been removed on the
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 7)

説明: このメッセージは、メモリーの温度超過状態が除去されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0147

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0a0c-2008xxxx An Over-Temperature Condition
has been removed on the
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 8)

説明: このメッセージは、メモリーの温度超過状態が除去されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0147

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0a13-0301xxxx System

**[ComputerSystemElementName] has
recovered from a Fatal Bus Error. (CPU
1 PECI)**

説明: このメッセージは、システムがバスの致命的エラーからリカバリーされたことを実装環境が検出した場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0245

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ n を交換します (『マイクロプロセッサとヒートシンクの取り外し』および『マイクロプロセッサとヒートシンクの再取り付け』を参照)。
2. 問題が解決せず、同じエラーを示す別の CPU がない場合は、システム・ボードを交換します。
3. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します (『システム・ボードの取り外し』および『システム・ボードの取り付け』を参照)。(n = マイクロプロセッサ番号)

816f0a13-0302xxxx System

**[ComputerSystemElementName] has
recovered from a Fatal Bus Error. (CPU
2 PECI)**

説明: このメッセージは、システムがバスの致命的エラーからリカバリーされたことを実装環境が検出した場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0245

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ n を交換します (『マイクロプロセッサとヒートシンクの取り外し』および『マイクロプロセッサとヒートシンクの再取り付け』を参照)。

2. 問題が解決せず、同じエラーを示す別の CPU がない場合は、システム・ボードを交換します。
3. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します (『システム・ボードの取り外し』および『システム・ボードの取り付け』を参照)。(n = マイクロプロセッサ番号)

付録 B. UEFI (POST) エラー・コード

このセクションでは、UEFI (POST) エラー・コードについて詳しく説明します。

UEFI (POST) 診断エラー・コードは、サーバーの始動時またはサーバーの実行中に生成されることがあります。UEFI (POST) コードは、サーバー内の 統合管理モジュール II (IMM2) イベント・ログに記録されます。

イベント・コードごとに、以下のフィールドが表示されます。

Event identifier (イベント ID)

イベントを一意的に識別する ID。

Event description (イベント記述)

イベントについて表すログ・メッセージ・ストリング。

Explanation (説明)

イベントが発生した原因を説明する追加情報。

重大度 その状態の懸念のレベルの表示。イベント・ログでは、重大度が先頭文字に省略されています。以下の重大度が表示されることがあります。

表 14. イベントの重大度レベル

重大度	説明
通知	通知メッセージは監査目的で記録されたもので、通常は、正常な動作のユーザー処置あるいは状態の変化です。
警告	警告はエラーほど深刻ではないですが、可能であればエラーになる前に状態を修正することが推奨されます。警告は、さらにモニターおよびメンテナンスを続ける必要がある状態である場合もあります。
エラー	エラーは、一般的にサービスあるいは期待された機能を悪化させる障害またはクリティカルな状態を示します。

ユーザー応答

イベントを解決するためにとるべき処置を示します。

このセクションにリストされている手順を、問題が解決するまで順番に実行します。このフィールドに説明されている処置をすべて実行した後、まだ問題を解決できない場合には、IBM サポートにお問い合わせください

以下に、UEFI (POST) エラー・コードおよび検出された問題を修正するための推奨アクションをリストします。

I.11002 [I.11002] A processor mismatch has been detected between one or more processors in the system.

説明: 1 つ以上のプロセッサの不一致が検出されました。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. このメッセージと一緒に、他のプロセッサ構成の問題を示すメッセージが発行される場合があります。最初に、それらのメッセージを解決してください。

2. 問題が解決しない場合は、取り付けられているプロセッサが一致していること (オプション部品番号が一致しているなど) を確認します。
3. 本製品のサービス情報に従って、プロセッサが正しいソケットに取り付けられていることを確認します。正しく取り付けられていない場合は、問題を修正してください。
4. IBM サポート・サイトを参照し、このプロセッサ・エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
5. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 一致しないプロセッサを交換します。プロセッサ・ソケットを調べて、ソケットが損傷している場合は、まずシステム・ボードを交換します。

I.18005 **[I.18005] A discrepancy has been detected in the number of cores reported by one or more processor packages within the system.**

説明: プロセッサのコア数が一致していません。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. これが新しく取り付けられたオプションである場合は、一致するプロセッサが、本製品のサービス情報に従って正しいプロセッサ・ソケットに取り付けられていることを確認します。
2. IBM サポート・サイトを参照し、このプロセッサ・エラーに適用できる Service Bulletin がないかを確認します。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) プロセッサを交換します。プロセッサ・ソケットを調べて、ソケットが損傷している場合は、まずシステム・ボードを交換します。

I.18006 **[I.18006] A mismatch between the maximum allowed QPI link speed has been detected for one or more processor packages.**

説明: プロセッサの QPI 速度が一致していません。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. これが新しく取り付けられたオプションである場合は、一致するプロセッサ CPU が、本製品のサービス情報に従って正しいプロセッサ CPU ソケットに取り付けられていることを確認します。

2. IBM サポート・サイトを参照し、このプロセッサ・エラーに適用できる RETAIN TipService Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) プロセッサを交換します。プロセッサ・ソケットを調べて、ソケットが損傷している場合は、まずシステム・ボードを交換します。

I.18007 **[I.18007] A power segment mismatch has been detected for one or more processor packages.**

説明: プロセッサの電源セグメントが一致していません。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 取り付けられているプロセッサの消費電力が同一ではありません。
2. すべてのプロセッサの消費電力 (65、95、または 130 ワットなど) が一致していることを確認します。
3. 消費電力が一致している場合は、IBM サポート・サイトを参照し、このプロセッサ・エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
4. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) プロセッサを交換します。プロセッサ・ソケットを調べて、ソケットが損傷している場合は、まずシステム・ボードを交換します。

I.18008 **[I.18008] A mismatch has been detected between Processors frequency and DDR3 DIMMs frequency.**

説明: プロセッサの内部 DDR3 周波数が一致していません。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 一致する DIMM が、本製品のサービス情報に従って正しい装着順序で取り付けられていることを確認します。検出された構成の問題をすべて修正します。
2. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 関連したプロセッサを交換します。プロセッサ・ソケットを調べて、ソケットが損傷している場合は、まずシステム・ボードを交換します。

I.18009 [I.18009] A core speed mismatch has been detected for one or more processor packages.

説明: プロセッサのコア速度が一致していません。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 本製品のサービス情報に従って、一致するプロセッサが正しいプロセッサ・ソケットに取り付けられていることを確認します。検出された不一致の問題をすべて修正します。
2. IBM サポート・サイトを参照し、このプロセッサ・エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) プロセッサを交換します。プロセッサ・ソケットを調べて、ソケットが損傷している場合は、まずシステム・ボードを交換します。

I.1800A [I.1800A] A mismatch has been detected between the speed at which a QPI link has trained between two or more processor packages.

説明: プロセッサのバス速度が一致していません。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. プロセッサが、このシステムの Server Proven デバイスにリストされている有効なオプションであることを確認します。有効なオプションではない場合、そのプロセッサを取り外し、Server Proven にリストされているプロセッサを取り付けます。
2. 本製品のサービス情報に従って、一致するプロセッサが正しいプロセッサ・ソケットに取り付けられていることを確認します。検出された不一致をすべて修正します。
3. IBM サポート・サイトを参照し、このプロセッサ・エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
4. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) プロセッサを交換します。プロセッサ・ソケットを調べて、ソケットが損傷している場合は、まずシステム・ボードを交換します。

I.1800B [I.1800B] A cache size mismatch has been detected for one or more processor packages.

説明: プロセッサの 1 つ以上のキャッシュ・レベル

でサイズが一致していません。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 本製品のサービス情報に従って、一致するプロセッサが正しいプロセッサ・ソケットに取り付けられていることを確認します。検出された不一致をすべて修正します。
2. IBM サポート・サイトを参照し、このプロセッサ・エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

I.1800C [I.1800C] A cache type mismatch has been detected for one or more processor packages.

説明: プロセッサの 1 つ以上のキャッシュ・レベルでタイプが一致していません。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 本製品のサービス情報に従って、一致するプロセッサが正しいプロセッサ・ソケットに取り付けられていることを確認します。
2. IBM サポート・サイトを参照し、このプロセッサ・エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

I.1800D [I.1800D] A cache associativity mismatch has been detected for one or more processor packages.

説明: プロセッサの 1 つ以上のキャッシュ・レベルで結合順序が一致していません。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 本製品のサービス情報に従って、一致するプロセッサが正しいプロセッサ・ソケットに取り付けられていることを確認します。
2. IBM サポート・サイトを参照し、このプロセッサ・エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

I.1800E [I.1800E] A processor model mismatch has been detected for one or more processor packages.

説明: プロセッサの型式番号が一致していません。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 本製品のサービス情報に従って、一致するプロセッサが正しいプロセッサ・ソケットに取り付けられていることを確認します。
2. IBM サポート・サイトを参照し、このプロセッサ・エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

I.1800F [I.1800F] A processor family mismatch has been detected for one or more processor packages.

説明: プロセッサのファミリーが一致していません。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 本製品のサービス情報に従って、一致するプロセッサが正しいプロセッサ・ソケットに取り付けられていることを確認します。
2. IBM サポート・サイトを参照し、このプロセッサ・エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

I.18010 [I.18010] A processor stepping mismatch has been detected for one or more processor packages.

説明: 同一モデルのプロセッサのステッピング ID が一致していません。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 本製品のサービス情報に従って、一致するプロセッサが正しいプロセッサ・ソケットに取り付けられていることを確認します。
2. IBM サポート・サイトを参照し、このプロセッサ・エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

I.2018002 [I.2018002] The device found at Bus % Device % Function % could not be configured due to resource constraints. The Vendor ID for the device is % and the Device ID is %.

説明: OUT_OF_RESOURCES (PCI オプション ROM)

重大度: 通知

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. この PCIe デバイスや接続されているいずれかのケーブルの取り付け、移動、保守、またはアップグレードが最近行われた場合、アダプターおよび接続されているすべてのケーブルを取り付け直します。
2. IBM サポート・サイトを参照し、このエラーに適用できる Service Bulletin、UEFI、またはアダプター・ファームウェア更新がないかを確認します。注: アダプター・ファームウェアを更新するために、UEFI F1 セットアップ、ASU、またはアダプター製造元のユーティリティを使用して、未使用のオプション ROM を使用不可にする必要がある場合があります。
3. カードを別のスロットに移動します。If slot not available or error re-occurs, replace adapter.
4. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) アダプターを別のスロットに移動した後にエラーが再発しなかった場合は、これがシステムの制限事項でないことを確認してから、システム・ボードを交換します。また、これが初回のインストールではなく、アダプターの交換後もエラーが続く場合も、システム・ボードを交換します。

I.2018003 [I.2018003] A bad option ROM checksum was detected for the device found at Bus % Device % Function %. The Vendor ID for the device is % and the Device ID is %.

説明: ROM チェックサム・エラー

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. この PCIe デバイスや接続されているいずれかのケーブルの取り付け、移動、保守、またはアップグレードが最近行われた場合、アダプターおよび接続されているすべてのケーブルを取り付け直します。
2. アダプターを別のシステム・スロットに移動します(使用可能な場合)。
3. IBM サポート・サイトを参照し、このエラーに適用できる Service Bulletin、UEFI、またはアダプター・ファームウェア更新がないかを確認します。注:

アダプター・ファームウェアをアップグレードするために、スロットを Gen1 に構成したり、特別なユーティリティ・ソフトウェアを使用する必要がある場合があります。Gen1/Gen2 設定は、「F1 Setup」->「System Settings」->「Devices and I/O Ports」->「PCIe Gen1/Gen2/Gen3 Speed Selection」、あるいは ASU ユーティリティを使用して構成することができます。

4. アダプターを交換します。

I.3048005 [I.3048005] UEFI has booted from the backup flash bank.

説明: バックアップ UEFI イメージからブートしています。

重大度: 通知

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 本製品のサービス情報で UEFI リカバリーに関するセクションを参照して、システムを 1 次バンクに戻します。

I.3808004 [I.3808004] The IMM System Event log (SEL) is full.

説明: IPMI システム・イベント・ログがフルです。

重大度: 通知

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. IMM Web インターフェースを使用して、イベント・ログをクリアします。
2. IMM 通信が使用できない場合は、F1 Setup を使用して「System Event Logs Menu」にアクセスし、「Clear IMM System Event Log」を選択してサーバーを再始動します。

I.3818001 [I.3818001] The firmware image capsule signature for the currently booted flash bank is invalid.

説明: 現行のバンク CRTM カプセル更新署名が無効です。

重大度: 通知

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. システムをリブートします。バックアップ UEFI イメージが起動します。1 次 UEFI イメージを再消去します。
2. エラーが解決した場合は、追加のリカバリー・アクションは不要です。

3. エラーが続く場合、およびブートが失敗する場合は、(トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

I.3818002 [I.3818002] The firmware image capsule signature for the non-booted flash bank is invalid.

説明: 対向バンク CRTM カプセル更新署名が無効です。

重大度: 通知

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. バックアップ UEFI イメージを再消去します。
2. エラーが解決した場合は、追加のリカバリー・アクションは不要です。
3. エラーが続く場合、およびブートが失敗する場合は、(トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

I.3818003 [I.3818003] The CRTM flash driver could not lock the secure flash region.

説明: CRTM がセキュア・フラッシュ領域をロックできませんでした。

重大度: 通知

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. システムが正常にブートしない場合は、システムの DC サイクルを実行します。
2. システムがブートして F1 Setup を表示したら、UEFI イメージを消去し、バンクを 1 次リセットします (必要な場合)。システムがエラーなしでブートする場合は、リカバリーが完了し、これ以上の処置は必要ありません。
3. システムがブートできない場合、または消去しようとして失敗する場合は、(トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

I.58015 [I.58015] Memory spare copy initiated.

説明: スペア・コピーが開始されました。

重大度: 通知

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. このイベントに対するユーザー応答は不要です。これは情報提供のみを目的とするものです。

I.580A4 [I.580A4] Memory population change detected.

説明: DIMM 装着の変化が検出されました。

重大度: 通知

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. システム・イベント・ログで訂正不能 DIMM 障害がないかを確認し、該当する DIMM を交換します。

I.580A5 [I.580A5] Mirror Fail-over complete. DIMM number % has failed over to the mirrored copy.

説明: DIMM ミラーリングのフェイルオーバーが検出されました。

重大度: 通知

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. システム・イベント・ログで訂正不能 DIMM 障害がないかを確認し、該当する DIMM を交換します。

I.580A6 [I.580A6] Memory spare copy has completed successfully.

説明: スペア・コピーが完了しました。

重大度: 通知

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. システム・ログで関連する DIMM 障害がないかを確認し、該当する DIMM を交換します。

S.1100B [S.1100B] CATERR(IERR) has asserted on processor %.

説明: プロセッサ CATERR(IERR) が表明されました。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. IBM サポート・サイトを参照し、このプロセッサ・エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
2. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) プロセッサを交換します。

S.1100C [S.1100C] An uncorrectable error has been detected on processor %.

説明: 訂正不能プロセッサ・エラーが検出されました。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. IBM サポート・サイトを参照し、該当する service bulletin あるいはこのエラーに適用できるファームウェア更新がないかを確認します。
2. システムをリブートします。問題が解決しない場合は、次のレベルのサポートに連絡してください。

S.2011001 [S.2011001] An Uncorrected PCIe Error has Occurred at Bus % Device % Function %. The Vendor ID for the device is % and the Device ID is %.

説明: PCI SERR が検出されました。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. このノードや接続されているいずれかのケーブルの取り付け、移動、保守、またはアップグレードが最近行われた場合 a. アダプターおよび接続されているすべてのケーブルを取り付け直します。 b. デバイス・ドライバーを再ロードします。 c. デバイスが認識されない場合は、スロットを Gen1 または Gen2 に再構成する必要がある場合があります。 Gen1/Gen2 設定は、「F1 Setup」->「System Settings」->「Devices and I/O Ports」->「PCIe Gen1/Gen2/Gen3 Speed Selection」、あるいは ASU ユーティリティを使用して構成することができます。
2. IBM サポート・サイトで、このエラーに適用できるデバイス・ドライバー、ファームウェア更新、サービス情報の改訂、あるいはその他の情報がないかを確認します。新規のデバイス・ドライバー、および必要なすべてのファームウェア更新をロードします。
3. 問題が続く場合は、アダプター・カードを取り外します。アダプターがなければシステムが正常にリブートする場合は、カードを交換します。
4. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) プロセッサを交換します。

S.2018001 [S.2018001] An Uncorrected PCIe Error has Occurred at Bus % Device % Function %. The Vendor ID for the device is % and the Device ID is %.

説明: PCIe 訂正不能エラーが検出されました。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. このノードや接続されているいずれかのケーブルの取り付け、移動、保守、またはアップグレードが最

近行われた場合 a. アダプターおよび接続されているすべてのケーブルを取り付け直します。 b. デバイス・ドライバーを再ロードします。 c. デバイスが認識されない場合は、スロットを Gen1 または Gen2 に再構成する必要がある場合があります。 Gen1/Gen2 の設定は、「F1 Setup」->「System Settings」->「Devices and I/O Ports」->「PCIe Gen1/Gen2/Gen3 Speed Selection」、または ASU ユーティリティを使用して構成できます。

2. IBM サポート・サイトで、このエラーに適用できるデバイス・ドライバー、ファームウェア更新、サービス情報の改訂、あるいはその他の情報がないかを確認します。新規のデバイス・ドライバー、および必要なすべてのファームウェア更新をロードします。
3. 問題が続く場合は、アダプター・カードを取り外します。アダプターがなければシステムが正常にリポートする場合は、カードを交換します。
4. PCI ライザー・カードを交換します。
5. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) プロセッサを交換します。

S.3020007 [S.3020007] A firmware fault has been detected in the UEFI image.

説明: 内部 UEFI ファームウェア障害が検出され、システムが停止しました

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. IBM サポート・サイトを参照し、該当する service bulletin あるいはこのエラーに適用できるファームウェア更新がないかを確認します。
2. UEFI イメージを再消去します。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

S.3028002 [S.3028002] Boot permission timeout detected.

説明: ブート許可のネゴシエーションがタイムアウトになりました

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. FPC/IMM ログで通信エラーがないかを確認し、エラーを解決します。
2. システムを取り付け直します。
3. 問題が解決しない場合は、次のレベルのサポートに連絡してください。

S.3030007 [S.3030007] A firmware fault has been detected in the UEFI image.

説明: 内部 UEFI ファームウェア障害が検出され、システムが停止しました

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. IBM サポート・サイトを参照し、該当する service bulletin あるいはこのエラーに適用できるファームウェア更新がないかを確認します。
2. UEFI イメージを再消去します。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

S.3040007 [S.3040007] A firmware fault has been detected in the UEFI image.

説明: 内部 UEFI ファームウェア障害が検出され、システムが停止しました

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. IBM サポート・サイトを参照し、該当する service bulletin あるいはこのエラーに適用できるファームウェア更新がないかを確認します。
2. UEFI イメージを再消去します。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

S.3050007 [S.3050007] A firmware fault has been detected in the UEFI image.

説明: 内部 UEFI ファームウェア障害が検出され、システムが停止しました

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. IBM サポート・サイトを参照し、該当する service bulletin あるいはこのエラーに適用できるファームウェア更新がないかを確認します。
2. UEFI イメージを再消去します。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

S.3058004 [S.3058004] A Three Strike boot failure has occurred. The system has booted with default UEFI settings.

説明: POST 障害が発生しました。システムはデフォルト設定でブートしました。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. このイベントは、次のブートで UEFI をデフォルト設定にリセットします。正常に行われると、ユーザーは強制的に F1 セットアップに入ります。元の UEFI 設定は、まだ存在しています。
2. ユーザーが意図的にリブートをトリガーしたのではない場合は、ログに推定原因がないか確認します。
3. 最近行ったシステム変更 (設定やデバイスの追加) を元に戻します。最近行ったシステム変更がない場合は、すべてのオプションを取り外した後、CMOS バッテリーを 30 秒間取り外して CMOS の内容を消去します。システムがブートすることを確認します。次に、一度に 1 つずつオプションを再取り付けし、問題を特定します。
4. IBM サポート・サイトを参照し、該当する service bulletin あるいはこのエラーに適用できるファームウェア更新がないかを確認します。
5. UEFI ファームウェアを再消去します。
6. CMOS バッテリーを 30 秒間取り外して CMOS の内容を消去し、CMOS バッテリーを再取り付けします。
7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

S.3060007 [S.3060007] A firmware fault has been detected in the UEFI image.

説明: 内部 UEFI ファームウェア障害が検出され、システムが停止しました

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. IBM サポート・サイトを参照し、該当する service bulletin あるいはこのエラーに適用できるファームウェア更新がないかを確認します。
2. UEFI イメージを再消去します。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

S.3070007 [S.3070007] A firmware fault has been detected in the UEFI image.

説明: 内部 UEFI ファームウェア障害が検出され、システムが停止しました

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. IBM サポート・サイトを参照し、該当する service bulletin あるいはこのエラーに適用できるファームウェア更新がないかを確認します。
2. UEFI イメージを再消去します。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

S.3108007 [S.3108007] The default system settings have been restored.

説明: システム構成がデフォルトに復元されました。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. IBM サポート・サイトを参照し、該当する service bulletin あるいはこのエラーに適用できるファームウェア更新がないかを確認します。

S.3818004 [S.3818004] The CRTM flash driver could not successfully flash the staging area. A failure occurred.

説明: CRTM 更新が失敗しました。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. システムのブートを続行します。システムがリセットされない場合、手動でシステムをリセットします。
2. その後のブートでエラーが報告されない場合は、追加のリカバリー処置は不要です。
3. エラーが続く場合は、システムのブートを続行し、UEFI イメージを再消去します。
4. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

S.3818007 [S.3818007] The firmware image capsules for both flash banks could not be verified.

説明: CRTM イメージ・カプセルを検査できませんでした。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. システムが正常にブートしない場合は、システムの DC サイクルを実行します。
2. システムがブートして F1 Setup を表示したら、UEFI イメージを消去し、バンクを 1 次リセット

します (必要な場合)。システムがエラーなしでブートする場合は、リカバリーは完了し、これ以上の処置は必要ありません。

3. システムがブートできない場合、または消去しようとして失敗する場合は、(トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

S.51003 **[S.51003] An uncorrectable memory error was detected in DIMM slot % on rank %. [S.51003] An uncorrectable memory error was detected on processor % channel %. The failing DIMM within the channel could not be determined. [S.51003] An uncorrectable memory error has been detected during POST.**

説明: 致命的なメモリー・エラーが発生しました。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. このノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードが最近行われた場合、DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネル上の DIMM コネクタに異物が入っていないことを目視で確認してください。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ DIMM を使用して再試行します。(注: イベント・ログには、この問題に関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)
2. DIMM コネクタ上に問題が見つからず、この問題が解決しない場合は、Light Path あるいはイベント・ログ・エントリー (またはその両方) で示された DIMM を交換します。
3. 同じ DIMM コネクタで問題が再び発生する場合は、同じメモリー・チャンネル上の他の DIMM を交換します。
4. IBM サポート・サイトを参照し、このメモリー・エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
5. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 同じ DIMM コネクタで問題が再び発生する場合は、コネクタに損傷がないか調べます。損傷が見つかった場合は、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するプロセッサを交換します。

S.51006 **[S.51006] A memory mismatch has been detected. Please verify that the memory configuration is valid.**

説明: 1 つ以上の DIMM の不一致が検出されました。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 訂正不能メモリー・エラーあるいはメモリー・テストの失敗に続いて発生した可能性があります。ログを確認し、最初にそのイベントの保守を行います。他のエラーあるいは処置によって使用不可になっている DIMM が、このイベントの原因となっている可能性があります。
2. DIMM が、本製品のサービス情報に従って正しい装着順序で取り付けられていることを確認します。
3. メモリー・ミラーリングおよびスペアリングを使用不可にします。この処置によってミスマッチがなくなる場合には、IBM サポート・サイトにこの問題に関連する情報がないか確認してください。
4. UEFI ファームウェアを再消去します。
5. DIMM を交換します。
6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) プロセッサを交換します。

S.51009 **[S.51009] No system memory has been detected.**

説明: メモリーが検出されませんでした。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 1 つ以上の DIMM がサーバーに取り付けられていることを確認します。
 2. メモリー障害がログに記録されておらず、DIMM コネクタのエラー LED が点灯していない場合は、Setup ユーティリティまたは Advanced Settings ユーティリティ (ASU) を使用して、すべての DIMM コネクタが使用可能になっているかどうかを確認します。
 3. 本製品のサービス情報に従って、正しい装着順序を確認してすべての DIMM を再取り付けします。
 4. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) プロセッサを交換します。
 5. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。
-

S.58008 [S.58008] A DIMM has failed the POST memory test.

説明: DIMM がメモリー・テストに失敗しました。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. システムの AC サイクルを実行して、対象の DIMM コネクタを再度使用可能にするか、あるいは F1 Setup を使用して手動で対象の DIMM コネクタを再度使用可能にします。
2. このノードの取り付け、保守、移動、またはアップグレードが最近行われた場合、DIMM がしっかりと装着されていること、および DIMM コネクタに異物が入っていないことを確認します。いずれかの状態が見つかった場合は、その状態を修正し、同じ DIMM を使用して再試行します。(注: イベント・ログには、この問題に関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)
3. 問題が解決しない場合は、Light Path あるいはイベント・ログ・エントリー (またはその両方) で示された DIMM を交換します。
4. 同じ DIMM コネクタで問題が再び発生する場合は、同じメモリー・チャンネル上の他の DIMM を 1 回に 1 つずつ別のメモリー・チャンネルまたはプロセッサに交換します。別のメモリー・チャンネルに移動した DIMM に問題が付随する場合は、その DIMM を交換します。
5. IBM サポート・サイトを参照し、このメモリー・エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 元の DIMM コネクタで問題が続く場合は、DIMM コネクタに異物がないかを再検査し、見つかった場合は除去します。コネクタが損傷している場合は、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するプロセッサを取り外し、そのプロセッサのソケット・ピンに損傷したピンや位置がずれているピンがないかを調べます。損傷が見つかった場合、またはアップグレード・プロセッサの場合には、システム・ボードを交換します。複数のプロセッサがある場合は、それらのプロセッサをスワップして、エラーが生じたプロセッサを別のプロセッサ・ソケットに移動して再試行します。問題がエラーが生じたプロセッサに付随する場合 (あるいは、プロセッサが 1 つしかない場合) は、エラーが生じたプロセッサを交換します。

S.68005 [S.68005] An error has been detected by the the IIO core logic on Bus %. The Global Fatal Error Status register contains %. The Global Non-Fatal Error Status register contains %. Please check error logs for the presence of additional downstream device error data.

説明: クリティカル IOH-PCI エラー

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 関連する PCIe デバイスに関する個別のエラーがないかをログで確認し、そのエラーを保守します。
2. IBM サポート・サイトを参照し、このエラーに適用できるシステムまたはアダプターに関する Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

S.680B8 [S.680B8] Internal QPI Link Failure Detected.

説明: 内部 QPI リンク障害が検出されました。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. IBM サポート・サイトを参照し、該当する service bulletin あるいはこのエラーに適用できるファームウェア更新がないかを確認します。
2. プロセッサ・ソケットに異物や損傷がないかを検査します。異物が見つかった場合は、取り除きます。
3. エラーが再発生した場合、あるいはソケットの損傷が見つかった場合は、システム・ボードを交換します(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)。
4. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) プロセッサを交換します。

S.680B9 [S.680B9] External QPI Link Failure Detected.

説明: 外部 QPI リンク障害が検出されました。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. IBM サポート・サイトを参照し、該当する service bulletin あるいはこのエラーに適用できるファームウェア更新がないかを確認します。

2. プロセッサ・ソケットに異物や損傷がないかを検査します。異物が見つかった場合は、取り除きます。
3. エラーが再発生した場合、あるいはソケットの損傷が見つかった場合は、システム・ボードを交換します(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)。

W.11004 [W.11004] A processor within the system has failed the BIST.

説明: プロセッサ自己診断テストの失敗が検出されました。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. プロセッサまたはファームウェアを更新したばかりの場合は、IBM サポート・サイトを参照し、このプロセッサ・エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
2. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 複数のプロセッサがある場合は、それらのプロセッサをスワップして、エラーが生じたプロセッサを別のプロセッサ・ソケットに移動して再試行します。問題がエラーが生じたプロセッサに付随する場合、あるいはこれがシングル・プロセッサのシステムである場合は、そのプロセッサを交換します。プロセッサを取り外すたびにプロセッサ・ソケットを検査し、損傷したピンや位置がずれているピンが見つかった場合は、まずシステム・ボードを交換します。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

W.3048006 [W.3048006] UEFI has booted from the backup flash bank due to an Automatic Boot Recovery (ABR) event.

説明: 自動ブート・リカバリーにより、バックアップ UEFI イメージからブートしています。

重大度: 警告

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. IBM サポート・サイトを参照し、該当する service bulletin あるいはこのエラーに適用できるファームウェア更新がないかを確認します。
2. 1 次 UEFI イメージを再消去します。本製品のサービス情報の『UEFI Recovery』セクションを参照してください。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

W.305000A [W.305000A] An invalid date and time have been detected.

説明: RTC 日時が誤っています。

重大度: 警告

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. IMM/シャーシ・イベント・ログを確認します。このイベントは、0068002 エラーの直前にあります。このイベントまたはその他のバッテリー関連エラーをすべて保守します。
2. F1 セットアップを使用して、日時をリセットします。システム・リセットの後に問題が再発生する場合は、CMOS バッテリーを交換します。
3. 問題が解決しない場合は、IBM サポート・サイトを参照し、このエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
4. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

W.3058009 [W.3058009] DRIVER HEALTH PROTOCOL: Missing Configuraiton. Requires Change Settings From F1.

説明: ドライバー・ヘルス・プロトコル: 構成が欠落しています。F1 から設定を変更する必要があります。

重大度: 警告

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 「System Settings > Settings > Driver Health Status List」に進み、構成が必要な状況を報告しているドライバー/コントローラーを見付けます。
2. 「System Settings」からドライバー・メニューを検索し、設定を適切に変更します。
3. 設定を保存してシステムを再始動します。

W.305800A [W.305800A] DRIVER HEALTH PROTOCOL: Reports 'Failed' Status Controller.

説明: ドライバー・ヘルス・プロトコル: 「障害」状態のコントローラーが報告されました。

重大度: 警告

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. システムをリブートします。
2. 問題が解決しない場合は、バックアップ UEFI に切り替えるか、現在の UEFI イメージを再消去します。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

**W.305800B [W.305800B] DRIVER HEALTH
PROTOCOL: Reports 'Reboot' Required
Controller.**

説明: ドライバー・ヘルス・プロトコル: 「リブート」が必要なコントローラーが報告されました。

重大度: 警告

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. アクションは不要です – POST の最後にシステムがリブートします。
2. 問題が解決しない場合は、バックアップ UEFI に切り替えるか、現在の UEFI イメージを再消去します。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

**W.305800C [W.305800C] DRIVER HEALTH
PROTOCOL: Reports 'System Shutdown'
Required Controller.**

説明: ドライバー・ヘルス・プロトコル: 「システム・シャットダウン」が必要なコントローラーが報告されました。

重大度: 警告

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. システムをリブートします。
2. 問題が解決しない場合は、バックアップ UEFI に切り替えるか、現在の UEFI イメージを再消去します。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

**W.305800D [W.305800D] DRIVER HEALTH
PROTOCOL: Disconnect Controller
Failed. Requires 'Reboot'.**

説明: ドライバー・ヘルス・プロトコル: コントローラーの切断に失敗しました。「リブート」が必要です。

重大度: 警告

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. システムをリブートし、コントローラーを再接続します。
2. 問題が解決しない場合は、バックアップ UEFI に切り替えるか、現在の UEFI イメージを再消去します。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

**W.305800E [W.305800E] DRIVER HEALTH
PROTOCOL: Reports Invalid Health
Status Driver.**

説明: ドライバー・ヘルス・プロトコル: 無効なヘルス状況のドライバーが報告されました。

重大度: 警告

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. システムをリブートします。
2. 問題が解決しない場合は、バックアップ UEFI に切り替えるか、現在の UEFI イメージを再消去します。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

**W.3808000 [W.3808000] An IMM communication
failure has occurred.**

説明: IMM 通信に失敗しました。

重大度: 警告

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. FPC から IMM をリセットします。
2. FPC を使用して、ノードから AUX 電源を除去します。これによって、ノード全体がリブートします。
3. IBM サポート・サイトを参照し、該当する service bulletin あるいはこのエラーに適用できるファームウェア更新がないかを確認します。
4. UEFI ファームウェアを再消去します。
5. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

**W.3808002 [W.3808002] An error occurred while
saving UEFI settings to the IMM.**

説明: IMM へのシステム構成の更新でエラーが発生しました。

重大度: 警告

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. F1 Setup、「Verify Settings」、および「Save Settings」を使用して設定をリカバリーします。
2. FPC から IMM をリセットします。
3. FPC を使用して、ノードから AUX 電源を除去します。これによって、ノード全体がリブートします。

4. IBM サポート・サイトを参照し、該当する service bulletin あるいはこのエラーに適用できるファームウェア更新がないかを確認します。
5. IMM ファームウェアを再消去します。
6. CMOS バッテリーを 30 秒間取り外して CMOS の内容を消去し、CMOS バッテリーを再取り付けします。
7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

W.3808003 [W.3808003] Unable to retrieve the system configuration from the IMM.

説明: IMM からのシステム構成の取得でエラーが発生しました。

重大度: 警告

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. F1 Setup、「Verify Settings」、および「Save Settings」を使用して設定をリカバリーします。
2. FPC から IMM をリセットします。
3. FPC を使用して、ノードから AUX 電源を除去します。これによって、ノード全体がリブートします。
4. IBM サポート・サイトを参照し、該当する service bulletin あるいはこのエラーに適用できるファームウェア更新がないかを確認します。
5. IMM ファームウェアを再消去します。
6. CMOS バッテリーを 30 秒間取り外して CMOS の内容を消去し、CMOS バッテリーを再取り付けします。
7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

W.3818005 [W.3818005] The CRTM flash driver could not successfully flash the staging area. The update was aborted

説明: CRTM 更新が異常終了しました。

重大度: 警告

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. システムのブートを続行します。システムがリセットされない場合、手動でシステムをリセットします。
2. その後のブートでエラーが報告されない場合は、追加のリカバリー処置は不要です。
3. イベントが続く場合は、システムのブートを続行し、UEFI イメージを再消去します。

4. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

W.381800D [W.381800D] TPM physical presence is in asserted state

説明: TPM 物理プレゼンスは表明状態です

重大度: 警告

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. TPM 物理プレゼンス・スイッチを「ON」位置への切り替えるために必要な管理用タスクをすべて完了します。
2. 物理プレゼンス・スイッチを「OFF」位置に復元して、システムをリブートします。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

W.3938002 [W.3938002] A boot configuration error has been detected.

説明: ブート構成エラー。

重大度: 警告

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 「F1 Setup」->「Save Settings」
2. OOB 構成更新を再試行します

W.50001 [W.50001] A DIMM has been disabled due to an error detected during POST.

説明: DIMM が使用不可です。

重大度: 通知

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. メモリー障害によって DIMM が使用不可にされている場合は、そのイベントに対する手順に従います。
2. ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクタのエラー LED も点灯していない場合は、Setup ユーティリティまたは Advanced Settings ユーティリティ (ASU) を使用して DIMM を再度使用可能にします。
3. 問題が解決しない場合は、管理コンソールからノードの電源サイクルを実行します。
4. IMM をデフォルト設定にリセットします。
5. UEFI をデフォルト設定にリセットします。
6. IMM および UEFI ファームウェアを再消去します。
7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

W.58001 [W.58001] The PFA Threshold limit (correctable error logging limit) has been exceeded on DIMM number % at address %. MC5 Status contains % and MC5 Misc contains %.

説明: DIMM PFA しきい値を超えました。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. このノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードが最近行われた場合、DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネル上の DIMM コネクタに異物が入っていないことを目視で確認してください。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ DIMM を使用して再試行します。(注: イベント・ログには、この問題に関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)
2. IBM サポート・サイトを参照し、このメモリー・エラーに適用できるファームウェア更新がないかを確認します。リリース・ノートには、その更新で対応している既知の問題がリストされています。
3. 同じ DIMM コネクタで PFA が再発生した場合は、同じメモリー・チャンネル上の他の DIMM を、別のメモリー・チャンネルまたはプロセッサに一度に 1 つずつスワップします。PFA が別のメモリー・チャンネルの DIMM コネクタに移動した DIMM に付随する場合は、その移動した DIMM を交換します。
4. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 同じ DIMM コネクタで問題が継続的に再発生する場合は、DIMM コネクタに異物がないかを検査し、見つかった場合は除去します。コネクタが損傷している場合は、システム・ボードを交換します。
5. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) プロセッサ・ソケットに異物や損傷がないかを検査します。異物が見つかった場合は、取り除きます。
6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するプロセッサを取り外し、そのプロセッサのソケット・ピンに損傷したピンや位置がずれているピンがないかを調べます。プロセッサに損傷が見つかった場合、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するプロセッサを交換します。

W.58007 [W.58007] Invalid memory configuration (Unsupported DIMM Population) detected. Please verify memory configuration is valid.

説明: サポートされていない DIMM 装着です。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 訂正不能メモリー・エラーあるいはメモリー・テストの失敗に続いて発生した可能性があります。ログを確認し、最初にそのイベントの保守を行います。他のエラーあるいは処置によって使用不可になっている DIMM が、このイベントの原因となっている可能性があります。
2. DIMM コネクタが、この製品のサービス情報にあるガイドラインに従って装着されていることを確認します。

W.580A1 [W.580A1] Invalid memory configuration for Mirror Mode. Please correct memory configuration.

説明: ミラーリング・モードでサポートされていない DIMM 装着です。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. DIMM コネクタのエラー LED が点灯している場合は、その障害を解決します。
2. DIMM コネクタが、この製品のサービス情報に従って、ミラーリング・モードとして正しく装着されていることを確認します。

W.580A2 [W.580A2] Invalid memory configuration for Sparing Mode. Please correct memory configuration.

説明: スペアリング・モードでサポートされていない DIMM 装着です。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. DIMM コネクタが、この製品のサービス情報に従って、スペアリング・モードとして正しく装着されていることを確認します。

W.68002 [W.68002] A CMOS battery error has been detected

説明: CMOS バッテリー障害

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. システムの取り付け、移動、または保守が最近行われた場合、バッテリーが正しく取り付けられていることを確認します。
2. IBM サポート・サイトを参照し、該当する service bulletin あるいはこのエラーに適用できるファームウェア更新がないかを確認します。
3. CMOS バッテリーを交換します。
4. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

付録 C. DSA 診断テスト結果

DSA 診断テストを実行後、この情報を使用して、検出された問題を解決してください。

DSA Broadcom ネットワーク・テスト結果

Broadcom ネットワーク・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

405-000-000 BRCM:TestControlRegisters Test Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

405-001-000 BRCM:TestMIIRegisters Test Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

405-005-000 BRCM:TestLoopbackMAC Test Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

405-002-000 BRCM:TestEEPROM Test Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

405-006-000 BRCM:TestLoopbackPhysical Test Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

405-003-000 BRCM:TestInternalMemory Test Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

405-007-000 BRCM:TestLEDs Test Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

405-004-000 BRCM:TestInterrupt Test Passed

405-800-000 BRCM:TestControlRegisters Test Aborted

説明: 制御レジスター・テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

405-801-000 BRCM:TestMIIRegisters Test Aborted

説明: MII レジスター・テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

405-802-000 BRCM:TestEEPROM Test Aborted

説明: EEPROM テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

405-803-000 BRCM:TestInternalMemory Test Aborted

説明: 内部メモリー・テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

405-804-000 BRCM:TestInterrupt Test Aborted

説明: 割り込みテストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

405-805-000 BRCM:TestLoopbackMAC Test Aborted

説明: MAC 層でのループバック・テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

405-806-000 BRCM:TestLoopbackPhysical Test Aborted

説明: 物理層でのループバック・テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

405-807-000 BRCM:TestLEDs Test Aborted

説明: 状況 LED の確認は取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

405-900-000 BRCM:TestControlRegisters Test Failed

説明: 内部 MAC レジスターのテスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

405-901-000 BRCM:TestMIIRegisters Test Failed

説明: 内部 PHY レジスターのテスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

405-902-000 BRCM:TestEEPROM Test Failed

説明: 不揮発性 RAM のテスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

405-903-000 BRCM:TestInternalMemory Test Failed

説明: 内部メモリーのテスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポ

ーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。

2. テストを再実行します。
3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

405-904-000 BRCM:TestInterrupt Test Failed

説明: 割り込みのテスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

405-905-000 BRCM:TestLoopbackMAC Test Failed

説明: BRCM:TestLoopbackMAC テストが失敗しました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

405-906-000 BRCM:TestLoopbackPhysical Test Failed

説明: 物理層でのループバック・テスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

405-907-000 BRCM:TestLEDs Test Failed

説明: 状況 LED の動作を確認中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

DSA Brocade テスト結果

Brocade テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

218-000-000 Brocade:MemoryTest Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

218-003-000 Brocade:PCILoopbackTest Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

218-001-000 Brocade:ExternalLoopbackTest Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

218-004-000 Brocade:ExternalEthLoopbackTest Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

218-002-000 Brocade:SerdesLoopbackTest Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

218-005-000 Brocade:SerdesEthLoopbackTest Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

218-006-000 Brocade:InternalLoopbackTest Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

218-800-000 Brocade:MemoryTest Aborted

説明: テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

218-801-000 Brocade:ExternalLoopbackTest Aborted

説明: テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

218-802-000 Brocade:SerdesLoopbackTest Aborted

説明: テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

218-803-000 Brocade:PCILoopbackTest Aborted

説明: テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

218-804-000 Brocade:ExternalEthLoopbackTest Aborted

説明: テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

218-805-000 Brocade:SerdesEthLoopbackTest Aborted

説明: テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

218-806-000 Brocade:InternalLoopbackTest Aborted

説明: テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

218-900-000 Brocade:MemoryTest Failed

説明: アダプター・メモリーのテスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. テストを再実行します。
 2. ファームウェアが適切なレベルであるかどうか確認します。
 3. テストを再実行します。
 4. 問題が解決しない場合は、IBM 技術サポート担当者に連絡してください。
-

218-901-000 Brocade:ExternalLoopbackTest Failed

説明: ループバック・テスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. ケーブルの接続を確認します。
2. テストを再実行します。
3. ファームウェアが適切なレベルであるかどうか確認します。
4. テストを再実行します。
5. 問題が解決しない場合は、IBM 技術サポート担当者に連絡してください。

218-902-000 Brocade:SerdesLoopbackTest Failed

説明: ループバック・テスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. テストを再実行します。
2. ファームウェアが適切なレベルであるかどうか確認します。
3. テストを再実行します。
4. 問題が解決しない場合は、IBM 技術サポート担当者に連絡してください。

218-903-000 Brocade:PCILoopbackTest Failed

説明: ループバック・テスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. テストを再実行します。
2. ファームウェアが適切なレベルであるかどうか確認します。
3. テストを再実行します。
4. 問題が解決しない場合は、IBM 技術サポート担当者に連絡してください。

218-904-000 Brocade:ExternalEthLoopbackTest Failed

説明: ループバック・テスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. SFP/ケーブルを調べるか、取り付け直します。
2. テストを再実行します。
3. ファームウェアが適切なレベルであるかどうか確認します。
4. テストを再実行します。
5. 問題が解決しない場合は、IBM 技術サポート担当者に連絡してください。

218-905-000 Brocade:SerdesEthLoopbackTest Failed

説明: ループバック・テスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. テストを再実行します。
2. ファームウェアが適切なレベルであるかどうか確認します。
3. テストを再実行します。
4. 問題が解決しない場合は、IBM 技術サポート担当者に連絡してください。

218-906-000 Brocade:InternalLoopbackTest Failed

説明: ループバック・テスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. テストを再実行します。

2. ファームウェアが適切なレベルであるかどうか確認します。
3. テストを再実行します。
4. 問題が解決しない場合は、IBM 技術サポート担当者に連絡してください。

DSA チェックポイント・パネル・テスト結果

チェックポイント・パネル・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

180-000-000 Check-point Panel Test Passed

説明: チェックポイント・パネル・テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

180-801-000 Check-point Panel Test Aborted

説明: チェックポイント・パネル・テストが異常終了しました。BMC は、オペレーター情報パネルのケーブルが接続されていることを確認できません。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. オペレーター情報パネルのケーブルの両端を調べ、取り付け直します。
2. ベースボード管理コントローラー (BMC) が作動していることを確認します。
3. テストを再実行してください。
4. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

180-901-000 Check-point Panel Test Failed

説明: チェックポイント・パネル・テストが失敗しました。オペレーターから、表示が正しくないという報告がありました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. オペレーター情報パネルのケーブルの両端が緩んでいたたり、接続が外れていたたりしていないか、またケーブルに損傷がないか確認します。
2. 損傷がある場合は、情報パネルのケーブルを取り替えます。
3. テストを再実行してください。
4. オペレーター情報パネル・アセンブリーを取り替えます。
5. テストを再実行してください。
6. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

DSA CPU ストレス・テスト結果

CPU ストレス・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

089-000-000 CPU Stress Test Passed

説明: CPU ストレス・テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

089-801-000 CPU Stress Test Aborted

説明: CPU ストレス・テストが異常終了しました。内部プログラム・エラー。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. システムの電源をオフにして、再始動してください。
2. DSA 診断コードが最新レベルであることを確認します。
3. テストを再実行してください。
4. システム・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。このコンポーネント用の最新レベルのファームウェアは、IBM サポート Web サイトでこのシステム・タイプを参照して検索できます。
5. テストを再実行してください。
6. システムが応答を停止した場合は、システムの電源をオフにして再始動してから、テストを再実行してください。
7. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

089-802-000 CPU Stress Test Aborted

説明: CPU ストレス・テストが異常終了しました。システム・リソース使用不可エラー。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. システムの電源をオフにして、再始動してください。
2. DSA 診断コードが最新レベルであることを確認します。
3. テストを再実行してください。
4. システム・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
5. テストを再実行してください。

6. システムが応答を停止した場合は、システムの電源をオフにして再始動してから、テストを再実行してください。

7. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

089-803-000 CPU Stress Test Aborted

説明: CPU ストレス・テストが異常終了しました。テストを実行するにはメモリー・サイズが足りません。少なくとも 1 GB は必要です。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

089-804-000 CPU Stress Test Aborted

説明: CPU ストレス・テストが異常終了しました。ユーザーが Ctrl-C を押しました。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

089-901-000 CPU Stress Test Failed

説明: CPU ストレス・テストが失敗しました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. システムが応答を停止した場合は、システムの電源をオフにして再始動してから、テストを再実行してください。
2. DSA 診断コードが最新レベルであることを確認します。
3. テストを再実行してください。
4. システム・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。

5. テストを再実行してください。
6. システムが応答を停止した場合は、システムの電源をオフにして再始動してから、テストを再実行してください。

7. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

DSA Emulex アダプター・テスト結果

Emulex アダプター・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

516-000-000 ELXUCNA: NIC MAC LoopBackTest Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

516-001-000 ELXUCNA: NIC PHY LoopBackTest Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

516-002-000 ELXUCNA: ELXUCNA: NIC LED(Beacon)Test Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

516-800-000 ELXUCNA: NIC MAC LoopBackTest Aborted

説明: MAC 層でのループバック・テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

516-801-000 ELXUCNA: NIC PHY LoopBackTest Aborted

説明: 物理層でのループバック・テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

516-802-000 ELXUCNA: ELXUCNA: NIC LED(Beacon)Test Aborted

説明: 状況 LED の確認は取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

516-900-000 ELXUCNA: NIC MAC LoopBackTest Failed

説明: MAC 層でのループバック・テスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。

3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

516-901-000 ELXUCNA: NIC PHY LoopBackTest Failed

説明: 物理層でのループバック・テスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

516-902-000 ELXUCNA: ELXUCNA: NIC LED(Beacon)Test Failed

説明: 状況 LED の動作を確認中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

DSA EXA ポート ping テスト結果

EXA ポート ping テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

401-000-000 EXA Port Ping Test Passed

説明: EXA ポート ping テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

1. 電源ケーブルを取り外して 45 秒間待ってから、再接続してテストを再実行します。
2. スケーラビリティ・ケーブルの接続が仕様どおりであることを確認します。
3. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。
4. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。

401-801-000 EXA Port Ping Test Aborted

説明: EXA ポート ping テストが異常終了しました。装置基底アドレスを取得できません。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

401-802-000 EXA Port Ping Test Aborted

説明: EXA ポート ping テストが異常終了しました。ポートの接続が正しくない可能性があります。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 電源ケーブルを取り外して 45 秒間待ってから、再接続してテストを再実行します。
2. スケーラビリティ・ケーブルの接続が仕様どおりであることを確認します。
3. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。
4. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。

401-901-001 EXA Port Ping Test Failed

説明: EXA ポート ping テストが失敗しました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 電源ケーブルを取り外して 45 秒間待ってから、再接続してテストを再実行します。
2. スケーラビリティ・ケーブルの接続が仕様どおりであることを確認します。
3. スケーラビリティ・ケーブルの接続が緩んでいないか調べます。
4. 指定されたポート (複数の場合もあり) のスケーラビリティ・ケーブル (複数の場合もあり) を取り付け直します。
5. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。

DSA ハード・ディスク・テスト結果

ハード・ディスク・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

217-000-000 HDD Test Passed

説明: HDD ストレス・テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

4. 問題が解決しない場合は、技術サポート担当者に連絡してください。

217-900-000 HDD Test Failed

説明: HDD テストが失敗しました。ハード・ディスク自己診断テストで障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. ケーブルの接続を確認します。
2. テストを再実行します。
3. ファームウェアが最新レベルであることを確認します。
4. テストを再実行します。
5. 問題が解決しない場合は、技術サポート担当者に連絡してください。

217-800-000 HDD Test Aborted

説明: HDD テストが異常終了しました。テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. ケーブルの接続を確認します。
2. テストを再実行します。
3. ハード・ディスクが自己診断テストおよび自己診断テスト・ロギングをサポートしていることを確認します。

DSA Intel ネットワーク・テスト結果

Intel ネットワーク・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

406-000-000 IANet:Registers Test Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

406-001-000 IANet:EEPROM Test Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

406-002-000 IANet:FIFO Test Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

406-003-000 IANet:Interrupts Test Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

406-004-000 IANet:Loopback Test Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

406-800-000 IANet:Registers Test Aborted

説明: レジスター・テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

406-801-000 IANet:EEPROM Test Aborted

説明: EEPROM テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

406-802-000 IANet:FIFO Test Aborted

説明: FIFO テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

406-803-000 IANet:Interrupts Test Aborted

説明: 割り込みテストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

406-804-000 IANet:Loopback Test Aborted

説明: ループバック・テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

406-900-000 IANet:Registers Test Failed

説明: レジスター・テスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール

ール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。

2. テストを再実行します。
3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

406-901-000 IANet:EEPROM Test Failed

説明: EEPROM テスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

406-902-000 IANet:FIFO Test Failed

説明: FIFO テスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

406-903-000 IANet:Interrupts Test Failed

説明: 割り込みテスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. DSA Diagnostic Log の PCI Hardware セクションで割り込みの割り当てを調べます。イーサネット装置が割り込みを共用している場合は、可能であれば、F1 を使用して割り込みの割り当てを変更し、固有の割り込みをその装置に割り当てます。
4. テストを再実行します。
5. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

406-904-000 IANet:Loopback Test Failed

説明: ループバック・テスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. イーサネット・ケーブルに損傷がないか調べ、ケーブルのタイプと接続が正しいことを確認します。
2. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
3. テストを再実行します。
4. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

DSA LSI ハード・ディスク・テスト結果

LSI ハード・ディスク・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

407-000-000 LSIESG:DiskDefaultDiagnostic Test Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

説明: ハード・ディスク自己診断テストで障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. ケーブルの接続を確認します。
2. テストを再実行します。
3. ファームウェアが最新レベルであるかどうか確認します。
4. テストを再実行します。
5. 問題が解決しない場合は、IBM 技術サポート担当者に連絡してください。

407-800-000 LSIESG:DiskDefaultDiagnostic Test Aborted

説明: テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

407-900-000 LSIESG:DiskDefaultDiagnostic Test Failed

DSA Mellanox アダプター・テスト結果

Mellanox アダプター・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

408-000-000 MLNX:MLNX_DiagnosticTestEthernetPort Test Passed

説明: ポート・テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

408-800-000 MLNX:MLNX_DiagnosticTestEthernetPort Test Aborted

説明: ポート・テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

408-001-000 MLNX:MLNX_DiagnosticTestIBPort Test Passed

説明: ポート・テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

408-801-000 MLNX:MLNX_DiagnosticTestIBPort Test Aborted

説明: ポート・テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

408-900-000 MLNX:MLNX_DiagnosticTestEthernetPort Test Failed

説明: ポート・テストが失敗しました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. テスト中のポートの物理リンクがアクティブ状態であることを確認します。
2. 上記条件が満たされているのにテストが失敗し続ける場合は、ポートのアダプターに障害がある可能性があります。
3. アダプターを取り替えて、テストの繰り返しを試みます。

説明: ポート・テストが失敗しました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. テスト中のポートの物理リンクがアクティブ状態であり、サブネット・マネージャーがポートの接続先であるファブリック上で実行していることを確認します。
2. 上記条件が満たされているのにテストが失敗し続ける場合は、ポートのアダプターに障害がある可能性があります。
3. アダプターを取り替えて、テストの繰り返しを試みます。

408-901-000 MLNX:MLNX_DiagnosticTestIBPort Test Failed

DSA メモリー分離テスト結果

メモリー分離テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

201-000-000 Standalone Memory Test Passed

説明: すべての CPU のクイック/フル・メモリー・テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

201-000-001 Standalone Memory Test Passed

説明: CPU 1 のクイック/フル・メモリー・テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

201-000-003 Standalone Memory Test Passed

説明: CPU 3 のクイック/フル・メモリー・テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

201-000-002 Standalone Memory Test Passed

説明: CPU 2 のクイック/フル・メモリー・テストに合格しました。

201-000-004 Standalone Memory Test Passed

説明: CPU 4 のクイック/フル・メモリー・テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

201-811-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: SMBIOS キー「_SM_」が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-811-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: SMBIOS キー「_SM_」が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-811-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: SMBIOS キー「_SM_」が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-811-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: SMBIOS キー「_SM_」が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-812-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: メモリー・テストはこのシステムではサポートされていません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。

4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-812-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: メモリー・テストはこのシステムではサポートされていません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-812-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: メモリー・テストはこのシステムではサポートされていません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-812-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: メモリー・テストはこのシステムではサポートされていません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-813-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: チップ・セット・エラー: CPU 内での ECC エラー・レポート作成をオフにできません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-813-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: チップ・セット・エラー: CPU 内での ECC エラー・レポート作成をオフにできません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-813-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: チップ・セット・エラー: CPU 内での ECC エラー・レポート作成をオフにできません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-813-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: チップ・セット・エラー: CPU 内での ECC エラー・レポート作成をオフにできません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-814-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: チップ・セット・エラー: CPU について消し込み機能を使用不可にできません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-814-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: チップ・セット・エラー: CPU について消し込み機能を使用不可にできません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-814-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: チップ・セット・エラー: CPU について消し込み機能を使用不可にできません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-814-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: チップ・セット・エラー: CPU について消し込み機能を使用不可にできません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-815-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: クイック・メモリー・メニューのオプション選択に関するプログラム・エラー。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。

3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-815-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: クイック・メモリー・メニューのオプション選択に関するプログラム・エラー。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-815-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: クイック・メモリー・メニューのオプション選択に関するプログラム・エラー。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-815-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: クイック・メモリー・メニューのオプション選択に関するプログラム・エラー。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-816-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: フル・メモリー・メニューのオプション選択に関するプログラム・エラー。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-816-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: フル・メモリー・メニューのオプション選択に関するプログラム・エラー。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-816-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: フル・メモリー・メニューのオプション選択に関するプログラム・エラー。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-816-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: フル・メモリー・メニューのオプション選択に関するプログラム・エラー。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。

3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-818-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: SMBIOS キー「_SM_」が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-818-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: SMBIOS キー「_SM_」が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-818-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: SMBIOS キー「_SM_」が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-818-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: SMBIOS キー「_SM_」が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-819-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: START-END アドレス範囲がメモリーの制限された領域内にあります。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-819-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: START-END アドレス範囲がメモリーの制限された領域内にあります。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-819-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: START-END アドレス範囲がメモリーの制限された領域内にあります。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。

4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-819-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: START-END アドレス範囲がメモリーの制限された領域内にあります。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-820-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: メモリーの上限は、16 MB 未満です。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-820-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: メモリーの上限は、16 MB 未満です。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-820-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: メモリーの上限は、16 MB 未満です。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-820-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: メモリーの上限は、16 MB 未満です。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。

4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-821-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: 可変範囲 MTRR レジスターが固定範囲 MTRR レジスターより大きいです。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-821-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: 可変範囲 MTRR レジスターが固定範囲 MTRR レジスターより大きいです。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-821-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: 可変範囲 MTRR レジスターが固定範囲 MTRR レジスターより大きいです。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-821-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: 可変範囲 MTRR レジスターが固定範囲 MTRR レジスターより大きいです。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-822-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: MTRR サービス要求が無効です。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。

3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。

4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-822-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: MTRR サービス要求が無効です。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-822-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: MTRR サービス要求が無効です。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-822-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: MTRR サービス要求が無効です。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-824-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: ノード・インターリーブ機能をオフにする必要があります。セットアップに進み、ノード・インターリーブ・オプションを使用不可にしてから、テストを再実行します。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-824-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: ノード・インターリーブ機能をオフにする必要があります。セットアップに進み、ノード・インターリーブ・オプションを使用不可にしてから、テストを再実行します。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-824-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: ノード・インターリーブ機能をオフにする必要があります。セットアップに進み、ノード・インターリーブ・オプションを使用不可にしてから、テストを再実行します。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-824-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: ノード・インターリーブ機能をオフにする必要があります。セットアップに進み、ノード・インターリーブ・オプションを使用不可にしてから、テストを再実行します。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-826-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: BIOS: メモリー・コントローラーが使用不可になっています。セットアップに進み、メモリー・コントローラーを使用可能にします。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-826-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: BIOS: メモリー・コントローラーが使用不可になっています。セットアップに進み、メモリー・コントローラーを使用可能にします。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。

3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-826-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: BIOS: メモリー・コントローラーが使用不可になっています。セットアップに進み、メモリー・コントローラーを使用可能にします。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-826-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: BIOS: メモリー・コントローラーが使用不可になっています。セットアップに進み、メモリー・コントローラーを使用可能にします。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-827-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: BIOS: ECC 機能が BIOS によって使用不可になっています。セットアップに進み、ECC 生成を使用可能にします。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-827-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: BIOS: ECC 機能が BIOS によって使用不可になっています。セットアップに進み、ECC 生成を使用可能にします。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-827-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: BIOS: ECC 機能が BIOS によって使用不可になっています。セットアップに進み、ECC 生成を使用可能にします。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-827-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: BIOS: ECC 機能が BIOS によって使用不可になっています。セットアップに進み、ECC 生成を使用可能にします。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-844-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: チップ・セット・エラー: MSR マシン・チェック・コントロール・マスクのレジスターをマスキング中に問題が発生しました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-844-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: チップ・セット・エラー: MSR マシン・チェック・コントロール・マスクのレジスターをマスキング中に問題が発生しました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-844-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: チップ・セット・エラー: MSR マシン・チェック・コントロール・マスクのレジスターをマスキング中に問題が発生しました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。

3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-844-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: チップ・セット・エラー: MSR マシン・チェック・コントロール・マスクのレジスターをマスキング中に問題が発生しました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-845-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: チップ・セット・エラー: MSR マシン・チェック制御レジスターをクリア中に問題が発生しました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-845-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: チップ・セット・エラー: MSR マシン・チェック制御レジスターをクリア中に問題が発生しました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-845-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: チップ・セット・エラー: MSR マシン・チェック制御レジスターをクリア中に問題が発生しました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-845-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: チップ・セット・エラー: MSR マシン・チェック制御レジスターをクリア中に問題が発生しました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-859-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: 無効な XSECSRAT タイプ。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-859-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: 無効な XSECSRAT タイプ。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。

4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-859-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: 無効な XSECSRAT タイプ。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-859-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: 無効な XSECSRAT タイプ。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-860-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM0 タイプ 1 が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-860-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM0 タイプ 1 が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-860-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM0 タイプ 1 が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。

4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-860-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM0 タイプ 1 が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-861-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: SRAT タイプ 1 が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-861-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: SRAT タイプ 1 が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-861-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: SRAT タイプ 1 が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-861-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: SRAT タイプ 1 が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。

4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-862-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM1 構造が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-862-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM1 構造が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-862-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM1 構造が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-862-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM1 構造が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-863-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM1 構造に IBMERROR キーがありません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。

4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-863-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM1 構造に IBMERROR キーがありません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-863-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM1 構造に IBMERROR キーがありません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-863-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM1 構造に IBMERROR キーがありません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-864-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM1 に GAS が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-864-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM1 に GAS が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。

4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-864-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM1 に GAS が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-864-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM1 に GAS が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-865-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM0 構造に XSECSRAT キーがありません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-865-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM0 構造に XSECSRAT キーがありません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-865-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM0 構造に XSECSRAT キーがありません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。

4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-865-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM0 構造に XSECSRAT キーがありません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-866-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: EFI-SAL GetMemoryMap 関数からの無効なパラメーター。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-866-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: EFI-SAL GetMemoryMap 関数からの無効なパラメーター。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-866-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: EFI-SAL GetMemoryMap 関数からの無効なパラメーター。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-866-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: EFI-SAL GetMemoryMap 関数からの無効なパラメーター。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。

3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-867-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: EFI/SAL: バッファが割り振られていません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-867-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: EFI/SAL: バッファが割り振られていません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-867-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: EFI/SAL: バッファが割り振られていません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-867-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: EFI/SAL: バッファが割り振られていません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-868-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: EFI/SAL: GetMemoryMap に割り振られたバッファが小さすぎます。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-868-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: EFI/SAL: GetMemoryMap に割り振られたバッファが小さすぎます。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-868-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: EFI/SAL: GetMemoryMap に割り振られたバッファが小さすぎます。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。

4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-868-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: EFI/SAL: GetMemoryMap に割り振られたバッファが小さすぎます。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-869-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: EFI/SAL GetMemoryMap 関数からの無効なパラメーター。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-869-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: EFI/SAL GetMemoryMap 関数からの無効なパラメーター。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-869-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: EFI/SAL GetMemoryMap 関数からの無効なパラメーター。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-869-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: EFI/SAL GetMemoryMap 関数からの無効なパラメーター。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-870-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: ACPI 内の CPU ドメインが無効です。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-870-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: ACPI 内の CPU ドメインが無効です。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-870-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: ACPI 内の CPU ドメインが無効です。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-870-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: ACPI 内の CPU ドメインが無効です。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-871-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: データの比較誤りが検出されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-871-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: データの比較誤りが検出されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-871-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: データの比較誤りが検出されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-871-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: データの比較誤りが検出されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-877-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: BIOS: 拡張 PCI レジスター内でのスベアリングはオフでなければなりません。セットアップに進み、スベアリングを使用不可にします。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-877-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: BIOS: 拡張 PCI レジスター内でのスベアリングはオフでなければなりません。セットアップに進み、スベアリングを使用不可にします。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-877-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: BIOS: 拡張 PCI レジスター内でのスベアリングはオフでなければなりません。セットアップに進み、スベアリングを使用不可にします。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-877-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: BIOS: 拡張 PCI レジスター内でのスベアリングはオフでなければなりません。セットアップに進み、スベアリングを使用不可にします。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。

3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-878-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: スペアリング機能をオフにする必要があります。セットアップに進み、スペアリング機能をオフにします。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-878-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: スペアリング機能をオフにする必要があります。セットアップに進み、スペアリング機能をオフにします。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-878-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: スペアリング機能をオフにする必要があります。セットアップに進み、スペアリング機能をオフにします。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-878-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: スペアリング機能をオフにする必要があります。セットアップに進み、スペアリング機能をオフにします。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-885-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: プロセッサでは MTRR レジスター操作はサポートされていません。キャッシュなしでメモリーに書き込むことはできません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-885-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: プロセッサでは MTRR レジスター操作はサポートされていません。キャッシュなしでメモリーに書き込むことはできません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-885-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: プロセッサでは MTRR レジスター操作はサポートされていません。キャッシュなしでメモリーに書き込むことはできません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-885-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: プロセッサでは MTRR レジスター操作はサポートされていません。キャッシュなしでメモリーに書き込むことはできません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-886-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: メモリーの上限は、16 MB 未満です。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。

4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-886-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: メモリーの上限は、16 MB 未満です。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-886-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: メモリーの上限は、16 MB 未満です。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-886-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: メモリーの上限は、16 MB 未満です。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-899-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: メモリー診断テストがユーザーにより打ち切られました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

201-899-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: メモリー診断テストがユーザーにより打ち切られました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

201-899-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: メモリー診断テストがユーザーにより打ち切られました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

201-899-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: メモリー診断テストがユーザーにより打ち切られました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

201-901-000 Standalone Memory Test Failed

説明: メモリー診断テストが失敗しました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/UEFI が最新レベルであることを確認します。
5. エラーに挙げられた DIMMS を、1 つずつ交換します。
6. Configuration/Setup ユーティリティ・プログラムで、すべての DIMM が使用可能になっていることを確認します。
7. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

201-901-001 Standalone Memory Test Failed

説明: メモリー診断テストが失敗しました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/UEFI が最新レベルであることを確認します。

5. エラーに挙げられた DIMMS を、1 つずつ交換します。
6. Configuration/Setup ユーティリティ・プログラムで、すべての DIMM が使用可能になっていることを確認します。
7. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

201-901-002 Standalone Memory Test Failed

説明: メモリー診断テストが失敗しました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/UEFI が最新レベルであることを確認します。
5. エラーに挙げられた DIMMS を、1 つずつ交換します。
6. Configuration/Setup ユーティリティ・プログラムで、すべての DIMM が使用可能になっていることを確認します。
7. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

201-901-003 Standalone Memory Test Failed

説明: メモリー診断テストが失敗しました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。
5. エラーに挙げられた DIMMS を、1 つずつ交換します。
6. Configuration/Setup ユーティリティ・プログラムで、すべての DIMM が使用可能になっていることを確認します。
7. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

DSA メモリー・ストレス・テスト結果

メモリー・ストレス・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

202-000-000 MemStr Test Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

202-801-000 MemStr Test Aborted

説明: 内部プログラム・エラー

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. システムの電源をオフにして、再始動してください。
2. DSA 診断コードが最新レベルであることを確認します。
3. テストを再実行してください。
4. システムが応答を停止した場合は、システムの電源をいったんオフにし、再始動します。
5. システム・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。
6. メモリー診断を実行して、特定の障害のある DIMM を識別します。
7. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

202-802-000 MemStr Test Aborted

説明: テストを実行するにはメモリー・サイズが足りません。少なくとも 1 GB は必要です。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

202-803-000 MemStr Test Aborted

説明: ユーザーが Ctrl-C を押しました。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

202-901-000 MemStr Test Failed

説明: テストが失敗しました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 標準 DSA メモリー診断を実行して、すべてのメモリーの妥当性検査を行ってください。
2. DSA 診断コードが最新レベルであることを確認します。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。

4. メモリー・カードおよび DIMM を取り付け直します。
5. システムを電源に再接続して、システムの電源をオンにします。
6. テストを再実行してください。
7. 標準 DSA メモリー診断を実行して、すべてのメモリーの妥当性検査を行ってください。
8. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

202-902-000 MemStr Test Failed

説明: テストを実行するにはメモリー・サイズが足りません。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. DSA Diagnostic Event Log の「Resource Utilization」セクションの「Available System Memory」を調べて、すべてのメモリーが使用可能であることを確認します。
 2. 必要に応じて、システム・ブート中に F1 を押して Configuration/Setup ユーティリティ・プログラムにアクセスし、すべてのメモリーを使用可能にします。
 3. DSA 診断コードが最新レベルであることを確認します。
 4. テストを再実行してください。
 5. 標準 DSA メモリー診断を実行して、すべてのメモリーの妥当性検査を行ってください。
 6. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。
-

DSA Nvidia GPU テスト結果

Nvidia GPU テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

409-000-000 NVIDIA User Diagnostic Test Passed

説明: NVIDIA ユーザー診断テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

409-003-000 Nvidia::DiagnosticServiceProvider::Bandwidth Test Passed

説明: Nvidia GPU 帯域幅テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

409-005-000 Nvidia::DiagnosticServiceProvider::Matrix Test Passed

説明: Nvidia GPU マトリックス・テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

409-006-000 Nvidia::DiagnosticServiceProvider::Binomial Test Passed

説明: Nvidia GPU Binomial テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

409-004-000 Nvidia::DiagnosticServiceProvider::Query Test Passed

説明: Nvidia GPU 照会テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

409-800-000 NVIDIA User Diagnostic Test Aborted

説明: NVIDIA ユーザー診断テストは取り消されました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

409-803-000 Nvidia::DiagnosticServiceProvider::Bandwidth Test Aborted

説明: Nvidia GPU 帯域幅テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

409-804-000 Nvidia::DiagnosticServiceProvider::Query Test Aborted

説明: Nvidia GPU 照会テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

409-805-000 Nvidia::DiagnosticServiceProvider::Matrix Test Aborted

説明: Nvidia GPU マトリックス・テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

409-806-000 Nvidia::DiagnosticServiceProvider::Binomial Test Aborted

説明: Nvidia GPU Binomial テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

409-900-000 NVIDIA User Diagnostic Test Failed

説明: NVIDIA ユーザー診断テストが失敗しました。

重大度: イベント

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. GPU を取り付け直して、GPU が PCIe スロットに正しく取り付けられていることを確認します。次にシステムの電源サイクルを実行します。
2. GPU への電源コネクタがしっかりと接続されていることを確認します。次にシステムの電源サイクルを実行します。
3. `nvidia-smi -q` を実行します。これにより、電源ケーブルがきちんと接続されていないと報告される場合があります。
4. 作動していることがわかっているシステムで、同じ GPU を使用して、診断を再実行します。システムの様々な問題により、診断が失敗することがあります。
5. 問題が解決しない場合は、IBM 技術サポート担当者に連絡してください。

409-903-000 Nvidia::DiagnosticServiceProvider::Bandwidth Test Failed

説明: Nvidia GPU 帯域幅テストが失敗しました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. GPU を取り付け直して、GPU が PCIe スロットに正しく取り付けられていることを確認します。次にシステムの電源サイクルを実行します。
2. GPU への電源コネクタがしっかりと接続されていることを確認します。次にシステムの電源サイクルを実行します。
3. `nvidia-smi -q` を実行します。これにより、電源ケーブルがきちんと接続されていないと報告される場合があります。
4. 作動していることがわかっているシステムで、同じ GPU を使用して、診断を再実行します。システムの様々な問題により、診断が失敗することがあります。

5. 問題が解決しない場合は、IBM 技術サポート担当者に連絡してください。

409-904-000 Nvidia::DiagnosticServiceProvider::Query Test Failed

説明: Nvidia GPU 照会テストが失敗しました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. GPU を取り付け直して、GPU が PCIe スロットに正しく取り付けられていることを確認します。次にシステムの電源サイクルを実行します。
2. GPU への電源コネクタがしっかりと接続されていることを確認します。次にシステムの電源サイクルを実行します。
3. `nvidia-smi -q` を実行します。これにより、電源ケーブルがきちんと接続されていないと報告される場合があります。
4. 作動していることがわかっているシステムで、同じ GPU を使用して、診断を再実行します。システムの様々な問題により、診断が失敗することがあります。
5. 問題が解決しない場合は、IBM 技術サポート担当者に連絡してください。

409-905-000 Nvidia::DiagnosticServiceProvider::Matrix Test Failed

説明: Nvidia GPU マトリックス・テストが失敗しました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. GPU を取り付け直して、GPU が PCIe スロットに正しく取り付けられていることを確認します。次にシステムの電源サイクルを実行します。

2. GPU への電源コネクタがしっかりと接続されていることを確認します。次にシステムの電源サイクルを実行します。
3. `nvidia-smi -q` を実行します。これにより、電源ケーブルがきちんと接続されていないと報告される場合があります。
4. 作動していることがわかっているシステムで、同じ GPU を使用して、診断を再実行します。システムの様々な問題により、診断が失敗することがあります。
5. 問題が解決しない場合は、IBM 技術サポート担当者に連絡してください。

409-906-000 Nvidia::DiagnosticServiceProvider::Binomial Test Failed

説明: Nvidia GPU Binomial テストが失敗しました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. GPU を取り付け直して、GPU が PCIe スロットに正しく取り付けられていることを確認します。次にシステムの電源サイクルを実行します。
2. GPU への電源コネクタがしっかりと接続されていることを確認します。次にシステムの電源サイクルを実行します。
3. `nvidia-smi -q` を実行します。これにより、電源ケーブルがきちんと接続されていないと報告される場合があります。
4. 作動していることがわかっているシステムで、同じ GPU を使用して、診断を再実行します。システムの様々な問題により、診断が失敗することがあります。
5. 問題が解決しない場合は、IBM 技術サポート担当者に連絡してください。

DSA 光学式ドライブ・テスト結果

光学式ドライブ・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

215-000-000 Optical Drive Test Passed

説明: 光学式ドライブ・テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

215-801-000 Optical Drive Test Aborted

説明: 光学式ドライブ・テストが異常終了しました。ドライブと通信できません。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. DSA 診断コードが最新レベルであることを確認します。
2. テストを再実行してください。
3. ドライブ・ケーブルの両端が緩んでいたり、接続が外れていたりしていないか、またケーブルに破損がないか確認します。損傷がある場合は、ケーブルを交換します。
4. テストを再実行してください。
5. システム・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
6. テストを再実行してください。

215-802-000 Optical Drive Test Aborted

説明: 光学式ドライブ・テストが異常終了しました。読み取りエラーが検出されました。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 新しい CD または DVD をドライブに挿入し、メディアが認識されるまで 15 秒間待ちます。テストを再実行します。
2. ドライブ・ケーブルの両端が緩んでいたり、接続が外れていたりしていないか、またケーブルに破損がないか確認します。損傷がある場合は、ケーブルを交換します。

3. テストを再実行してください。

4. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

215-803-000 Optical Drive Test Failed

説明: 光学式ドライブ・テストが失敗しました。ディスクがオペレーティング・システムによって使用中である可能性があります。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. システム・アクティビティが停止するのを待ちます。
2. テストを再実行します。
3. システムの電源をオフにして、再始動してください。
4. テストを再実行してください。

215-804-000 Optical Drive Test Aborted

説明: 光学式ドライブ・テストが異常終了しました。メディア・トレイが開いています。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. メディア・トレイを閉じ、メディアが認識されるまで 15 秒間待ちます。テストを再実行してください。
2. 新しい CD または DVD をドライブに挿入し、メディアが認識されるまで 15 秒間待ちます。テストを再実行します。
3. ドライブ・ケーブルの両端が緩んでいたり、接続が外れていたりしていないか、またケーブルに破損がないか確認します。損傷がある場合は、ケーブルを交換します。
4. テストを再実行してください。

5. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

215-901-000 Optical Drive Test Aborted

説明: 光学式ドライブ・テストが異常終了しました。ドライブ・メディアが検出されません。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 新しい CD または DVD をドライブに挿入し、メディアが認識されるまで 15 秒間待ちます。テストを再実行します。
2. ドライブ・ケーブルの両端が緩んでいたり、接続が外れていたりしていないか、またケーブルに破損がないか確認します。損傷がある場合は、ケーブルを交換します。
3. テストを再実行してください。
4. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

215-902-000 Optical Drive Test Failed

説明: 光学式ドライブ・テストが失敗しました。読み取りの不一致。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 新しい CD または DVD をドライブに挿入し、メディアが認識されるまで 15 秒間待ちます。テストを再実行します。

2. ドライブ・ケーブルの両端が緩んでいたり、接続が外れていたりしていないか、またケーブルに破損がないか確認します。損傷がある場合は、ケーブルを交換します。
3. テストを再実行してください。
4. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

215-903-000 Optical Drive Test Aborted

説明: 光学式ドライブ・テストが異常終了しました。装置にアクセスできませんでした。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 新しい CD または DVD をドライブに挿入し、メディアが認識されるまで 15 秒間待ちます。テストを再実行します。
2. ドライブ・ケーブルの両端が緩んでいたり、接続が外れていたりしていないか、またケーブルに破損がないか確認します。損傷がある場合は、ケーブルを交換します。
3. テストを再実行してください。
4. システム・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
5. テストを再実行してください。
6. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

DSA システム管理テスト結果

システム管理テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

166-000-001 IMM I2C Test Passed

説明: IMM I2C テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

166-801-001 IMM I2C Test Aborted

説明: IMM が誤った応答長を返しました。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-802-001 IMM I2C Test Aborted

説明: 不明な理由によりテストが完了できません。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-803-001 IMM I2C Test Aborted

説明: ノードは使用中です。後で試行してください。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-804-001 IMM I2C Test Aborted

説明: 無効なコマンド。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-805-001 IMM I2C Test Aborted

説明: 指定された LUN に無効なコマンドです。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-806-001 IMM I2C Test Aborted

説明: コマンドの処理中にタイムアウトになりました。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-807-001 IMM I2C Test Aborted

説明: スペース不足。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-808-001 IMM I2C Test Aborted

説明: 予約が取り消されたか、または予約 ID が無効です。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-809-001 IMM I2C Test Aborted

説明: 要求データが切り捨てられました。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-810-001 IMM I2C Test Aborted

説明: 要求データの長さが無効です。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-811-001 IMM I2C Test Aborted

説明: 要求データ・フィールド長の限度を超えています。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-812-001 IMM I2C Test Aborted

説明: 範囲外のパラメーター。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
 2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。
-

166-813-001 IMM I2C Test Aborted

説明: 要求されたデータ・バイト数を返すことができません。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-814-001 IMM I2C Test Aborted

説明: 要求されたセンサー、データ、またはレコードは存在しません。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-815-001 IMM I2C Test Aborted

説明: 要求のデータ・フィールドが無効です。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-816-001 IMM I2C Test Aborted

説明: 指定されたセンサーまたはレコードのタイプに許可されていないコマンドです。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-817-001 IMM I2C Test Aborted

説明: コマンドに対する応答を提供できませんでした。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-818-001 IMM I2C Test Aborted

説明: 重複した要求は実行できません。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-819-001 IMM I2C Test Aborted

説明: コマンドに対する応答を提供できませんでした。
SDR リポジトリは更新モードです。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-820-001 IMM I2C Test Aborted

説明: コマンドに対する応答を提供できませんでした。
装置はファームウェア更新モードです。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-821-001 IMM I2C Test Aborted

説明: コマンドに対する応答を提供できませんでした。
BMC の初期化が進行中です。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-822-001 IMM I2C Test Aborted

説明: 宛先が使用不可です。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-823-001 IMM I2C Test Aborted

説明: コマンドを実行できません。特権レベルが不十分です。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-824-001 IMM I2C Test Aborted

説明: コマンドを実行できません。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-901-001 IMM I2C Test Failed

説明: IMM が RTMM バス (BUS 0) での障害を示しています。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。
3. テストを再実行してください。
4. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

166-903-001 IMM I2C Test Failed

説明: IMM は TMP75 バス (BUS 2) における障害を示しています。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。
3. テストを再実行してください。
4. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

166-904-001 IMM I2C Test Failed

説明: IMM は TMP75 バス (BUS 3) における障害を示しています。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。
3. テストを再実行してください。
4. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

166-905-001 IMM I2C Test Failed

説明: IMM は ADS1015 バス (BUS 4) における障害を示しています。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。
3. テストを再実行してください。
4. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

166-908-001 IMM I2C Test Failed

説明: IMM は PCA9557 バス (BUS 7) における障害を示しています。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。

2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。
3. テストを再実行してください。
4. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

DSA テープ・ドライブ・テスト結果

テープ・ドライブ・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

264-000-000 Tape Test Passed

説明: テープ・テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

説明: テープ・テストが失敗しました。メディアが検出されません。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 適切なクリーニング・メディアを使用してテープ・ドライブをクリーニングし、新しいメディアをインストールします。
2. テストを再実行してください。
3. ドライブ・ファームウェアが最新レベルであることを確認します。
4. 最新のファームウェア・レベルにアップグレードした後で、テストを再実行します。
5. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

264-901-000 Tape Test Failed

説明: テープ・アラート・ログでエラーが検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 適切なクリーニング・メディアを使用してテープ・ドライブをクリーニングし、新しいメディアをインストールします。
2. テストを再実行してください。
3. エラー・ログを消去します。
4. テストを再実行してください。
5. ドライブ・ファームウェアが最新レベルであることを確認します。
6. 最新のファームウェア・レベルにアップグレードした後で、テストを再実行します。
7. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

264-903-000 Tape Test Failed

説明: テープ・テストが失敗しました。メディアが検出されません。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 適切なクリーニング・メディアを使用してテープ・ドライブをクリーニングし、新しいメディアをインストールします。
2. テストを再実行してください。

264-902-000 Tape Test Failed

3. ドライブ・ファームウェアが最新レベルであることを確認します。
4. 最新のファームウェア・レベルにアップグレードした後で、テストを再実行します。
5. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

264-904-000 Tape Test Failed

説明: テープ・テストが失敗しました。ドライブ・ハードウェア・エラー

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. テープ・ドライブ・ケーブルの接続が緩んでいたり、外れたりしていないか、またケーブルに損傷がないか確認します。損傷がある場合は、ケーブルを交換します。
2. 適切なクリーニング・メディアを使用してテープ・ドライブをクリーニングし、新しいメディアをインストールします。
3. テストを再実行してください。
4. ドライブ・ファームウェアが最新レベルであることを確認します。
5. 最新のファームウェア・レベルにアップグレードした後で、テストを再実行します。
6. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

264-905-000 Tape Test Failed

説明: テープ・テストが失敗しました。無効な要求のソフトウェア・エラーです。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. システムが応答を停止した場合は、システムの電源をいったんオフにし、再始動します。

2. システム・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
3. テストを再実行してください。
4. システムが応答を停止した場合は、システムの電源をいったんオフにし、再始動します。
5. ドライブ・ファームウェアが最新レベルであることを確認します。
6. テストを再実行してください。
7. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

264-906-000 Tape Test Failed

説明: テープ・テストが失敗しました。認識できないエラー

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 適切なクリーニング・メディアを使用してテープ・ドライブをクリーニングし、新しいメディアをインストールします。
 2. テストを再実行してください。
 3. ドライブ・ファームウェアが最新レベルであることを確認します。
 4. 最新のファームウェア・レベルにアップグレードした後で、テストを再実行します。
 5. DSA 診断コードが最新レベルであることを確認します。
 6. テストを再実行してください。
 7. システム・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。
 8. テストを再実行してください。
 9. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。
-

264-907-000 Tape Test Failed

説明: ブロック・アドレスのどこかでエラーが検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 適切なクリーニング・メディアを使用してテープ・ドライブをクリーニングし、新しいメディアをインストールします。

264-908-000 Tape Test Failed

説明: テープ容量を取得中にエラーが検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. メディアが存在していることを確認します。
2. 適切なクリーニング・メディアを使用してテープ・ドライブをクリーニングし、新しいメディアをインストールします。

付録 D. ヘルプおよび技術サポートの入手

ヘルプ、サービス、技術サポート、または IBM 製品に関する詳しい情報が必要な場合は、IBM がさまざまな形で提供しているサポートをご利用いただけます。

この情報を使用して、IBM および IBM 製品に関する追加情報の入手、ご使用の IBM システムまたはオプションのデバイスで問題が発生した場合の対処方法の判別、およびサービスが必要になった場合の連絡先の判別を行います。

依頼する前に

連絡する前に、以下の手順を実行して、必ずお客様自身で問題の解決を試みてください。

IBM に IBM 製品の保証サービスを依頼する必要がある場合、お客様が依頼する前に準備されていると、IBM サービス技術員はより効率的にお客様を支援できます。

- ケーブルがすべて接続されていることを確認します。
- 電源スイッチをチェックして、システムおよびすべてのオプション製品の電源がオンになっていることを確認します。
- ご使用の IBM 製品用に更新されたソフトウェア、ファームウェア、およびオペレーティング・システム・デバイス・ドライバがないか確認してください。
IBM の保証条件では、製品に関わるすべてのソフトウェアおよびファームウェアの保守および更新は、IBM 製品の所有者であるお客様の責任で行っていただくと定めています (ただし、追加の保守契約で保証される場合を除きます)。ソフトウェアを更新することで、お客様の問題に文書化された解決方法が示される場合、IBM サービス技術員は、お客様によるソフトウェアおよびファームウェアの更新を要求する場合があります。
- ご使用の環境で新しいハードウェアを取り付けたり、新しいソフトウェアをインストールした場合、<http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us> でそのハードウェアおよびソフトウェアがご使用の IBM 製品によってサポートされていることを確認してください。
- <http://www.ibm.com/supportportal> にアクセスして、問題の解決に役立つ情報があるか確認してください。
- IBM サービスに提供する次の情報を収集してください。IBM サポートは、このデータを使用してお客様の問題に対する解決方法を迅速に提供し、また、お客様の契約に基づく適切なレベルのサービスを保証できるようになります。
 - ハードウェアおよびソフトウェアの保守契約番号 (該当する場合)
 - マシン・タイプ番号 (IBM の 4 桁のマシン識別番号)
 - 型式番号
 - シリアル番号
 - 現行のシステム UEFI およびファームウェアのレベル
 - エラー・メッセージやログなど、その他関連情報

- http://www.ibm.com/support/entry/portal/Open_service_request にアクセスして、Electronic Service Request を送信してください。Electronic Service Request を送信すると、IBM サポートが迅速に、そして効果的に関連情報を使用できるようになることで、お客様の問題の解決策を判別するプロセスが開始されます。IBM サービス技術員は、お客様が Electronic Service Request を完了および送信するとすぐに、解決策の作業を開始します。

多くの問題は、IBM 製品に付属のオンライン・ヘルプおよび説明資料に記載のトラブルシューティング手順を実行することで、お客様自身で解決することができます。IBM システムに付属の資料には、お客様が実行できる診断テストについても記載しています。大部分のシステム、オペレーティング・システムおよびプログラムには、トラブルシューティング手順やエラー・メッセージおよびエラー・コードに関する説明書が付属しています。ソフトウェアの問題だと考えられる場合は、オペレーティング・システムまたはプログラムの資料を参照してください。

資料の使用

IBM システム、およびプリインストール・ソフトウェア、あるいはオプション製品に関する情報は、製品に付属の資料に記載されています。資料には、印刷された説明書、オンライン資料、README ファイル、およびヘルプ・ファイルがあります。

診断プログラムの使用方法については、システム資料にあるトラブルシューティングに関する情報を参照してください。トラブルシューティング情報または診断プログラムを使用した結果、デバイス・ドライバーの追加や更新、あるいは他のソフトウェアが必要になることがあります。IBM は WWW に、最新の技術情報を入手したり、デバイス・ドライバーおよび更新をダウンロードできるページを設けています。これらのページにアクセスするには、<http://www.ibm.com/supportportal>に進んでください。

ヘルプおよび情報を WWW から入手する

IBM 製品およびサポートに関する最新情報は、WWW から入手可能です。

WWW 上の <http://www.ibm.com/supportportal> では、IBM システム、オプション装置、サービス、およびサポートについての最新情報が提供されています。IBM System x 情報は、<http://www-06.ibm.com/systems/jp/x/> にあります。IBM BladeCenter 情報は、<http://www-06.ibm.com/systems/jp/bladecenter/> にあります。IBM IntelliStation 情報は、<http://www-06.ibm.com/systems/jp/x/intellistation/list.shtml> にあります。

IBM への DSA データの送信方法

IBM Enhanced Customer Data Repository を使用して、IBM に診断データを送信します。

診断データを IBM に送信する前に、<http://www.ibm.com/de/support/ecurep/terms.html> の利用条件をお読みください。

以下のいずれかの方法を使用して、IBM に診断データを送信することができます。

- 標準アップロード:http://www.ibm.com/de/support/ecurep/send_http.html
- システムのシリアル番号を使用した標準アップロード:http://www.ecurep.ibm.com/app/upload_hw
- セキュア・アップロード:http://www.ibm.com/de/support/ecurep/send_http.html#secure
- システムのシリアル番号を使用したセキュア・アップロード:
https://www.ecurep.ibm.com/app/upload_hw

個別設定したサポート Web ページの作成

目的の IBM 製品を特定して、個別設定したサポート Web ページを作成することができます。

個別設定したサポート Web ページを作成するには、<http://www.ibm.com/support/mynotifications> にアクセスします。この個別設定されたページから、新しい技術文書に関する E メール通知を毎週購読したり、情報およびダウンロードを検索したり、さまざまな管理サービスにアクセスしたりすることができます。

ソフトウェアのサービスとサポート

IBM サポート・ラインを使用すると、ご使用の IBM 製品の用法、構成、およびソフトウェアの問題について、電話によるサポートを有料で受けることができます。

サポート・ラインおよび各種の IBM サービスについて詳しくは、<http://www.ibm.com/services> をご覧になるか、あるいは <http://www.ibm.com/planetwide> でサポート電話番号をご覧ください。米国およびカナダの場合は、1-800-IBM-SERV (1-800-426-7378) に電話してください。

ハードウェアのサービスとサポート

ハードウェアの保守は、IBM サービスか IBM 販売店を通じて受けることができます。

保証サービスを提供する IBM 認定販売店を見つけるには、<http://www.ibm.com/partnerworld/jp/> にアクセスし、「**Business Partner Locator**」をクリックします。IBM サポートの電話番号については、<http://www.ibm.com/planetwide> を参照してください。米国およびカナダの場合は、1-800-IBM-SERV (1-800-426-7378) に電話してください。

米国およびカナダでは、ハードウェア・サービスおよびサポートは、1 日 24 時間、週 7 日ご利用いただけます。英国では、これらのサービスは、月曜から金曜までの午前 9 時から午後 6 時までご利用いただけます。

特記事項

本書は米国 IBM が提供する製品およびサービスについて作成したものであり、本書に記載の製品、サービス、または機能が日本においては提供されていない場合があります。日本で利用可能な製品、サービス、および機能については、日本 IBM の営業担当員にお尋ねください。本書で IBM 製品、プログラム、またはサービスに言及していても、その IBM 製品、プログラム、またはサービスのみが使用可能であることを意味するものではありません。これらに代えて、IBM の知的所有権を侵害することのない、機能的に同等の製品、プログラム、またはサービスを使用することができます。ただし、IBM 以外の製品とプログラムの操作またはサービスの評価および検証は、お客様の責任で行っていただきます。

IBM は、本書に記載されている内容に関して特許権 (特許出願中のものを含む) を保有している場合があります。本書の提供は、お客様にこれらの特許権について実施権を許諾することを意味するものではありません。実施権についてのお問い合わせは、書面にて下記宛先にお送りください。

〒103-8510
東京都中央区日本橋箱崎町19番21号
日本アイ・ビー・エム株式会社
法務・知的財産
知的財産権ライセンス渉外

IBM およびその直接または間接の子会社は、本書を特定物として現存するままの状態を提供し、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任を負わないものとします。国または地域によっては、法律の強行規定により、保証責任の制限が禁じられる場合、強行規定の制限を受けるものとします。

この情報には、技術的に不適切な記述や誤植を含む場合があります。本書は定期的に見直され、必要な変更は本書の次版に組み込まれます。IBM は予告なしに、随時、この文書に記載されている製品またはプログラムに対して、改良または変更を行うことがあります。

本書において IBM 以外の Web サイトに言及している場合がありますが、便宜のため記載しただけであり、決してそれらの Web サイトを推奨するものではありません。それらの Web サイトにある資料は、この IBM 製品の資料の一部ではありません。それらの Web サイトは、お客様の責任でご使用ください。

IBM は、お客様が提供するいかなる情報も、お客様に対してなんら義務も負うことのない、自ら適切と信ずる方法で、使用もしくは配布することができるものとします。

商標

IBM、IBM ロゴおよび ibm.com は、世界の多くの国で登録された International Business Machines Corp. の商標です。他の製品名およびサービス名等は、それぞれ IBM または各社の商標である場合があります。

現時点での IBM の商標リストについては、<http://www.ibm.com/legal/us/en/copytrade.shtml> をご覧ください。

Adobe および PostScript は、Adobe Systems Incorporated の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Cell Broadband Engine は、Sony Computer Entertainment, Inc. の米国およびその他の国における登録商標です。

Intel、Intel Xeon、Itanium、および Pentium は Intel Corporation または子会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Java およびすべての Java 関連の商標およびロゴは Oracle やその関連会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Linux は、Linus Torvalds の米国およびその他の国における登録商標です。

Microsoft、Windows、Windows NT および Windows ロゴは、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標です。

UNIX は The Open Group の米国およびその他の国における登録商標です。

重要事項

プロセッサの速度とは、マイクロプロセッサの内蔵クロックの速度を意味しますが、他の要因もアプリケーション・パフォーマンスに影響します。

CD または DVD ドライブの速度には、変わる可能性のある読み取り速度を記載しています。実際の速度は記載された速度と異なる場合があります、最大可能な速度よりも遅いことがあります。

主記憶装置、実記憶域と仮想記憶域、またはチャネル転送量を表す場合、KB は 1024 バイト、MB は 1,048,576 バイト、GB は 1,073,741,824 バイトを意味します。

ハード・ディスクの容量、または通信ボリュームを表すとき、MB は 1,000,000 バイトを意味し、GB は 1,000,000,000 バイトを意味します。ユーザーがアクセス可能な総容量は、オペレーティング環境によって異なります。

内蔵ハード・ディスクの最大容量は、IBM から入手可能な現在サポートされている最大のドライブを標準ハード・ディスクの代わりに使用し、すべてのハード・ディスク・ベイに取り付けることを想定しています。

最大メモリにするには、標準メモリをオプション・メモリー・モジュールと取り替える必要があります。

各ソリッド・ステート・メモリー・セルには、そのセルが耐えられる固有の有限数の組み込みサイクルがあります。したがって、ソリッド・ステート・デバイスには、可能な書き込みサイクルの最大数が決められています。これを「書き込み合計バイト数」(TBW) と呼びます。この制限を超えたデバイスは、システム生成コマンドに応答できなくなる可能性があり、また書き込み不能になる可能性があります。

す。IBM は、正式に公開された仕様に文書化されているプログラム/消去のサイクルの最大保証回数を超えたデバイスについては責任を負いません。

IBM は、ServerProven[®] に登録されている他社製品およびサービスに関して、商品性、および特定目的適合性に関する黙示的な保証も含め、一切の保証責任を負いません。これらの製品は、第三者によってのみ提供および保証されます。

IBM は、他社製品に関して一切の保証責任を負いません。他社製品のサポートがある場合は、IBM ではなく第三者によって提供されます。

いくつかのソフトウェアは、その小売り版（利用可能である場合）とは異なる場合があります、ユーザー・マニュアルまたはすべてのプログラム機能が含まれていない場合があります。

サーバーの廃棄・譲渡時のハード・ディスク上のデータ消去に関するご注意

これらのサーバーの中のハード・ディスクという記憶装置に、お客様の重要なデータが記録されています。従ってそのサーバーを譲渡あるいは廃棄するときには、これらの重要なデータ内容を消去するということが必要となります。

ところがこのハード・ディスク内に書き込まれたデータを消去するというのは、それほど簡単ではありません。「データを消去する」という場合、一般に

- データを「ゴミ箱」に捨てる
- 「削除」操作を行う
- 「ゴミ箱を空にする」コマンドを使って消す
- ソフトウェアで初期化（フォーマット）する
- 付属のリカバリー・プログラムを使い、工場出荷状態に戻す

などの作業をすると思いますが、これらのことをしても、ハード・ディスク内に記録されたデータのファイル管理情報が変更されるだけで、実際にデータが消された状態ではありません。つまり、一見消去されたように見えますが、Windows[®] などの OS のもとで、それらのデータを呼び出す処理ができなくなっただけで、本来のデータは残っているという状態にあるのです。

従いまして、特殊なデータ回復のためのソフトウェアを利用すれば、これらのデータを読みとることが可能な場合があります。このため、悪意のある人により、このサーバーのハード・ディスク内の重要なデータが読みとられ、予期しない用途に利用されるおそれがあります。

サーバーの廃棄・譲渡等を行う際に、ハード・ディスク上の重要なデータが流出するというトラブルを回避するためには、ハード・ディスクに記録された全データを、お客様の責任において消去することが非常に重要となります。消去するためには、ハード・ディスク上のデータを金槌や強磁気により物理的・磁氣的に破壊して読めなくする、または、専用ソフトウェアあるいはサービス（共に有償）をご利用になられることを推奨します。

なお、ハード・ディスク上のソフトウェア（オペレーティング・システム、アプリケーション・ソフトウェアなど）を削除することなくサーバーを譲渡すると、ソフトウェア・ライセンス使用許諾契約に抵触する場合があるため、十分な確認を行う必要があります。

データ消去支援サービスまたは機器リサイクル支援サービスについての詳細は、弊社営業担当員または「ダイヤル IBM」044-221-1522 へお問い合わせ下さい。

粒子汚染

注意: 浮遊微小粒子 (金属片や微粒子を含む) や反応性ガスは、単独で、あるいは湿気や気温など他の環境要因と組み合わせられることで、本書に記載されている装置にリスクをもたらす可能性があります。

過度のレベルの微粒子や高濃度の有害ガスによって発生するリスクの中には、装置の誤動作や完全な機能停止の原因となり得る損傷も含まれます。以下の仕様では、このような損傷を防止するために設定された微粒子とガスの制限について説明しています。以下の制限を、絶対的な制限としてみなしたり、使用したりしてはなりません。微粒子や環境腐食物質、ガスの汚染物質移動が及ぼす影響の度合いは、温度や空気中の湿気など他の多くの要因によって左右されるからです。本書で説明されている具体的な制限がない場合は、人体の健康と安全の保護を脅かすことのない微粒子とガスのレベルを維持するよう、実践していく必要があります。お客様の環境の微粒子あるいはガスのレベルが装置損傷の原因であると IBM が判断した場合、IBM は、装置または部品の修理あるいは交換の条件として、かかる環境汚染を改善する適切な是正措置の実施を求める場合があります。かかる是正措置は、お客様の責任で実施していただきます。

表 15. 微粒子およびガスの制限

汚染物質	制限
微粒子	• 室内の空気は、ASHRAE Standard 52.2 に従い、大気塵埃が 40% のスポット効率で継続してフィルタリングされなければならない (MERV 9 準拠)¹。 • データ・センターに取り入れる空気は、MIL-STD-282 に準拠する HEPA フィルターを使用し、99.97% 以上の粒子捕集率効果のあるフィルタリングが実施されなければならない。 • 粒子汚染の潮解相対湿度は、60% を超えていなければならない²。 • 室内には、亜鉛ウィスカーのような導電性汚染があってはならない。
ガス	• 銅: ANSI/ISA 71.04-1985 準拠の Class G1³ • 銀: 腐食率は 30 日間で 300 Å 未満

¹ ASHRAE 52.2-2008 - 一般的な換気および空気清浄機器について、微粒子の大きさごとの除去効率をテストする方法。Atlanta: American Society of Heating, Refrigerating and Air-Conditioning Engineers, Inc.

² 粒子汚染の潮解相対湿度とは、水分を吸収した塵埃が、十分に濡れてイオン導電性を持つようになる湿度のことです。

³ ANSI/ISA-71.04-1985。プロセス計測およびシステム制御のための環境条件: 気中浮遊汚染物質。Instrument Society of America, Research Triangle Park, North Carolina, U.S.A.

通信規制の注記

This product is not intended to be connected directly or indirectly by any means whatsoever to interfaces of public telecommunications networks.

本製品は、電気通信事業者の通信回線への直接、またはそれに準ずる方法での接続を目的とするものではありません。

電波障害自主規制特記事項

機器にモニターを接続する際は、指定されたモニター・ケーブル、およびモニターに付属の干渉抑止装置を使用してください。

Federal Communications Commission (FCC) statement

Note: This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class A digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference when the equipment is operated in a commercial environment. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instruction manual, may cause harmful interference to radio communications. Operation of this equipment in a residential area is likely to cause harmful interference, in which case the user will be required to correct the interference at his own expense.

Properly shielded and grounded cables and connectors must be used in order to meet FCC emission limits. IBM is not responsible for any radio or television interference caused by using other than recommended cables and connectors or by unauthorized changes or modifications to this equipment. Unauthorized changes or modifications could void the user's authority to operate the equipment.

This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) this device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that might cause undesired operation.

Industry Canada Class A emission compliance statement

This Class A digital apparatus complies with Canadian ICES-003.

Avis de conformité à la réglementation d'Industrie Canada

Cet appareil numérique de la classe A est conforme à la norme NMB-003 du Canada.

Australia and New Zealand Class A statement

Attention: This is a Class A product. In a domestic environment this product may cause radio interference in which case the user may be required to take adequate measures.

European Union EMC Directive conformance statement

This product is in conformity with the protection requirements of EU Council Directive 2004/108/EC on the approximation of the laws of the Member States relating to electromagnetic compatibility. IBM cannot accept responsibility for any

failure to satisfy the protection requirements resulting from a nonrecommended modification of the product, including the fitting of non-IBM option cards.

Attention: This is an EN 55022 Class A product. In a domestic environment this product may cause radio interference in which case the user may be required to take adequate measures.

Responsible manufacturer:

International Business Machines Corp.
New Orchard Road
Armonk, New York 10504
914-499-1900

European Community contact:

IBM Deutschland GmbH
Technical Regulations, Department M372
IBM-Allee 1, 71139 Ehningen, Germany
Telephone: +49 7032 15 2941
Email: lugi@de.ibm.com

Germany Class A statement

Deutschsprachiger EU Hinweis: Hinweis für Geräte der Klasse A EU-Richtlinie zur Elektromagnetischen Verträglichkeit

Dieses Produkt entspricht den Schutzanforderungen der EU-Richtlinie 2004/108/EG zur Angleichung der Rechtsvorschriften über die elektromagnetische Verträglichkeit in den EU-Mitgliedsstaaten und hält die Grenzwerte der EN 55022 Klasse A ein.

Um dieses sicherzustellen, sind die Geräte wie in den Handbüchern beschrieben zu installieren und zu betreiben. Des Weiteren dürfen auch nur von der IBM empfohlene Kabel angeschlossen werden. IBM übernimmt keine Verantwortung für die Einhaltung der Schutzanforderungen, wenn das Produkt ohne Zustimmung der IBM verändert bzw. wenn Erweiterungskomponenten von Fremdherstellern ohne Empfehlung der IBM gesteckt/eingebaut werden.

EN 55022 Klasse A Geräte müssen mit folgendem Warnhinweis versehen werden:

Warnung: Dieses ist eine Einrichtung der Klasse A. Diese Einrichtung kann im Wohnbereich Funk-Störungen verursachen; in diesem Fall kann vom Betreiber verlangt werden, angemessene Maßnahmen zu ergreifen und dafür aufzukommen.

Deutschland: Einhaltung des Gesetzes über die elektromagnetische Verträglichkeit von Geräten

Dieses Produkt entspricht dem Gesetz über die elektromagnetische Verträglichkeit von Geräten (EMVG). Dies ist die Umsetzung der EU-Richtlinie 2004/108/EG in der Bundesrepublik Deutschland.

Zulassungsbescheinigung laut dem Deutschen Gesetz über die elektromagnetische Verträglichkeit von Geräten (EMVG) (bzw. der EMC EG Richtlinie 2004/108/EG) für Geräte der Klasse A

Dieses Gerät ist berechtigt, in Übereinstimmung mit dem Deutschen EMVG das EG-Konformitätszeichen - CE - zu führen.

Verantwortlich für die Einhaltung der EMV Vorschriften ist der Hersteller:

International Business Machines Corp.
New Orchard Road
Armonk, New York 10504
914-499-1900

Der verantwortliche Ansprechpartner des Herstellers in der EU ist:

IBM Deutschland GmbH
Technical Regulations, Abteilung M372
IBM-Allee 1, 71139 Ehningen, Germany
Telephone: +49 7032 15 2941
Email: lugi@de.ibm.com

Generelle Informationen:

Das Gerät erfüllt die Schutzanforderungen nach EN 55024 und EN 55022 Klasse A.

VCCI クラス A 情報技術装置

この装置は、クラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用する
と電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策
を講ずるよう要求されることがあります。 VCCI-A

電子情報技術産業協会 (JEITA) 表示

高調波ガイドライン準用品

電子情報技術産業協会 (JEITA) 承認済み (変更付き) 高調波指針 (1 相当たりの入
力電流が 20 A を超える機器)

Korea Communications Commission (KCC) statement

이 기기는 업무용(A급)으로 전자파적합기기로서
판매자 또는 사용자는 이 점을 주의하시기
바라며, 가정외의 지역에서 사용하는 것을 목
적으로 합니다.

This is electromagnetic wave compatibility equipment for business (Type A). Sellers and users need to pay attention to it. This is for any areas other than home.

Russia Electromagnetic Interference (EMI) Class A statement

ВНИМАНИЕ! Настоящее изделие относится к классу А.
В жилых помещениях оно может создавать радиопомехи, для
снижения которых необходимы дополнительные меры

People's Republic of China Class A electronic emission statement

声 明

此为 A 级产品。在生活环境中，
该产品可能会造成无线电干扰。
在这种情况下，可能需要用户对其
干扰采取切实可行的措施。

Taiwan Class A compliance statement

警告使用者：
這是甲類的資訊產品，在
居住的環境中使用時，可
能會造成射頻干擾，在這
種情況下，使用者會被要
求採取某些適當的對策。

German Ordinance for Work gloss statement

本製品は、「German Ordinance for Work with Visual Display Units」の第 2 項に準じたディスプレイ作業用装置との使用には適していません。

Das Produkt ist nicht für den Einsatz an Bildschirmarbeitsplätzen im Sinne § 2 der Bildschirmarbeitsverordnung geeignet.

索引

日本語, 数字, 英字, 特殊文字の順に配列されています。なお, 濁音と半濁音は清音と同等に扱われています。

【ア行】

アウト・オブ・バンド 98
アダプター
 交換 172
 取り外し 171
安全と注意 5
安全について vii, x
イーサネット
 コントローラー 91
イーサネット・コントローラー 7
イーサネット・コントローラーの構成 24
 一般
 問題 74
イベント、統合管理モジュール II (IMM2) 199
イベント・ログ 66
 消去 69
 表示 67
イベント・ログ、システム 66
イベント・ログ、表示の方式 67
イベント・ログ、POST 66
イベント・ログの表示 67
インバンド
 自動ブート・リカバリー方式 97
 手動リカバリー方式 95
インフォメーション・センター 420
エアー・バッフル
 交換 124
 取り外し 123
エラー
 書式、DSA コード 72
エラー現象
 一般 74
 オプション装置 83
 キーボード 77
 偶発的 76
 シリアル・ポート 86
 ソフトウェア 88
 電源 85
 ネットワーク接続 83
 ハード・ディスク 75
 ハイパーバイザー・フラッシュ装置 75
 ビデオ 80, 89

エラー現象 (続き)
 マイクロプロセッサ 80
 マウス 77
 メモリー 78
 モニター 80
 ServerGuide 87
 USB デバイス 77
 USB ポート 89
エラー・コードとメッセージ
 統合管理モジュール II (IMM2) 199
 UEFI (POST) 345
エラー・メッセージ 73
エラー・メッセージ、統合管理モジュール II (IMM2) 199
汚染、微粒子およびガス 426
オプション装置の取り付け 110
オプション装置の問題 83
オプションの 3.5 型ハード・ディスク・ハードウェア RAID ケージ
 取り外し 151
 取り付け 153
オペレーター情報パネル
 取り付け 138
オペレーター情報パネルのベゼル
 取り外し 136
オペレーティング・システム 2
オペレーティング・システム・イベント・ログ 66, 67
オンライン資料 1, 4

【カ行】

開始
 バックアップ・ファームウェア 37
 Setup ユーティリティ 29
ガイドライン
 オプションの取り付け 110
 システム信頼性 111
 電気機器の保守 ix
 トレーニングを受けたサービス技術員 viii
外部コネクター 17
概要 1
ガス汚染 426
カスタム・サポート Web ページ 421
活動 LED 12
カバー
 取り外し 120
 取り付け 122
管理者
 パスワード 37

危険な状況の検査 ix
危険な状態、の検査 ix
危険の注記 5
機能
 ServerGuide 27
機能、コンピュート・ノード 7
偶発的
 問題 76
組み込みハイパーバイザー
 使用 43
グリース、熱伝導 189
ケーブル
 内部ルーティング 195
ケーブル・ルーティング
 ソフトウェア RAID 信号ケーブル 195
 ServeRAID SAS/SATA コントローラー 196
検索
 更新された資料 4
コール・ホーム機能
 IBM Electronic Service Agent 73
コール・ホーム・ツール 73
交換
 アダプター 172
 エアー・バッフル 124
 構造部品 120
 コンポーネント 109
 バッテリー、システム 141
 ヒートシンク 182
 マイクロプロセッサ 182
 DIMM 149
 PCI ライザー・ケージ・アセンブリー 170
 PCI ライザー・フィラー 128
 RAID アダプター・バッテリー・ホルダー 126
 Tier 1 CRU 136
 Tier 1 CRU、交換 136
 Tier 2 CRU 177
交換可能なサーバー・コンポーネント 101
更新
 構成 113
 汎用固有 ID (UUID) 47, 50
 ファームウェア 23
 IBM Systems Director 46
 Systems Director、IBM 46
構成
 更新 113
 情報 23

構成 (続き)

- 手順 23
- Nx 回ブート失敗 98
- RAID アレイ 45
- ServerGuide Setup and Installation
CD 23
- ServerGuide を使用する場合 27
- Setup ユーティリティ 23
- 構成プログラム 24
- 構成部品 104
- コネクタ
 - 外部 17
 - 内蔵 16
 - 内部ケーブルのルーティング 195
- コネクタ、内部、システム・ボード 16
- 個別設定したサポート Web ページの作成 421
- コンソール・ブレイクアウト・ケーブル 14
- コントローラ
 - イーサネット 7, 44
 - ビデオ 7
 - メモリー 7
- コンピュータ・ノード
 - 取り外し 113, 190
 - 取り付け 114, 193
- コンピュータ・ノードの始動 15
- コンピュータ・ノードの停止 16
- コンピュータ・ノードの電源オン 15
- コンピュータ・ノードの電源をオフにする 16
- コンピュータ・ノード・カバー
 - 取り外し 120
 - 取り付け 122
- コンポーネント
 - サーバー 101
 - システム・ボード 16
- 図 10, 11

[サ行]

- サーバー、バックアップ・ファームウェア
開始 37
- サーバーの構成 23
- サーバー・コンポーネント 101
- サーバー・ファームウェアのリカバリー 95
- サービスおよびサポート
 - 依頼する前に 419
 - ソフトウェア 421
 - ハードウェア 421
- サポート Web ページ、カスタム 421
- 支援、入手 419
- 事項、重要 424
- システム管理 7

システム管理 (続き)

- シャーシ・マネジメント・モジュール 7
- システムの信頼性に関するガイドライン 111
- システム・エラー LED 12
- システム・イベント・ログ 66, 67
- システム・イベント・ログ、Assertion イベント 66
- システム・イベント・ログ、Deassertion イベント 66
- システム・パルス LED 65
- システム・ボード
 - 外部コネクタ 17
 - 始動パスワード・スイッチ 35
 - スイッチとジャンパー 18
 - 内部コネクタ 16
 - レイアウト 16
 - LED 20
- システム・ボードの内部コネクタ 16
- システム・ボード・アセンブリ
コンポーネント 10
- 質量、NeXtScale nx360 M4 コンピュー
ト・ノード 5
- 自動ブート・リカバリー (ABR) 98
- シャーシ・マネジメント・モジュール 7
- ジャンパー
 - システム・ボード 18
 - UEFI ブート・リカバリー 95
- 重要な注 5
- 重要な注記 5, 424
- 取得 41
- 主要コンポーネント
 - システム・ボード 10
 - ストレージ・トレイ 11
- 仕様
 - NeXtScale nx360 M4 コンピュート・
ノード 5
- 使用
 - 組み込みハイパーバイザー 43
 - 統合管理モジュール 39
 - リモート・プレゼンス機能 40
 - Setup ユーティリティ 29
- 使用可能化
 - Features on Demand
 - Ethernet ソフトウェア 44
 - RAID ソフトウェア 45
- 商標 424
- シリアル番号
 - ロケーション 93
- シリアル・ポートの問題 86
- 資料
 - 使用 420
 - Documentation Browser 3
 - Documentation CD 2

資料、更新された

- 検索 4
- 診断
 - オンボード・プログラムの開始 71
 - ツール、概要 61
 - プログラムの概要 69
- 信頼性
 - 機能 9
 - RAS 機能 9
- スイッチ
 - システム・ボード 18
- スイッチ・ブロック 18
- ストレージ・トレイ
 - コンポーネント 11
 - 取り外し 117
 - 取り付け 118
- ストレージ・トレイ・フィラー 118
- 寸法、NeXtScale nx360 M4 コンピュー
ト・ノード 5
- 静電気に弱い装置
 - 取り扱い 112
- 静電気の影響を受けやすい部品の取り扱い 112
- 前面ハンドル
 - 取り外し 129
 - 取り付け 130
- 装置、静電気に弱い
 - 取り扱い 112
- ソフトウェア RAID 信号ケーブル
ケーブル・ルーティング 195
- ソフトウェア RAID 信号ケーブルのルー
ティング 195
- ソフトウェアのサービスおよびサポートの
電話番号 421
- ソフトウェアの問題 88
- ソフトウェア要件 2

[タ行]

- チェックアウト手順 58, 59
 - 実行 60
- チェック・ログ LED 12
- 注 5
- 注意の注記 5
- 注記と安全 5
- ツール、コール・ホーム 73
- ツール、診断 61
- 通信規制の注記 426
- 粒子汚染 426
- データ収集 55
- データの収集 55
- ディスプレイの問題 80
- 手順、チェックアウト 60
- テスト・ログ、表示 72
- デバイス・ドライバ 38
- 電気機器の保守 ix

電源 38
 スロットル 7
電源 LED 12
電源コード 105
電源の問題 85, 89
電源ボタン 12
電子情報技術産業協会表示 429
電話番号 421
統合管理モジュール
 使用 39
統合管理モジュール II
 イベント・ログ 66, 67
 プログラム 24
統合管理モジュール II (IMM2) イベント
 199
統合管理モジュール II (IMM2) のエラー・メッセージ 199
特記事項 423
 電磁波放出 427
 FCC、Class A 427
ドライブ
 取り外し 157
 取り付け 157
ドライブ、SAS または SATA、取り付け
 159
ドライブの取り付け 159
ドライブ・ベイ、内部 157
トラブルシューティング 55
 現象 73
取り外し
 アダプター 171
 エアー・バッフル 123
 オペレーター情報パネル 136
 コンピュータ・ノード 113
 コンポーネント 109
 ストレージ・トレイ 117
 前面ハンドル 129
 ドライブ 157
 ハード・ディスク 161, 165
 バッテリー、システム 139
 ヒートシンク 177
 マイクロプロセッサ 177
 メモリー・モジュール 143
 3.5 型ハード・ディスク 158
 DIMM 143
 PCI ライザー・ケージ・アセンブリー
 169
 PCI ライザー・フィラー 127
 RAID アダプター・バッテリー・ホルダー 125
取り付け 1
 オペレーター情報パネル 138
 ガイドライン 110
 コンピュータ・ノード 114
 ストレージ・トレイ 118
 ドライブ 157

取り付け (続き)
 ハード・ディスク 162, 167
 メモリー・モジュール 144
 DIMM 144
 SAS または SATA ドライブ 159
取り付けツール 109
取り付けに関するガイドライン 110
トレーニングを受けたサービス技術員、ガイドライン viii

[ナ行]

内部、システム・ボード・コネクタ 16
内部ケーブルのルーティング 195
内部コネクタ 16
熱伝導グリース 189
ノード・ベイ・フィラー 114

[ハ行]

ハードウェア、構成 24
ハードウェアの構成 24
ハードウェアのサービスおよびサポートの
 電話番号 421
ハードウェア要件 2
ハード・ディスク
 サポート 7
 仕様 7
 タイプ 161, 162, 165, 167
 問題 75
 SAS または SATA、取り外し 158
 SAS または SATA、取り付け 159
ハード・ディスク、取り外し 158, 161,
 165
ハード・ディスク、取り付け 162, 167
ハード・ディスク・ケージ
 取り外し 131
 取り付け 133
ハード・ディスク・バックプレート
 取り外し 154
 取り付け 156
ハイパーバイザー・フラッシュ装置
 問題 75
パスワード 35
 管理者 35
 始動 35
パスワード、始動
 スイッチ、システム・ボード上の 35
バックアップ・ファームウェア
 開始 37
バッテリー、システム
 交換 141
 取り外し 139
バッテリー・ホルダー、RAID アダプター
 交換 126

パワー・サプライ
 LED 63
パワー・サプライ LED 63
ハンドル、前面
 取り外し 129
 取り付け 130
ヒートシンク
 交換 182
 取り外し 177
表明イベント、システム・イベント・ログ
 66
表明解除イベント、システム・イベント・
 ログ 66
ブート・マネージャー・プログラム 24
ファームウェア、更新 23
ファームウェア、サーバー、リカバリー
 95
ファームウェアの更新 1
フィラー、ストレージ・トレイ 118
フィラー、ノード・ベイ 114
負荷分配
 電力スロットル 7
部品、構造 104
部品リスト 101
ブルー・スクリーン機能 40
ブルー・スクリーン・キャプチャー機能
 概要 40
文書化されていない問題 58
ヘルプ
 ソース 419
 IBM への診断データの送信 420
 WWW から 420
返却
 コンポーネント 113
 装置 113
方式 98
方式、イベント・ログの表示 67
ボタン、電源 12
ホット・スワップ・ハード・ディスク・ケ
 ージ
 取り外し 131
ホット・スワップ・ハード・ディスク・バ
 ックプレート
 取り外し 154
 取り付け 156
ポリシー・オプション 38

[マ行]

マイクロプロセッサ
 交換 182
 仕様 5
 取り外し 177
 問題 80
未解決問題 92
ミラーリング・チャネル・モード 149

メッセージ、エラー
 POST 345
メニュー選択
 Setup ユーティリティ 29
メモリー
 仕様 5
メモリー・ミラーリング・チャンネル
 説明 149
 DIMM 取り付け順序 149
メモリー・モジュール
 仕様 7
 取り外し 143
 取り付け 144
モデル名
 ロケーション 93
問題
 イーサネット・コントローラー 91
 一般 74
 オプション装置 83
 キーボード 77
 偶発的 76
 シリアル・ポート 86
 ソフトウェア 88
 電源 85, 89
 ネットワーク接続 83
 ハード・ディスク 75
 ハイパーバイザー・フラッシュ装置 75
 ビデオ 80, 89
 マイクロプロセッサ 80
 マウス 77
 未解決 92
 メモリー 78
 モニター 80
 ServerGuide 87
 USB ポート 89

[ヤ行]

ユーティリティ、セットアップ 24
 開始 29
 使用 29
ユーティリティ・プログラム
 IBM Advanced Settings 45
要件
 ソフトウェア 2
 ハードウェア 2

[ラ行]

リモート・バッテリー・ホルダー、RAID
 アダプター
 取り外し 125
リモート・プレゼンス機能
 使用 40

レガシー・オペレーティング・システム
 要件 27
レガシー・オペレーティング・システムを
 インストールする前に 27
ロギング 42
ロケーター LED 12

A

ABR、自動ブート・リカバリー 98
AC パワー・サプライ
 LED 63
AC パワー・サプライ LED 63
ASM イベント・ログ 67
Australia Class A statement 427

B

Boot Manager 37

C

Canada Class A electronic emission
 statement 427
China Class A electronic emission
 statement 430
Class A electronic emission notice 427

D

DIMM
 交換 149
 仕様 5
 チャンネルあたり 1 つの DIMM 構成 (1DPC)
 要件 144
 取り外し 143
 取り付け 144
 メモリー
 チャンネルあたり 1 つの DIMM 構成 (1DPC) 144
DIMM の取り付け順序 148
 メモリー・ミラーリング・チャンネル 149
documentation CD 2
DSA

 エディション 70
 テキスト・メッセージ書式 72
 テスト・ログ、表示 72
 プログラム、概要 69
DSA Portable 61, 70
DSA Preboot 61, 70
DSA ログ 66, 67
DSA、IBM へのデータの送信 420

E

electronic emission Class A notice 427
European Union EMC Directive
 conformance statement 428

F

FCC Class A notice 427

G

German Ordinance for Work gloss
 statement 431
Germany Class A statement 428

I

IBM Advanced Settings ユーティリティ
 ・プログラム
 概要 45
IBM Electronic Service Agent 73
IBM Systems Director
 更新 46
IBM への診断データの送信 420
IMM web インターフェース 42
IMM ホスト名 41
IMM 用の IP アドレス 41
IMM2 24
IMM2 ハートビート
 LED 65
IPMI イベント・ログ 66, 67
IPMItool 67

J

JEITA 表示 429

K

Korea Class A electronic emission
 statement 429

L

LED
 活動 12
 システム・エラー 12
 システム・ボード上の 20
 チェック・ログ 12
 電源 12
 パワー・サプライ 63
 ロケーター 12
 AC パワー・サプライ 63

LED (続き)

IMM2 ハートビート 65

RTMM ハートビート 65

N

New Zealand Class A statement 427

NeXtScale nx360 M4 コンピュート・ノード

質量 5

仕様 5

寸法 5

NOS インストール

ServerGuide を使用しない 28

ServerGuide を使用する場合 28

Nx 回ブート失敗 98

nx360

概要 1

P

PCI

ライザー・ケージ・アセンブリー

169, 170

PCI ライザー・ケージ・アセンブリー

交換 170

取り外し 169

PCI ライザー・スロット

サポートされる構成 172

取り付け構成 172

PCI ライザー・フィラー

交換 128

取り外し 127

People's Republic of China Class A
electronic emission statement 430

POST

イベント・ログ 67

エラー・コード 345

POST イベント・ログ 66

R

RAID アダプター

バッテリー・ホルダー

交換 126

リモート・バッテリー・ホルダー

取り外し 125

RAID アレイ

構成 45

RTMM ハートビート

LED 65

Russia Class A electronic emission
statement 430

S

Safety Information 5

SAS または SATA ドライブ、取り付け
159

SAS または SATA ハード・ディスク

取り外し 158

ServeRAID SAS/SATA コントローラー

ケーブル・ルーティング 196

ServerGuide

機能 27

使用 27

セットアップ 27

NOS インストール 28

Setup and Installation CD 23

ServerGuide CD 7

Service Bulletin 58

Setup ユーティリティ 23, 24

開始 29

使用 29

メニュー選択 29

SW4 スイッチ・ブロックの説明 18

T

Taiwan Class A electronic emission
statement 430

Tier 2 CRU、交換 177

U

UEFI

エラー・コード 345

ブート・リカバリー・ジャンパー 95

United States FCC Class A notice 427

Universal Serial Bus (USB) の問題 89

UpdateXpress 23, 38

USB フラッシュ・ドライブ

取り外し 173

取り付け 175

V

VCCI クラス A 情報技術装置 429

VMware ハイパーバイザーのサポート
24



部品番号: 00AK728

Printed in Japan

(1P) P/N: 00AK728



日本アイ・ビー・エム株式会社
〒103-8510 東京都中央区日本橋箱崎町19-21